

平成29年度

事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

安曇野市

目 次

安曇野市の重点項目	……	1	頁		
事業別予算概要説明	……	2			
一般会計					
議会事務局	……	5			
総務部					
総務課	……	8			
行政管理課	……	16			
職員課	……	17			
危機管理課	……	18			
人権男女共同参画課	……	23			
政策部					
政策経営課	……	27			
秘書広報課	……	31			
情報統計課	……	33			
財政部					
財政課	……	42			
税務課	……	47			
収納課	……	49			
財産管理課	……	50			
市民生活部					
地域づくり課	……	56			
市民課	……	63			
環境課	……	64			
廃棄物対策課	……	70			
穂高地域課	……	75			
三郷地域課	……	78			
堀金地域課	……	81			
明科地域課	……	84			
福祉部					
長寿社会課	……	89			
福祉課	……	97			
子ども支援課	……	106			
保健医療部					
健康推進課	……	135			
介護保険課	……	149			
国保年金課	……	151			
農林部					
農政課	……	155			
耕地林務課	……	176			
				商工観光部	
				商工労働政課	…… 192
				観光交流促進課	…… 202
				都市建設部	
				監理課	…… 213
				建設課	…… 222
				都市計画課	…… 231
				建築住宅課	…… 237
				上下水道部	
				経営管理課	…… 242
				会計課	…… 245
				教育部（教育委員会）	
				学校教育課	…… 247
				生涯学習課	…… 269
				文化課	…… 285
				図書館交流課	…… 294
				監査委員事務局	…… 299
				選挙管理委員会事務局	…… 301
				農業委員会事務局	…… 307
				公平委員会事務局	…… 310
				特別会計	
				国民健康保険特別会計	…… 314
				後期高齢者医療特別会計	…… 359
				介護保険特別会計	…… 366
				上川手山林財産区特別会計	…… 393
				北の沢山林財産区特別会計	…… 397
				有明山林財産区特別会計	…… 400
				富士尾沢山林財産区特別会計	…… 403
				穂高山林財産区特別会計	…… 406
				産業団地造成事業特別会計	…… 409
				観光宿泊施設特別会計	…… 411

重点施策と推進政策コード一覧

(1)	健康長寿のまちづくり
(1)ーイ	「健康寿命日本一」を目指し、介護予防・健康管理等の推進を図る取組み
(1)ーロ	「いきいきと暮らせるまちをつくる」取組み(総合戦略)
(1)ーハ	生活習慣病予防活動の充実や歯科口腔保健の推進・健康診断の受診率向上に向けた取組み
(1)ーニ	市歌体操の普及事業など健康づくりの推進に向けた取組み
(1)ーホ	老若男女が個々の特性を生かした「生きがい」を創出する取組み
(2)	豊かな人を育むまちづくり
(2)ーイ	「安心して出産し子育てできるまちをつくる」「若者や女性が活躍できるまちをつくる」取組み
(2)ーロ	小規模保育事業や子育て総合相談窓口設置の検討など、子育て支援の充実に向けた取組み
(2)ーハ	心身の健康増進と技術向上を目指した生涯スポーツ活動の推進を図る取組み
(2)ーニ	国際感覚豊かな人づくりや特色ある学校教育等により次代を担う「人材」の育成を推進する取組み
(2)ーホ	郷土の伝統・文化などを継承し芸術文化活動の振興を図る取組み
(3)	活力あふれるまちづくり
(3)ーイ	「新たな雇用を生み出す」取組み(総合戦略)
(3)ーロ	「安曇野暮らしリズム」の実現に向けた交流人口の拡大を図る取組み
(3)ーハ	山岳観光と平地観光の連携を強化し、広域観光の推進を目指す取組み
(3)ーニ	インバウンドを見据えた安曇野の着地型観光(体験・交流型)に向けた取組み
(3)ーホ	商店街の活性化と企業の本社機能誘致等活力ある商工業の振興を目指す取組み
(3)ーへ	ものづくりの技術と技能を継承・高度化できる人材の確保・育成を目指す取組み
(3)ート	農業の担い手育成と特産品の販路拡大によるマーケティング(稼ぐ農業)の強化に向けた取組み
(3)ーチ	地域資源を活用した産業モデルへの取組み
(4)	環境を守り、安全・安心なまちづくり
(4)ーイ	環境にやさしい生活スタイル(循環型社会)の創出に向けた取組み
(4)ーロ	地下水の保全・涵養など、適正利用に向けた取組み
(4)ーハ	森林環境を守り、豊かな里山再生を目指す取組み
(4)ーニ	緑のまちづくり事業による住宅地の緑化推進を図る取組み
(4)ーホ	自主防災組織などのすべての人が助け合える仕組みづくりに向けた取組み
(4)ーへ	誰もが安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりに向けた取組み
(4)ート	総合的な交通安全対策に取組む活動の充実を図り、地域住民と協働する防犯活動に関する取組み
(5)	協働によるまちづくりと行政サービスの向上
(5)ーイ	地域コミュニティ(区)への加入促進に向けた取組み
(5)ーロ	自治組織との協働や連携強化及び、自治組織の活用に対する支援の取組み
(5)ーハ	市民の視点に立った行政運営を図り「地域と行政の連携を強化」する取組み
(5)ーニ	市民サービスの充実を基本に健全財政を維持するため、経費削減と事務事業の効率化に向けた取組み
(5)ーホ	自治基本条例によるまちづくりの推進に向けた取組み

事業別予算概要説明

一般会計

議会議務局

重点施策と 推進政策	(5)-ハ	コード	011401100	予算書ページ	52
		課・係等	議会事務局 庶務係		

予算	款	01	議会費	総合計画	基本方針	
	項	01	議会費		主要施策	
	目	01	議会費		基本施策	
	事業	0101010	議会費			

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	266,376	0	0	0	0	266,376
前年度	275,224	0	0	0	0	275,224
増減額	△ 8,848	0	0	0	0	△ 8,848

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市議会(本会議、常任委員会、特別委員会)の運営、議会改革の取組み、政務活動費の交付ほか

【効果】

・議会報告会を実施することにより、直接市民と対話ができ、議会活動への理解を得る場となる。
 ・議会改革の取組みとして、研修会等を通じ政策提言への取組みを一層推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・議会改革推進委員会を中心に、平成26・27・28年度と開催した議会報告会の反省等を踏まえ、次年度の開催に向けてどのような論点で議会報告会を運営するか、また、そのための資料作成を行う。
 ・独自の議員研修会を開催し、議会としての政策提言の実現に向けて、積極的に取り組む。
 ・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・議会改革推進委員会のそれぞれの観点における視察研修を行い、先進地での取り組みなどを参考に政策提言などの議会活動の充実を図っていく。

【詳細事業内訳】

議会費 266,376千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	104,064	議員報酬 104,064千円			11	需用費	5,386	議会だより印刷費 2,904千円 議員改選諸経費 1,138千円		
02	給料	26,389	職員給料 26,389千円			12	役務費	97	インターネット回線使用料 77千円		
03	職員手当等	53,430	議員期末手当 38,935千円			13	委託料	11,827	会議録調製業務 9,125千円 会議録配信業務 1,695千円		
04	共済費	51,346	議員共済組合給付金 43,201千円			14	使用料及び賃借料	2,736	議場映像配信システム使用料 1,361千円		
08	報償費	412	議員研修会講師謝礼 250千円 議会傍聴者託児者謝礼 44千円			18	備品購入費	44	議会図書室用図書 44千円		
09	旅費	7,410	行政視察、議員研修、議長会総会等の費用弁償 5,527千円			19	負担金補助及び交付金	3,055	全国市議会議長会等負担金 917千円 政務活動費 2,138千円		
10	交際費	180	議長交際費 180千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	・議会だより印刷製本費 ・会議録調製業務 ・会議録配信業務 ・議会映像配信ASPシステム使用	議会の審議概要などについて年4回広報紙を発行する。本会議や委員会の会議録を作成するとともに、会議録や本会議のライブ中継及び録画映像をインターネットを通じて配信し、市民に開かれた議会運営に努める	11	需用費	2,904
				13	委託料	9,125
				13	委託料	1,695
				14	使用料及び賃借料	1,361
					計	15,085
2					計	0

総務部

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010101100				
		課・係等	総務課 庶務法規担当				
		款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
		項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
		目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
予算	事業	0102010	一般管理費				

予算書ページ	56
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	897,572	19	1,060	0	52,001	844,492
前年度	941,572	19	1,100	0	64,002	876,451
増減額	△ 44,000	0	△ 40	0	△ 12,001	△ 31,959

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	自衛官募集事務委託金	19	20	派遣職員給与費負担金	52,000				
15	特例処理事務交付金	1,050								
15	住宅新築資金県補助金	10								
17	指定寄附金	1								

【目的・効果】

【目的】

市の総務部門である総務部、政策部、財政部に従事する職員の人件費、行政運営経費及び平和推進事業に係る経費を計上する。

【効果】

- ・議案の印刷製本、会議賄等、行政運営上必要な経費の計上による円滑な行政運営
- ・平和行政を推進するため、広島平和記念式典へ市内中学生への派遣するほか、安曇野市平和のつどいを開催し、市民の平和意識の高揚を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・固定資産評価審査委員会委員報酬
- ・特別職、一般職の人件費
- ・議案書作成に関する経費
- ・平和推進事業の実施経費(広島平和記念式典への中学生派遣、平和つどい開催)
- ・食糧費(会議賄)の適正な執行

【詳細事業内訳】

一般管理費 895,113千円 平和都市宣言事業 2,402千円 固定資産評価審査委員会事務 57千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	57	固定資産評価審査委員報酬3人×2回	11	需用費	1,328	消耗品215千円、食糧費50千円、議案書等印刷製本965千円、広島体験文集印刷98千円
02	給料	501,016		12	役務費	108	広告料101千円、広島平和記念式典参加生徒旅行保険7千円
03	職員手当等	242,132		14	使用料及び賃借料	192	平和のつどいパネル展20千円、広島平和記念式典バス162千円、広島市内駐車場10千円
04	共済費	150,555		19	負担金補助及び交付金	52	暴力追放県民センター賛助会費50千円、平和首長会議メンバーシップ納付金2千円
07	賃金	25	広島平和記念式典随行者ほか看護師賃金				
08	報償費	145	平和のつどい講師50千円 平和のつどい図書券(児童生徒分)68千円、行政視察土産27千円				
09	旅費	1,962	広島平和記念式典参加中学生及び随行者旅費(33人分)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	平和都市宣言事業	広島平和記念式典へ市内中学校7校から代表生徒28人を派遣し、戦争の悲惨さを見て、平和に対する意識の高揚を図る。また、安曇野市平和都市宣言の精神に基づき、安曇野市平和のつどいを開催し、市民の平和に対する意識の醸成を図る。	09	旅費	1,962
				14	使用料及び賃借料	192
				08	報償費	118
				11	需用費ほか	130
					計	2,402
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010101100
課・係等	総務課 庶務法規担当

予算書ページ	56
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102015	寄附採納事務			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	337,778	0	0	0	101,598	236,180
前年度	585,490	0	0	0	300,000	285,490
増減額	△ 247,712	0	0	0	△ 198,402	△ 49,310

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさと寄附基金利子	1,598							
17	ふるさと寄附金	100,000								

【目的・効果】
【目的】
 安曇野市の魅力的な特産品をお礼の品に取り揃え、全国から多くの「安曇野ふるさと寄附」をいただく。
【効果】
 ・自主財源を確保
 ・寄附者が指定する事業への活用
 ・地域産業の振興及び雇用促進
 ・安曇野を全国にPR

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・寄附受入事務非常勤職員賃金(1人)
 ・お礼の品(特産品)の購入
 ・前年度寄附者に対する観光振興経費
 ・寄附受入クレジット決済に係る経費
 ・ふるさと寄附募集受付サイト利用料
 ・ふるさと寄附基金への積立

【詳細事業内訳】
 寄附採納事務 337,778千円

【一般財源増加理由】 ふるさと寄附基金積立額の増(28年度3億円⇒29年度5億円)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,571	ふるさと寄附受付事務非常勤職員1人分				
08	報償費	200,000	ふるさと寄附お礼の品(特産品、工業製品等)				
11	需用費	2,723	前年度ふるさと寄附者送付用観光冊子4,000人分1,200千円、クーポン券3,000セット1,296千円、寄附募集チラシ6,000部227千円				
12	役務費	22,116	クレジット決済手数料21,816千円、ふるさと寄附広告料300千円				
14	使用料及び賃借料	9,769	ふるさと寄附募集サイト使用料				
25	積立金	101,599	ふるさと寄附基金積立100,000千円、基金積立金利子1,599千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	寄附採納事務	・安曇野産にこだわった魅力的な特産品、工業製品をお礼の品に取り揃え、全国からふるさと寄附を募集する。 ・前年度の寄附者に対する繋がりを大切にし、特典付き観光冊子と冊子に掲載されている施設で利用できるクーポン券を送付し、観光振興を図る。	08	報償費	200,000
				25	積立金	101,599
				12	役務費	22,116
				14	使用料及び賃借料ほか	14,063
					計	337,778
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010101300
		課・係等	総務課 検査係(契約検査課)

予算書ページ	58
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102180	検査管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	179	0	0	0	0	179
前年度	263	0	0	0	0	263
増減額	△ 84	0	0	0	0	△ 84

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

- ・的確な検査実施の為に技術指針等の図書の充実を図り、また実務研修へ参加する。
- ・工事検査においては技術検査を実施し、評価対象工事においては技術検査結果に基づき評価者が公正かつ的確に評価できるようにする。
- ・安曇野市建設工事請負人等選定委員会の審査資料等を作成する。

【効果】

- ・職員の検査、評定技術向上が見込める。 ・請負業者の指導育成に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・請負契約又は物の買入れ等について契約書、仕様書等に基づいて、適切に履行されているか確認する。
- ・公共建設工事の評定を公正かつ的確に行い、優良工事の表彰を行うと共に職員及び業者の技術向上に寄与する。

【詳細事業内訳】

検査管理費 179千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	7	優良建設工事表彰記念品(賞状額、手提げ袋)				
09	旅費	54	NOMA検査実務研修会交通費				
11	需用費	40	優良建設工事表彰用生花、参考図書、事務用品				
12	役務費	15	優良建設工事表彰用表彰状筆耕料				
19	負担金補助及び交付金	63	NOMA検査実務研修会への参加費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010101100		予算書ページ	72
		課・係等	総務課 庶務法規担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	文書広報費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102190	文書管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,287	0	104	0	400	77,783
前年度	81,885	0	79	0	400	81,406
増減額	△ 3,598	0	25	0	0	△ 3,623

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	特別児童扶養手当事務委託金	104							
20	コピー等サービス料	400								

【目的・効果】
【目的】
 ・ファイリングシステムを活用した文書の適正管理に努め、業務の効率化を図る。
 ・例規の適正な制定改廃の整備を行う。
【効果】
 ・ファイリングシステムの活用により、機能的で効率的な文書管理ができる。
 ・適正な事務処理を行うことで、文書の郵送、收受、作成、起案、決裁、施行、保存、廃棄までの一連の事務の徹底を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・郵便、支所間メール便、文書仕分業務等に係る非常勤職員、臨時賃金9人(うち支所7人)
 ・外部書庫(旧豊科法務局、旧上川手分場、旧明科法務局)の維持管理
 ・公文書の管理(郵送、收受、作成、起案、決裁、施行、保存、廃棄等)
 ・ファイリングシステム維持管理
 ・例規審査、例規集等の管理
 ・行政手続の総合調整

【詳細事業内訳】
 文書管理事務 70,778千円 書庫管理 958千円 ファイリングシステム事務 2,586千円 例規システム等維持管理 3,965千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,391	郵便業務、庁舎間メール便業務ほか2人分3,645千円、支所文書仕分配達(豊科、三郷、明科)7人分746千円				
09	旅費	120	職員研修旅費				
11	需用費	864	文書管理用消耗品111千円、法規追録158千円、ファイリング消耗品363千円、外部書庫修繕及び電気料232千円				
12	役務費	64,655	郵便料63,387千円、宅配料1,242千円、官報閲覧26千円				
13	委託料	7,818	支所(穂高・堀金)文書仕分850千円、行政不服審理員研修216千円、廃棄文書処理162千円、ファイリングシステム管理2,223千円、外部書庫管理726千円、例規システム等管理3,641千円				
14	使用料及び賃借料	324	判例体系利用料				
19	負担金補助及び交付金	115	職員研修負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ファイリングシステム事務	・全庁に導入したファイリングシステムを維持していくための管理業務を委託し、機能的で効率性の高い文書管理の定着を図る。 ・ファイル基準表の分類と、文書事務システム(文書登録)における分類を一致させることにより、起案から文書廃棄に至るまでの文書管理を適切に行うことができる。	13	委託料	2,223
				11	需用費	363
					計	2,586
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010101400
課・係等	総務課 契約担当 (契約検査課)

予算書ページ	76
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	05	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102260	契約管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,399	0	0	0	0	2,399
前年度	3,283	0	0	0	0	3,283
増減額	△ 884	0	0	0	0	△ 884

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・競争性、透明性、公平性が確保された契約事務を執行する。
【効果】
 ・予算の効率的執行を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 一般競争入札を基本とした入札契約の執行
 電子入札の積極的な活用

【詳細事業内訳】
 契約管理費 2,399千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	394	入札参加資格申請受付業務								
09	旅費	84	契約の実務研修								
11	需用費	49	事務用品ほか								
13	委託料	584	電子入札システム保守								
14	使用料及び賃借料	786	電子入札連携サーバ、落札業者検索システム、電子入札システム								
19	負担金補助及び交付金	502	電子入札システム負担金、契約研修負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010101100
課・係等	総務課 庶務法規担当

予算書ページ	92
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	11	諸費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102420	諸費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,621	0	0	0	0	2,621
前年度	2,621	0	0	0	0	2,621
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市の行政運営における法的問題に適正かつ迅速に対応するため、専門的見地から助言と指導を受ける。
- ・市が被告とされる係争事件の口頭弁論対応及び課題の早期解決を図るため訴訟代理人弁護士委託を行う。

【効果】

- ・法的な問題の早期解決を目指し、市民理解が得られる行政運営の実現が図れる。
- ・専門的見地から指導、助言を受けることで職員負担の軽減と的確な裁判対応が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・行政運営上の法的問題等を早期解決するため、顧問弁護士を選任し委託する。(3人)
- ・係争案件に係る訴訟代理人弁護士の、口頭弁論出廷に要する諸経費(日当・旅費等)
- ・弁護士の助言、相談を求めらる中で、書類の作成を委託した場合の費用

【詳細事業内訳】

顧問弁護士及び訴訟等委託事務 2,621千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	1	弁護士成功報酬				
13	委託料	2,620	顧問弁護士委託及び書類作成2,160千円、係争案件に係る弁護士委託諸経費460千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010101100
課・係等	総務課 庶務法規担当

予算書ページ	94
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	12	情報公開費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102450	情報公開管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	222	0	0	0	100	122
前年度	221	0	0	0	100	121
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コピー等サービス料	100							

【目的・効果】
【目的】
 ・市が保有している公文書を市民と共有し、情報公開制度の総合的な推進を図り、市民参加を促進する。
 ・市の実施機関が保有する個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図る。
【効果】
 ・公正で開かれた市政を確立する
 ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・情報公開事務の適切な運用を推進する。
 ・個人情報の適切な取扱いと保護を図る。
 ・情報公開請求及び個人情報開示請求に係る決定等に対する審査請求があった場合は「情報公開・個人情報保護審査会」へ諮問及び答申事務を行う。

【詳細事業内訳】
 情報公開・個人情報開示請求事務 222千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	101	情報公開・個人情報保護審査会委員報酬6,700円×審査委員5人×3回						
08	報償費	45	答申書作成謝礼						
09	旅費	46	費用弁償(会議出席のため)						
11	需用費	30	目隠しテープ						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010101100
		課・係等	総務課 庶務法規担当

予算書ページ	94
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	13	行政不服審査費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102451	行政不服審査会管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	192	0	0	0	0	192
前年度	191	0	0	0	0	191
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・行政による処分等に対し、市民がその処分等の見直しを求めて不服申立てした際の簡易迅速・公平な審査手続き定める。
 ・市民の権利利益の救済を図り、市政の適正な運営を確保する。
【効果】
 ・公正で開かれた市政を確立する
 ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・行政不服審査事務の適切な運用を推進する。
 ・行政による処分等に係る審査請求が生じた場合は、審理員の審理を経たうえで、行政不服審査会へ諮問及び答申事務を行う。

【詳細事業内訳】
 行政不服審査事務 192千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	101	委員報酬6,700円×審査委員5人×3回								
08	報償費	45	答申書作成謝礼								
09	旅費	46	費用弁償(会議出席のため)								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010106100
課・係等	行政管理課 行政担当(総務課)

予算書ページ	78
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	06	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102310	行政改革			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	338	0	0	0	0	338
前年度	438	0	0	0	0	438
増減額	△ 100	0	0	0	0	△ 100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・第3次安曇野市行財政改革大綱に掲げた実施計画の進捗管理。
 ・平成29年度に指定期間が終了する公の施設及び新規施設等の指定管理者の選定。
【効果】
 ・第3次大綱に掲げた実施計画の確実かつ着実な推進を図る。
 ・指定管理者の応募団体等の審査にあたり公正・公平な選定を行う事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・第3次行財政改革大綱の実施計画について、「行政改革推進委員会」へ進捗状況等の報告を行い意見を求める。
 ・「公の施設指定管理者審査委員会」に、募集要項及び応募団体等審査を依頼する。

【詳細事業内訳】
 行財政改革大綱・実施計画進行管理事業 104千円 公共施設管理方針調整事業 254千円 組織管理事業 0千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	338	・行政改革推進委員会12名及び指定管理者審査委員会5名の委員報酬								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	行財政改革大綱・実施計画進行管理事業	大綱の基本理念である「発展・持続可能なまちづくりに向けて」の実現を目指す。	01	報酬	84	
					計	84	
2	ソフト	公共施設管理方針調整事業	公の施設を適切に管理できる指定管理者の選定と公共施設再配置計画の進捗管理を行う。	01	報酬	254	
					計	254	

予算書ページ	58
--------	----

重点施策と推進政策	(5)-二	コード	010102100
		課・係等	職員課 職員担当

予算	款	02	総務費	総合計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102030	職員管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
859,445	879,793	△ 20,348	0	0	0	5,912
			0	0	0	6,058
			0	0	0	△ 146
						△ 20,202

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	職員健康診断共済組合補助	52	20	職員駐車場利用料	5,400				
20	市職員互助会非常勤職員社会保険等事業主負担金	260								
20	団体定期保険事務費外	100								
20	共済組合研修会助成	100								

【目的・効果】

【目的】

・市民と共同し市民に信頼される市政、市民志向の質の高いサービスを提供する市政の実現のため、スリムで柔軟な組織・人事制度の構築と職員管理を行う。

【効果】

・効率的かつ弾力的な人員配置を行うとともに、定員適正化計画に基づく適正な管理を行う。
 ・人材育成システムの中心となる人事評価制度及び職員研修の実施により、職員の意識改革及び職務遂行能力の向上を図り、組織力の強化と拡充を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】

・人事評価制度に対する職員の意識の醸成、管理監督職の評価スキルの向上を図るため、職員研修を実施する。また、人材育成、職員の昇給・昇格等への反映に向け、人事評価結果を人事配置に活用する。
 ・人事評価制度を根幹とした複線型昇任制度の構築を行う。
 ・職場内研修(OJT)の充実と職務階層別の内部研修・外部研修の計画的な実施により、職員の意識開発・組織的人材育成の風土づくりなどを行う。
 ・職員の定員適正化計画に基づき、適正な定員管理及び職員採用を行う。
 ・職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場にするため、健康診断・カウンセリング事業等を実施する。
 ・本庁舎の職員駐車場の管理(借地料、除雪等)
 ・特別職等報酬審議会の開催

【詳細事業内訳】

職員採用事業 1,884千円 職員管理総務費844,296千円 人事評価による人事管理事業 2,765千円 職員駐車場管理運営事業 10,500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,185	産業医報酬(2人分)、特別職等報酬審議会報酬(10人)	12	役務費	291	職員採用広報活動(学生向け就職サイト利用料)、安全運転管理者運転記録証明料等
03	職員手当等	133,180		13	委託料	18,087	採用試験(1・2次試験、作文)、職員研修、人事制度構築支援、職員駐車場管理、職員健診等
04	共済費	220,185		14	使用料及び賃借料	9,841	職員駐車場借地料
07	賃金	12,003	正職員不在時対応分(一般事務6人分)、職員課配置分(1人分)	19	負担金補助及び交付金	451,619	職員研修負担金、安全運転管理者協会負担金、退職手当負担金(未確定H28予算)、職員互助会負担金(未確定H28予算)、職員自主研修助成金
08	報償費	718	健康管理研修会講師謝礼、採用試験面接官講師謝礼、退職者記念品、研修等土産				
09	旅費	11,205	職員研修旅費、派遣職員日額旅費				
11	需用費	1,131	事務用品、職員作業服外(ヘルメット・作業服)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	職員研修	安曇野市人材育成基本方針及び安曇野市研修計画に基づく職員研修を実施し、職員資質の向上を目指す。	9	旅費	11,205	研修旅費
				13	委託料	2,111	外部研修委託
				19	負担金及び補助金	2,823	研修負担金等
					計	16,139	
2	ソフト	人事評価による人事管理事業	人事評価制度の適正な運用を図るとともに、複線型昇任制度を構築し「能力及び実績に基づく人事管理の徹底」と「主体的キャリア形成の確立」により組織力の強化を目指す。	13	委託料	2,765	人事評価構築支援
					計	2,765	

重点施策と 推進政策	(4)-へ		コード	010103200		予算書ページ	266
			部・課・係等	危機管理課 消防防災係			
予算	款	09	消防費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	01	消防費		主要施策	災害に強いまち	
	目	01	常備消防費		基本施策	防災対策の充実	
	事業	0109010	常備消防負担金				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,007,632	0	0	4,265	1,003,367
前年度	1,012,300	0	0	6,583	1,005,717
増減額	△ 4,668	0	0	△ 2,318	△ 2,350

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	高速自動車道救急支弁金	4,265							

【目的・効果】

【目的】

・常備消防の松本広域消防局が行う消防、救急業務が、効率的、効果的に行われるよう必要経費(人件費・消防設備費・消防業務費・救急業務費)について構成団体として応分の負担をする。

【効果】

・松本広域消防局が行う消防・救急業務が的確に実施され、市民の安全と安心の確保が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・常備消防分負担金1,000,894千円を支出する(前年度より2,211千円の減)
 ・県消防防災航空隊へ負担金として2,472千円を支出する
 ・『高速自動車国道における救急業務に関する覚書』に基づき、東日本高速道路株式会社及び中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として4,266千円を支出する

【詳細事業内訳】

常備消防負担金事業 1,007,632千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	1,007,632	松本広域連合負担金(常備消防分)、高速自動車道救急事業支弁金、県消防防災航空隊負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と推進政策	(4)-へ
-----------	-------

コード	010103200
部・課・係等	危機管理課 消防防災係

予算書ページ	266
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	02	非常備消防費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109020	非常備消防費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	230,111	0	0	0	24,507	205,604
前年度	247,410	0	0	21,400	25,811	200,199
増減額	△ 17,299	0	0	△ 21,400	△ 1,304	5,405

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	消防団員退職報償金	18,987	21	防災基盤整備事業	0				
20	消防団員等公務災害補償給付金	5,220								
20	消防団員福祉共済	230								
20	松本消防協会ブロック訓練交付金	70								

【目的・効果】

【目的】

・火災時における初期消火活動の充実、強化。多数の人数を必要とする大火、林野火災、地震、風水害等の大規模災害時における消防対応力の強化

【効果】

・火災予防や防火意識の高揚や消防施設等の整備・充実など消防対応力の強化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・消防組織法第9条に定める消防団の運営
- ・消防団の任務を遂行する為の人員費、物件費等
- ・地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面で優れた組織である消防団が、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安心、安全を確保するための活動を行う。
- ・消防団装備を充実強化するため、デジタル簡易携帯型無線機100式を配備する。

【詳細事業内訳】

非常備消防運営事業 230,111千円 消防団車両更新事業 0千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	26,385	消防団員報酬、消防委員報酬	09	旅費	399	消防団幹部視察研修外
02	給料	45,186		11	需用費	13,479	ポンプ用ホース、法被、活動服、車両・可搬ポンプ燃料、ポンプ等修繕外
03	職員手当等	22,625		12	役務費	2,412	消防車両検査登録外
04	共済費	13,662		13	委託料	371	運転代行委託、出初式分列行進警備委託
05	災害補償費	5,221	消防団員公務災害補償	14	使用料及び賃借料	1,758	市大会及び松本消防協会大会ポンプ操法会場・簡易トイレ等借り上げ料外
07	賃金	1,742	臨時職員賃金	18	備品購入費	5,625	救命講習用訓練人形上半身タイプ、デジタル簡易携帯型無線機100式
08	報償費	46,723	災害・訓練等出勤・出席謝礼 退団者退職報奨金外	19	負担金補助及び交付金	43,611	消防団員退職報償金掛金、消防団運営費補助金外

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と推進政策	(4)-へ
-----------	-------

コード	010103200
部・課・係等	危機管理課 消防防災係

予算書ページ	268
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109030	消防施設維持整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	83,172	2,693	0	0	0	80,479
前年度	128,849	5,386	0	0	0	123,463
増減額	△ 45,677	△ 2,693	0	0	0	△ 42,984

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・地域防災の中心的な役割を果たす消防団活動に対し、初動活動体制の拡充のため、施設等の環境整備を行う。
- ・火災発生時の水利確保のため、防火水槽・消火栓の整備を計画的に行う。

【効果】

- ・火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

消防車両、消防用水利(防火水槽および消火栓)を整備し、消防隊員による円滑な消火活動ができる環境を整えることにより、災害発生時の市民が被る被害の減少を図る。また、災害時に防災拠点となる消防団詰所を、消防団員の活動拠点として十分な機能を果たせるように整備する。第16分団第2部詰所の耐震化工事と統廃合した第7分団の旧詰所3棟の解体工事を実施する

【詳細事業内訳】

消防施設維持整備事業 83,172千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	9,006	消火栓用ホース、消防団詰所修繕費、消防団詰所光熱水費外				
12	役務費	34	消防団詰所浄化槽検査手数料、建築確認申請手数料				
13	委託料	3,735	消防機材廃棄処分委託、消防団詰所耐震化整備工事実施設計委託料外				
14	使用料及び賃借料	386	消防設備用地(詰所・警鐘楼敷地外)借地料				
15	工事請負費	45,877	詰所耐震改修(1棟)、防火水槽新設(1基)、無蓋防火水槽撤去(1基)、詰所解体工(3棟)外				
18	備品購入費	862	消火栓用ホース格納箱外				
19	負担金補助及び交付金	23,272	消火栓維持管理負担金、修繕・更新・移設13基、新設13基				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	消防施設維持整備事業	消防団詰所の計画的な耐震施工により、有事の際に消防団がその機能を十分に発揮し得る。耐震性防火水槽は、大規模地震等で水道配水管の破損により消火栓の使用ができない場合の水利施設として重要な施設である。	15	工事請負費	45,877
				19	負担金補助及び交付金	23,272
				11	需用費	9,006
				13	委託料	3,735
					計	81,890
2					計	0

重点施策と推進政策	(4)-へ
-----------	-------

コード	010103200
部・課・係等	危機管理課 消防防災係

予算書ページ	270
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109040	防災無線維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,994	0	0	8,800	0	26,194
前年度	38,132	0	0	0	0	38,132
増減額	△ 3,138	0	0	8,800	0	△ 11,938

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・防災行政無線を適切に管理し、災害時における県と市町村、防災関係機関との円滑な情報連絡を確保する。
【効果】
 ・防災行政無線により市民への注意喚起や避難行動を促すための情報をいち早く伝達し、災害による被害の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 デジタル移動系(統制台、中継2局、移動352局)及びデジタル同報系(親局、遠隔制御装置、中継局、236子局、Jアラート受信装置)防災行政無線の適正な維持管理を行い、防災行政無線に付随する電気・電話回線料・電波利用料を賄う。

【詳細事業内訳】
 防災行政無線維持整備事業 22,922千円 長野県衛星系防災行政無線設備更新事業 0千円 緊急告知機能付き防災ラジオ等導入事業 12,072千円

【一般財源増加理由】 緊急割込み放送システムの構築と移動系防災行政無線のバッテリー更新による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,882	防災行政無線施設電気料、無線設備修繕外				
12	役務費	36	防災行政無線資格取得手数料				
13	委託料	30,598	防災行政無線設備保守、緊急割込み放送システム構築及び保守				
14	使用料及び賃借料	1,988	電波利用料、NTT回線使用料外				
15	工事請負費	276	同報系防災行政無線連携操作卓改修工事				
18	備品購入費	130	緊急告知機能付き防災ラジオ				
19	負担金補助及び交付金	84	県衛星系防災行政無線設備保守管理経費負担金、第3級陸上無線技士養成講習会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	緊急告知機能付き防災ラジオ等導入事業	防災行政無線からの緊急情報をあづみ野エフエムの周波数76.1MHzに割り込ませて放送するシステムとこれに対応した緊急告知機能付き防災ラジオを導入することで、災害・防災情報伝達手段の充実が図られる。	13	委託料	11,400
					15	工事請負費	276
					14	使用料及び賃借料	242
					18	備品購入費	130
						計	12,048
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	010103100		
		課・係等	危機管理課 危機管理担当		

予算書ページ	270
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	04	災害対策費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109050	災害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	61,403	0	0	0	25,000	36,403
前年度	51,070	0	0	0	0	51,070
増減額	10,333	0	0	0	25,000	△ 14,667

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	25,000							

【目的・効果】
【目的】
 ○市民の生命及び財産を侵害する事態に迅速かつ的確に対処するため、危機管理体制の充実・強化、防災倉庫の整備、自主防災組織の充実・強化、防災意識の高揚を図り、防災・減災に取り組むことを目的とする。
【効果】
 ○市民の生命、身体及び財産を災害などから守る災害に強いまちづくりの体制を確立することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○防災会議を開催し、地域防災計画の見直しと実施を推進する。
 ○市民への啓発の機会として市総合防災訓練及び防災講演会を開催し、災害に強い体制を確立するとともに防災意識の高揚を図る。
 ○自主防災組織の充実・強化を図るため、活性化事業の実施及び防災活動支援として資機材整備と防災訓練に補助金を交付する。
 ○事前登録制メール配信システムを運用し、災害情報等の伝達を迅速に行う。
 ○防災拠点施設であり、市民の憩いの場でもある防災広場の維持管理を行う。
 ○第3次長野県地震被害想定調査報告書を参考に定めた備蓄計画に基づき、飲料水、食料、日用品、資機材を計画的に備蓄する。また、大規模災害発生時に指定避難所を迅速に開設するため、指定避難所の開設に資する資機材を備蓄する防災倉庫を整備する。
 ○災害対策に資する設備等を整備する。

【詳細事業内訳】
 防災計画策定事業 105千円 防災啓発事業 18,474千円 防災組織支援事業 6,582千円 防災情報共有化事業 4,446千円 防災広場管理事業 3,239千円
 災害対策事業 26,640千円 災害対策総務費 1,917千円

【一般財源増加倍理由】 防災用品購入補助金の新設、自主防災組織防災活動支援補助金の増額等による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	105	防災会議委員報酬	15	工事請負費	1,083	防災訓練会場整備工事、避難所看板撤去工事外
08	報償費	100	防災講演会講師謝礼	18	備品購入費	12,107	災害救助用品、防災倉庫備品、自主防災組織研修用教材
09	旅費	60	職員研修、防災講演会等講師旅費	19	負担金補助及び交付金	21,546	防災用品購入補助金、自主防災組織防災活動支援補助金、防災訓練等災害補償加入負担金外
11	需用費	17,016	災害対策用備蓄品、防災訓練特殊消耗品・食糧費、防災広場管理清掃用品・光熱水費、防災マップ印刷外				
12	役務費	58	防災訓練簡易水洗トイレ汲み取り料、自主防災アドバイザー保険料				
13	委託料	4,067	メール配信システム管理委託料、防災広場清掃・芝生広場維持管理委託料外				
14	使用料及び賃借料	5,261	メール配信システム借上料、防災訓練用機械等借上料、防災・管理情報ネットワーク使用料、衛星電話回線使用料外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	防災組織支援事業	自主防災組織の活性化のため、地域自主防災会議を開催し、市及び組織同士の連携を強化するとともに、資機材整備と防災訓練に補助金を交付し、自主防災組織の充実・強化を図る。	19	負担金補助及び交付金	6,445
				18	備品購入費	135
				12	役務費	2
					計	6,582
2	ソフト	災害対策事業	飲料水、食料、日用品、資機材を計画的に購入して備蓄するとともに、指定避難所で使用する資機材を備蓄するため、防災倉庫を整備する。これにより災害発生時の避難者への備えとする。	11	需用費	14,488
				18	備品購入費	11,972
				13	委託料	180
					計	26,640

重点施策と 推進政策	(5)	コード	010104100	
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当	

予算書ページ	90
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	01	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,502	0	25	0	133	2,344
前年度	2,630	0	0	0	133	2,497
増減額	△ 128	0	25	0	0	△ 153

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	厚生住宅使用料	132							
13	厚生住宅使用料滞納繰越分	1								
15	人権教育推進市町村事業補助金	25								

【目的・効果】

【目的】

- ・人権意識の高揚のため、学校・地域・職場などのあらゆる場や機会を通じて周知・啓発活動を推進し、いかなる差別も許さない社会の実現を目指す。
- ・性別や年齢、国籍に関わらず、誰もが地域の一員としてその役割を果たしていくことができる多文化共生の地域づくりを進める。

【効果】

- ・人権に対する啓発・広報活動を進めることで人権に対する市民の意識の高揚を図り、正しい理解を促進することができる。
- ・性別や年齢、国籍に関わらず、互いを良き隣人として認め合い、共に助け合う意識の醸成を進めることができる。
- ・人権擁護団体の育成を図ることにより、支援・連携しながら啓発や相談活動を促進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域イベント等、市民が多く参加する場や人権のつどいにおいて、関連団体と協働して人権啓発活動を行う。
- ・成人式において新成人に対し啓発を行い、人権意識の高揚を図る。
- ・法務局、人権擁護委員による「人権特設相談所」の開設を支援し、人権に関する市民相談の機会を設ける。
- ・市民協働事業として外国籍住民のキーパーソン発掘や、あづみの国際DAYの開催等を行い、多文化共生を進めていく。
- ・同和対策推進団体と共に同和対策事業を推進する。
- ・法務局、保護司会と共に「社会を明るくする運動」に参加・支援する。
- ・社会教育担当と連携し「企業人権啓発事業」を推進する。
- ・警察や支援団体が実施する「犯罪被害者支援事業」に参加・協力する。

【詳細事業内訳】

人権啓発費 2,502千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	53	人権擁護審議会委員報酬	19	負担金補助及び交付金	1,430	人権擁護委員・犯罪被害者支援負担金、同和対策推進団体・保護司会補助金
08	報償費	73	人権のつどい託児サービス、中学生人権作文コンテスト入選者受賞記念品				
09	旅費	29	人権施策関連集会参加職員旅費				
11	需用費	511	人権のつどい等の啓発用品、人権特設相談所贈り、広報用チラシ・ポスター印刷				
12	役務費	379	人権のつどい講師紹介手数料、託児サービス保険料、手話通訳料				
13	委託料	25	視察研修バス運転委託				
14	使用料及び賃借料	2	駐車場使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	人権のつどい	中学生人権作文コンテスト優秀作品の発表や、講演会を通じ、人権を尊重し認め合う意識の高揚を図り、差別や偏見をなくすとともに、一人ひとりが平等な立場で、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を図る。	12	役務費	321
				11	需用費	125
				08	報償費	27
					計	473
2					計	0

予算書ページ	136
--------	-----

重点施策と推進政策	(5)	コード	010104100
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	01	社会福祉費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	04	男女共同施策費		基本施策	男女共同参画の推進
	事業	0103220	男女共同推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,555	0	0	0	0	2,555
前年度	958	0	0	0	0	958
増減額	1,597	0	0	0	0	1,597

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・男女が互いにその人権を尊重し責任を分かち合い、性別によって制約されることがなく、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指す。
 ・第2次安曇野市男女共同参画計画の検証を行い、第3次計画(計画期間:平成30年度~34年度)を策定する。
【効果】
 ・国・県・市の施策を事業者や推進関係団体と連携・協働することで、市民の男女共同参画の意識を高めることができる。
 ・女性の社会活動を推進するため、自らの意識改革に向けた啓発を行うとともに、学習機会を提供する。
 ・第3次計画により、これまでの課題とそれに対応する施策を明確にすることで、男女共同参画社会の実現を図っていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・第2次男女共同参画計画の実施状況審議、第3次男女共同参画計画の策定のため、男女共同参画推進審議会を開催する。
 ・男女共同参画推進関係者による「男女共同参画フォーラム」を開催する。
 ・自治会や地域公民館等の地域活動の中において、男女共同参画コミュニケーターによる啓発活動を行う。
 ・男女共同参画推進団体・男女共同参画コミュニケーターと連携して「男女共同参画講座」を開催し、推進団体会員や市民に学習の機会を提供する。
 ・企業人権啓発事業とタイアップし、事業者に男女共同参画の推進を啓発する。
 ・各種研修会や国・県主催の事業に参加し、男女共同参画推進のリーダー的人材の育成を図る。

【詳細事業内訳】
 男女共同推進費 2,555千円

【一般財源増加理由】 第3次男女共同参画計画策定に伴う報酬、印刷費等の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	378	男女共同参画推進審議会委員報酬				
08	報償費	78	フォーラム託児サービス、男女共同参画計画助言者謝礼				
09	旅費	122	男女共同参画推進団体視察研修、大会参加職員旅費				
11	需用費	1,320	事務用品、男女共同参画計画印刷費				
12	役務費	17	フォーラム託児サービス、コミュニケーター保険料				
13	委託料	86	大会・研修会・視察研修 バス運転委託料				
19	負担金補助及び交付金	554	研修会負担金、男女共同参画推進団体補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	男女共同参画フォーラム	男女が共にそれぞれの役割を担いながら、自らの意志で決定し、生涯に亘って参画していける社会を目指し、男女共同参画推進会議、コミュニケーターと共催により、フォーラムを開催する。	08	報償費	18
				12	役務費	9
				11	需用費	5
					計	32
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)
---------------	-----

コード	010104100
課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算書ページ	136
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	社会福祉費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	05	人権同和推進費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	44	0	0	0	0	44
前年度	46	0	10	0	0	36
増減額	△ 2	0	△ 10	0	0	8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・住宅新築資金等貸付事業の債権管理を適正に行う。
【効果】
 ・債権回収を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入通知書、催告書等を発送する。
 ・個別ファイルにより、返済経過、折衝記録の管理を行う。

【詳細事業内訳】
 住宅新築資金貸付事業 44千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
09	旅費	23	研修会職員旅費								
11	需用費	3	参考図書								
12	役務費	5	登記手数料								
19	負担金補助及び交付金	13	研修会参加負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

政策部

予算書ページ	78
--------	----

重点施策と推進政策	(5)	コード	010201100
		課・係等	政策経営課 企画担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	06	企画費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102320	企画総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,137	0	16	0	0	30,121
前年度	23,879	0	20	0	0	23,859
増減額	6,258	0	△4	0	0	6,262

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	土地利用規制対策交付金		16						

【目的・効果】
【目的】
 1 移住定住⇒移住・定住促進施策の充実を図る。
 2 総合計画⇒平成30年度を始期とする「第2次安曇野市総合計画」を策定する。
 3 行政評価⇒PDCAサイクルを確立する。
【効果】
 1 移住定住⇒移住・定住促進施策の充実を図ることで、人口減少の抑制が期待できる。
 2 総合計画⇒中長期的に計画的かつ安定的に効率性の高い行政運営が行える。
 3 行政評価⇒行政評価で見えた課題を改善することで、市民サービスの向上、事務事業のスリム化及び効率化を図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 1【移住定住】
 首都圏等におけるセミナーの開催(市主催3回・県開催1回・松本、塩尻三市合同1回)、現地ツアーの開催、おためし住宅の貸出、空き家バンクによる物件情報の提供等について、安曇野暮らし支援協議会が主体となって行う。なお、地域おこし協力隊員が主な事務を担う。
 2【総合計画】
 平成28年度に第1次総合計画の検証作業を実施し、その結果を受けて29年度において庁内組織(幹事会、本部会議)及び外部組織(総合計画審議会)による検討を経て総合計画を策定する。この策定支援業務を28、29年度の2か年で民間企業に委託しているが、委託料支払いが29年度のみであることから前年額を上回る。
 3【行政評価】
 担当課による事務事業評価後、ヒアリング等を実施し、課題の確認、課題解決のための具体的な手順、スケジュールを確認し、次年度の予算、実施計画へ反映させる。

【詳細事業内訳】
 広域行政推進事業 15,969千円 松本山雅ホームタウン事業 197千円 総合計画等策定事業8,184千円 地方創生事業 384千円 移住定住促進事業 4,954千円 行政評価事業 242千円 企画総務費 207千円

【一般財源増加理由】 総合計画等を策定するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	392	総合計画審議会委員	14	使用料及び賃借料	207	移住セミナー駐車場等
07	賃金	2,952	地域おこし協力隊員	19	負担金補助及び交付金	16,270	・松本広域連合負担金 ・中信4市市長懇談会負担金 ・移住セミナー等負担金
08	報償費	1,092	・行政評価外部評価委員 ・松本山雅ホームタウンデー記念品等 ・移住セミナー協力員等 ・まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議				
09	旅費	639	・移住セミナー関係 ・地方創生交付金関係				
11	需用費	1,895	・総合計画印刷製本 ・移住セミナー関係 ・おためし住宅関係				
12	役務費	20	・移住体験ツアー保険料				
13	委託料	6,670	・総合計画策定支援業務 ・移住セミナー外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	第2次総合計画等策定事業	将来にわたり中長期的に計画的かつ安定的に効率性の高い行政運営を行うために、平成30年度を始期とする「第2次安曇野市総合計画」を策定する。	13	委託料	6,399	
				11	需用費	1,393	
				01	報酬	392	
					計	8,184	
2	ソフト	行政評価及び実施計画	行政評価を予算及び実施計画へ反映できる仕組みを実践する。 行政評価で見えた課題に対応すれば、確実に市民サービスの向上、事務事業のスリム化及び効率化につながる。	08	報償費	216	
				09	旅費	19	
				11	需用費	7	
					計	242	

重点施策と推進政策	(5)
-----------	-----

コード	010201100
課・係等	政策経営課 企画担当

予算書ページ	80
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	06	企画費		基本施策	公共交通の整備
	事業	0102330	公共交通事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	93,450	0	1,809	0	20,000	71,641
前年度	79,177	0	0	0	0	79,177
増減額	14,273	0	1,809	0	20,000	△ 7,536

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域交通ベストミックス構築事業	1,809							
17	ふるさと寄附金	20,000								

- 【目的・効果】**
【目的】
 1 市民の移動手段の確保・維持
【効果】
 1 市民生活の利便性や質的向上が図れる。
 2 地域間交流の活性化を促し、市域全体の活性化につながる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 1 アンケート調査等による市民等の移動実態及びニーズ把握と分析を行い、安曇野市における公共交通のあるべき姿や公共交通政策の目標値などを定めた地域公共交通網形成計画を策定する。
 2 新たなデマンド交通運行管理システム(クラウド化)を導入する。(H29年8月～稼働)

【詳細事業内訳】
 公共交通連携事業 332千円 公共交通事業 89,499千円 地域公共交通網形成計画事業 3,619千円

【一般財源増加理由】 デマンド交通運行管理システムの導入及び地域公共交通網形成計画の策定に伴い一般財源が増加する。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	3,619	地域公共交通網形成計画策定業務				
14	使用料及び賃借料	5,528	・田沢駅構内使用料 ・デマンド交通運行管理システム				
19	負担金補助及び交付金	84,303	・安曇野市地域公共交通協議会 ・運行車両購入費補助 ・中央東線高速化促進広域期成同盟会外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】									
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額			
1	ソフト	【債務負担行為】地域公共交通網形成計画策定業務	地域公共交通網形成計画を策定することで安曇野市にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにすることができる。 H28年度1,941千円、H29年度3,619千円 =策定委託料 計5,560千円	13	委託料	3,619			
					計	3,619			
2	ソフト	【債務負担行為】デマンド交通運行管理システム導入	現行のシステムがH29年8月上旬で保守期間が終了するため、新たなシステムを5年間のリース契約により導入する。クラウド化することで、今以上にサポート強化が図れる。 H29年度5,516千円×5年間=27,580千円	14	使用料	5,516			
					計	5,516			

重点施策と 推進政策	(2)	コード	010201200			予算書ページ	92
		課・係等	政策経営課 都市交流係				
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	01	総務管理費		主要施策	文化を学び育むまち	
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進	
	事業	0102430	国内友好交流事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,935	0	0	0	415	6,520
前年度	5,920	0	0	0	487	5,433
増減額	1,015	0	0	0	△ 72	1,087

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	交流事業参加負担金		415						

【目的・効果】
【目的】
 友好提携都市との連携・交流を深め、市民や地域などが主体となる多様な交流の展開を図り、文化交流と人材育成を推進する。
【効果】
 友好提携を結んでいる国内都市との交流事業をとおして、
 ①安曇野市の特産品ならびに安曇野市を発信することにより、各都市住民への周知を図り、市内観光事業へつなげることができる。
 ②青少年同士の交流をとおして、息の長い人的交流が期待できるとともに、様々な経験をとおしての人材育成に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 友好提携を結んでいる各都市へのイベントへ28年度同様参加する。さらに、
 ①武蔵野市…隔年で実施している「安曇野市への武蔵野市民ツアー」の開催年度に当たるため、武蔵野市との連絡調整の上、受け入れを実施する。
 ②江戸川区…江戸川区花火大会観覧事業参加者を募集の上実施する。また、江戸川区穂高荘の担当者調整の上、同施設利用者と安曇野市民の交流事業を企画・実施する。
 ③福岡市東区…例年実施している青少年交流事業で東区を訪問する年度となるため、参加者を募集の上実施する。また、博多どんたく港まつりへの市民参加を募り市民の交流事業として参加を実施する。
 ④三郷市・三郷町…三郷市で開催される、三郷・安曇野(みさと・さんごう・あづみの)友好都市交流推進協議会に参加する。また、同協議会の「住民ふれあい事業」について、実施方法を検討の上施行する。
 ⑤真鶴町…例年実施している青少年交流事業で真鶴町を訪問する年度となるため、参加者を募集の上実施する。
 ⑥東金市…東金市の「あづみの探検隊」の受け入れと、東金市への青少年交流事業を実施する。

【詳細事業内訳】
 国内友好交流事業 6,935千円

【一般財源増加理由】 上記交流事業において、友好都市への訪問が重なる年度となるため、実費弁償、委託料、使用料等が前年度を上回っている。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	113	青少年交流事業における看護師賃金	19	負担金補助及び交付金	1,195	友好都市協議会負担金430千円、江戸川区民まつり負担金70千円、江戸川区花火大会参加者負担金175千円、民間交流補助金520千円
8	報償費	1,244	江戸川区民まつりステージ参加者謝礼300千円、友好都市への記念品・土産代944千円				
9	旅費	1,915	イベント参加普通旅費1,002千円、費用弁償270千円、交流事業参加実費弁償643千円				
11	需用費	762	交流事業に係る消耗品費98千円、青少年交流事業、新そばと食の感謝祭受け入れに伴う友好都市参加者食糧費664千円。				
12	役務費	179	イベント出展時使用法被クリーニング代20千円、イベント出展時参加者傷害保険159千円。				
13	委託料	1,198	友好都市交流時バス運転委託料334千円、福岡市東区市民交流委託料864千円。				
14	使用料	329	友好都市イベント参加時の駐車料金59千円、青少年交流時施設使用料260千円、江戸川区民まつりテント使用料10千円。				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	福岡市東区への住民交流事業	福岡市の博多どんたく港まつりに合わせて、住民交流事業を実施し、東区演舞台、どんたくパレードに参加する中で、友好交流推進協定締結都市である福岡市東区との交流を図る。	13	委託料	864
					計	864
2	ソフト	東金市との青少年交流事業	昨年度11月に実施した同事業を、青少年が参加し易し夏休期間中に実施する。	7	賃金	22
				8	報償費	10
				9	旅費	17
					その他	232
					計	281

重点施策と 推進政策	(2)	コード	010201200			予算書ページ	94
		課・係等	政策経営課 都市交流係				
予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまち	
	項	01	総務管理費		主要施策	文化を学び育むまち	
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進	
	事業	0102440	国際友好交流事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,971	0	0	0	948	2,023
前年度	6,622	0	0	0	992	5,630
増減額	△ 3,651	0	0	0	△ 44	△ 3,607

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	青少年交流事業支援基金 利子	16							
16	国際交流基金利子	48								
18	国際交流基金繰入金	884								

【目的・効果】
【目的】
 広い視野と国際感覚を身に付けた人材を育成する。
【効果】
 国際姉妹都市であるオーストリア共和国クラムザッハとの交流事業に加え、2020東京オリンピックホストタウン事業をとおして
 ①安曇野市及び日本文化を広く発信できる。
 ②海外の文化と交流した市民の活動により、広く市民に姉妹都市の文化を伝えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 2020東京オリンピックに向けて、ホストタウン事業を進める。
 相手国であるオーストリア共和国カヌー連盟役員が訪日する計画があるため、訪日に合わせて市民との交流イベント等を企画し、相互理解と親交を深める。また、2020年東京オリンピックに向けて、市民等によるホストタウン支援組織づくりへの機運の醸成に努める。
 市内で活動している国際交流団体の上部団体への負担金補助や交流団体の事業に対する補助金交付をとおして、民間の国際交流事業の促進を図り、もって国際化を担う市民の育成に努める。

【詳細事業内訳】
 国際友好交流事業 2,971千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	180	オーストリアカヌー連盟訪日受け入れ土産代130千円。 オーストリアカヌー連盟受け入れ時通訳謝礼50千円。	25	積立金	17	青少年交流事業支援基金利子17千円。
9	旅費	123	オーストリアカヌー連盟送迎時職員旅費92千円、通訳旅費31千円。				
11	需要費	461	オーストリアカヌー連盟受け入れ時消耗品54千円、食糧費407千円。				
12	役務費	3	オーストリアカヌー連盟受け入れ時、通訳保険料3千円。				
13	委託料	135	オーストリアカヌー連盟受け入れ時送迎車両運転委託料135千円。				
14	使用料及び賃借料	1,158	オーストリアカヌー連盟受け入れ時宿泊料1,128千円、駐車場代30千円。				
19	負担金補助および交付金	894	県日中賛助金10千円、クラムザッハ友好会135千円、日中友好協会257千円、安曇野市国際交流協会492千円。				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	2020東京オリンピックホストタウン事業	2020東京オリンピックに向けて、オーストリアカヌー連盟役員の受け入れを行う。この受け入れ事業をとおして、オリンピックへの市民意識を高め、国際交流へ多くの市民が係わることができる。	8	報償費	180
					9	旅費	123
					11	需要費	461
						その他	1,296
						計	2,060
2	ソフト		市内国際交流団体への補助事業	市内で活動している国際交流団体への支援として、実施事業に対して補助金を交付することにより、各団体の主体的な活動を促し、国際交流の推進を図ることができる。	19	補助金	894
						計	894

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010202100		予算書ページ	60
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当			
予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102060	秘書・渉外			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,219	0	0	0	300	5,919
前年度	7,445	0	0	0	300	7,145
増減額	△ 1,226	0	0	0	0	△ 1,226

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	新年祝賀会会費	300							

【目的・効果】
【目的】
 ・市長及び副市長の交際、並びに渉外に関する事業を適正に執行し、開かれた市政を進める。
【効果】
 ・交際費を中心に、透明性ある行政の推進が図れる。
 ・市功労表彰式及び新年祝賀会の開催により、市の一体感の醸成が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市長日程・交際費等を市ホームページで公開し、開かれた市政を進める。
 ・市功労表彰式を開催し、功労者に対して感謝と敬意を表す。
 ・新年祝賀会を開催し、年頭のあいさつを交わすとともに、新年の抱負を語り合い、市のより一層の発展を目指す。
 ・各市との連携により、市長会を通じて国・県等に対し政策要望を行う。
 ・副市長・総務担当部長会議を当市において開催し、市長会の一層の発展に資する。

【詳細事業内訳】
 秘書・渉外事務 6,219千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	318	市功労表彰記念品代他				
09	旅費	1,076	市長・副市長・職員旅費				
10	交際費	960	市長・副市長交際費				
11	需用費	853	事務消耗品費、新年祝賀会会食費、名刺印刷代他				
12	役務費	244	表彰状等筆耕料他				
14	使用料及び賃借料	680	新年祝賀会等会場使用料、市長・副市長タクシー料金				
19	負担金補助及び交付金	2,088	全国市長会他負担金、市長会議出席者負担金、副市長・総務担当部長会議開催市負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 長野県市長会 副市長・総務担当部長会議(H29.7.7)	県内19市の各副市長と総務担当部長を当市に迎え、市長会の一層の発展に資するとともに、安曇野市の情報発信を行う。	19	負担金補助及び交付金	300
					計	300
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-ハ	コード	010202100		予算書ページ	72
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	文書広報費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102210	広報費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	55,003	0	0	0	3,130	51,873
前年度	55,516	0	0	0	2,962	52,554
増減額	△ 513	0	0	0	168	△ 681

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	広告料収入	3,130							

【目的・効果】
【目的】
 ・広報紙やホームページ、コミュニティFMなどの広報媒体を活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。
【効果】
 ・市の事業に関わるさまざまな情報を市民に知ってもらうことができる。
 ・市政への関心、参画意識が高まる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市発行の全市民向け広報紙を作成配布する。
 発行 部数 37, 300部(お知らせ版…月の第1水曜日、通常版…毎月第3水曜日 総数年21回発行)
 ・市ホームページで市政情報を広く発信する。
 ※ 広報紙は新聞販売店を通じて、全世帯に迅速に届ける。
 ※ 広報紙とホームページに有料広告を掲載し、自主財源を確保する。
 ※ 市ホームページのお問い合わせフォーム等から市民の意見を集め、広聴の充実にも努める。
 ※ 広報広聴活動にかかわる市民アンケート調査を実施する。
 ・コミュニティFMを活用し広く市政情報を発信する。(高齢者などへの情報提供)

【詳細事業内訳】
 広報広聴総務費 2,651千円 広報ラジオ番組放送事業 9,024千円 広報発行事業 36,557千円 インターネット広報事業 6,771千円

【一般財源増加理由】 広報広聴活動に関わる市民アンケート調査を実施するため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	112	日本広報協会主催の各種研修会参加旅費				
11	需用費	15,954	広報あづみの印刷費ほか				
12	役務費	83	市長と語る会手話通訳料				
13	委託料	34,446	広報紙配布、ホームページシステム保守、FM放送ほか				
14	使用料及び賃借料	3,909	ホームページシステムリース料				
18	備品購入費	404	ホームページ編集ソフト、デジタルカメラ望遠レンズほか				
19	負担金補助及び交付金	95	日本広報協会会費、研修会参加負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	広報あづみの発行・配布	市民ニーズを把握する中で、より読みやすく、分かりやすい市政情報の提供に努める。また、広報委員等を組織し、一層積極的に情報発信する。	11	需用費	15,853
				13	委託料	20,704
					計	36,557
2	ソフト	インターネットやコミュニティFMによる市政情報の発信	ホームページやツイッター、コミュニティFMを活用して一層積極的に情報発信する。	13	委託料	11,886
				14	借り上げ料	3,909
					計	15,795

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010203100		予算書ページ	86
		課・係等	情報統計課 情報政策係			

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	07	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102370	電算管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	294,702	1,313	0	0	858	292,531
前年度	345,530	5,521	0	0	662	339,347
増減額	△ 50,828	△ 4,208	0	0	196	△ 46,816

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	社会保障・税番号制度システム整備費	1,313							
20	財務会計処理実費徴収	858								

【目的・効果】
【事業内容】
 行政情報システムの適正な管理・運用を行い、市民に対する行政サービスの継続性を確保する。
【効果】
 情報システムのセキュリティを確保することにより、市民から預かっている個人情報データを不正漏えいから守る。
 行政情報システムを適正に管理・運用することにより各種証明書発行、窓口相談支援等市民サービスを向上させ、継続性を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 情報システムや庁内パソコン・プリンタの保守及びトナーの在庫を一括管理し、老朽化した機器の入れ替えを行う。
 情報システムの動作状況の監視、職員のシステム操作支援を行う。
 情報システムの障害発生時、障害現象・範囲等の切り分け、保守委託会社との連絡・調整、庁内への周知等を行う。
 情報システムのライセンス、バージョン、システム更新情報を適切に管理しセキュリティ対策を行う。
 平成29年度の社会保障・税番号制度による団体間連携開始に向けて環境構築等を行う。

【詳細事業内訳】
 電算システム管理運営事業 294,702千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	156	情報システム研修や先進地視察に係る旅費		19	負担金補助及び交付金	5,021	地方自治情報センター会費、中間サーバー、セキュリティクラウド負担金		
11	需用費	11,015	プリンタのトナー代、納付書等帳票用紙代、パソコン・プリンタ等のほか修繕費							
12	役務費	22,674	支所、出先、インターネットへの接続に係るネットワーク通信料							
13	委託料	48,382	各種情報システム保守料							
14	使用料及び賃借料	207,254	パソコン、プリンタ、各種情報システム機器リース料、ケーブルテレビ・各種情報システム使用料							
15	工事請負費	100	電柱移設に伴う通信ケーブル移設、ネットワーク敷設等工事費							
18	備品購入費	100	リース満了機器の買い取り等							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010203100		予算書ページ	86
		課・係等	情報統計課 情報政策係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	07	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,192	0	0	0	0	4,192
前年度	3,461	0	0	0	0	3,461
増減額	731	0	0	0	0	731

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【事業内容】
 情報通信技術を活用し、市民生活の利便性向上および行政事務の効率化を図る。
【効果】
 電子申請システム、公衆無線LANの整備などにより、市民の利便性向上、安心・安全な暮らしに寄与する。
 LGWAN(総合行政ネットワーク)安定稼働のため維持管理を行うことで、各省庁のほか他の行政機関等との安全な通信を確保し、迅速・正確な行政事務を行う事ができる。
 情報化計画の進捗を管理しつつ、社会情勢の変化に対応した見直し等を行いながら、行政事務の効率化を推進することで、安曇野市民がより便利に、より充実した生活ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市民サービスとして、公衆無線LANの維持、設置を行う。
 LGWAN(総合行政ネットワーク)機器の管理・運用を行う。
 ながの電子申請の利用促進、庁内各部署からの手続き追加要望に伴う設定情報の追加・修正を行う。
 その他、行政事務の効率化のための各種システムを導入する。
 ・FixMyStreet Japan
 市民と行政が地域の課題を共有して解決していくための仕組み。
 ・UDトーク(コミュニケーション支援システム)
 音声を文字に置き換える仕組み。
 議事録作成等の支援のほか、聴覚障害者への窓口対応(稼働中)や、同時翻訳機能を持つため外国人への対応も可能。

【詳細事業内訳】
 ながの電子申請・届出システム有効利用推進事業 734千円 地域・行政情報化推進事業 3,750千円

【一般財源増加理由】		ライブカメラ通信費を電算管理費より移管したことによるもの、セキュリティークラウド利用に伴うIBN増速によるもの、市民サービス、行政効率化のためにシステム導入							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
12	役務費	813	公衆無線LAN、ライブカメラ通信費						
13	委託料	642	LGWANシステム関係ハード、ソフト保守						
14	使用料及び賃借料	996	LGWAN機器リース、システム(市民との課題共有、コミュニケーション支援)使用料						
19	負担金補助及び交付金	1,741	情報ブロードウェイながの、自治振興組合負担金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010203200
課・係等	情報統計課 統計係

予算書ページ	108
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	05	統計調査費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	統計調査総務費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	65	0	21	0	0	44
前年度	65	0	19	0	0	46
増減額	0	0	2	0	0	△2

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・各種施策に役立てることを目的として、安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載等を行います。
 ・国が行う統計調査の実施にあたり県からの委託により、労働力調査、毎月勤労統計調査等の調査員の推薦を行い、調査を円滑に実施するために登録調査員の確保を行います。
【効果】
 ・市の人口・経済など市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表し、これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されます。
 また、調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進します。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載を行います。
 ・統計登録調査員の確保、調査員・指導員台帳の作成整備を行います。

【詳細事業内訳】
 統計調査総務費 65千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	21	統計調査関係資料の作成等事務用品								
12	役務費	24	統計調査員諸連絡郵便料								
13	委託料	18	県統計調査員表彰式参加のためのマイクロバス運行委託料								
14	使用料及び賃借料	2	コピー使用料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	05	統計調査費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進

事業	0102580	学校基本調査費
----	---------	---------

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20	0	18	0	0	2
前年度	18	0	17	0	0	1
増減額	2	0	1	0	0	1

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	学校基本調査委託金	18							

【目的・効果】

【目的】学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に行われます。

【効果】学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
本調査の実施にあたって、調査関係資料の配布、調査票内容の点検等を行います。

【調査の概要】

- ・所管省庁 文部科学省
- ・調査周期 毎年
- ・調査対象 市内の小学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(1園)、認定こども園(1園)と安曇野市教育委員会
- ・調査方法 教育委員会を通じて協力依頼及び調査票配布(調査はすべてインターネット調査による。)
- ・調査基準日 平成29年5月1日現在

【詳細事業内訳】

学校基本調査費 20千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	20	統計調査関係の消耗品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	108
--------	-----

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	05	統計調査費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102590	工業統計調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	614	0	604	0	0	10
前年度	46	0	41	0	0	5
増減額	568	0	563	0	0	5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	工業統計調査委託金	604							

【目的・効果】

【目的】製造業を営む経営の態様、製品出荷額等について調査を実施し、工業の実態を明らかにすることを目的に行われます。
 【効果】調査結果は、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となります。また、国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータが提供され活用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【詳細事業内訳】
 工業統計調査費 614千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	539	統計調査 指導員1人、調査員21人 報酬				
07	賃金	16	調査票等整理				
09	旅費	26	統計調査 指導員1人、調査員21人 交通費				
11	需用費	17	調査事務用品				
12	役務費	14	指導員、調査員 通信費				
14	使用料及び賃借料	2	コピー使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	05	統計調査費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102730	商業統計調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8	0	6	0	0	2
前年度	21	0	19	0	0	2
増減額	△ 13	0	△ 13	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	商業統計調査委託金	6							

【目的・効果】

【目的・効果】平成30年6月1日基準日として行われる、商業統計調査に係る各種調査準備を行います。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

本調査の実施にあたって調査区の確認、修正等を行います。

【調査の概要】

- ・所管省庁 経済産業省
- ・対象区域 市内92調査区
- ・調査基準日 平成30年6月1日

【詳細事業内訳】

商業統計調査費 8千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	8	調査用品事務用品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010203200
課・係等	情報統計課 統計係

予算書ページ	110
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	05	統計調査費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102740	就業構造基本調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,602	0	1,591	0	0	11
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	1,602	0	1,591	0	0	11

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	就業構造基本調査委託金	1,591							

【目的・効果】
【目的】国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に行われます。
【効果】就業構造基本調査は、就業・不就業の実態を種々の観点からとらえ、我が国の就業構造を全国だけでなく、地域別にも詳細に明らかにし、国や都道府県における雇用政策、経済政策等の各種行政施策立案の基礎資料を得ることや学術研究のために利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 本調査の実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等・インターネット回答関係書類の配布、調査票等の審査を行い、県へ調査票等を提出します。
【調査の概要】 指導員3人 調査員28人予定
 ・所管省庁 総務省
 ・調査周期 5年周期
 ・調査対象 総務大臣の定める方法により市町村長が選定した抽出単位に居住する世帯の15歳以上の世帯員
 ・調査方法 調査員による調査客体への調査票とオンライン調査関係書類の配布、回収を行う
 ・調査基準日 平成29年10月1日現在

【詳細事業内訳】
 就業構造基本調査費 1,602千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,186	指導員(3人)調査員(28人)報酬		14	使用料及び賃借料	3	コピー使用料		
03	職員手当等	44	時間外勤務手当							
07	賃金	70	調査票等点検							
08	報償費	135	調査世帯御礼記念品代							
09	旅費	91	指導員・調査員交通費							
11	需用費	50	調査用品消耗品費							
12	役務費	23	指導員、調査員、調査世帯書連絡郵便料							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	05	統計調査費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進

事業	0102750	住宅・土地統計調査費
----	---------	------------

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
682	0	682	0	671	0	0
0	0	0	0	0	0	0
682	0	682	0	671	0	11

特定財源の内訳	款	金額	合計金額
	15	671	
	住宅・土地統計調査委託金		

【目的・効果】

【目的】住宅・土地統計調査は、我が国における住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びにこれらに居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の資料を得ることを目的としています。
 【効果】国や地方公共団体における行政施策では、住生活基本法に基づく「住生活基本計画」の策定を始めとする住宅政策、住宅金融政策などの住生活関係諸施策の策定やその達成度の把握などのための情報として活用されます。
 また、住宅・土地に関する分析、学術研究などの分野においても、各府省が作成する白書や都市・住宅・防災問題等の研究などにも活用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

平成30年10月1日を調査期日とする、総務省所管の5年周期調査「住宅・土地統計調査」の実施に先立ち、調査区域を明確にし、円滑な調査実施と結果精度の向上を図るため調査単位区の設定を平成30年2月1日現在で行います。単位区設定にあたり、指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査単位区設定図等の作成・審査を行い、県へ関係書類を提出します。

【調査の概要】

- ・指導員数 指導員20人予定
- ・所管省庁 総務省
- ・調査周期 5年周期
- ・調査対象 総務大臣の定める方法により市町村長が選定した抽出単位調査区世帯

【詳細事業内訳】

住宅・土地統計調査費 682千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	587	指導員(20人) 報酬
07	賃金	14	調査単位区設定図等の審査
09	旅費	55	指導員交通費
11	需用費	21	調査事務用品
12	役務費	3	指導員、調査世帯、諸連絡郵便料
14	使用料及び賃借料	2	コピー使用料

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

財政部

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010301100
課・係等	財政課 財政担当

予算書ページ	74
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	03	財政管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102230	財政管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,734	0	0	0	0	2,734
前年度	134	0	0	0	0	134
増減額	2,600	0	0	0	0	2,600

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額 0

【目的・効果】

【目的】

- 普通交付税の算定における基礎数値を把握・報告し、算出を行う。
- 特殊財政事情の内容、予算額を報告し、特別交付税の交付を受ける。
- 前年度決算に基づき、地方財政状況調査表を作成する。
- 地方財政状況調査結果により、財政健全化比率を算出する。
- 財政事務に必要な実務能力の向上と、地方公会計(財務書類)の取り組みによる財政分析及び活用を行う。

【効果】適正で健全な計画性のある財政運営につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

「今後の地方公会計の整備推進について(平成26年5月23日総務省大臣通知)」等を受け、統一的な基準により貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書の作成、分析及び活用を行う。

【詳細事業内訳】

財政管理費 2,734千円

【一般財源増加理由】平成28年度決算に基づき、統一手法に基づく財務諸表の作成を開始する。決算データを分析するためのシステム保守及び作成業務委託が必要となった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	35	公会計制度研修、財政業務一般研修				
11	需用費	198	地方財務実務提要、参考図書資料他				
13	委託料	2,501	公会計システム保守、財務諸表作成支援				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 財務諸表の作成	財務諸表(H28年度決算に基づく)を作成し、資産や負債の状況をまとめる。行政コスト計算結果なども分析し、翌年度の予算編成資料に活用する。	13	委託料	2,501
					計	2,501
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	03	財政管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102250	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	133,803	0	0	95,000	33,799	5,004
前年度	245,847	0	0	190,000	45,844	10,003
増減額	△ 112,044	0	0	△ 95,000	△ 12,045	△ 4,999

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	財政調整基金利子	13,292	21	地域振興基金積立金 (旧合併特例事業債)	95,000				
16	減債基金利子	5,354								
16	公共施設整備基金利子	8,833								
16	地域振興基金利子	6,320								

【目的・効果】

【目的】

条例の定めにより、特定の目的のために財産を維持するとともに、資金を積み立てる。

【効果】

市の健全な財政運営に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・財政調整基金条例の定めにより、28年度決算剰余金からH29年度に繰り越す歳出予算の財源に充てるべき金額(継続費の支出財源として通次繰り越した金額を含む。)を控除した額の2分の1を下らない額を財政調整基金に積み立てる。
- ・財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金の3基金の運用で生じた利子を、当該基金へ積立てる。

【詳細事業内訳】

財政4基金積立金 133,803千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
25	積立金	133,803	地域振興基金積立金 財政調整基金利子、減債基金利子、公共施設整備基金利子				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と推進政策	(5)-二		コード	010301100		予算書ページ	350
			課・係等	財政課 財政担当			
予算	款	12	公債費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	01	公債費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	01	元金		基本施策	健全な自治体経営の推進	
	事業	0112010	長期借入金償還元金				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,102,937	0	0	975,600	223,019	3,904,318
前年度	4,552,744	0	0	260,700	376,230	3,915,814
増減額	550,193	0	0	714,900	△ 153,211	△ 11,496

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		款	細節名称	金額	合計金額
	18	減債基金繰入金		216,789								1,198,619
	20	地域総合整備資金貸付金		6,230								
	21	借換債(旧合併特例事業債)		261,600								
	21	借換債(旧合併特例事業債)		714,000								

【目的・効果】

【目的】

地方債元金を償還する。

【効果】

将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

H28年度までの借入に対し元金を償還する。
 (地方債現在高のH28年度末見込額 43,009,013千円)
 (内、H27借入までの分38,684,717千円、H28借入見込額4,324,296千円)

※借換債内訳

H20借入に係る地方債借換分(該当事業) 975,740,000円(→借換額合計 975,600千円 ※各事業10万円未満切捨)
 内訳 合併特例債(給食センター) 482,140,000円
 合併特例債(豊岳荘) 85,500,000円
 合併特例債(有明保育園) 74,940,000円
 合併特例債(三郷児童館) 101,240,000円
 合併特例債(みらい) 231,920,000円

【詳細事業内訳】

長期借入金償還元金 5,102,937千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	5,102,937	地方債の償還元金分				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010301100
課・係等	財政課 財政担当

予算書ページ	350
--------	-----

予算	款	12	公債費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	公債費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	利子		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0112020	長期借入金償還利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	261,554	0	0	0	0	261,554
前年度	315,294	0	0	0	0	315,294
増減額	△ 53,740	0	0	0	0	△ 53,740

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・地方債利子を償還する。
 ・一時借入のための利子を確保する。
【効果】
 将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 H28年度までの借入に対し利子を償還。

【詳細事業内訳】
 長期借入金償還利子 260,054千円 一時借入金利子 1,500千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	261,554	地方債の償還利子・一時借入金利子								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010301100
課・係等	財政課 財政担当

予算書ページ	352
--------	-----

予算	款	13	予備費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	予備費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	予備費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0114010	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000	0	0	0	0	50,000
前年度	50,000	0	0	0	0	50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額 0

【目的・効果】
【目的】
 地方自治法217条により予備費を設ける。
【効果】
 当初予期しなかった予算外の支出が生じた場合及び歳出予算計上額に不足が生じた場合、これに充てることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 予備費として50,000千円を計上

【詳細事業内訳】
 予備費 50,000千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	50,000	予期しない歳出予算計上額の不足財源に充てる							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	96
--------	----

重点施策と推進政策	(5)	コード	10302100
		課・係等	税務課 諸税係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	02	徴税费		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	税務総務費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102460	税務総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	403,028	0	109,000	0	1	294,027
前年度	410,163	0	107,000	0	1	303,162
増減額	△ 7,135	0	2,000	0	0	△ 9,135

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	15	県民税徴収事務委託金	109,000								109,001
	20	その他税務関係雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 税の公平・公正・的確な賦課に努める。
 広報活動の充実等により納税意識の向上を図り、安定した財政基盤を確保する。
【効果】
 安定した財政基盤の確保。
 適正な課税客体の捕捉による不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 公平・公正・的確な賦課と捕捉率の向上に向け
 ①未申告者の解消。
 ②庁内各種内部資料、国、県資料による課税の是認、否認。
 ③訪問指導等を行う。
 納税意識の高揚(関心の増加)を図るため
 ①租税教育の実施。
 ②広報紙・ホームページ・新聞等を活用した税務広報。
 ③口座振替の推進。
 ④特別徴収事業所の推進を図る。

【詳細事業内訳】
 市民税賦課等総務費 403,028千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
2	給料	173,589				12	役務費	2,244	税のPR用広告料及び軽自動車申告書取扱手数料		
3	職員手当等	79,247				13	委託料	17,291	基幹系システム代行プリント、課税原票管理システム保守、税制改正に伴うシステム改修		
4	共済費	51,166				14	使用料及び賃借料	10,304	課税原票管理システム及びeL-TAX使用料		
7	賃金	12,065	通年雇用臨時職員、申告相談対応臨時職員賃金			19	負担金補助及び交付金	1,953	地方税電子化協会負担金		
8	報償費	756	租税教育推進協議会で実施する税に関する作文等募集に係る記念品			23	償還金、利子及び割引料	51,300	市税の還付金及び還付加算金		
9	旅費	106	地方電子化協議会全国説明会等旅費								
11	需用費	3,007	事務用品、図書及び印刷製本								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地方税電子申告支援サービス事業	エルタックスを使用した給報等支払報告書、法人の電子申告及び国税連携による確定申告書のデータ取り込みの推進を図り、納税者の利便性の向上と課税事務の効率化、コスト削減に努める。	14	使用料	3,901
				19	負担金	1,758
					計	5,659
2	ソフト	租税教育の実施	将来を担う中高生が税に関する作文・ポスターを作成すること等を通し、税に対する関心と正しい知識を持てるようにする。	8	報償費	756
				11	需用費	25
					計	781

重点施策と推進政策	(5)
-----------	-----

コード	010302300
課・係等	税務課 家屋担当

予算書ページ	98
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	02	徴税費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	賦課徴収費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102470	資産税費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	77,255	0	0	0	1	77,254
前年度	62,128	0	0	0	1	62,127
増減額	15,127	0	0	0	0	15,127

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	固定資産土地精通者謝金		1						

【目的・効果】
【目的】
 市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって身近な税である固定資産税の公平・公正、適正な課税。
【効果】
 ・財政基盤の安定。
 ・市民への「受益と負担」の関係における、負担についての不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・H30年度の評価替えに向けて市内の均衡を図り更正な評価を行うため、航空写真の撮影を行う。
 ・地方自治法343条第2項に基づき、相続人等の調査を実施し納税義務者を死亡者から相続人等に賦課替えを行うため、改めて課税に係る手続きを行い適正な賦課に努める。

【詳細事業内訳】
 家屋経年異動判読調査 8,316千円、土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業 11,563千円、課税客体調査事業 36,957千円、基幹系システムセンター代行業務 9,049千円、資産税総務費 11,405千円

【一般財源増加理由】 委託業務(評価替えに係る「航空写真撮影」等)の増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	29	・固定資産評価員報酬	14	使用料及び賃借料	932	・帳票電子化機器借上料
07	賃金	7,861	・一般事務補助、相続人調査、家屋特定調査・償却資産申告書封入/発送事務	18	備品購入費	39	・災害時災害住宅調査機材
09	旅費	353	・課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修旅費	19	負担金補助及び交付金	222	・各課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修参加費
11	需用費	1,515	・当初納税通知書へ同封する課税案内の印刷・参考図書・定期購読紙				
12	役務費	49	・電子システム保守等				
13	委託料	17,735	・家屋特定調査業務、「基幹系システム」センター代行業務				
13	委託料	48,520	・航空写真撮影、家屋・画地データ抽出、土地の鑑定評価				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	課税客体調査事業	・航空写真撮影 定期的な(評価替えに合わせ3年に1度)航空写真の撮影を行い、経年変化を捕捉したうえで賦課基準日の正確なデータに基づいた固定資産税(土地・家屋)の課税を行う。	13	委託料	36,957	
					計	36,957	
2	ソフト	家屋経年異動判読調査	・家屋特定調査時撮影(H19~H24)と最新撮影の航空写真の照合により、経年による家屋の新增築・滅失の異動を把握する。	13	委託料	8,316	
					計	8,316	

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010304100・010304200
		課・係等	収納課 管理係・整理担当

予算書ページ	98
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	02	徴税費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	賦課徴収費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102480	収納費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	58,057	0	40,000	0	2,500	15,557
前年度	62,376	0	40,000	0	2,500	19,876
増減額	△ 4,319	0	0	0	0	△ 4,319

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	督促手数料	2,500							
15	県民税徴収事務委託金	40,000								

【目的・効果】
【目的】 市税納期内納付の勧奨及び滞納整理を実施することにより未納額の縮減、財政基盤の安定化を図る。
【効果】 滞納整理業務を執行し、納税義務の公平性の確保と貴重な自主財源としての市税を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】
 ・新規滞納者を増やさないようにコールセンターによる自主納付の勧奨。
 ・財産調査予告書・差押え予告書による催告の実施。
 ・催告に応じない滞納者に対して実態調査や財産調査を行い差押え処分を執行する。
 ・大口案件や困難案件を長野県滞納整理機構に徴収移管する。
 ・市税の当初納付書の発送時にハガキ型の口座振替依頼書、口座振替勧奨チラシを同封し、口座振替登録を推進する。

【詳細事業内訳】
 収納管理事務 25,544千円 滞納整理事務 32,513千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	1,060	滞納整理顧問報酬		14	使用料及び賃借料	839	コンビニ収納システム使用料・官報閲覧システム使用料	
07	賃金	16,540	収納嘱託員3人、非常勤職員(日給者4人)		19	負担金補助及び交付金	7,151	日本経営協会等研修負担金、長野県地方税滞納整理機構負担金、納税貯蓄組合負担金	
08	報償費	540	収納嘱託員自動車借上げ謝礼		27	公課費	9	自動車重量税	
09	旅費	605	日本経営協会、東京税務協会等研修参加旅費 県外臨戸旅費						
11	需用費	3,429	事務用品、督促状・催告書・口座振替依頼書印刷、封筒作成、公用車修繕等						
12	役務費	18,045	電話料・窓口収納他金融機関手数料、コンビニ収納取扱手数料、車検、滞納処分預貯金調査、不動産鑑定手数料						
13	委託料	9,839	コールセンター、滞納管理システム保守、督促状センター代行業務、滞納者居宅実態調査						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	納税コールセンター業務委託	新規滞納者を増やさないようにコールセンターから初期末納者に対して架電を行い自主納付を促す。	13	委託料	5,366
					計	5,366
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010305300
		課・係等	財産管理課 庁舎管理係

予算書ページ	62
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102020	本庁舎管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	172,629	0	0	0	1,922	170,707
前年度	178,092	0	0	0	2,264	175,828
増減額	△ 5,463	0	0	0	△ 342	△ 5,121

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	電報電話料(本庁舎)	1	20	その他雑入(庁舎管理係)	1,584				
20	資源ごみ売却代(本庁舎)	120								
20	自動販売機設置電気料(本庁舎)	216								
20	公衆電話料(本庁舎)	1								

【目的・効果】

【目的】

・本庁舎の維持管理を行う。総合管理によりきめ細やかな運用で、住民サービスと施設長寿命を図る。

【効果】

・総合管理により専門的な施設管理ができることから、施設の長寿命化や維持管理コストの低減が図れる。これにより、庁舎利用者の利便性と安全が確保でき、住民サービスの向上に繋げられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・総合管理の委託内容は、施設常駐管理、設備管理、宿日直警備業務、清掃業務、総合受付案内業務、電話交換業務、植栽管理業務、除雪業務を行う。
- ・本庁舎で使用する複合機、印刷機、コピー用紙等の必要経費の維持管理と光熱水費、通信費の支出事務
- ・市有施設のNHKテレビ受信料、危険物取扱者、防火管理者、危険物安全協会に係わる事務

【詳細事業内訳】

本庁舎管理費 172,629千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,763	庁舎管理事務				
11	需用費	44,313	コピー用紙、印刷機インク、灯油・重油、施設修繕、光熱水費				
12	役務費	9,771	電話料、危険物取扱者受講料				
13	委託料	86,888	総合管理委託、印刷機保守委託				
14	使用料及び賃借料	28,733	印刷機・複合機借上料、コピー機使用料、テレビ受信料、借地料				
15	工事請負費	976	庁舎維持管理工事費				
19	負担金補助及び交付金	185	防火管理者受講料、危険物取扱者講習会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	総合管理業務	庁舎の管理を総合管理で一元的に業務委託する事により、管理業務間の調整の手間が省け、きめ細やかな運用が図れ、市民サービスの向上と庁舎の長寿命化に繋げることができる。	13	委託料	84,023
					計	84,023
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010305300		予算書ページ	62
		課・係等	財産管理課 庁舎管理係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102080	公用車管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,881	0	0	0	1,500	42,381
前年度	43,564	0	0	0	1,500	42,064
増減額	317	0	0	0	0	317

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公有自動車損害共済金	1,500							

【目的・効果】
【目的】
 ・共有車両の維持管理を行う。実施計画に基づき20年経過の車両は修繕費等の費用が嵩むことから順次更新等を行う。
 ・共有車両を一元管理することにより、効率的な利用と運用を図る。
【効果】
 ・共有車両の一元化により効率的な利用と配車により維持管理経費の節減ができる。
 ・老朽車両の維持管理経費の節減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・共有車両(40台及びバス6台)の一元管理及び総務部(危機管理課を除く)、政策部、財政部(収納課、税務課を除く)、議会事務局車両の54台の維持管理費、燃料、車検、法定点検等を一元管理する。
 ・市の所有する全ての公用車(企業会計は除く。)の任意保険の加入手続きを行う。但し、事務手続き、事故処理については一元管理により行う。
 ・有料道路使用料(ETC)の一元管理を行う。但し、企業会計、国保・介護保険特別会計及び貸出車両の経費は除く。

【詳細事業内訳】
 公用車更新事業 11,514千円 公用車管理費 32,367千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	16	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修	27	公課費	1,107	更新車両 継続車検車両の自動車重量税
11	需用費	13,273	タイヤ等消耗品、燃料、物品修繕費				
12	役務費	11,418	車検等手数料、自賠責保険料、公用車損害賠償任意保険料				
14	使用料及び賃借料	8,915	公用車リース料、高速道路使用料				
18	備品購入費	8,214	公用車更新 4台				
19	負担金補助及び交付金	38	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修に伴う負担金				
22	補償補填及び賠償金	900	公用車事故発生時の損害賠償金(保険金を充当)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公用車管理費	公用車適正管理により安全運行と環境負荷の軽減と延命を図る。	11	需用費	13,273
				12	役務費	11,262
				14	使用料及び賃借料	5,649
				27	公課費	1,013
					計	31,197
2	ハード	公用車更新事業	老朽化車両は、安全が確保できないほか、維持管理経費が嵩むことから計画的に更新を行う必要がある。また、環境に配慮したハイブリッドカー等のエコカーを導入する。	14	使用料及び賃借料	3,266
				12	役務費	156
				18	備品購入費	7,998
				27	公課費	94
					計	11,514

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010305300
課・係等	財産管理課 庁舎管理係

予算書ページ	64
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0102083	AED維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,660	0	0	0	0	2,660
前年度	7,462	0	0	0	0	7,462
増減額	△ 4,802	0	0	0	0	△ 4,802

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

- ・市有施設に配置されたAED(自動体外式除細動器)の管理を行う。
- ・耐用年数を迎えた機器、バッテリーの更新。
- ・使用したパッドの補充。

【効果】

- ・公共施設へのAED配備により、緊急時の救命措置が行え多くの人の救護ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・AED本体の更新 6台、収納ボックス移設 4台
- ・バッテリー更新 36台
- ・パッドの更新(予備品含む)40個

【詳細事業内訳】

AED維持管理費 2,660千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	910	パッド、交換用パッド、交換バッテリー				
13	委託料	130	AED収納ボックス移設4ヶ所				
18	備品購入費	1,620	AED更新 6台				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	AED維持管理費	AEDの使用頻度が増えていることから、公共施設にAEDを配備し、緊急時に使用できるよう消耗品等の交換を行い、適切な維持管理をする。	18	備品購入費	1,620
				11	需用費	910
				13	委託料	130
					計	2,660
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010305100
課・係等	財産管理課 管財担当

予算書ページ	78
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	05	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102270	財産管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53,167	0	0	0	1	53,166
前年度	49,862	0	0	0	496	49,366
増減額	3,305	0	0	0	△ 495	3,800

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	総合賠償補償等保険金	1							

【目的・効果】
【目的】
 ・低未利用地及び低未利用施設を処分して維持管理費の低減を図るとともに、自主財源を確保する。
【効果】
 ・遊休資産の処分により、自主財源の確保と維持管理費の低減ができ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込める。
【目的】
 ・市有施設の新築・改修・修繕等を発注するため、各種基準に適合させながら、適正な設計積算および監督管理を行う。
【効果】
 ・一定以上の品質を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市有財産の管理と地方公会計移行による固定資産税台帳の整備を継続して行っていく。
 ・未利用となった教員住宅ほかの市有財産の不動産鑑定等を行い、一般競争入札により処分する。
 ・建物災害共済及び総合賠償保険の事務を行う。
 ・建築コストの透明性・客観性を確保し、予算の効率的な運用を図る。

【詳細事業内訳】
 市有財産管理費 47,251千円 公共建築物のコスト・品質・施工管理 5,916千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	700	設計士等謝礼			19	負担金補助及び交付金	197	公有財産管理の実務と有効活用の研修費負担金 建築構造設計研修会負担金		
09	旅費	184	公有財産管理の実務と有効活用の研修 技術セミナー「基礎から学べる構造設計シリーズ/RC造編」 他								
11	需用費	306	市有財産管理(除草剤・草刈り・事務用品) 設計積算書籍及びテキスト代・事務用品								
12	役務費	16,381	未利用地不動産鑑定・市有物件災害共済、総合賠償補償保険								
13	委託料	9,254	市有地維持管理業務・公共施設等固定資産台帳システム整備業務 設計監理委託、アスベスト調査等								
14	使用料及び賃借料	125	刊行物掲載情報利用料								
15	工事請負費	26,020	市有土地維持管理・旧三郷南部保育園敷地整備工事ほか								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市有財産管理費	低未利用地及び低未利用施設を処分することにより、維持管理費の低減と自主財源の確保が図れ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込まれる。	12	役務費	647
				13	調査測量業務	1,242
					計	1,889
2	ソフト	市有財産管理費	市有財産に係わる総合賠償保険及び市有物件災害共済事務により、事故発生時または、災害時に適正な対応が図れる。	12	保険料	15,734
					計	15,734

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010305100			
		課・係等	財産管理課 管財担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	06	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102340	土地開発基金費			

予算書ページ	82
--------	----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	550	0	0	505	45
前年度	866	0	0	821	45
増減額	△ 316	0	0	△ 316	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	土地開発基金利子	505							

【目的・効果】
【目的】
 ・土地開発基金の財産の管理、運営を行い、最終的に土地開発基金の整理を行う。
【効果】
 ・土地開発基金運営により、市事業の円滑な展開が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・土地開発基金で先行取得した土地(龍門渚都市公園用地:明科中川手4284番 1,324㎡)を市による買い戻し手続きを行う。

【詳細事業内訳】
 土地開発基金費 550千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	44	土地改良区負担金						
28	繰出金	506	基金運用益						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地開発基金費	土地開発基金で先行取得した土地を市による買い戻し手続きを行い、資産の健全運用を図る。	28	繰出金	506
					計	506
2					計	0

市民生活部

重点施策と 推進政策	(5)-口	コード	010401100			
		課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	01	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102095	豊科地域事業			

予算書ページ	64
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,666	0	0	0	1,515	5,151
前年度	8,886	0	0	0	1,530	7,356
増減額	△ 2,220	0	0	0	△ 15	△ 2,205

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさとづくり基金利子	15							
18	ふるさとづくり基金繰入金	1,500								

【目的・効果】
【目的】
 ・地域の自治活動運営及び各団体の支援を行い、地域の活性化、市民と行政との協働の推進を図るため。
【効果】
 ・地域の活性化及び市民との協働の推進が図られる。
 ・市民主体のまちづくりに資す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・豊科地域区長会を通じて、地域の意見や課題を聴取し、地域内における情報の共有とともに課題解決に向けた取組みを図る。
 ・あづみ野祭り実行委員会に補助とともに実行委員として運営を支援する。
 ・アルプス花街道実行委員会に植栽事業の委託とともにその活動を支援する。

【詳細事業内訳】
 豊科地域管理事業 507千円 豊科地域づくり事業 6,159千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	334	豊科地域区長会出席謝礼				
09	旅費	9	区長会県外日帰り視察研修帯同				
11	需用費	696	消耗品、公用車燃料、区長市長との懇談賄い、消防コミ電気料				
12	役務費	16	公用車法定点検料				
13	委託料	1,595	アルプス花街道業務委託、区長会視察研修バス運転業務				
19	負担金補助及び交付金	4,000	あづみ野祭り補助金				
25	積立金	16	ふるさとづくり事業基金利子				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	74
--------	----

重点施策と推進政策	(4)	コード	010401300
		課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	02	文書広報費		基本施策	住んでみたいまち・ずっと住み続けたいまちづくり
	事業	0102220	市民相談事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	891	0	0	0	0	891
前年度	855	0	0	0	0	855
増減額	36	0	0	0	0	36

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・法的な問題を抱える市民の解消、法律問題が発生した際の早期助言等の実施。
 ・相談相手がいなかったり、手続きや対応の仕方が分からない市民の解消、即座に対応出来る体制の構築。
【効果】
 ・問題や疑問の早期解決や解消へつなげ、住みやすい地域づくりの実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・長野県弁護士会松本在住会と委託契約を結び、定期的な弁護士派遣をお願いする。
 ・長野県司法書士会松本支部安曇野区会との調整により、定期的な登記法律相談を開催する。
 ・気軽な相談場所として、心配ごと相談と連携しながら行政相談を開催する。

【詳細事業内訳】
 市民相談事業 891千円

【一般財源増加理由】 弁護士による無料法律相談を月2回定期的に開催することによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	5	各相談賄い				
13	委託料	856	弁護士派遣委託料				
19	負担金補助及び交付金	30	長野行政相談委員協議会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	弁護士による無料法律相談	定期的な弁護士相談を実施することにより、問題や疑問の解消へつながっている。	13	委託料	856
					計	856
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-ホ
---------------	-------

コード	010401100
課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係

予算書ページ	82
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	01	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	06	企画費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,523	0	0	0	3,000	7,523
前年度	14,575	0	1,717	0	3,000	9,858
増減額	△ 4,052	0	△ 1,717	0	0	△ 2,335

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 市民、市民団体をはじめとするあらゆる主体が、目的や課題を共有し、それぞれの特性を活かし、主体的・自発的に役割を担い合い、対等な立場で連携することにより、みんなが主役のまちづくりを推進する。
【効果】
 「協働」を通して、全市の一体感が醸成できる。
 一人ひとりが行動することで、いきいきと心豊かに暮らすことができる地域社会の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、協働によるみんなが主役のまちづくりを推進する。
 ・ 市民活動サポートセンターの機能の充実と事業の充実
 ・ 協働のまちづくりフォーラム、協働コーディネーター養成講座、地域リーダー育成講座、協働のまちづくり出前講座の開設
 ・ 光城山1000人SAKURAプロジェクトの実施
 ・ つながりひろがる地域づくり事業補助金の交付

【詳細事業内訳】
 協働のまちづくり推進事業 10,523千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	2,265	市民活動コーディネーター賃金			15	工事請負費	249	SAKURA PJ土工事		
08	報償費	1,768	研修会・講座等講師謝礼、委員会委員出席謝礼 他			16	原材料費	114	SAKURA PJ植樹用苗木		
09	旅費	16	視察研修職員旅費			19	負担金補助及び交付金	3,000	つながりひろがる地域づくり事業補助金		
11	需用費	583	事務用消耗品、市民活動サポートセンター消耗品、SAKURA PJ消耗品 他								
12	役務費	258	市民活動サポートセンター電話料、傷害保険料、講演会手話通訳								
13	委託料	2,103	SAKURA PJ桜管理・伐採等業務委託料、視察研修バス運転委託料								
14	使用料及び賃借料	167	市民活動サポートセンターコピー機借上料・使用料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	協働のまちづくり推進事業	「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、諸事業を実施する。 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。	19	負担金補助及び交付金	3,000
				07	賃金	2,265
				13	委託料	2,103
					報償費・需用費 他	3,155
					計	10,523
2					計	0

重点施策と推進政策	(5)	コード	010401100
		課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	01	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	06	企画費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102355	区等地域力向上事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	93,995	0	0	0	90,000	3,995
前年度	128,987	0	0	0	124,426	4,561
増減額	△ 34,992	0	0	0	△ 34,426	△ 566

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	その他証明手数料	1							
16	西穂高会館維持運営基金利子	7								
18	地域振興基金繰入金	71,492								
20	コミュニティ助成事業助成金	18,500								

【目的・効果】
 【目的】
 各区等の地域力向上の支援をし、地域課題を自ら解決できる仕組みを構築する。
 【効果】
 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・区等交付金、地域力向上事業交付金、コミュニティ助成事業補助金などの交付
 ・部制度構築支援
 ・「コミュニティ・マニュアル」の印刷と普及
 ・地域課題の共有と解決に向けた取り組み(まちづくり推進会議等)
 ・西穂高会館、有明会館、離山会館の管理運営(指定管理)

【詳細事業内訳】
 区等地域力向上事業 93,088千円 会館管理運営事業 907千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	980	会議出席謝礼						
09	旅費	46	視察研修職員旅費						
11	需用費	1,450	事務消耗品、区活動啓発冊子(コミュニティ・マニュアル)印刷製本費 他						
13	委託料	966	視察研修バス運転業務委託料、離山会館消防設備点検委託料、会館指定管理委託料						
19	負担金補助及び交付金	90,545	コミュニティ助成事業補助金、区等交付金、地域力向上事業交付金 他						
25	積立金	8	西穂高会館維持運営基金利子						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ まちづくり推進会議の設置	多様化・複雑化した地域課題を解決する仕組みとして、「まちづくり推進会議(推進会議・ワーキンググループ)」を設置する。地域課題の解決並びに協働の推進が図れる。	08	報償費	455
					計	455
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ト	コード	010401200			予算書ページ	88
		課・係等	地域づくり課 生活安全係				
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	01	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち	
	目	08	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進	
	事業	0102390	交通安全対策費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,265	0	0	0	0	15,265
前年度	14,772	0	0	0	0	14,772
増減額	493	0	0	0	0	493

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・交通安全の推進、交通安全体制の強化を図るとともに、地域ぐるみの活動を推進し、交通事故のない安全な地域社会の実現を目指す。
 ・総合的な交通安全対策に取り組む組織の充実を図り、子どもから高齢者まで各年代に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するとともに、交通事故防止を図るため、交通安全思想の普及促進に努める。
【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高齢者と子どもの交通安全対策を重点事項として設定し、家庭や地域に浸透するきめ細かな交通安全対策を推進するとともに、地域の安全は地域で守る区マニュアルに基づく区及び部制度の考え方を取り込み、地域における交通安全の実現に向けて、家庭、職場、地域から、市民総ぐるみの交通安全対策の展開を推し進める。
 ・自動車学校で開催する高齢者交通安全教室では、教習指導員による交通安全講習や教習コースを利用した屋外体験を通して安全な通行方法の実践と交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故防止とデマンド交通の利用を促す「運転免許証自主返納支援事業」を推進し、運転に不安を持つ高齢者の支援を拡充する。
 ・保育園、幼稚園では理解力に応じた段階的な交通安全教室を展開。小中学校ではスケアード・ストレイト方式(恐怖を実感することにより危険行為を未然に防ぐ教育手法)を用いた交通安全教育を取り入れることにより、事故再現等による疑似体験を通して実践的な自転車教育指導に継続して取り組む。

【詳細事業内訳】
 交通安全対策推進事業 15,265千円

【一般財源増加理由】 主に、交通安全教室の充実を図るための委託料分(282千円増)による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	686	交通指導員報酬	14	使用料及び賃借料	1,734	高齢者交通安全教室会場使用料、デマンド交通割引回数券の購入
07	賃金	1,736	交通安全協会育成事業関連事務補助員	18	備品購入費	184	交通安全教室の指導用DVDソフト、横断歩道橋に掲出する横断幕の購入
08	報償費	382	交通安全推進協議会委員、高齢者交通安全教室関係役員出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	4,742	安曇野交通安全協会負担金、交通安全普及協会研修負担金、交通安全協会支部補助金
09	旅費	78	交通安全教育指導者研修会旅費	27	公課費	8	公用車自動車重量税
11	需用費	2,476	交通安全用品外				
12	役務費	94	公用車車検点検外				
13	委託料	3,145	スケアード・ストレイト方式による交通安全教室、地域(区)訪問型高齢者交通安全教室等の委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	地域(区)訪問型高齢者交通安全教室 多発する高齢者の交通事故防止策を交通安全ミュージカルや反射神経テストを通してわかりやすく実践、体験する地域(区)訪問型の高齢者交通安全教室を開催し、交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者が参加し易い交通安全教室の充実を図る。	13	委託料	250	5回
					計	250	
2	ソフト		総合的な安全・安心対策のための啓発 高齢者宅家庭訪問では、加齢に伴う交通事故への備えと複雑化する犯罪被害から身を守る総合的な安全・安心対策を紹介した啓発冊子を配布し、高齢者の生活安全教育の充実と交通安全思想の普及・浸透を図る。	11	需要費	500	啓発冊子
					計	500	

重点施策と推進政策	(4)-ト
-----------	-------

コード	010401200
課・係等	地域づくり課 生活安全係

予算書ページ	88
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	09	防犯対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102400	防犯対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	93,219	0	0	0	40,200	53,019
前年度	108,045	1,650	0	0	44,200	62,195
増減額	△ 14,826	△ 1,650	0	0	△ 4,000	△ 9,176

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	公共施設整備基金繰入金	40,000								

【目的・効果】

【目的】

- ・犯罪や夜間の交通事故を未然に防ぐ防犯灯を計画的に整備することで、地域の安全活動を推進し、犯罪のない安全な地域社会の実現を目指す。
- ・市民が安心して暮らすことができる安全な地域社会を実現するため、関係機関との連携のもと、市民参加による防犯運動や広報、啓発活動を通じて、防犯意識の高揚を図る。
- ・地域ぐるみの防犯活動を展開するため、関係機関との連携を強化し、地域防犯活動を支援する。

【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・防犯灯のLED化更新事業については、平成26年度からの計画的な工事着手から4年目を迎え、事業完了地域となる豊科地区(高家・田沢・光)、穂高地区(穂高・柏原・北穂高)の工事実施により、市内約7,000基のLED化更新工事を完了し、環境負荷の低減と経費削減を図り、全市的な防犯効果を高める。また、防犯灯管理運営費として取り組む防犯灯設置工事では、通学路への計画的な設置や安全対策が必要な未整備路線等への新設を進めるとともに、区等から寄せられる設置拡充の要望に対しても安全確保に努めた適正かつ円滑な事業運営を図る。

・地域の安全を守る為、関係機関、団体と連携し、啓発活動、防犯運動を展開するとともに、市民協働によるまちづくり施策を推進し、現在、市としても取り組んでいる区及び部制度の考え方を取り込み、地域の安全は地域で守る防犯思想の浸透と総合的な安全・安心対策を担う効果的かつ効率的な組織体制の拡充を図る。

【詳細事業内訳】

防犯灯管理運営費 32,368千円 防犯対策推進事業 4,464千円 防犯灯LED化更新事業 56,387千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	767	防犯指導員等謝礼				
11	需用費	25,387	防犯灯施設修繕費、防犯灯電気料				
12	役務費	976	防犯灯移設				
13	委託料	1,134	防犯灯LED化工事監理業務委託				
15	工事請負費	61,753	防犯灯LED化更新工事、防犯灯新設、防犯灯移設及び照明柱等共架更新工事				
19	負担金補助及び交付金	3,202	安曇野防犯協会連合会負担金、地域防犯協会支部補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	防犯灯設置事業 LED化更新工事 豊科地区(高家・田沢・光) / 穂高地区(穂高・柏原・北穂高)	・市内全域に設置されている電球や蛍光灯等の防犯灯をLED防犯灯に更新することにより、環境負荷の低減と経費削減を図るとともに、防犯灯としての適正な明るさを確保し、安全で安心なまちづくりの形成を進める。		一式	56,387
					計	56,387
2						

重点施策と 推進政策	(4)
---------------	-----

コード	010401300
課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算書ページ	242
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	04	消費者行政対策費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,740	0	841	0	0	2,899
前年度	3,471	0	550	0	0	2,921
増減額	269	0	291	0	0	△ 22

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地方消費者行政活性化事業	841							

【目的・効果】
【目的】
 ・消費者問題に対する相談体制の充実を図るとともに、「安曇野市消費生活センター」の周知を行い、安全安心な地域社会の実現を目指す。
 ・多発する特殊詐欺等の消費者被害を防止するため、被害の早期発見と具体的な対応に関する学習機会の充実を図るとともに、消費者への啓発活動の促進に努める。
【効果】
 ・問題や消費者トラブルに関する情報を迅速かつ広範囲に共有できる、被害が起こりにくい消費生活社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「安曇野市消費生活センター」の周知を図りながら、消費者問題に対する相談体制の充実に取り組む。
 ・消費者被害を未然に防ぐため、各地区や福祉関係者等への出前講座の積極的な開催や、敬老会等での詐欺被害防止講座の開催、消費生活サポーターの協力を得ながら高齢者宅を中心とした家庭訪問を実施し、消費者教育の推進、広報啓発活動の拡充に取り組む。
 ・弁護士による無料相談会を開催して、法律専門家との連携を図る。

【詳細事業内訳】
 消費者行政対策事業 3,740千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	2,443	消費生活相談員賃金				
08	報償費	248	弁護士による法律相談謝礼・特殊詐欺被害防止寸劇講座謝礼・消費生活サポーター啓発等出席謝礼				
11	需用費	910	消費生活啓発物品・資料等				
12	役務費	14	携帯電話使用料				
18	備品購入費	65	啓発DVD				
19	負担金補助及び交付金	60	安曇野市消費者の会補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	消費生活啓発活動				
			長野県の制度により認定された市内居住の消費生活サポーターの皆さんの協力を得ながら、家庭訪問等を中心とした啓発活動に力を入れ、特殊詐欺被害防止につなげ消費者被害から市民を守ります。	08	報償費	105	
				11	需用費	694	
				18	備品購入費	65	
					計	864	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010402100	予算書ページ	100
		課・係等	市民課 市民担当		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	03	戸籍住民基本台帳費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	204,222	13,601	87	0	44,000	146,534
前年度	218,564	9,475	87	0	44,000	165,002
増減額	△ 14,342	4,126	0	0	0	△ 18,468

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	戸籍住民基本台帳手数料	44,000	15	人口動態調査委託金	87				
14	中長期在留者住居地届出等事務委託金	462								
14	個人番号カード交付事業費補助金	11,214								
14	個人番号カード交付事務費補助金	1,925								

【目的・効果】

◎目的: 行政事務の基礎となる戸籍、住民基本台帳の整備を行う。
 ◎効果: 住民に関する基礎資料を正確かつ統一的に整備することにより、住民の利便性の増進、行政の合理化を図り、窓口での待ち時間を減らすことで、住民の負担を軽減する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

平成29年9月末で自動交付機の稼働を終了させるが、証明書を全国のコンビニエンスストア(主要4社)で交付が受けられるよう、個人番号カードの普及を図り、住民の利便性を図る。
 戸籍総合システム、証明書コンビニ交付システム等のシステム保守を行うことで、恒常的に正常な状態で稼働させ、住民へのサービスの向上を図る。

【詳細事業内訳】

市民総務費 184,169千円 自動交付機管理事業 3,746千円 戸籍総合システム管理業務 10,069千円 証明書コンビニ交付事業 6,238千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
02	給料	93,483			13	委託料	8,010	戸籍総合システム・ブックレス保守業務委託料、証明書コンビニ交付システム保守業務委託料	
03	職員手当等	41,420			14	使用料及び賃借料	11,424	戸籍総合システム・ブックレス機器等借上料、戸籍総合システム・ブックレスソフトウェア使用料	
04	共済費	27,192			19	負担金補助及び交付金	14,361	個人番号カード等関連委任事務交付金	
07	賃金	3,488	戸籍住民基本台帳事務、個人番号カード交付事務						
09	旅費	52	住基法外改正に係る研修会参加旅費						
11	需用費	3,270	戸籍関係図書、本人確認書類裏面印字機消耗品、個人番号カード交付事務消耗品						
12	役務費	1,522	自動交付機引揚手数料、個人番号カード交付通知書郵送料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	証明書コンビニ交付事業	全国のコンビニエンスストア(主要4社)にて、住民票の写し、印鑑証登録明書、戸籍謄抄本等(安曇野市に住民登録している住民で本籍地が安曇野市の市民に限る)が、12月29日から1月3日を除き、6時30分から23時まで、利用することができるため、住民の利便性となる	13	委託料	3,538
				19	負担金補助及び交付金	2,700
					計	6,238
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-口	コード	010403200		予算書ページ	84
		課・係等	環境課 環境保全担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	06	企画費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0102360	水資源対策費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,701	0	0	0	17,701
前年度	39,068	0	0	15,000	24,068
増減額	△ 21,367	0	0	△ 15,000	△ 6,367

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・水資源の保全・強化・活用の好循環化を図る。

【効果】

・地下水収支のバランスを改善し、健全な水循環(水量・水質)を創出し、地下水資源の活用により豊かな安曇野を創成する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・転作田湛水の涵養事業を推進し、涵養面積の拡大を図る。
- ・地下水水位観測調査、地下水水質調査を実施する。
- ・平成28年度に策定された「水環境基本計画(マスタープラン)」「水環境行動計画(アクションプラン)」に従い施策等を計画的に進める。
- ・実効性のある有効な地下水涵養施策や涵養経費の負担方法などについて検討する。

【詳細事業内訳】

水資源対策費 17,701千円 水環境基本計画策定事業 0千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	264	地下水採取審査委員会				
07	賃金	1,736	地下水保全条例に伴う届出事務及び涵養事務の臨時職員賃金				
08	報償費	123	地下水講座講師外				
09	旅費	351	環境省事務打ち合わせ、地下水講座講師外、全国名水サミットin西予(愛媛県)外				
13	委託料	4,007	地下水水位観測調査業務委託、地下水水質調査業務委託				
14	使用料及び賃借料	10	堀金地下水水位観測井借地料				
19	負担金補助及び交付金	11,210	安曇野市水資源対策協議会負担金、涵養負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	地下水涵養事業	水環境基本計画の施策の一つである転作田による地下水涵養事業いわゆる麦後湛水事業を計画的に拡大することで地下水の涵養を推進することができる。	19	負担金補助及び交付金	10,395	
					計	10,395	
2	ソフト	水資源対策協議会	現行の「安曇野市水資源対策協議会」を母体とした協議会を設置し、水資源の涵養、保全、有効利用、資金調達等に関する調査、研究、広報、啓発を行うことで、安曇野市の持続可能な水循環の形成に資することができる。	19	負担金補助及び交付金	800	
					計	800	

重点施策と 推進政策	(4)	コード	010403200			
		課・係等	環境課 環境保全担当			
予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	04	霊園管理費		基本施策	住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費			

予算書ページ	180
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	48,377	0	0	0	48,375	2
前年度	20,568	0	0	0	20,566	2
増減額	27,809	0	0	0	27,809	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	霊園管理料	10,474	16	霊園施設整備基金利子	331				
12	霊園管理料滞納繰越分	3	18	霊園整備基金繰入金	32,611					
13	霊園使用料	4,950								
13	霊園事務手数料	6								

【目的・効果】

【目的】

・市内10ヶ所の市営霊園の管理と計画的な整備を行い、利用者の利便性の向上と周辺環境の保全に努める。

【効果】

・核家族化、少子高齢化等による墓地に対する市民ニーズの変化に対応することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市営霊園(市内10ヶ所、3,786区画)の維持管理を実施する。
- ・穂高墓地公園敷地内に合葬式墳墓「合葬墓」の建設を行う。

【詳細事業内訳】

霊園管理費 17,897千円 合葬墓造成事業 30,480千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,341	市営霊園の除草剤代、小破修理、光熱水費外	25	積立金	4,182	
12	役務費	167	合葬墓建設完了検査料、市営霊園のし尿汲取り料、浄化槽法定点検手数料				
13	委託料	8,354	合葬墓建設実施監理委託、市営10霊園の管理清掃委託				
14	使用料及び賃借料	303	墓地管理システム使用料				
15	工事請負費	31,843	合葬墓建設工事、市営霊園補修工事等				
16	原材料費	87	市営10霊園の植木、肥料代				
23	償還金、利子及び割引料	1,100	返還聖地の使用料還付金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	合葬墓造成事業	少子化、核家族化などでお墓を建てても管理することが困難な方など、安心して使用できる(多数の遺骨を一緒に共同埋蔵する墓)合葬墓を穂高墓地公園内に建設する。		一式	30,480
					計	30,480
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-イ	コード	010403100		予算書ページ	180
		課・係等	環境課 環境政策係			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	39,122	0	0	0	5	39,117
前年度	43,298	0	0	0	5	43,293
増減額	△ 4,176	0	0	0	0	△ 4,176

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他刊行物頒布代		5						

【目的・効果】
【目的】
 環境基本計画及び環境行動計画に基づき、市の環境をよりよくするための検討、施策実行、点検評価を行う。
【効果】
 自然と人々が共存・共栄する持続可能な社会を築き、市民の健康で豊かな生活を実現するとともに、将来の世代に良好な環境を引き継ぐ。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「第2次安曇野市環境基本計画」の策定
 ・「環境基本計画推進会議」の運営
 ・市民啓発環境イベント事業(環境フェア)の開催
 ・第二次環境行動計画の推進
 ・生物多様性安曇野市戦略の検討(アレチウリ駆除等)
 ・「生きもの調査」の実施
 ・省エネ実践事業(省エネのための緑のカーテンの普及等)
 ・エコアクション21の運営
 ・太陽光発電システム設置補助、太陽熱利用システム設置補助による自然エネルギー活用の推進

【詳細事業内訳】
 環境基本計画推進事業 15,122千円 住宅用太陽光発電システム設置補助事業 24,000千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
08	報償費	2,618			
				環境フェア講師謝礼、環境行動計画プログラム講師謝礼、環境基本計画推進会議委員出席謝礼	
09	旅費	253			
				エネルギー管理講習、「エコアクション21」審査人講師旅費	
11	需用費	1,887			
				環境フェア・環境行動プログラム消耗品、環境フェア・第2次環境基本計画冊子印刷製本費	
12	役務費	1,601			
				地球温暖化対策新聞広報、エコアクション21審査手数料、環境フェア傷害保険	
13	委託料	8,196			
				第2次環境基本計画サポートコンサル、環境フェアサポートコンサル、生きもの調査業務委託	
14	使用料及び賃借料	127			
				電気自動車借り上げ料	
19	負担金補助及び交付金	24,440			
				太陽光発電システム設置補助金、太陽熱利用システム設置補助金	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	第2次安曇野市環境基本計画策定業務	現行の安曇野市環境基本計画の進捗状況を踏まえ、平成20年度からの社会情勢の変化や、関連計画との整合性を勘案した上で、第2次安曇野市環境基本計画を策定する。市の環境をより良くするため、市民、事業者・行政の取り組むべきことを明らかにする。	11	需用費	713
				13	委託料	3,743
					計	4,456
2	ソフト	環境フェア事業	安曇野環境フェア開催が10周年を迎え、環境に関する課題を市民が共有できる場、「環境基本計画」で定められた取り組みを広く紹介するとともに、参加していなかった人も巻き込みながら、つながりの環を広げていくことなど、更なる高みを目指す。	08	報償費	660
				11	需用費	452
				12	役務費	141
				13	委託料	1,961
					計	3,214

重点施策と 推進政策	(4)
---------------	-----

コード	010403200
課・係等	環境課 環境保全担当

予算書ページ	182
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104160	環境衛生総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	214,113	0	0	0	4,216	209,897
前年度	236,486	0	0	0	5,465	231,021
増減額	△ 22,373	0	0	0	△ 1,249	△ 21,124

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	霊園管理料		1						
13	狂犬病予防注射済票交付手数料		3,125							
13	犬の登録手数料		1,090							

【目的・効果】

【目的】

・安曇野の自然環境、田園環境を生かした快適な生活環境を維持するため、市民の生活に身近な施策を実施する。

【効果】

・身近な生活環境の整備や保全により、安曇野らしい、快適な田園産業都市生活を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・雨水貯留施設設置補助金を交付する。
- ・公衆浴場経営安定化事業の補助金を交付する。
- ・空家対策協議会において、特定空家の認定等の協議、空家相談会を開催する。
- ・広域豊科葬祭センターを利用した市民の火葬料無料化と、市外施設を利用した市民への扶助を行う。
- ・環境審議会の開催。
- ・公共施設への雨水貯留槽の設置。
- ・安曇野松筑広域環境施設組合の豊科葬祭センター施設運営の負担をする。
- ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、注射済票を交付する。
- ・地域猫の不妊・去勢手術費用に対して補助金を交付する。
- ・豊科駅前・新田公衆便所の管理を行う。

【詳細事業内訳】

環境衛生総務費 200,046千円 狂犬病予防・動物愛護事業 1,762千円 雨水貯留槽施設設置事業 400千円 公衆浴場経営安定化助成事業 2,200千円 公衆便所管理事業 1,117千円 空家対策費 373千円 火葬料負担事業 8,215千円

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	294	環境審議会委員報酬	12	役務費	139	保護犬等の治療代、公用車車検代他
02	給料	87,382		13	委託料	1,928	犬の登録管理狂犬病予防委託、休日等保護犬搬送業務委託、公衆便所清掃委託
03	職員手当等	42,143		15	工事請負費	260	公共施設への雨水貯留槽設置工事
04	共済費	26,037		18	備品購入費	38	デジタルカメラ購入費
08	報償費	299	空家対策協議会委員謝礼、空家相談会謝礼、動物慰霊祭供物	19	負担金補助及び交付金	53,621	雨水貯留施設設置補助金、公衆浴場経営安定化助成金、火葬料負担金、安曇野松筑広域環境施設組合負担金、猫不妊・去勢手術費用補助
09	旅費	60	犬管理対策協議会研修会、空家等対策研修会	20	扶助費	350	火葬料
11	需用費	1,527	アメリシロ防除薬剤等、狂犬病予防注射済票、犬鑑札、公衆便所の光熱水費等	27	公課費	35	公用車自動車重量税

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	空家対策事業	管理不十分や、長期間放置されていることにより、周辺環境に悪影響を及ぼしている空家が増加していることから、立入検査を行い特定空家の認定、空家相談会を開催する。	08	報償費	295
				09	旅費	51
				13	委託料	27
					計	373
2	ソフト	○ 猫不妊・去勢手術費用補助	飼い主のいない猫の増加を防止し、猫被害の拡大を止めるため、動物愛護団体に対して、地域猫の去勢・不妊手術費用を補助する。	19	負担金補助及び交付金	249
					計	249

重点施策と 推進政策	(4)-口	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,016	4,050	3,625	0	0	10,341
前年度	18,016	4,050	3,783	0	0	10,183
増減額	0	0	△ 158	0	0	158

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	浄化槽設置整備補助金	4,050							
15	浄化槽設置整備補助金	3,625								

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道整備区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上を目指す。
【効果】
 ・生活環境の向上及び公共用水域の水質改善につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道整備区域外で専用住宅に合併浄化槽を設置する者に対して補助金を交付する。

【詳細事業内訳】
 合併浄化槽補助事業 18,016千円

【一般財源増加理由】 県補助金減のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	18,016	合併浄化槽設置補助金 30基分				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	合併浄化槽補助事業	下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付する。たま、国費、県費の適正な申請手続きをする。生活環境の向上と公共用水域の水質改善を図る。	19	負担金補助及び交付金	18,016
					計	18,016
2					計	0

予算書ページ	184
--------	-----

重点施策と推進政策	(4)	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	06	公害対策費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104180	公害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,347	0	0	0	0	14,347
前年度	14,776	0	0	0	0	14,776
増減額	△ 429	0	0	0	0	△ 429

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・水質、大気、騒音等に係る環境調査により、人の健康を保護するうえで維持されることが望ましい環境基準を達成する。

【効果】

・各種調査、測定を実施することで公害監視体制の強化を図り、公害のない健康で快適な市民生活の保持を目指すことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・自動車騒音等の各種環境調査定期測定を実施する。

長野道騒音測定 3箇所、大気中ダイオキシン類検査 5箇所、大気中窒素酸化物測定 12回/3箇所、道路騒音調査 8箇所、河川水質検査 2回/50カ所、地下水水質検査 2回/28箇所、ゴルフ場農薬水質検査 2回/2箇所、硝酸態窒素水質調査 2回/3箇所、トリクロロエチレン水質調査 6箇所、自動車騒音常時監視及び面的評価 3路線

・悪臭防止法に基づく臭気指数規制に係る臭気指数調査と、臭気対策技術支援業務を行う。

三郷地区畜産臭気測定 3回/8箇所、臭気指数調査

【詳細事業内訳】

公害対策費 10,270千円 臭気対策費 4,077千円

【一般財源増加理由】 道路騒音常時監視に係る安曇野市デジタル地図更新のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	240	三郷畜産臭気モニター謝礼				
09	旅費	27	公害対策研修会旅費				
11	需用費	264	水質汚濁事故防止用吸着マット外				
12	役務費	465	公害苦情処理検査、公害測定機器校正点検外				
13	委託料	12,949	環境調査定期測定、畜産臭気測定、臭気指数調査、臭気対策技術支援業務				
18	備品購入費	402	デジタル地図代(安曇野市住宅地図)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	環境調査測定事業	騒音、水質、ダイオキシンなどの公害測定を行い、環境基準の達成状況を常に監視することで、生活環境の向上を図る。	13	委託料	9,169
				18	備品購入費	402
					計	9,571
2	ソフト	臭気対策事業	臭気指数規制の導入により、悪臭による苦情が頻発する事業所に対して臭気指数測定を実施し、基準を超過した事業所に対して指導等を行い、臭気の低減を図る。	08	報償費	240
				11	需用費	26
				12	役務費	31
				13	委託料	3,780
					計	4,077

重点施策と 推進政策	(4)-イ	コード	010404100	予算書ページ	188
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当		

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	01	清掃総務費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104210	清掃費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	943,996	0	0	0	108,497	835,499
前年度	1,086,935	0	0	0	122,428	964,507
増減額	△ 142,939	0	0	0	△ 13,931	△ 129,008

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	一般廃棄物許可申請等手数料	40							
13	可燃ごみ処理手数料	93,000								
20	資源売却代	15,457								

【目的・効果】
【目的】
 ・市民から排出されるごみ・資源物の適正な収集及び処理を行う。また、不法に投棄される廃棄物の早期回収・処理を行い、市民の清潔で快適な生活環境を確保する。
【効果】
 ・ごみ・資源物、不法投棄ごみなど、適正な処理を行うことにより清潔で快適な生活環境を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・不法投棄防止及び早期撤去を行う。
 ・可燃ごみ証紙の管理事務を行う。
 ・可燃ごみ、不燃ごみ、資源物の収集運搬業務を委託する。
 ・粗大ごみ等の収集・運搬・処理業務を委託する。
 ・市内一斉清掃を実施する。
 ・穂高広域施設組合の運営に対し負担する。

【詳細事業内訳】
 廃棄物収集運搬事業 333,455千円 穂高広域施設組合事業 591,092千円 廃棄物対策総務費 4,009千円 不法投棄対策事業 7,477千円 可燃ごみ有料化事業 7,963千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	2,575	不法投棄監視連絡員出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	591,211	穂高広域負担金、廃棄物処理施設技術管理者講習受講料
09	旅費	293	廃棄物処理施設技術管理者講習受講、資源物処理状況現地検査	27	公課費	80	公用車重量税
11	需用費	1,559	不法投棄防止看板、可燃ごみ袋出荷管理票印刷、清掃作業用品、管理集積所修繕、公用車修繕				
12	役務費	8,569	公用車車検、不法投棄監視連絡員保険料、可燃ごみ証紙売り捌き手数料				
13	委託料	339,249	可燃・不燃ごみ収集運搬、資源物収集運搬・中間処理、環境調査、直営集積所管理、犬猫回収処理、不法投棄・一斉清掃粗大ごみ収集運搬・処理				
15	工事請負費	350	直営集積所分別案内看板設置				
16	原材料費	110	旧穂高処分地整地用敷砂利、柵設置資材				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	不法投棄対策事業	悪質な不法投棄を防止し、不法投棄をさせないまちづくりのため、監視連絡員を委嘱しパトロールを実施する。また、不法投棄された廃棄物は呼び水とならないよう早期に撤去し処分する。	13	委託料	4,412	
				08	報償費	2,565	
				11	需用費	288	
				12	役務費	212	
					計	7,477	
2	ソフト	廃棄物収集運搬事業	①市民が指定集積所に排出する可燃ごみ・不燃ごみを収集し、穂高クリーンセンター等へ搬入する業務を業者へ委託する。 ②市民が分別排出した資源物の収集運搬・保管・中間処理を業者に委託し、資源物のリサイクルをする。なお、資源物の売却収入の一部を財源として充当する。	13	委託料	331,188	
					計	331,188	

重点施策と推進政策	(4)-イ
-----------	-------

コード	010404100
課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ	190
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,424	0	0	0	27,819	6,605
前年度	31,740	0	0	0	16,387	15,353
増減額	2,684	0	0	0	11,432	△ 8,748

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	資源売却代	9,968							
20	手作り石けん販売代	170								
20	再商品化合理化拠出金配分金	2,681								
17	ふるさと寄付金	15,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・市民から排出されるごみの分別・資源化を進め、ごみの減量化と市民の住環境の向上を図る。
 ・市内各自治会が組織する環境部の活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。
【効果】
 ・ごみの減量化による行政経費の軽減と資源化再利用により環境負荷が軽減される。
 ・環境部を中心とした市民活動を支援することにより、住民協働の進展とごみの減量化や生活環境の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ごみ減量化・資源化を図るため、適正な分別の啓発・指導の推進を行う。
 ・「ごみ・資源物収集カレンダー」・「家庭用資源物・ごみ出し方の手引き」を作成し、全戸に配布する。
 ・市民から排出されるせん定枝をチップ化し市民に無償で提供する「緑のリサイクル事業」を委託する。
 ・市民から排出される廃食用油の回収と石けん等への加工業務を委託する。
 ・ごみ減量のため、市民が購入する生ごみ処理機器等の購入補助を行う。
 ・地域ごとに環境部長会議を開催し、必要な研修機会を設けることで地域活動を支援する。
 ・各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理やごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援する。
【増額理由】
 3年ごとに改訂を行っている「資源物・ごみ出し方の手引き」を作成し、適正な分別とごみ減量化の推進を図る。また、食品ロスの発生を抑制するため、コースターを作成する。

【詳細事業内訳】
 ごみ減量化推進事業 10,438千円 環境活動支援事業 23,986千円

【一般財源増加理由】		資源物・ごみ出し方手引き等の印刷製本費増額のため									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	622	環境部長会議出席謝礼、講習会講師謝礼			27	公課費	29	特殊車両(タウンビーパー)重量税		
09	旅費	14	職員旅費								
11	需用費	5,273	資源分別用品、ごみ・資源物カレンダー・出し方の手引き印刷、一斉清掃用袋								
12	役務費	442	特殊車両(タウンビーパー)車検・保険・歯研磨手数料								
13	委託料	3,154	せん定枝破砕業務、廃食用油回収・石鹸加工業務、運転代行								
14	使用料及び賃借料	90	資源物置場整地用重機・資源物運搬車両借上料								
19	負担金補助及び交付金	24,800	環境活動交付金、生ごみ処理機器購入補助金、指定集積所補助金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ごみ減量化推進事業	ごみの減量化とリサイクル推進を進めるため、分別排出・資源化を進める。	11	需用費	3,943
				13	委託料	3,087
				19	負担金補助及び交付金	2,000
				12	役務費 他	578
					計	9,608
2	ソフト	環境活動支援事業	各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理やごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。	19	負担金補助及び交付金	22,800
				08	報償費	605
				11	需用費	500
				13	委託料 他	81
					計	23,986

重点施策と 推進政策	(4)-イ	コード	010404100			
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業			

予算書ページ	190
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,007	0	0	0	0	20,007
前年度	15,590	0	0	0	0	15,590
増減額	4,417	0	0	0	0	4,417

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

目的:一般廃棄物の自区内処理の原則により、三郷一般廃棄物最終処分場では市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を、小岩岳不燃物処理場では市内から排出されるブロック・コンクリート・瓦・タイル・壁土等を埋立て処分する。これら2つの処分場の適切な維持管理、及び埋立てが終了している旧豊科最終処分場の監視を行う。
効果:ごみの適正な処分を行う。周辺環境に悪影響を与えないこと。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・三郷一般廃棄物最終処分場ではガラス・陶器・家庭焼却灰を埋立て処分する。埋立て開始から20年が経過し故障の可能性が高い設備(シーケンサー等)の交換・補修を行う。
・小岩岳不燃物処理場ではブロック・コンクリート・瓦・タイル・壁土等を埋立処分する。小岩岳不燃物処理場については地元区との協定に基づく埋立て有効期限が平成30年3月31日までであり、期間延長のため地元区と協議を行う。

【詳細事業内訳】

最終処分場施設管理事業 20,007千円

【一般財源増加理由】 覆土用土砂の購入。三郷処分場シーケンサー交換。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	6,791	施設機械の老朽化による施設修繕、水処理薬剤等消耗品				
12	役務費	221	電話料、トラックスケール定期検査				
13	委託料	11,441	埋立業務委託、周辺環境整備委託、水質検査委託、受入業務委託				
14	使用料及び賃借料	96	重機借上料、監視井戸借地料				
16	原材料費	1,458	覆土用土砂				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷最終処分場埋立業務委託	三郷一般廃棄物最終処分場に搬入されたガラス・陶器・家庭焼却灰の埋立て処分業務を委託する。	13	委託料	4,970
					計	4,970
2						
					計	0

重点施策と推進政策	(4)-イ
-----------	-------

コード	010404100
課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ	192
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,907	0	0	0	5,215	14,692
前年度	8,203	0	0	0	4,142	4,061
増減額	11,704	0	0	0	1,073	10,631

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	資源売却代	5,000							
20	リサイクルセンター再生品販売代	215								

【目的・効果】
【目的】
 市内3箇所(豊科・穂高・明科)のリサイクルセンターの管理・運営を行い、資源物回収の拠点として廃棄物の資源化の促進を図る。
【効果】
 多様化する市民のライフスタイルに対応するため、指定集積所での収集に加え、休日等に拠点施設での資源物の受け入れを行い、市民が分別排出する機会を増やし、リサイクル事業の進展を図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・3施設に受入指導員を配置し、適正な分別方法の周知と管理運営を行う。
 ・3施設に分かりやすい分別方法を明記した看板の設置を行い、適正な分別方法の周知を行う。
【増額理由】
 現在、処理困難物となっている太さ8cmを超えるせん定枝・丸太などの受入施設の整備を行う。

【詳細事業内訳】
 リサイクルセンター施設管理事業 19,907千円

【一般財源増加理由】 処理困難物受入施設設置のため増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	1,155	受入指導員・リサイクル工房指導員謝礼				
11	需用費	1,208	自転車修理消耗品、灯油代、施設修繕費、光熱水費				
12	役務費	341	電話料、フォークリフト特定検査、トラックスケール定期検査、指導員傷害保険料				
13	委託料	5,737	受入れ指導・清掃業務				
15	工事請負費	11,466	処理困難物受入施設設置工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	リサイクルセンター施設管理事業	ごみ減量化・資源化推進のため、市民が分別排出する機会を拡大するとともに、利用者への適正な分別指導を行う。また、開場日の混雑時に整理等をし円滑な施設運営を行う。	13	委託料	5,542	
				08	報償費	1,155	
				12	役務費	56	
				15	工事請負費	525	
					計	7,278	
2	ハード	新規	処理困難物受入施設整備事業	現在、収集・処理が困難である直径8cmを超えるせん定枝等の拠点回収をするため、受入施設の整備を行う。	15	工事請負費	10,941
						計	10,941

重点施策と 推進政策	(4)-イ
---------------	-------

コード	010404100
課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ	192
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	03	雑排水処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104260	雑排水処理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	76,384	0	0	0	73	76,311
前年度	32,073	0	0	0	73	32,000
増減額	44,311	0	0	0	0	44,311

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	雑排水配管敷設借地料	3								

【目的・効果】
【目的】
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃を奨励し、適正に処分することで生活排水による河川等の汚濁を防止する。市内全域から収集された生活雑排水を受け入れ、処理を行う。(汚水・汚泥は地下水で希釈後に下水道に放流)
 ・柏原団地の生活雑排水浄化施設の維持管理を行い、排水水質の浄化安定を図る。
【効果】
 ・定期的な清掃を実施し、汚水汚泥の適正な処理を行う。また、市内全域から収集された生活雑排水の適正な処理を行うことができる。
 ・柏原団地浄化施設の適正な管理を行うことで、放流先の農業用灌漑水に影響のない安定した水質の排水が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃と汚泥収集運搬業務を委託する。
 ・処理施設の管理運営を行う。
 ・定期的に浄化槽の清掃を行う。
 ・施設の計画的な修繕を行う。
 ・遊休化した施設部分を他の用途(リサイクルセンター)に転用するため、改修工事を行う。
 ・柏原浄化施設の槽・設備機器の維持管理を行う。
【増額理由】
 生活雑排水浄化処理場に併設された穂高リサイクルセンターが狭隘で利便性が悪いため、浄化処理場の遊休部の敷地・施設の改修・整備を行い、利用者の利便性の向上を図る。

【詳細事業内訳】
 生活雑排水処理施設管理事業 23,055千円 生活雑排水処理施設改修事業 53,329千円

【一般財源増加理由】 雑排水浄化処理場改修工事のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	7,228	管理用消耗品、灯油代、光熱水費、施設修繕費				
12	役務費	61	電話料、検査料				
13	委託料	19,153	貯留槽・沈殿槽清掃業務委託、施設管理作業委託、生活雑排水・汚泥保管・運搬委託、生活雑排水汚泥汲取(助成)委託、設計監理委託料				
14	使用料及び賃借料	39	除雪機械借上げ、雑排水管借地料				
15	工事請負費	48,060	雑排水処理場耐震・改修工事				
18	備品購入費	1,750	試験物回収用フックロールコンテナ購入				
19	負担金補助及び交付金	93	放流水水質検査負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	生活雑排水処理場施設改修事業	遊休化した敷地・施設部分を併設された穂高リサイクルセンターとして拡充を行い、利用者の利便性の向上を図る。		一式	53,329
					計	53,329
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010406100
		課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算書ページ	66
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102110	穂高支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,083	0	0	0	86	21,997
前年度	23,660	0	0	0	164	23,496
増減額	△ 1,577	0	0	0	△ 78	△ 1,499

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高支所雑入		86						

【目的・効果】
 穂高庁舎維持管理に伴う、総括経費。
 穂高地域等の市民窓口業務及び、穂高地域区長会の運営補助業務。
 平成28年8月1日に開所、北部地域包括支援センターが入所する。
 別棟、1階市民活動サポートセンター(地域づくり課職員1名)、2階保健医療部介護保険課認定調査係(職員21名)執務。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高支所、市民活動サポートセンター、及び所管施設(福武書庫・豊里土地)、公用車の維持管理を行う。
 ・穂高地域区長会の運営補助。
 ・本庁部局との連絡調整。
 借地①庁舎敷地935.39㎡(地権者1名)
 ②公用車駐車場2,231㎡(地権者1名)

【詳細事業内訳】
 穂高支所等施設管理運営事業 21,076千円 穂高地域づくり事業 1,049千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,763	窓口業務臨時職員賃金	15	工事請負費	1,140	駐車場返還補償工事等
08	報償費	322	区長会出席謝礼・区長会研修会	18	備品購入費	52	FAX購入費
09	旅費	31	区長会視察関係	27	公課費	22	公用車車検
11	需用費	9,533	消耗品費・燃料費・灯油・施設物品修繕費・光熱水費等				
12	役務費	1,606	電話料・公用車車検手数料・自賠責保険料				
13	委託料	4,150	庁舎管理委託(各種)・警備費				
14	使用料及び賃借料	3,464	コピー機借上げ、使用料・公用車等駐車場借地料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	支所分
1	ソフト	穂高支所等施設管理運営事業	市民が利用する支所内を最適な環境を確保しながら、光熱水費の経費削減を図る。	11	需用費	8,904	支所分
					計	8,904	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010406100
課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算書ページ	330
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習施設の整備
	事業	0110395	穂高公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,224	0	0	0	936	20,288
前年度	17,867	0	0	0	936	16,931
増減額	3,357	0	0	0	0	3,357

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	穂高公民館使用料	600							
20	穂高公民館雑入	336								

【目的・効果】
【目的】
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として利用者にとって使いやすく安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。
 ・穂高会館耐震補強工事が終了し、市民が安心して利用できる施設整備が図られ、更なる利用の促進を図る。
【効果】
 ・穂高会館の一層の利活用を図り、教育・文化の振興に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設・備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。
 ・施設予約システムにより適正な受付・管理業務を行う。
 ・利用者の意向・要望に沿えるように及び情報提供を行う。
 ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
 ・貸館事務等の業務委託

【詳細事業内訳】
 穂高公民館施設管理運営事業 21,224千円

【一般財源増加理由】	施設修繕費(消防設備)及び施設管理費の増										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	9,477	管理用消耗品、燃料費、光熱水費、施設修繕費、物品修繕費			27	公課費	9	公用車重量税		
12	役務費	1,161	電話料、防火対象物定期点検、レンタルマット代、各種検査手数料他								
13	委託料	9,491	会館管理、受付事務、日常清掃、各種機器保守点検業務他								
14	使用料及び賃借料	1,041	コピー機リース料及び使用料、会館駐車場借地料他								
18	備品購入費	36	事業用備購入(掃除機)								
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会								
23	償還金、利子及び割引料	5	施設使用料還付金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	330
--------	-----

重点施策と推進政策	(1)	コード	010406100
		課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110400	穂高公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,200	0	0	0	30	4,170
前年度	4,115	0	0	0	30	4,085
増減額	85	0	0	0	0	85

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高公民館雑入	30							

【目的・効果】
【目的】
 ・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に公民館事業の活性化を図る。
【効果】
 ・多くの市民が、公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲がうまれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種公民館講座、球技大会等の開催により子供から高齢者まで生涯を通じて学びあえる機会を提供する。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民交流の場として文化祭、芸能祭及びスポーツ大会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進委員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 地区公民館役員会議を定期的で開催し、情報提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 穂高公民館事業 4,200千円

【一般財源増加倍理由】文化祭出品作品の増による設営費用の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	公民館長報酬				
08	報償費	613	球技大会運営協力者謝礼、文化祭出展及び球技大会参加賞他				
11	需用費	447	研修会資料代、消耗品費、球技大会用品、文化祭パンフレット他				
12	役務費	194	公民館総合補償掛金				
13	委託料	449	文化祭設営・撤去業務、講座開催に伴うマイクロバス運転業務他				
14	使用料及び賃借料	19	公民館講座用				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高公民館事業	スポーツを通じて地域の親睦及び健康づくりを図ることを目的とする。 また、生涯学習活動への関心を図るとともに活動の成果を発表する機会を設けていく。	08	報償費	613
				13	委託料	449
				11	需用費	447
					計	1,509
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-ハ
---------------	-------

コード	010407100
課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算書ページ	66
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102130	三郷支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,690	0	0	0	132	26,558
前年度	43,819	0	0	0	174	43,645
増減額	△ 17,129	0	0	0	△ 42	△ 17,087

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○三郷支所・公民館の利用者である市民の視点に立ち、施設を一体的に維持管理・運営し、利便性の向上を図る。
【効果】
 ○継続的かつ適切な維持管理により、利用者の安全・安心・快適性が確保できる。
 ○三郷地域の行政の拠点としての機能を維持することができる。
 ○地域の活性化につながると共に、市民のふれあいの場を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・三郷支所・公民館が一体となった複合施設の利点を生かし、市民サービス提供の場にふさわしい環境を整える。
 ・三郷地域区長会において、地域の課題を共有し、対策について検討を行う。
 ・地域住民のふれあいとふるさと意識の高揚を図るため開催する「ふるさと夏祭り」への補助を行う。

【詳細事業内訳】
 三郷支所等施設管理運営事業 24,076千円 三郷地域づくり事業2,614千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	1,742	窓口業務臨時職員賃金			19	負担金補助及び交付金	1,500	ふるさと夏祭り補助金		
08	報償費	233	区長会、地区行事			27	公課費	22	公用車重量税		
09	旅費	31	区長会研修旅費								
11	需用費	11,557	庁舎管理消耗品、修繕費、光熱水費外								
12	役務費	848	電話料外								
13	委託料	5,437	庁舎設備等保守点検、ごみ処理、除雪作業外								
14	使用料及び賃借料	5,320	印刷機、コピー機、庁舎敷地借上料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷地域づくり事業	共通する課題や目標に対して、地域住民の思いを活動につなげていく仕組みづくりを構築することで、地域住民が自主的・主体的に活動・活躍し、誰もが生きがいのもてる地域をつくることことができる。	19	負担金補助及び交付金	1,500
				11	需用費	816
				08	報償費	200
				13	委託料	67
					計	2,583
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-ホ	コード	010407100
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算書ページ	332
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110405	三郷公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,207	0	0	0	792	7,415
前年度	9,875	0	0	0	564	9,311
増減額	△ 1,668	0	0	0	228	△ 1,896

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	三郷公民館使用料	600							
20	三郷公民館雑入	192								

【目的・効果】
【目的】
 ○多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。
【効果】
 ○生涯学習を支える環境が整備されることにより、市民の学習行動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・周辺に多くの公共施設が位置していることから、大人から子供まで多くの市民が利用する生涯学習施設の拠点として、安全かつ使いやすい施設となるよう維持管理を行う。
 ・施設・備品等の点検修理を行い、利用環境の整備を図る。
 ・貸館等事務(夜間・休日)を業務委託し、市民が利用しやすい環境を整える。
 ・新公共施設予約システムを活用し、窓口業務の迅速化を図る。
 ・館内清掃を業務委託し、常に清潔で衛生的な環境を提供する。
 ・支所と公民館が一体となった複合施設として、利用者の意向・要望に沿えるよう、より一層のサービス向上に努める。

【詳細事業内訳】
 三郷公民館施設管理運営事業 8,207千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	682	消耗品費、修繕費、光熱費				
12	役務費	159	電話料、防火対象物点検				
13	委託料	4,111	施設保守点検、公民館管理・清掃業務委託(シルバー人材センター)				
14	使用料及び賃借料	2,669	コピー機使用料、公民館敷地借地料				
18	備品購入費	586	備品購入費、教材・展示用備品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷公民館施設管理運営事業	公民館施設の貸館・管理・清掃をシルバー人材センターに、保守点検を専門業者に業務委託することで、1年を通して円滑な運営並びに清潔で安全な環境を保つことができる。	13	委託料	4,111
				14	使用料及び賃借料	2,669
				11	需用費	682
				18	備品購入費	586
					計	8,048
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-ホ	コード	010407100			
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業			

予算書ページ	332
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,707	0	0	66	5,641
前年度	5,779	0	0	60	5,719
増減額	△ 72	0	0	6	△ 78

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	三郷公民館雑入	66							

【目的・効果】
【目的】
 ○地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。
【効果】
 ○多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地区間の交流も活発化する。
 ○文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで、生活の励みや生きがいの創出及び健康増進、さらなる学習意欲の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「三郷祭」を冠する文化産業展・運動会等の行事開催や講座・教室を開講し、地域文化の振興や地域住民の交流を図る。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化産業展、芸能発表会、運動会及びスポーツ大会を開催する。
 ・公民館サポート会議委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的開催し、情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 三郷公民館事業 5,707千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	公民館長報酬				
08	報償費	1,692	地区公民館対抗スポーツ大会協力者謝礼、三郷祭記念品、運動会景品、三郷祭協員謝礼				
11	需用費	431	事務用品、三郷祭プログラム印刷				
12	役務費	194	公民館総合補償制度掛金				
13	委託料	478	文化産業展・芸能発表会会場パネル運搬設置委託、ふるさと講座バス運転業務委託				
14	使用料及び賃借料	434	文化産業展机等、芸能発表会照明借上				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷公民館事業	伝統ある(昭和34年～)三郷祭を継続的に開催することで、生涯学習成果発表並びに世代を越えた交流と地域の活性化を図ることができる。	01	報酬	2,478	
				08	報償費	1,692	
				13	委託料	478	
				14	使用料及び賃借料	434	
					計	5,082	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010408100
		課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算書ページ	68
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102150	堀金支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,994	0	0	0	190	29,804
前年度	23,930	0	0	0	192	23,738
増減額	6,064	0	0	0	△2	6,066

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	庁舎等自動販売機設置(支所過年度分)	46							
20	堀金支所雑入	144								

【目的・効果】

【目的】

・堀金複合施設庁舎(支所・図書館・公民館・上下水道料金センターを備えた施設)の維持管理業務を行う。世代を超えた市民の交流並びに学習の拠点となる施設運営の充実のため、総合管理による設備管理、警備、清掃、敷地管理等の管理を行う。
 ・公用車の適切な管理を行う。・現車庫を倉庫に転用する。・快適なまちづくりと地域社会の構築を図る。・市並びに堀金地域の活性化を図る。

【効果】

・総合管理により、施設の安全化と長寿命化を高め、また維持管理コストの低減を図ることができる。これにより庁舎利用者の安全性並びに施設利用料の軽減を確保でき、住民サービスの向上に繋がる。
 ・公用車の塗装面等傷みの防止を図ることで、車両の耐用年数の延長に繋がる。
 ・効率の良い施設整備が図られる。
 ・安全、安心で快適なまちづくりと、皆で支え合い助け合う地域社会の構築が図られる。
 ・地域交流や観光振興イベントの開催を通じ、安曇野市並びに堀金地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成28年度は、支所地域課と、地域公民館、図書館並びに上下水道料金センターとが所管を超え連携し、節電、節水において省エネ対策に取り組み、維持管理経費の縮減に努めている。平成29年度においては新たに文書館の建設も予定されており、さらに連携の強化が必要となる。
 ・支所地域課と地域公民館とが一体となり、地域固有の行事などを育み併せて、地域の問題解決に向け、市民と行政が協働して地域づくりを進める。
 ・堀金複合施設庁舎北公用車車庫天井の鍾乳管除去と防水修理を行う。
 ・管理品の危機管理課災害備蓄品、財産管理課公用車タイヤ、堀金地域課備品を施錠できる保管庫が不足しており、解消のため一部車庫(4箇所)を鍵付のシャッター倉庫へ改修を行う。
 ・重要かつ対等なパートナーとしての区の代表組織である区長会と協働し、区が抱える諸課題解決に向けて会議並びに研修会等の開催や助言を行う。
 ・「ほりがね秋の振興祭り」は、地域農産物や特産品のピーアール催事事業である。農業者、商工業者代表の実行委員会に補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

堀金支所等施設管理運営事業 22,146千円 堀金支所車庫等改修事業 6,366千円 堀金地域づくり事業 1,482千円

【一般財源増加理由】 ・平成29年度は、旧堀金公民館の講堂耐震化工事と安曇野市文書館への改修工事が予定されている。施設引き渡し後、講堂の利用、並びに文書館の開館準備が同年10月から始まる。それに伴う電気使用量を増額とする。・新規事業となる公用車車庫漏水修理費並びにシャッター付倉庫転用改修工事費。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,776	窓口業務臨時職員賃金	15	工事請負費	6,042	公用車車庫修理並びにシャッター付倉庫転用改修工事費
08	報償費	140	各種行事式典等報償用物品、区長会出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	900	堀金地域振興事業(ほりがね秋の振興祭り事業)補助金
09	旅費	9	区長会研修同行職員旅費	27	公課費	27	公用車重量税
11	需用費	11,127	事務用品費外、回覧文書箱、公用車燃料外、来客用茶葉代、庁舎修繕費、電気料、上下水道料、物品修繕費(車検に伴う公用車修繕費外)、区長会贈い				
12	役務費	1,250	庁舎電話料、公用車車検手数料外、公用車法定点検手数料外、マット・モップレンタル料、トランスPCB混入検査手数料、公用車自賠責保険料				
13	委託料	6,704	庁舎管理業務委託料(電気設備、清掃業務、電話設備、空調設備、エレベーター保守、自動ドア保守、夜間警備、庭木剪定作業外、区長会研修バス運行業務、シャッター倉庫等工事設計業務・工事管理業務)				
14	使用料及び賃借料	2,019	便器洗浄器具等、印刷機、コピー機、給茶機レンタル料、コピー機、あづみ野テレビ使用料、庁舎用地借地料外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金支所等施設管理運営事業	・複合施設庁舎の電気・電話・空調設備の保守点検、警備・清掃業務などを総合管理することで、安全面と維持管理コストの低減を図る。	11	需用費	10,724
				12	役務費	1,250
				13	委託料	6,336
				14	使用料及び賃借料	2,019
				27	公課費	27
					計	20,356
2	ソフト	堀金地域づくり事業	・区長会と協働し、区が抱える諸課題解決に向けた取り組みを行う。 ・堀金地域振興事業の開催を通じ、地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。	8	報償費	126
				9	旅費	9
				11	需用費	403
				13	委託料	44
				19	負担金補助及び交付金	900
					計	1,482

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010408100
課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算書ページ	334
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習施設の整備
	事業	0110415	堀金公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,779	0	0	0	1,080	3,699
前年度	7,131	0	0	0	540	6,591
増減額	△ 2,352	0	0	0	540	△ 2,892

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	堀金公民館雑入	120								

【目的・効果】
【目的】
 生涯学習の場として公民館施設を維持管理し、運用・活用を推進する。
【効果】
 生涯学習環境の整備により、市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○公民館施設・備品の維持及び貸出の管理。
 ○堀金公民館講堂施設の改修にあわせて、新たな活用を図る。

【詳細事業内訳】
 堀金公民館施設管理運営事業 4,779千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,002	管理消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費								
12	役務費	416	電話料、ピアノ調律、雑排水汲み取り、マット・モップ交換、桜剪定								
13	委託料	3,048	警備業務、清掃業務、受付管理業務、印刷機保守、粗大ごみ処理								
14	使用料及び賃借料	266	印刷機・複合機借り上げ料、複合機使用料								
18	備品購入費	43	椅子用台車								
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会会費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	堀金公民館施設管理業務	夜間及び休祝日における公民館施設の貸出管理や日常清掃をシルバー人材センターに委託することにより、利用者の便宜と円滑な運営を図り、清潔な環境を保つことができる。	13	委託料	2,684	管理・清掃委託	
					計	2,684		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	(2)-ホ		コード	010408100		予算書ページ	334
			課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110420	堀金公民館事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,868	0	0	0	12	4,856
前年度	4,929	0	0	0	12	4,917
増減額	△ 61	0	0	0	0	△ 61

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	堀金公民館雑入		12						

【目的・効果】
【目的】
 ○地域づくりの拠点としての地区公民館の支援
 ○地域の文化・芸術の振興、生涯学習の推進
 ○スポーツを通じた健康長寿
【効果】
 多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 生涯学習・生涯スポーツの推進により、生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○地区公民館関係者研修会や役員会開催し、地区公民館の支援、地域づくりの意識向上、連携活動を行う。
 ○文化祭・芸能祭などの発表の場、学びのつどいなどの芸術鑑賞の場を設ける。
 ○地区公民館と連携し、運動会・みんなでスポーツin常念、堀金一周駅伝大会・冬期スポーツ大会を開催する。

【詳細事業内訳】
 堀金公民館事業 4,868千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	堀金公民館長報酬				
08	報償費	1,690	文化祭・スポーツ大会協力者謝礼、公民館講座講師謝礼、文化祭・スポーツ大会記念品・景品				
11	需用費	411	公民館事業消耗品、スポーツ大会用品				
12	役務費	216	公民館総合補償制度掛け金、クリーニング代				
13	委託料	73	バス運電業務、スポーツ大会花火打ち上げ				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	堀金地域文化祭・芸能祭・一周駅伝大会事業	伝統ある堀金文化祭・芸能祭を継続的に開催することで、生涯学習の成果発表ならびに世代を超えた交流を図る。 また、堀金一周駅伝大会を開催し、スポーツを通じて地域の繋がりを図る。	08	報償費	592	謝礼・記念品外
				11	需用費	190	消耗品
				13	委託料	29	バス運電業務
					計	811	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)-二
---------------	-------

コード	010409100
課・係等	明科地域課 地域担当(明科)

予算書ページ	70
--------	----

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102170	明科支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,604	0	0	0	90	15,514
前年度	52,527	0	0	0	120	52,407
増減額	△ 36,923	0	0	0	△ 30	△ 36,893

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	明科支所雑入		90						

【目的・効果】
【目的】
 ・経費削減と事務事業の効率化を図り、健全財政に努める。
 ・市民と行政の協働のまちづくりを推進する。
【効果】
 ・明科庁舎等の適切な維持管理が図られる。
 ・市民と行政の協働のまちづくり体制が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 * 明科庁舎は、支所と公民館の複合施設として4年目を迎えます。
 支所及び公民館利用者の利用しやすい環境整備を行うと共に、地域の活性化を図るための事業を重点的に進めます。
 ・明科庁舎等の行政財産を適正に維持管理し、市民が安全で安心して利用できる親しみやすい環境を整える。
 ・お客様(市民の皆さん)をお待たせしない市民サービスを提供する。
 ・明科支所配置の公用車(3台)の維持管理を行う。
 ・地域区長会活動の支援を行う。(地域区長会の開催、区長の相談受付及び助言ほか)
 ・地域の市民団体の育成、支援を進める。

【詳細事業内訳】
 明科地域づくり事業 470千円 明科支所等施設管理運営事業 15,134千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	1,736	窓口業務臨時職員賃金							
08	報償費	198	行事用報償費、地域区長会出席謝礼(14名分)							
09	旅費	46	地域区長会県外視察研修同行職員旅費							
11	需用費	6,456	事務消耗品ほか、公用車燃料代、区長会・来客用賄費、庁舎等修繕費、光熱水費、公用車外物品修繕費							
12	役務費	705	電話料、手数料(公用車車検外、庁舎管理用品)							
13	委託料	6,237	庁舎等管理(空調・清掃・各設備ほか保守点検管理)委託料、大型バス運転業務委託料							
14	使用料及び賃借料	226	コピー使用料、テレビ受信料、庁舎案内看板借地料							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	明科地域づくり事業	・地域区長会活動の支援を行うと共に区が抱える諸課題の解決に向けた取り組みを行う。 ・市民と行政の協働のまちづくりを推進する。	8	報償費	196	
				9	旅費	46	
				11	需用費	154	
				13	委託料	72	
					計	468	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(4)	コード	010409100		予算書ページ	186
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	07	飲料水供給費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104190	飲料水供給費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,810	0	0	0	154	1,656
前年度	1,654	0	0	0	154	1,500
増減額	156	0	0	0	0	156

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	飲料水供給施設使用料	154							

【目的・効果】
【目的】
 明科南陸郷区内の山間集落(金井沢地区)において、市民の健康と生活環境を確保するため、安曇野市明科飲料水供給施設(以下「飲料水供給施設」という)により、生活のための飲料水を供給する。
【効果】
 安全で安心な飲料水を供給できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・飲料水供給施設として整備されている配水施設の維持管理を、安曇野市水道事業の管理を行う者(安曇野市長:上水道課)に委託する。
 ・浄水ろ過施設の洗浄及び点検業務を専門業者に委託し、安定した水質を確保し、飲料水を供給する。
 ・各受益世帯(7世帯)の水道使用量を検針(偶数月)し、使用料を徴収する。

【詳細事業内訳】
 飲料水供給施設管理運営事業 1,810千円

【一般財源増加理由】 取水堰堤清掃(2年に1度)分が増額:206千円

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	340	設備用消耗品(部品)代、施設小破修繕費、施設電気料金				
12	役務費	39	テレメーター電話料				
13	委託料	1,431	上水道課飲料水供給施設維持管理委託料、ろ過膜洗浄及び施設点検業務委託料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	飲料水供給施設管理運営事業	金井沢地区市民の飲料水を安心且つ安全に供給するため、飲料水供給施設の維持管理を市上水道課に委託し、安定した水質を確保するため、専門業者に点検業務を委託する。	11	需用費	340
				12	役務費	39
				13	委託料	1,431
					計	1,810
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	010409100			
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習施設の整備
	事業	0110425	明科公民館管理費			

予算書ページ	336
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,212	0	0	0	1,041	3,171
前年度	3,522	0	0	0	841	2,681
増減額	690	0	0	0	200	490

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	明科公民館使用料	800							
20	明科公民館雑入	241								

【目的・効果】
【目的】
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
 ・市民に最も身近な地域の拠りどころとして、様々なサービスを提供し、情報発信の拠点となるよう心掛ける。
【効果】
 ・情報発信の拠点となることにより、市内外各地からの多くの利用者・参加者が見込まれる。
 ・地域、世代間の交流を進め、山積する地域課題に目を向ける機会を提供し、地域づくりの機運を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設利用方法等の周知を徹底し、不慮の事故等が発生しないよう管理する。
 ・施設、備品等の点検修理を行い、環境整備を図る。
 ・施設利用システムの導入により、窓口事務の迅速化を図る。
 ・利用者の意向、要望に添えるよう、案内及び情報提供を行う。
 ・利用者の使用日誌への記帳を徹底させ、光熱水費の削減に努める。

【詳細事業内訳】
 明科公民館施設管理運営事業 4,261千円

【一般財源増加理由】・明科公民館施設(2階通路、講堂床等)修繕の費用の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,125	・管理用消耗品費:401千円 ・公民館施設修繕:639千円				
12	役務費	382	・通信運搬費:144千円 ・調理実習室内清掃手数料:179千円				
13	委託料	2,375	・公民館管理シルバー委託料:2,249千円 ・印刷機等保守点検業務委託料:105千円				
14	使用料及び賃借料	330	・コピー機ほか借上料:70千円 ・コピー機使用料:260千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	明科公民館施設管理業務	・明科公民館(休日および夜間)の維持管理業務をシルバー人材センターに委託する。 主に施設の管理及び貸館業務を委託し、管理の効率化を図る。	11	需用費	1,125
				12	役務費	382
				13	委託料	2,375
				14	使用料及び賃借料	330
					計	4,212
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)-ハ	コード	010409100			
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110430	明科公民館事業			

予算書ページ	336
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,075	0	0	0	40	4,035
前年度	3,889	0	0	0	40	3,849
増減額	186	0	0	0	0	186

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	明科公民館雑入	40							

【目的・効果】
【目的】
 ・市民の交流と学習の場として、地域の課題に目を向け、時代に即した学習と交流の機会を創出し、地域の活性化を図る。
 ・地域の伝統を活かした事業を中心に継続し、開催方法や事業内容など市民の意向を取り入れ、より時代に即した事業を展開する。
【効果】
 ・より多くの市民が興味を持って積極的に公民館事業に参加することにより、地域のつながり(絆)や市民同士の交流の活性化が一層図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地区公民館役員を対象に、定期会議のほか「協働のまちづくり」に向けた研修会を区役員と合同で開催し、更なる地域づくりの向上を図っていく。
 ・市民が主体となった団体などとの協働により、地域に目を向けた内容の講座や学習会の企画、運営を展開する。
 ・スポーツ大会等の企画、立案、運営など、旧体育協会を中心とした組織から市民主体の実行委員会組織へ再構築し、長期的視点に立った運営を目指す。

【詳細事業内訳】
 明科公民館事業 4,075千円

【一般財源増加理由】・市民運動会用備品(大玉ボール)の更新

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	・公民館長報酬:2,478千円				
08	報償費	959	・文化祭、スポーツ大会協力者謝礼:247千円 ・文化祭、スポーツ大会、運動会用記念品等:712千円				
11	需用費	239	・事業用及び大会用消耗品費:239千円				
12	役務費	194	・公民館総合保障制度加入掛金:194千円				
13	委託料	103	・公民館講座等車両運行業務委託料:103千円				
18	備品購入費	102	・市民運動会用 大玉ボール:102千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	あやめスポーツ大会・明科地域市民運動会と明科地域文化祭の開催	スポーツや運動を通じて地域の親睦、市民同士の交流、体力・健康づくりを図ることを目的に開催する。 また、日頃の生涯学習活動の成果を発表するため、文化祭を開催する。	8	報償費	959
				11	需用費	179
				12	役務費	194
				18	備品購入費	102
					計	1,434
2					計	0

福祉部

予算書ページ	116
--------	-----

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010501100
		課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	468,718	0	14,010	0	995	453,713
前年度	449,151	0	13,905	0	2,071	433,175
増減額	19,567	0	105	0	△ 1,076	20,538

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	民生委員活動委託金	12,803							
15	民生委員協議会委託金	1,207								
16	福祉基金利子	935								
20	社会福祉雑入	60								

【目的・効果】

【目的】

- ・民生委員活動、災害時避難行動要支援者名簿の作成と提供といった法令の定めに従い、市民生活を守るための事業を実施する。
- ・地域福祉の推進、心配ごと相談等、市民の日常的問題や課題を解決する事業を実施する。
- ・戦没者追悼式を行い、戦争で尊い命を失った先人のことを後世に伝えていく事業を実施する。

【効果】

このような事業を実施することで、現代社会の弱者の立場にある人の安全や安心を確保し、これらの人たちが生活しやすい安曇野市を形成する効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

本事業は上記目的を達成するため、以下各節の主な内容に記載するとおり多岐にわたっている。具体的な事業内容は各節の内容のとおり。

【詳細事業内訳】

社会福祉総務費 312,262千円 心配ごと相談事業 3,981千円 戦没者追悼式 516千円 ささえあいセンター指定管理業務 5,032千円 災害時避難行動要支援者名簿作成事業 1,777千円 民生児童委員協議会運営 35,499千円 社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会補助事業 107,283千円 婚活事業 2,000千円 地域福祉計画推進策定事業 368千円

【一般財源増加理由】 人件費19,830千円増(職員46人→51人)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	42	民生委員推薦会委員報酬	11	需用費	691	事務用品、民生委員手帳、封筒印刷代(要支援者名簿掲載同意書用、福祉部窓あき封筒)
02	給料	180,908		12	役務費	11	白布等クリーニング代
03	職員手当等	76,528		13	委託料	12,581	心配ごと相談、婚活事業、戦没者追悼式祭壇設置、バス運行
04	共済費	48,701		14	使用料及び賃借料	945	避難行動要支援者台帳システム使用料
07	賃金	1,768		18	備品購入費	487	福祉避難所用備品
08	報償費	19,211	福祉委員報償、地域福祉計画推進・策定委員報償	19	負担金補助及び交付金	125,666	全国・県民児協負担金、社会福祉協議会地域福祉事業補助、地区民児協補助及び交付金、市遺族会補助、社会福祉主事資格認定講座受講料
09	旅費	243	社会福祉主事資格認定講座、民生児童委員協議会視察研修同行	25	積立金	936	福祉基金積立金利子

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域福祉計画推進策定事業	第2期計画に基づき、庁内ワーキンググループ及び策定・推進委員会で施策の検証をするとともに第3期計画を策定することにより、地域での(福祉)活動の増進が見込める。	08	報償費	368
					計	368
2	ソフト	福祉避難所備品	指定福祉避難所の備品を年次購入することにより、災害時に要配慮者の行動を支援できる。	18	備品購入費	487
					計	487

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010501100
課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算書ページ	118
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103020	福祉医療費給付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	592,990	0	214,912	0	6,732	371,346
前年度	572,819	0	205,726	0	5,492	361,601
増減額	20,171	0	9,186	0	1,240	9,745

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	福祉医療費貸付金元金収入	6,732								
							(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	95,000		

【目的・効果】
【目的】
 ・乳幼児等、障がい者、母子・父子家庭に医療費を給付する。
 ・低所得者で医療費の支払いが困難な方には、貸付制度の利用を勧める。
【効果】
 子育て世帯、障がい児・者、ひとり親世帯の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・受給資格者に対し、保険診療(調剤を含む)に係る自己負担額について助成する。
 ・受給資格者が支払った自己負担額から、1レセプトごと、500円の負担金を控除した額を受給資格者に給付金として支給する。(償還払い)
 ・医療機関での一時的な支払いが困難な受給資格者に対し、医療費を貸し付ける。

【詳細事業内訳】
 福祉医療費給付事業 586,258千円 福祉医療費貸付事業 6,732千円

【一般財源増加理由】 件数及び医療費の増(手数料7,442千円増、審査委託料821千円増、医療費10,660千円増)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	33	事務用消耗品				
12	役務費	47,690	医療機関事務手数料				
13	委託料	5,706	国保連合会審査集計事務委託料				
20	扶助費	532,829	受給者に対する給付金				
21	貸付金	6,732	貸付制度利用者貸付金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	福祉医療費給付事業	乳幼児(～中学卒業まで)、障がい者、母子、父子家庭の医療費自己負担分の給付により、安心した家庭生活が営める。	20	扶助費	532,829		
					計	532,829		
2	ソフト	福祉医療費貸付事業	医療費の支払いが困難な貸付対象者に対し、無利息で貸し付け、福祉医療費支給時に相殺する。このことにより早期受診が躊躇なくでき、重症化を防ぐことができる。	21	貸付金	6,732		
					計	6,732		

予算書ページ	118
--------	-----

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010501100
		課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103030	臨時福祉給付金給付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
267,114	372,213	△ 105,099	267,114	0	0	0
			0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	臨時福祉給付金給付事業補助金	255,000							
14	臨時福祉給付金給付事業事務費補助金	12,114								

【目的・効果】
【目的】
 消費税率の引上げに際し、低所得者の方々に対して暫定的、臨時的な給付措置を行う。
【効果】
 低所得者へ消費税増税の影響の緩和を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 国庫補助事業
 支給要件該当者を決定し、世帯毎に申請書を送付。
 対象者: 17,000人(年齢制限なし)
 支給額: 1人/15,000円
 支給方法: 申請書を受付、審査後決定通知を送付して申請口座へ給付。

【詳細事業内訳】
 臨時福祉給付金給付事業 267,114千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
03	職員手当等	2,300	時間外手当				
07	賃金	2,433	臨時職員賃金(申請受付・処理事務)				
11	需用費	632	事務用品、リーフレット等印刷費				
12	役務費	6,749	申請書等郵送料、口座振込手数料				
20	扶助費	255,000	給付金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	臨時福祉給付金給付事業	消費税率の引き上げに際し、低所得者に対し、臨時的な給付を行うことで、消費税引き上げの影響を緩和し、生活の支援を図る。	20	扶助費	255,000	
				12	役務費	6,749	
				07	賃金	2,433	
				03	職員手当等	2,300	
					計	266,482	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010501200		
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係		

予算書ページ	128
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103130	老人福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	270,017	0	1,882	0	33,974	234,161
前年度	241,080	0	2,029	0	3,974	235,077
増減額	28,937	0	△ 147	0	30,000	△ 916

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
17	ふるさと寄附金	30,000								
20	市町村特別対策広報等事業補助金	3,974								

【目的・効果】
【目的】
 高齢者福祉充実のために連携が必要な各団体等への支援を行う。
 また高齢者の社会参加の促進や在宅で介護する家族の慰労を労をねぎらう。
【効果】
 各団体の運営が安定化することにより、高齢者に提供されるサービスの向上が見込まれ、生きがいづくり・健康づくり及び高齢者福祉の増進につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・シルバー人材センター、老人クラブ連合会への運営補助金交付
 ・市社会福祉協議会が運営する老人福祉センターへの運営補助金交付
 ・養護老人ホームを運営する一部事務組合への負担金支出
 ・老人大学の委託方式による開催
 ・70歳以上の高齢者に対し、割引入浴券24枚を交付
 ・一定の要件を満たす在宅で介護を行う家族に対し、年額50,000円の介護慰労金を支給
 ・福祉バスの運行委託

【詳細事業内訳】
 福祉バス運行事業 4,800千円 老人大学委託事業 3,214千円 福祉有償運送運営協議会事務 28千円 老人クラブ連合会育成事業 6,796千円 老人福祉センター運営補助事業 16,296千円 介護慰労金支給事業 32,000千円 老人福祉総務費 152,877千円 高齢者祝賀事業 3,747千円 シルバー人材センター運営助成事業 10,138千円 地域グループ支援事業 520千円 入浴料金割引券交付事業 39,601千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	81,479		13	委託料	8,014	老人大学開催委託料。福祉バス運行委託料。
03	職員手当等	37,676		19	負担金補助及び交付金	44,177	シルバー人材センター、老人クラブ連合会、老人福祉センター運営補助、松塩安筑一部事務組合負担金。
04	共済費	22,617		20	扶助費	73,749	入浴料金割引券交付事業。介護慰労金支給。高齢者敬老祝金。
08	報償費	134	各地区敬老会御祝。福祉有償運送協議会出席謝礼。				
09	旅費	13	研修会参加用旅費				
11	需用費	2,142	事務用品。参考図書。ガイドブック印刷費。入浴料金割引券印刷費。				
12	役務費	16	賞状筆耕料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	シルバー人材センター運営助成事業	高齢者の生きがいづくり活動、高齢者福祉の推進に寄与する団体への補助金交付。	19	負担金補助及び交付金	10,138		
					計	10,138		
2	ソフト	○ 入浴料金割引券交付事業	高齢者の外出を促して社会参加の促進を図り、健康増進と福祉向上を目的とする。 ・1枚あたり300円の割引券を年間24枚交付。 ・対象者:【高齢者】70歳以上の住民で市に申請した方に交付。 ・実施施設は、市内で公衆浴場法により日帰り入浴を営業し、市に届け出をおこなっている施設であること。	20	扶助費	38,047		
				11	需用費	1,554		
					計	39,601		

予算書ページ	130
--------	-----

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103140	在宅福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	49,468	0	1,585	0	15,054	32,829
前年度	45,905	0	1,619	0	11,062	33,224
増減額	3,563	0	△ 34	0	3,992	△ 395

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	1,575	20	緊急通報システム利用料滞納繰越分	1	20	生活管理短期宿泊利用料	422	
15	緊急宿泊支援事業補助金	10	20	配食サービス利用料	10,535	20	生活管理短期宿泊利用料滞納繰越分	1		
17	ふるさと寄附金	2,000	20	配食サービス利用料滞納繰越分	1	20	軽度生活援助利用料	242		
20	緊急通報システム利用料	1,782	20	生活管理指導利用料	70					

【目的・効果】

【目的】

各種サービスを活用して高齢者の在宅生活を安心して生活できるように支援。

【効果】

在宅高齢者の健康増進につながることにより、施設に頼らない在宅生活での継続を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス等、高齢者の在宅生活を支援する各種サービスを業者に委託し実施。
- ・高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与する事業に対して補助金交付。
- ・所得、介護認定等の一定の要件を満たし、段差解消等の住宅改良工事を実施した場合に費用の一部を補助。
- ・要介護3以上の認定を受け入れている高齢者に対して、500円分のタクシー券を年間最大30枚交付。

【詳細事業内訳】

配食サービス事業 21,340千円 外国人高齢者特別給付金支給事業 120千円 緊急通報サービス事業 9,478千円 軽度生活援助サービス事業 929千円 緊急宿泊支援事業 20千円 健康長寿のまちづくり推進事業 4,706千円 訪問理美容サービス事業 400千円 生活管理短期宿泊事業 1,320千円 高齢者外出支援事業 3,767千円 徘徊高齢者家族支援サービス事業 20千円 生活管理指導員派遣事業 708千円 高齢者の生きがいと健康づくり事業 3,510千円 高齢者にやさしい住宅改良促進事業 3,150千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	600	健康体操指導員派遣事業の講師謝礼				
11	需用費	179	返信用印刷費				
13	委託料	32,455	配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス事業他。				
19	負担金補助及び交付金	10,766	高齢者生きがいと健康づくり事業、健康長寿のまちづくり事業、高齢者にやさしい住宅改良事業補助金。				
20	扶助費	5,468	緊急宿泊支援、高齢者外出支援、訪問理美容、生活管理短期宿泊事業。				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	配食サービス事業	栄養バランスに配慮したお弁当をお届けするとともに安否確認を行うことにより、安心して在宅生活ができる。 ・食事の用意が困難で見守りが必要な概ね65歳以上の一人暮らしの人や障がい者、高齢者のみの世帯。 ・1週間あたり5食までの食事の配達(安否確認を含む) ・お弁当1食400円、おかずのみ1食350円	13	委託料	21,340
					計	21,340
2	ソフト	健康長寿のまちづくり推進事業	健康増進や介護予防のために健康づくりの活動を定期的に行う団体に支援をすることにより、高齢者の運動機能の向上を目的とし健康長寿の増進に役立つ。 ・補助金は①講師謝礼、②会場使用料に係る経費とし半額を補助し年間上限60,000円とする。	19	負担金補助及び交付金	4,106
				08	報償費	600
					計	4,706

重点施策と 推進政策	(1)-イ		コード	010501200		
			課・係等	長寿社会課 長寿福祉係		
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業			

予算書ページ	130
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	92,568	0	0	0	12,041	80,527
前年度	87,426	0	0	0	12,801	74,625
増減額	5,142	0	0	0	△ 760	5,902

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
12	老人入所措置費個人負担金滞納繰越分	1								12,041

【目的・効果】
【目的】
 心身及び経済的な理由から在宅生活が困難な高齢者を施設に入所措置し、養護をするとともに、自立した日常生活が営めるよう援助する。
【効果】
 施設入所により施設内での自立した生活や社会活動に参加するための訓練、支援が受けられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・入所に際しての判定会議を開催する。
 ・養護が必要な高齢者を市が措置費を支払い、養護老人ホームに入所措置を行う。また利用者及び扶養義務者から所得に応じて負担金を徴収する。

【詳細事業内訳】
 老人福祉施設入所措置事業 92,568千円

【一般財源増加理由】 老人福祉施設入所措置事業扶助費(92,551千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	17	老人ホーム入所判定委員会出席謝礼				
20	扶助費	92,551	養護老人ホーム措置費用				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	老人福祉施設入所措置事業	環境的・経済的な理由によって在宅において生活することが困難な場合に、福祉事務所長が養護老人ホームに措置入所することにより生活支援や社会参加をするために必要な指導及び訓練等が受けられる。 ・原則65歳以上で環境的・経済的な理由により、在宅において生活することが困難な人(市老人ホーム入所判定委員会が入所の必要性を判断します。)	20	扶助費	92,551
				08	報償費	17
					計	92,568
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010501200		予算書ページ	130
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	124,236	0	0	0	28,405	95,831
前年度	113,198	0	0	0	36,802	76,396
増減額	11,038	0	0	0	△ 8,397	19,435

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	穂高老人保健センター	5,112	20	高齢者福祉施設目販機電気料	185				
13	豊科ふれあいホール使用料	250	20	高齢者福祉施設公衆電話料	1					
13	総合福祉センター使用料	1	20	デイサービスセンター指定管理者納付金	7,550					
20	老人保健センター売上等	10	20	総合福祉センター管理費等徴収金	15,296					

【目的・効果】

【目的】

高齢者の健康、福祉増進や要介護者の在宅生活を支援するため、市の各種施設を管理運営する。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活でき、健康、福祉増進が図られることにより、健康長寿が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高地域福祉センター、三郷福祉センター(三郷屋内ゲートボール場を含む)は、指定管理者制度により管理運営。
- ・介護保険施設であるデイサービスセンター5施設(豊科、穂高、三郷、堀金、明科)は、指定管理者制度により管理運営。

【詳細事業内訳】

老人福祉施設等管理事業 124,236千円

【一般財源増加理由】		穂高老人保健センター解体工事(24,473千円)、堀金デイサービスセンター特殊浴槽の購入(7,943千円)							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	24,886	各施設光熱費、小破修繕、施設管理消耗品他。		19	負担金補助及び交付金	4	防火管理協会負担金	
12	役務費	136	ふれあいホールピアノ調律、各施設マット交換、明科福祉センター汚泥汲取り手数料。						
13	委託料	56,303	各施設設備等管理、指定管理、穂高老人保健センター解体工事設計・監理委託料他						
14	使用料及び賃借料	10,415	穂高老人保健センター、三郷福祉センター借地料。穂高老人保健センター排水処理施設、温泉使用料。						
15	工事請負費	24,473	穂高老人保健センター解体工事						
17	公有財産購入費	7,943	堀金デイサービスセンター特殊浴槽の購入						
18	備品購入費	76	ふれあいホール備品(ピンマイク、掃除機)						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	老人福祉施設等管理事業	大規模な修繕等は市が受け持ち、民間業者等が有するノウハウを運営に活用することにより、住民サービスの質の向上が図られる。①豊科、穂高、三郷、堀金、明科デイサービスセンター及び穂高、三郷福祉センターの指定管理委託。②穂高老人保健センター解体工事、堀金デイサービスセンターの特殊浴槽(スパーラダリーバス)購入	13	委託料	56,303
				11	需用費	24,886
				15	工事請負費	24,473
				14	使用料及び賃借料	10,415
					計	116,077
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010501100
課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算書ページ	166
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	04	災害救助費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	災害救助費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103570	災害救助費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	0	0	0	0	500
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

自己の居住の用に供する家屋における火災の罹災者に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。

【効果】

罹災者の福祉の向上に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・火災により死亡した者に対する弔慰金 100千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね70パーセント以上に達したとき 50千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね20パーセント以上に達したとき 30千円

【詳細事業内訳】

災害弔慰金等支給事業 500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
20	扶助費	500	火災の罹災者に対する見舞金及び弔慰金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	災害弔慰金等支給事業	見舞金を速やかに支給することにより、生活者への不安が緩和され、罹災者の生活再建への意欲向上が期待できる。	20	扶助費	500
					計	500
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010502100
課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	118
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103040	障がい者支援センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	67,453	4,502	3,838	0	1,500	57,613
前年度	67,984	4,097	3,597	0	1,500	58,790
増減額	△ 531	405	241	0	0	△ 1,177

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	4,502	20	障害者就労支援センター指定 管理者納付金	900				
15	地域福祉総合助成金	1,587								
15	地域生活支援事業補助金	2,251								
20	障害者活動支援センター指定 管理者納付金	600								

【目的・効果】

【目的】

- 障害者活動支援センター:食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供する。
- 就労継続支援B型事業所:就労や生産活動の機会を提供すると共に、一般就労への移行に向けた必要な支援・指導等を行う。
- 地域活動支援センター:社会交流の促進や創作活動の場を提供することで、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。

【効果】

- 障がい児者のニーズに即した適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、堀金かえでの家、明科ふきぼこの家、ひめこぶしの家の7施設について指定管理の委託を行う。地域生活支援センターである、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家については指定管理料を支払う。
- ひめこぶしの家では、エアコン設置工事を行う。

【詳細事業内訳】

障がい者支援センター運営事業 67,453千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	600	指定管理施設修繕費				
13	委託料	66,729	指定管理委託料				
15	工事請負費	124	ひめこぶしの家エアコン設置工事(和室1部屋分)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○ ひめこぶしの家エアコン設置工事	ひめこぶしの家の和室1部屋にエアコン設置工事を行う。	15	工事請負費	124	
					計	124	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)	コード	010502100		予算書ページ	120
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103050	障がい者支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,460,304	724,862	362,431	0	450	372,561
前年度	1,315,695	654,518	327,258	0	450	333,469
増減額	144,609	70,344	35,173	0	0	39,092

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	自立支援給付費負担金	669,698	15	障害児入所給付費等負担金	15,492					
14	自立支援医療負担金	24,180	15	自立支援医療負担金	12,090					
14	障害児入所給付費等負担金	30,984						(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	256,000	

【目的・効果】

【目的】

障害者総合支援法、児童福祉法に基づき、障がい者、障がい児が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用者に対して必要な給付を行う。

【効果】

障がい者、障がい児の自立した日常生活及び社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業内容】

- ・自立支援医療給付(更生・育成・療養介護)
- ・自立支援給付(障害福祉サービス等[介護給付費、訓練等給付費、障害者相談支援給付費、特定障害者特別給付費、やむを得ない事由による措置]・補装具費・高額障害福祉サービス費)
- ・障害児通所給付費(児童発達支援、放課後等デイサービス費、保育所等訪問支援、障害児相談支援給付費)
- ・支援区分認定等事務(認定調査員賃金、消耗品、医師意見書、支援区分認定審査会負担金)

【費用負担】

- ・給付基準額に対し、国:1/2、県:1/4、市:1/4
- ・支援区分認定等事務は平成28年度より一般財源

【詳細事業内訳】

障害支援区分認定等事務 5,988千円 自立支援給付事業 1,392,348千円 障害児通所支援給付事業 61,968千円

【一般財源増加理由】	利用者の意向を踏まえ、総合的・継続的なサービスを提供することにより、利用者、利用量の増加により、費用の増加が見込まれる。						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	2,192	障害認定区分認定調査員賃金				
08	報償費	270	育成医療審査に係る医師への謝礼				
12	役務費	3,350	国保連支払手数料、認定調査医師意見書作成				
13	委託料	1,024	総合福祉事務システム改修委託料				
14	使用料及び賃借料	648	障害福祉サービス請求内容チェックシステム借上料				
19	負担金補助及び交付金	2,819	支援区分認定審査会負担金(松本広域連合)				
20	扶助費	1,450,001	自立支援医療給付費、自立支援給付費、障害児通所給付費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	自立支援給付事業	地域社会における共生の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実など障がい者、障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	1,388,033
				12	役務費	2,373
				13	委託料	1,024
				14	使用料及び賃借料	648
					計	1,392,078
2	ソフト	障害児通所支援給付事業	地域社会における共生の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実など障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	61,968
					計	61,968

予算書ページ	120
--------	-----

重点施策と 推進政策	(2)-口	コード	010502100
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	13,236	国支出金	県支出金	市債	その他	8,236
前年度	8,640	0	0	0	0	8,640
増減額	4,596	0	0	0	5,000	△ 404

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	5,000							

【目的・効果】

【目的】

子ども発達支援相談室に専門職を配置し、発達に心配のある子ども及び保護者の相談、個別療育、教室運営など発達支援に必要な事業の実施及び支援に必要な情報が共有できるネットワークの構築を図ることにより、自立した生活を営むことができる児童の育成をする。

【効果】

- ・障がいの早期発見や相談体制の強化により、安心して生活できる環境を整備していく。
- ・早期療育を実施することにより生活における二次障害を予防する。
- ・自立した生活基盤の確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

子ども発達支援相談室に専門職を配置し、発達に心配のある子ども及び保護者の相談、個別療育、教室運営など発達支援に必要な事業の実施。

- 1) 早期発見、早期支援のための個別相談
- 2) 乳幼児期から途切れることのない子どものライフステージに応じた一貫した支援と支援に必要な情報の共有化、発達に心配のある子ども連絡会の開催
- 3) 保育所等への巡回的相談
- 4) 遊びの教室、子育てサポートプログラム、はいはいたちの相談日(新規事業)事業の実施
- 5) 学校、保育所等対応職員との連携強化と専門性向上のための支援

【詳細事業内訳】

児童発達支援事業 13,236千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	10,871	子ども相談員による相談事業、遊びの教室実施臨時賃金	27	公課費	9	公用車車検に伴う重量税
08	報償費	1,104	遊びの教室、はいはいたちの相談日、子育てサポートプログラム講師謝礼				
09	旅費	123	職員研修会旅費および講師費用弁償				
11	需用費	620	相談業務記録、心理検査用紙、遊びの教室等用消耗品等				
12	役務費	363	公用車及び相談業務等電話料				
18	備品購入費	116	遊びの教室備品				
19	負担金補助及び交付金	30	研修会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	児童発達支援事業	【事業】平成29年度は、発達段階の中で不足していた月齢に対し相談事業「はいはいたちの相談日」を実施。早期に療育に対する専門機関(児童発達支援事業)へ移行するための方法について検討する。 【効果】早期に療育事業を実施することにより二次障害を防ぎ、発達の加速化を図り自立した生活を送れる児童を育成する。	07	賃金	10,871
				08	報償費	1,104
				11	需用費	620
				12	役務費	363
					計	12,958
2					計	0

重点施策と推進政策	(2)
-----------	-----

コード	010502100
課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	122
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	84,109	26,390	13,195	0	0	44,524
前年度	86,564	27,698	13,849	0	0	45,017
増減額	△ 2,455	△ 1,308	△ 654	0	0	△ 493

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	26,390							
15	地域生活支援事業補助金	13,195								

【目的・効果】
【目的】
 ・障害者総合支援法第77条及び第78条に基づく地域生活支援事業
 障がい者、障がい児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を総合的に実施する。
【効果】
 基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業内容】
 ・理解促進啓発事業・自発的活動支援事業・相談支援事業・成年後見制度利用支援事業・成年後見制度法人後見支援事業・意思疎通支援事業・日常生活用具給付事業・手話奉仕員養成研修事業・移動支援事業・地域活動支援センター事業・訪問入浴事業・日中一時支援事業・レクリエーション活動等支援・芸術文化活動振興
【費用負担】
 基準額に対して、国:1/2、県:1/4、市:1/4

【詳細事業内訳】
 日常生活用具給付等事業 25,000千円 移動支援、訪問入浴、日中一時支援事業 35,796千円 自発的活動支援事業(補助金) 953千円 障がい者相談支援事業 15,749千円 理解促進研修・啓発事業 6千円 手話奉仕員養成研修事業 646千円 地域活動支援センター事業(Ⅱ型) 894千円 意思疎通支援事業 1,337千円 レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業(補助金) 1,322千円 成年後見制度事業 2,406千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	628	手話奉仕員養成研修講座講師謝礼				
11	需用費	24	理解促進啓発事業・手話奉仕員研修養成講座				
12	役務費	1,337	意思疎通支援事業				
13	委託料	51,545	障害者相談支援事業・移動支援事業・日中一時支援事業・訪問入浴事業				
19	負担金補助及び交付金	4,225	自発的活動支援事業・成年後見支援センター事業・レクリエーション等活動支援・芸術文化活動振興				
20	扶助費	26,350	成年後見制度利用・日常生活用具・地域活動支援センター利用給付				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	理解促進研修・啓発事業	障がい者等が、日常生活または社会生活を営むうえで生じる「社会的障壁」を除去するため障がい者等の理解を深めるための研修(信州あいサポート)を実施し、多様な障がいの特性を理解し、障がいのある方が困っている時等に手助けできるサポーターを育成する。	11	需用費	6
					計	6
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)	コード	010502100			
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業			

予算書ページ	122
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,482	0	0	0	0	4,482
前年度	4,438	0	0	0	0	4,438
増減額	44	0	0	0	0	44

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・在宅の精神障がい者の社会復帰の促進と精神障がい者を抱える家族の精神的負担の軽減を図る。
 ・ひきこもり者支援についての方向性を探り、個別事案に関しては社会復帰の支援を実施する。
【効果】
 ・精神障がい者(ひきこもり者を含む)の社会復帰及び家族の負担軽減と支援方法の獲得を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・主治医のいない精神等障がいのある困難な事例に対する症例検討実施時に精神科医からのスーパーバイズを受ける事業の実施(新規事業)
 ・精神障がい者を抱える家族に対し、情報の提供や対応のスキルアップ、同じ悩みを持つ家族同士の意見交換等による家族の精神的負担の軽減、精神障がい者が回復を促す暮らしやすい環境づくりのための家族教室の実施
 ・ひきこもり支援に関する知識及び対応方法を学ぶための研修会の開催と地域の実情の把握と個別支援

【詳細事業内訳】
 精神障がい者等相談支援事業 3,458千円 ひきこもり支援事業 1,024千円

【一般財源増加理由】 支援困難ケース処遇検討精神科医師謝礼及び賃金単価の増額による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,270	精神障がい者等相談保健師及びひきこもり支援担当保健師臨時賃金				
08	報償費	152	精神障がい者家族教室ひきこもり支援講演会及び支援困難者症例検討講師謝礼				
09	旅費	41	講師実費弁償				
13	委託料	19	精神障がい者家族教室視察研修バス運行委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ひきこもり支援事業	【事業内容】 一般市民を対象に講演会の開催、ひきこもり者の家族の支援のための家族会の設立、ひきこもり支援事業のプロジェクト、庁内連携会議の実施。重点事業として新たな社会資源としてひきこもりからの回復のための居場所づくりについての検討を庁内連携会議で検討する。 【効果】 ひきこもり本人や家族を支援することにより、本人及び家族等の福祉の増進を図り、自立した生活が可能となる。	07	賃金	943
				08	報償費	50
				09	旅費	31
					計	1,024
2					計	0

重点施策と推進政策	(1)
-----------	-----

コード	010502100
課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	124
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103090	障がい者福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	131,624	39,178	3,565	0	0	88,881
前年度	136,238	42,037	3,710	0	0	90,491
増減額	△ 4,614	△ 2,859	△ 145	0	0	△ 1,610

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	特別障害者手当負担金	39,178							
15	地域福祉総合助成金	3,104								
15	特別児童扶養手当事務委託金	461								

【目的・効果】

【目的等】

○障がい者等の誰もが生きがいを持って生き生きと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現に向けて、様々な補助事業及び扶助を総合的・一体的に実施する。

【効果】

○自分らしく心豊かな生活を送るための福祉サービスができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- やまびこ学園の運営補助のため委託料を支払う。
- 障がい者団体(身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、聴覚障害者協会、夢の実)への補助金交付を行う。
- 障がい者の外出を支援するための外出支援事業、ふれあいバスも旅事業へ補助を行う。
- 障がい者の生活を扶助するための特別障害者手当・障害児福祉手当、タイムケア事業、重度心身障害者・児福祉金、透析通院支援等を実施する。
- 介護を必要とする障がい者へしゃくなげの湯家族風呂利用料の補助を行う。
- あったカフェ運営への補助を行う。

【詳細事業内訳】

特別児童扶養手当事務 464千円 障害者余暇活動支援事業補助 300千円 特別障害者・障害児福祉手当事業 55,197千円 重度心身障害児・者福祉金事業 23,688千円 重度障害者家族介護慰労金事業 5,500千円 身体障害者補助犬飼育助成事業 36千円 自動車運転免許取得・改造助成事業 600千円 通所通園補助事業補助 421千円 特定疾患見舞金事業 7,800千円 軽度・中程度難聴児補聴器購入補助 200千円 障害者社会参加促進事業補助 1,350千円 障がい者外出支援事業 5,274千円 透析患者通院支援事業 4,243千円 障がい福祉総務費 9,473千円 障害者住宅等整備事業補助 3,150千円 障害者福祉団体活動補助 1,288千円 障害児・者タイムケア事業 2,323千円 障がい児療育・精神障がい者自立支援事業運営委託 8,935千円 家族介護用品購入助成事業 638千円 身体障害者会館運営事業 556千円 障害児通園施設利用児童育支援補助 138千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,825	臨時職員賃金	20	扶助費	104,663	重度心身障害児・者福祉金、特定疾患見舞金、特別障害者・障害児福祉手当
08	報償費	526	講師謝礼、医師謝礼、障害福祉運営委員謝礼				
09	旅費	99	職員研修会旅費				
11	需用費	716	特別児童扶養手当事務、障がい者支援事務、障がい福祉総務事務消耗品				
12	役務費	159	クリーニング代、健康診断料、損害保険料、手話通訳等派遣費用				
13	委託料	9,511	やまびこ学園運営委託料、豊科身体障害者会館指定管理料、大型バス運行委託料				
19	負担金補助及び交付金	12,125	ささらの里建設負担金、障害者住宅等整備事業補助金、ふれあいバスの旅補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	○	しゃくなげの湯家族風呂(暖らんの湯)利用補助	介護を必要とする障がい者へしゃくなげの湯家族風呂利用料の補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	594	
						計	594	
2	ソフト	○	あったカフェ運営補助	あったカフェの運営を安定させるため運営費の補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	240	
						計	240	

重点施策と推進政策	(4)	コード	010502200		予算書ページ	126
		課・係等	福祉課 生活支援担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,458	7,648	0	0	0	2,810
前年度	8,679	6,414	0	0	0	2,265
増減額	1,779	1,234	0	0	0	545

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	生活困窮者住居確保給付金負担金	693								
14	子ども学習支援事業補助金	185								
14	就労準備支援事業補助金	800								

【目的・効果】

【目的】

生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援する。

【効果】

個別に具体的な支援プランを作成することで、提供するサービス(事業)が明確になり自立支援につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・自立相談支援機関(委託)による、相談支援、支援調整会議開催、支援プランの作成を行い、サービス(事業)の提供を行う。
- ・離職者に対し、住居確保給付金の支給を行い求職活動を支援する。
- ・子ども学習支援事業を行い、将来において最低限度の生活を維持できることを目指す。
- ・県との共同で就労準備支援事業を行い、一般就労が困難な者に対し、就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から実施し一般就労に結び付ける。

【詳細事業内訳】

住居確保給付金事業 925千円 生活困窮者自立相談支援事業 7,961千円 子ども学習支援事業 372千円 就労準備支援事業 1,200千円

【一般財源増加理由】		新規事業である就労準備支援事業が追加されたため									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	52	中間教室非常勤職員(学校講師)休日出勤分賃金 1,431円×3時間×6日×2人=51,516円								
13	委託料	8,281	生活困窮者自立相談支援事業委託、子ども学習支援事業委託								
19	負担金補助及び交付金	1,200	就労準備支援事業(共同実施)の負担金								
20	扶助費	925	住居確保給付金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども学習支援事業	生活困窮世帯の子どもに対して東日本大震災時に学習支援を行いノウハウのある大学生が学習・居場所づくり等の支援を行うことにより貧困の連鎖を食い止める。	13	委託料	320
				07	賃金	52
					計	372
2	ソフト	○ 就労準備支援事業	一般就労が困難な困窮者に対して、就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から有期で実施し、一般就労につなげる。	19	負担金補助及び交付金	1,200
					計	1,200

重点施策と 推進政策	(4)	コード	010502200		予算書ページ	162
		課・係等	福祉課 生活支援担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103510	生活保護総務費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	845,064	574,726	8,880	0	13,857	247,601
前年度	909,651	612,796	8,750	0	11,700	276,405
増減額	△ 64,587	△ 38,070	130	0	2,157	△ 28,804

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	被保護者就労支援事業負担金	1,370	20	返還金及び徴収金	10,800					
14	生活保護適正実施推進事業補助金	371	20	返還金及び徴収金過年度分	1,856					
15	生活保護費県負担金	8,880	20	貸付金元金収入過年度分	1					

【目的・効果】
【目的】
 ・要保護者の生活維持と自立支援を図るため、生活扶助、医療扶助等を給付する。
【効果】
 ・保護費の支給により、最低限度の生活が維持できる。
 ・生活環境を整え、就労へつなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生活保護受給者に対し、生活保護費(扶助費)を支給する。
 ・レセプト点検により、適正な医療扶助費の支給に努める。

【詳細事業内訳】
 生活保護費給付事業 774,280千円 生活保護適正実施推進事業 420千円 旅行者対策事業 100千円 生活保護支援資金貸付事業 1,200千円 就労自立給付金事業 500千円 生活保護総務費 68,564千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
02	給料	33,596	一般職(職員課)		12	役務費	762	電話料、審査手数料、公用車点検手数料等	
03	職員手当等	15,098	職員諸手当(職員課)		13	委託料	1,864	レセプト点検委託、介護保険認定調査委託、介護保険審査判定委託、システム保守委託	
04	共済費	9,355	職員共済組合納付金(職員課)		14	使用料及び賃借料	1,401	訪問支援システムレンタル料881,280円、レセプト管理システム使用料518,400円	
07	賃金	5,289	非常勤職員賃金 3人分		20	扶助費	774,880	生活保護扶助費、就労自立給付金	
08	報償費	558	嘱託医手当 2人分		21	貸付金	1,200	生活保護支援貸付金	
09	旅費	105	職員研修等旅費						
11	需用費	956	参考図書、緊急避難所修繕費、公用車燃料、公用車修繕等						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	生活保護費給付事業	要保護者に対し生活維持と自立支援を図るため、適正な生活扶助、医療扶助等を給付する。保護費の支給により最低限度の生活維持が可能になる。	20	扶助費	774,280	
					計	774,280	
2					計	0	

重点施策と推進政策	(4)
-----------	-----

コード	010502200
課・係等	福祉課 生活支援担当

予算書ページ	164
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,707	44,881	0	0	744	35,082
前年度	82,943	47,514	0	0	716	34,713
増減額	△ 2,236	△ 2,633	0	0	28	369

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	障害者就労支援センター電気料	500								
20	社会就労センター自販機電気料	244								

【目的・効果】
【目的】
 ・社会就労センター管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うこと。
【効果】
 ・民間のノウハウを取り込むことで、管理経費の削減やサービスの向上を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・社会就労センターの管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うため指定管理者へ管理運営に関する業務を委託する。
 ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
 ・各企業から1年を通じて安定的な仕事を確保する。
 ・利用者の確保と一般就労への支援を行う。

【詳細事業内訳】
 社会就労センター管理費 80,707千円

【一般財源増加理由】 国庫支出金額が減少したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	400	施設修繕費				
12	役務費	52	空調設備点検手数料				
13	委託料	78,224	指定管理委託料				
15	工事請負費	731	自動ドア装置交換工事、防虫対策工事				
19	負担金補助及び交付金	1,300	社会就労センター福利厚生等事業への補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	社会就労センター管理費	社会就労センターの管理運営を指定管理者へ委託。民間のノウハウ等を活かし、事業の効率化・安定化が期待できる	13	委託料	78,224
				19	負担金補助及び交付金	1,300
				15	工事請負費	731
				11・12	需用費・役務費	452
					計	80,707
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-口	コード	010503100		予算書ページ	126
		課・係等	子ども支援課 児童係			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,245	13,253	4,658	0	2	9,332
前年度	29,098	14,967	5,546	0	2	8,583
増減額	△ 1,853	△ 1,714	△ 888	0	0	749

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	母子生活支援施設等入所者負担金	2	15	母子生活支援施設入所県負担金	4,637				
14	母子生活支援施設入所国庫負担金	9,275	15	母子家庭等日常生活支援事業補助金	21					
14	母子家庭自立支援給付金事業補助金	3,313								
14	児童虐待・DV対策総合支援事業補助金	665								

【目的・効果】

【目的】

・DV被害者及びひとり親家庭への相談及び支援を行うことにより、安全で安心した生活ができる環境づくりを行う。

【効果】

・相談を行うことにより、重篤な事件を未然に防ぐ。
 ・安全で安心な生活環境を提供することにより、母子家庭等のひとり親家庭の早期自立ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・配偶者からの暴力に関するDV相談及び保護、自立に向けての支援
 ・ひとり親家庭の自立に関する相談及び支援

【詳細事業内訳】

母子福祉事業 4,485千円 女性保護事業 22,760千円

【一般財源増加理由】 緊急避難施設の修繕工事を行うため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,953	女性相談員・母子父子自立支援員賃金				
09	旅費	114	DV被害者等県外移送支援旅費、各種研修会参加旅費				
11	需用費	425	緊急避難施設 清掃用具・灯油・光熱水費・修繕費、DV防止リーフレット・啓発カード印刷				
12	役務費	98	携帯電話料				
15	工事請負費	1,595	緊急避難施設 浴室改修工事、エアコン設置工事				
19	負担金補助及び交付金	10	母子自立支援員及び婦人相談員連絡協議会負担金				
20	扶助費	23,050	母子自立支援施設入所措置費、母子家庭高等技能訓練促進費、DV避難時緊急対策費用				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	女性保護事業	緊急避難施設の整備を行うことにより、DV被害者等の安全を確保することができ、被害者の不安を解消できる。	15	工事請負費	1,595
					計	1,595
2					計	0

予算書ページ	138
--------	-----

重点施策と 推進政策	(2)-口	コード	010503100
		課・係等	子ども支援課 児童係

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	1,996,548	国支出金	県支出金	市債	その他	576,091
前年度	2,030,503	1,178,216	240,147	0	1,105	611,035
増減額	△ 33,955	△ 17,542	△ 5,873	0	24,404	△ 34,944

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	児童扶養手当国庫負担金	100,706	14	子ども子育て支援交付金	3,669	20	児童手当返還金	5	
14	児童扶養手当国庫負担金精算分	1	15	児童手当県費負担金	230,599	20	児童扶養手当返還金	504		
14	児童手当国庫負担金	1,056,236	15	子ども子育て支援交付金	3,669		(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	329,000		
14	児童手当国庫負担金前年度精算分	1	15	児童福祉施設入所負担金判定委託金	6					
14	児童虐待・DV対策総合支援事業補助金	61		ふるさと寄付金	25,000					

【目的・効果】

【目的】

- ・児童虐待防止、虐待の早期発見と要保護児童対策の強化をはかる。
- ・児童手当、児童扶養手当、子育て応援手当を支給することにより子育て世代への経済的支援を行う。

【効果】

- ・虐待防止及び虐待を早期に発見することにより、要保護児童の安全確保ができる。
- ・児童手当等の支給により経済的支援が充実され、よりよい子育て環境が維持と子育て世代の移住定住が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童相談所等の関係機関と連携した家庭児童相談事業の実施。
- ・児童手当法及び児童扶養手当法に基づく手当の支給。
- ・子育て応援手当実施要綱に基づく手当の支給。

【詳細事業内訳】

児童扶養手当給付事業 302,155千円 家庭児童相談事業 7,309千円 ファミリーサポート事業 6,860千円 子育て応援手当給付事業 40,478千円
児童福祉総務費 121,705千円 児童手当給付事業 1,518,041千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	64,765		12	役務費	480	公用車車検、点検手数料、自賠責保険料、子育て応援手当振込手数料
03	職員手当等	31,402		13	委託料	8,435	ファミリーサポート事業運営、子育て応援手当システム保守業務、家庭児童相談システム保守業務
04	共済費	20,200		19	負担金補助及び交付金	67	児童虐待防止研修会参加負担金、家庭児童相談員連絡協議会負担金
07	賃金	9,239	家庭児童相談員、児童係事務非常勤職員賃金	20	扶助費	1,860,123	児童手当、児童扶養手当、子育て応援手当、子育て支援ショートステイ
08	報償費	105	子ども・子育て会議 出席謝礼	27	公課費	41	公用車重量税
09	旅費	74	要保護児童県外移送支援旅費・児童虐待防止研修参加旅費				
11	需用費	1,617	事務用品、参考図書、公用車 タイヤ・燃料・修繕費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子育て応援手当給付事業	保育所等を利用せず、家庭内保育を実施している第2子以降の児童1人に対し、月額3,000円の手当を支給することにより、子育て世代の経済的負担を軽減させ、子育て世代の移住定住が期待できる。	20	扶助費	39,600
				13	委託料	584
				12	役務費	238
				11	需用費	56
					計	40,478
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-口
---------------	-------

コード	010503100
課・係等	子ども支援課 児童係

予算書ページ	138
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103240	児童遊園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,000	0	0	0	0	1,000
前年度	6,210	0	0	0	0	6,210
増減額	△ 5,210	0	0	0	0	△ 5,210

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】
- ・小規模公園の整備を行うことにより、児童の安全な遊び場の確保を図る。
 - ・小規模公園の整備方針を策定し、公園管理の一元化を図る。
- 【効果】
- ・危険遊具の計画的な撤去・修繕により、児童の遊び場としての安全が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成24年度からの計画的な更新工事により、安全点検の結果危険な遊具の更新工事は一定の成果をみたと考えられるため、29年度については、危険遊具の撤去及び緊急的な修繕工事を行う。

【詳細事業内訳】
小規模公園整備事業1,000千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		15	工事請負費	1,000	小規模公園危険遊具撤去・修繕工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と推進政策	(2)-イ
-----------	-------

コード	010503200
課・係等	子ども支援課 保育担当

予算書ページ	140
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103290	公立認定こども園整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,144,142	0	0	1,059,900	0	84,242
前年度	1,031,606	0	0	899,300	70,000	62,306
増減額	112,536	0	0	160,600	△ 70,000	21,936

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	保育所建設事業	566,100							
21	施設整備事業債	493,800								

【目的・効果】
【目的】
 ・子育て支援の充実を図るため、老朽・狭隘化した園舎を新築・改修し、未満児室・延長保育室を設置充実するなど教育・保育環境を整備する。
【効果】
 ・施設更新により、教育・保育環境と耐震性能、防犯性能の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 アルプス認定こども園・・・新園舎西側の園庭工事を行い、関連工事を完了する。
 明科南認定こども園・・・敷地造成工事を進めると共に、実施設計を行う。
 三郷北部認定こども園・・・園舎建設工事を進める。
 たつみ認定こども園・・・現園舎北側の取得用地分で造成工事を行う。実施設計を進める。

【詳細事業内訳】
 アルプス認定こども園建設事業 25,095千円 たつみ認定こども園建設事業 248,616千円 明科南認定こども園建設事業 336,843千円 三郷北部認定こども園建設事業 533,588千円

【一般財源増加理由】 園舎新築工事と並行し他の造成工事進むため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	8,531	新三郷北部認定こども園開園に伴う消耗品の購入				
12	役務費	1,131	認定こども園建て替えに伴い、実施設計中の適合判定手数料外				
13	委託料	53,173	実施設計費、建設工事施工管理費外				
14	使用料及び賃借料	694	仮設駐車場借地料				
15	工事請負費	1,068,150	三郷北部新築工事費、明科南・たつみ造成費用外				
18	備品購入費	10,414	新三郷北部認定こども園開園に伴う備品の購入				
22	補償補填及び賠償金	2,049	明科南造成工事に伴う電柱移転補償				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	明科南認定こども園建設事業	新園舎敷地の造成工事を完了させる。その後進める園舎新築工事を滞りなく進める。	15	工事請負費	315,475
				13	委託料	18,857
				22	補償補填及び賠償金	2,049
				12	役務費	462
					計	336,843
2	ハード	三郷北部認定こども園建設事業	新園舎の完成。必要備品消耗品の購入配置。子どもたちの教育・保育環境の充実。	15	工事請負費	500,535
				13	委託料	13,901
				18	備品購入費	10,414
					需用費外	8,738
					計	533,588

重点施策と 推進政策	(2)一ハ		コード	010503200		予算書ページ	142
			課・係等	子ども支援課 保育担当			
予算	款	03	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまち	
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち	
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実	
	事業	0103300	保育政策費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	413,576	184,166	72,796	0	13,005	143,609
前年度	230,806	89,175	36,175	0	32,418	73,038
増減額	182,770	94,991	36,621	0	△ 19,413	70,571

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	保育児童保育料	6,013	14	子ども子育て支援交付金	7,804	15	第3子以降の保育料減免事業補助金	1,080	
14	子どものための教育保育給付費負担金	122,991	15	子どものための教育保育給付費負担金	61,495	20	一時的保育料	6,930		
14	子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分	1	15	子育て支援総合助成金	1,258	20	病児・病後児保育料	62		
14	保育対策総合支援事業補助金	37	15	子どものための教育・保育給付費地方単独費用補助金	1,159					
14	保育所等整備交付金(保育所緊急整備事業)	53,333	15	子ども子育て支援交付金	7,804					

【目的・効果】

【目的】

- 子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付及び地域子ども・子育て支援事業の実施
- 認可外保育施設を支援し、認可外保育施設を利用する児童の処遇向上を図る
- 多子世帯に対する経済的負担の軽減
- 3歳未満児の保育の受け皿の拡大による待機児童の解消

【効果】

幼児期の良質な教育・保育が保護者の選択によって多様な実施主体において受けることができるほか、多子世帯に対する経済的負担の軽減や多様な保育サービス等により、子育て環境の充実が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- 児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付(私立の特定教育・保育施設(保育所、幼稚園、認定こども園)及び特定地域型保育事業(小規模保育事業、家庭的保育事業)に対する給付費の支給
- 地域子ども・子育て支援事業の実施(私立の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の延長保育事業に対する補助、病児・病後児保育事業の医療機関への業務委託、公立認定こども園における一時保育事業の実施)
- 認可外保育施設への補助金の交付
- 認可外保育施設や幼稚園(給付対象施設以外の幼稚園)を利用する第3子目以降の子どもに対する利用料に係る補助金の交付
- 小規模施設の施設整備に対する補助金の交付(3歳未満児の保育の受け皿の拡大による待機児童の解消)

【詳細事業内訳】

私立保育所等延長保育事業 10,689千円、私立保育所等特別保育事業 20,071千円、保育総務費 7,060千円、多子世帯保育料負担軽減事業 2,396千円、認可外保育施設支援事業 7,274千円、子どものための教育・保育給付費 270,628千円、病児・病後児保育事業 13,475千円、一時預かり事業 18,635千円、実費徴収補給給付事業 84千円、小規模保育施設整備事業 60,000千円、保育士等処遇向上事業 3,264千円

【一般財源増加理由】 認定こども園及び地域型保育事業所の新設により幼児期の教育・保育給付の対象施設が増加したこと等による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	23,439	臨時職員賃金				
8	報償費	27	入園等支援委員会出席謝礼				
9	旅費	109	研修等旅費				
11	需用費	1,068	消耗品、印刷製本費、収納関係長帳票類				
13	委託料	15,934	病児・病後児保育事業、市外保育業務委託				
19	負担金補助及び交付金	372,999	私立保育所等延長保育事業、私立保育所等特別保育事業、多子世帯保育料負担軽減事業、認可外保育施設支援事業、子どものための教育・保育給付費、実費徴収補給給付事業、小規模保育施設整備事業、保育士等処遇向上事業				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子どものための教育・保育給付	私立の保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業を利用する子どもに対して、教育・保育給付費を負担するとにより、すべての子どもが発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けられる。	19	負担金補助及び交付金	270,628
					計	270,628
2	ソフト	小規模保育施設整備事業	小規模保育施設の設置者に整備に係る補助金を交付して、施設整備を行い、3歳未満児の受け皿を拡大することにより、待機児童の解消を図る。	19	負担金補助及び交付金	60,000
					計	60,000

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503200
課・係等	子ども支援課 保育担当

予算書ページ	142
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103310	認定こども園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,344,545	357	22,896	0	546,931	774,361
前年度	1,382,958	312	23,427	0	539,654	819,565
増減額	△ 38,413	45	△ 531	0	7,277	△ 45,204

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
12	突発長時間保育料	3,093	14	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金	357	20	認定こども園廃油売却代金	14		
12	保育児童保育料滞納繰越金	480	15	電源立地地域対策交付金	10,467	20	南穂高認定こども園太陽発電売電	10		
12	他市町村保育児童保育料	360	15	子育て支援総合助成金	189	20	西穂高認定こども園太陽発電売電	3		

【目的・効果】

【目的】

○安曇野市の公立認定こども園を適切に管理・運営し、子ども・子育て支援法、児童福祉法並びに認定こども園法に基づき、幼児期の教育・保育の給付を行う。

【効果】

○発達段階に応じた質の高い教育・保育及び子育て支援の提供ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

施設及び設備の点検及び修繕を行い、適切に維持管理するとともに、園長及び主任保育士を含め保育士に対して担当業務に必要な研修を行い、質を高めながら幼児期の教育・保育を提供する。また、信州やまほいく認定制度も活用しながら安曇野市としての特色ある教育・保育を実践していく。

【詳細事業内訳】

公立認定こども園管理費 1,344,545千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,230	園医報酬	11	需用費	5,224	認定こども園各園における施設修繕費
02	給料	360,241	職員給与	12	役務費	4,059	各園設置機器調整・点検・クリーニング外
03	職員手当等	158,303	職員諸手当	13	委託料	18,163	各園施設点検・業務委託外
04	共済費	102,579	職員共済組合納付金	14	使用料及び賃借料	9,345	コピー機リース料・借地料
07	賃金	661,775	臨時代替保育士・事務員外賃金	15	工事請負費	11,788	認定こども園各園における施設維持工事外
08	報償費	8,569	保育協力員外謝礼	19	負担金補助及び交付金	1,501	各種研修会等負担金外
09	旅費	768	保育士研修外参加旅費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公立認定こども園管理費	公立認定こども園を適切に管理・運営することにより、発達段階に応じた質の高い教育・保育及び子育て支援の提供ができる。	07	賃金	661,775
				02	給料	360,241
				03	職員手当等	158,303
				04	共済費	102,579
					計	1,282,898
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503200		予算書ページ	144
		課・係等	子ども支援課 保育担当			
予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103320	認定こども園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	346,151	0	0	0	20,872	325,279
前年度	331,017	0	0	0	22,809	308,208
増減額	15,134	0	0	0	△ 1,937	17,071

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	認定こども園職員給食代	20,872							

【目的・効果】
【目的】
 ・児童に安全安心な給食を提供する。
 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。
【効果】
 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
 ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・認定こども園給食調理業務委託を以下の区分に分け、業者に委託している。
 Aグループ 西穂高・北穂高・穂高
 Bグループ 有明の森・有明あおぞら・堀金
 Cグループ 三郷東部・三郷西部・三郷南部・三郷北部
 Dグループ 豊科・豊科南部・つつみ・アルプス
 Eグループ 南穂高・上川手・明科南・明科北
 ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
 ・職員保菌検査、ノロウイルス検査等の実施。
 ・老朽化した備品の整備

【詳細事業内訳】
 公立認定こども園給食運営費 346,151千円

【一般財源増加理由】 園児数の変動による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	206,638	園児食材費・食材用消耗品費・給食備品修繕外				
12	役務費	1,403	保菌検査・食品微生物拭き取り検査外				
13	委託料	137,339	給食調理業務委託外				
18	備品購入費	771	給食調理用外備品費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公立認定こども園給食運営費	・児童に安全安心な給食を提供する。 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。 ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。	11	需用費	206,638
				13	委託料	137,339
				12	役務費	1,403
				18	備品購入費	771
					計	346,151
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503201
課・係等	子ども支援課 豊科認定こども園

予算書ページ	146
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103330	豊科認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,194	0	0	0	0	6,194
前年度	7,009	0	0	0	0	7,009
増減額	△ 815	0	0	0	0	△ 815

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 豊科認定こども園管理 6,194千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼						
11	需用費	5,480	園光熱水費、保育用消耗品外						
12	役務費	182	電話料、機器調整費外						
13	委託料	162	雑排水処理施設管理外						
14	使用料及び賃借料	59	コピー機使用料外						
18	備品購入費	281	園必要備品購入費						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	豊科認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	5,480
				18	備品購入費	281
				12	役務費	182
				13	委託料	162
					計	6,105
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503202
課・係等	子ども支援課 豊科南部認定こども園

予算書ページ	146
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103340	豊科南部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,418	0	0	0	0	5,418
前年度	6,005	0	0	0	0	6,005
増減額	△ 587	0	0	0	0	△ 587

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】
 豊科南部認定こども園管理 5,418千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼						
11	需用費	5,005	園光熱水費、保育用消耗品外						
12	役務費	205	電話料、機器調整費外						
13	委託料	75	雑排水処理施設管理外						
14	使用料及び賃借料	103	コピー機使用料外						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	豊科南部認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	5,005	
				12	役務費	205	
				14	使用料及び賃借料	103	
				13	委託料	75	
					計	5,388	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503203
課・係等	子ども支援課 南穂高認定こども園

予算書ページ	148
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103350	南穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,962	0	0	0	0	6,962
前年度	6,533	0	0	0	0	6,533
増減額	429	0	0	0	0	429

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 南穂高認定こども園管理 6,962千円

【一般財源増加理由】		老朽化した園児用イス外の購入									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼								
11	需用費	5,976	園光熱水費、保育用消耗品外								
12	役務費	244	電話料、機器調整費外								
13	委託料	23	雑排水処理施設管理外								
14	使用料及び賃借料	66	コピー機使用料外								
18	備品購入費	623	園必要備品購入費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	南穂高認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	5,976
				18	備品購入費	623
				12	役務費	244
				14	使用料及び賃借料	66
					計	6,909
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503204
課・係等	子ども支援課 たつみ認定こども園

予算書ページ	148
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103360	たつみ認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,097	0	0	0	0	5,097
前年度	4,686	0	0	0	0	4,686
増減額	411	0	0	0	0	411

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 たつみ認定こども園管理 5,097千円

【一般財源増加理由】 老朽化した4歳児用テーブル・イスの購入

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	3,808	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	125	電話料、機器調整費外				
13	委託料	90	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	39	コピー機使用料外				
18	備品購入費	1,005	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	たつみ認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	3,808
				18	備品購入費	1,005
				12	役務費	125
				13	委託料	90
					計	5,028
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503205
課・係等	子ども支援課 アルプス認定こども園

予算書ページ	150
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103370	アルプス認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,435	0	0	0	0	4,435
前年度	5,178	0	0	0	0	5,178
増減額	△ 743	0	0	0	0	△ 743

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】
 アルプス認定こども園管理 4,435千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼						
11	需用費	4,200	園光熱水費、保育用消耗品外						
12	役務費	118	電話料、機器調整費外						
13	委託料	45	雑排水処理施設管理外						
14	使用料及び賃借料	42	コピー機使用料外						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	アルプス認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	4,200
				12	役務費	118
				13	委託料	45
				14	使用料及び賃借料	42
					計	4,405
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503206		予算書ページ	150
		課・係等	子ども支援課 上川手認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103380	上川手認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,081	0	0	0	0	4,081
前年度	4,339	0	0	0	0	4,339
増減額	△ 258	0	0	0	0	△ 258

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 上川手認定こども園管理 4,081千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	3,546	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	155	電話料、機器調整費外				
13	委託料	23	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	43	コピー機使用料外				
18	備品購入費	284	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	上川手認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	3,546
				18	備品購入費	284
				12	役務費	155
				14	使用料及び賃借料	43
					計	4,028
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ		コード	010503207		予算書ページ	152
			課・係等	子ども支援課 有明の森認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち	
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実	
	事業	0103390	有明の森認定こども園費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,044	0	0	0	0	6,044
前年度	6,009	0	0	0	0	6,009
増減額	35	0	0	0	0	35

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 有明の森認定こども園管理 6,044千円

【一般財源増加理由】 子どものための遊具購入

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	5,342	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	261	電話料、機器調整費外				
13	委託料	65	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	16	コピー機使用料外				
18	備品購入費	330	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有明の森認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	5,342
				18	備品購入費	330
				12	役務費	261
				13	委託料	65
					計	5,998
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503208		予算書ページ	152
		課・係等	子ども支援課 有明あおぞら認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103400	有明あおぞら認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,289	0	0	0	0	6,289
前年度	6,173	0	0	0	0	6,173
増減額	116	0	0	0	0	116

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 有明あおぞら認定こども園管理 6,289千円

【一般財源増加理由】未満児用避難車の購入

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	5,601	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	341	電話料、機器調整費外				
13	委託料	49	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	114	コピー機使用料外				
18	備品購入費	154	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有明あおぞら認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	5,601
				12	役務費	341
				18	備品購入費	154
				14	使用料及び賃借料	114
					計	6,210
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503209
課・係等	子ども支援課 西穂高認定こども園

予算書ページ	154
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103410	西穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,640	0	0	0	0	8,640
前年度	8,683	0	0	0	0	8,683
増減額	△ 43	0	0	0	0	△ 43

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 西穂高認定こども園管理 8,640千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	8,141	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	257	電話料、機器調整費外				
13	委託料	22	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	29	コピー機使用料外				
18	備品購入費	161	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	西穂高認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	8,141	
				12	役務費	257	
				18	備品購入費	161	
				08	報償費	30	
					計	8,589	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503210		予算書ページ	154
		課・係等	子ども支援課 北穂高認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103420	北穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,941	0	0	0	0	3,941
前年度	3,940	0	0	0	0	3,940
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 北穂高認定こども園管理 3,941千円

【一般財源増加理由】 行事用備品購入費の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	3,564	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	145	電話料、機器調整費外				
13	委託料	17	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	13	コピー機使用料外				
18	備品購入費	172	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	北穂高認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	3,564
				18	備品購入費	172
				12	役務費	145
				08	報償費	30
					計	3,911
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503211	
		課・係等	子ども支援課 穂高認定こども園	

予算書ページ	154
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103430	穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,609	0	0	0	0	8,609
前年度	8,181	0	0	0	0	8,181
増減額	428	0	0	0	0	428

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 穂高認定こども園管理 8,609千円

【一般財源増加理由】 ボイラ一点検、備品(4歳児用机イス)購入

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	6,861	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	367	電話料、機器調整費外				
13	委託料	25	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	23	コピー機使用料外				
18	備品購入費	1,303	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	6,861
				18	備品購入費	1,303
				12	役務費	367
				08	報償費	30
					計	8,561
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503215		予算書ページ	156
		課・係等	子ども支援課 三郷西部認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103440	三郷西部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,518	0	0	0	0	3,518
前年度	3,690	0	0	0	0	3,690
増減額	△ 172	0	0	0	0	△ 172

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 三郷西部認定こども園管理 3,518千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	36	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼						
11	需用費	3,129	園光熱水費、保育用消耗品外						
12	役務費	125	電話料、機器調整費外						
13	委託料	39	雑排水処理施設管理外						
14	使用料及び賃借料	36	コピー機使用料外						
18	備品購入費	153	園必要備品購入費						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷西部認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	3,129
				18	備品購入費	153
				12	役務費	125
				13	委託料	39
					計	3,446
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503213		予算書ページ	156
		課・係等	子ども支援課 三郷南部認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103450	三郷南部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,311	0	0	0	0	5,311
前年度	5,578	0	0	0	0	5,578
増減額	△ 267	0	0	0	0	△ 267

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】
 三郷南部認定こども園管理 5,311千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	5,025	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	134	電話料、機器調整費外				
13	委託料	78	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	44	コピー機使用料外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷南部認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	5,025	
				12	役務費	134	
				13	委託料	78	
				14	使用料及び賃借料	44	
					計	5,281	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503214	
		課・係等	子ども支援課 三郷東部認定こども園	

予算書ページ	158
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103460	三郷東部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,590	0	0	0	0	7,590
前年度	7,202	0	0	0	0	7,202
増減額	388	0	0	0	0	388

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 三郷東部認定こども園管理 7,590千円

【一般財源増加理由】 備品(3歳児用机、いす、老朽品)購入

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	6,001	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	161	電話料、機器調整費外				
13	委託料	39	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	21	コピー機使用料外				
18	備品購入費	1,338	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷東部認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	6,001
				18	備品購入費	1,338
				12	役務費	161
				13	委託料	39
					計	7,539
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503212
		課・係等	子ども支援課 三郷北部認定こども園

予算書ページ	158
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103470	三郷北部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,277	0	0	0	0	5,277
前年度	5,373	0	0	0	0	5,373
増減額	△ 96	0	0	0	0	△ 96

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 三郷北部認定こども園管理 5,277千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	4,799	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	162	電話料、機器調整費外				
13	委託料	78	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	19	コピー機使用料外				
18	備品購入費	189	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷北部認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	4,799	
				18	備品購入費	189	
				12	役務費	162	
				13	委託料	78	
					計	5,228	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503216		予算書ページ	160
		課・係等	子ども支援課 堀金認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103480	堀金認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,730	0	0	0	0	8,730
前年度	9,471	0	0	0	0	9,471
増減額	△ 741	0	0	0	0	△ 741

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 堀金認定こども園管理 8,730千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼						
11	需用費	7,806	園光熱水費、保育用消耗品外						
12	役務費	448	電話料、機器調整費外						
13	委託料	94	雑排水処理施設管理外						
14	使用料及び賃借料	155	コピー機使用料外						
18	備品購入費	197	園必要備品購入費						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	7,806
				12	役務費	448
				18	備品購入費	197
				14	使用料及び賃借料	155
					計	8,606
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010503218
課・係等	子ども支援課 明科南認定こども園

予算書ページ	160
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103490	明科南認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,049	0	0	0	0	5,049
前年度	5,309	0	0	0	0	5,309
増減額	△ 260	0	0	0	0	△ 260

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 明科南認定こども園管理 5,049千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	4,526	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	226	電話料、機器調整費外				
13	委託料	82	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	101	コピー機使用料外				
18	備品購入費	84	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	明科南認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	4,526	
				12	役務費	226	
				18	備品購入費	84	
				14	使用料及び賃借料	101	
					計	4,937	
2					計	0	

予算書ページ	162
--------	-----

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503217
		課・係等	子ども支援課 明科北認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	保育所費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103500	明科北認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,873	0	0	0	0	4,873
前年度	5,273	0	0	0	0	5,273
増減額	△ 400	0	0	0	0	△ 400

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 明科北認定こども園管理 4,873千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子ども、保護者向け行事外部講師謝礼				
11	需用費	4,366	園光熱水費、保育用消耗品外				
12	役務費	259	電話料、機器調整費外				
13	委託料	68	雑排水処理施設管理外				
14	使用料及び賃借料	51	コピー機使用料外				
18	備品購入費	99	園必要備品購入費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	明科北認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	4,366	
				12	役務費	259	
				18	備品購入費	99	
				13	委託料	68	
					計	4,792	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)	コード	010503200		予算書ページ	300
		課・係等	子ども支援課 保育担当			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	04	幼稚園費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110293	幼稚園総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,652	1,375	0	0	0	4,277
前年度	6,243	1,372	0	0	0	4,871
増減額	△ 591	3	0	0	0	△ 594

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	幼稚園就園奨励費	1,375							

【目的・効果】
【目的】
 ・次世代を担う人づくりの推進を図る為、保護者の所得状況に応じた利用料の負担で幼稚園が利用できるよう、私立幼稚園への就園奨励費の支出をおこなう。
【効果】
 私立幼稚園の設置者が、通園しているお子さんをお持ちの保護者に対し入園料及び保育料を減免する場合に、市が国庫補助を受けて補助金を交付し、所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 国における補助基準を基に、補助金(幼稚園就園奨励費)の交付を行う。
 (「子ども・子育て支援新制度」による「施設型給付」を選択した幼稚園については、施設型給付費により別に給付費が支給される。)

【詳細事業内訳】
 幼稚園就園奨励費 5,652千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	5,652	私立幼稚園に対する補助金(幼稚園就園奨励費)の交付								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	幼稚園就園奨励費	国における補助基準を基に、補助金の交付を行い、保護者の負担軽減を図る。	18	負担金及び補助金	5,652	
					計	5,652	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	010503200			予算書ページ	300
		課・係等	子ども支援課 保育担当				
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	04	幼稚園費		主要施策	郷土を担う人を育むまち	
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	59,576	0	1,159	0	13,520	44,897
前年度	65,602	0	0	0	16,016	49,586
増減額	△ 6,026	0	1,159	0	△ 2,496	△ 4,689

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	幼稚園預かり保育料	72							
13	幼稚園使用料	13,448								
15	子どもの為の教育・保育給付費地方単独費用補助	1,159								

【目的・効果】
【目的】
 ・次世代を担う人づくりの推進を図るため、幼稚園の運営費を支出する。
【効果】
 ・幼稚園へ通園する園児に適切な幼児期の教育を受けさせる為に、幼稚園が必要とする教材の消耗品・配布物の印刷や園児の安全な環境の中で生活ができるための施設の安全管理等、必要な支出を行うことにより園児が明るく健やかに成長できるように幼児教育事業を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 穂高幼稚園は、安曇野市唯一の幼稚園であり、幼児が環境とかかわって展開する具体的な活動を通して幼児の発達を助長していく学校である。定員は140名で、安曇野市全域からの受け入れをしている。幼稚園としてのニーズもあることから、今後も幼稚園として運営する。本年度は、クラス数が1減となり5クラスの編成となる。
 ・本年度から預かり保育の実施をする。
 ・障がい児にかかる支援体制を認定こども園と同基準で配置する。

【詳細事業内訳】
 穂高幼稚園運営費 59,576千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	253	園医報酬			11	需用費	4,939	保育教材外消耗品、光熱水費、燃料費外		
02	給料	15,490	職員給与			12	役務費	368	電話料、プール・飲料水水質検査外		
03	職員手当等	7,857	職員諸手当			13	委託料	1,471	消防施設点検、ごみ処理料外		
04	共済費	4,673	職員共済組合納付金			14	使用料及び賃借料	204	印刷機リース料、コピー機使用料外		
07	賃金	22,840	非常勤教諭、軽度発達障がい児講師、養護教諭等賃金			15	工事請負費	730	給食職員トイレ洋便化工事、厨房グレーチング設置工事、安全システム通報先変更工事、松枯木・雑木伐採工事等		
08	報償費	277	子育て支援講座外講師謝礼			19	負担金補助及び交付金	115	国公立幼稚園・子ども園長会外負担金		
09	旅費	359	国公立幼稚園研究協議会の研修会等参加、幼稚園業務一般研修旅費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○ 施設改修工事(給食室)	給食室の衛生環境改善を図るとともに、松くい虫による松の伐採をし、園児が安全・安心な環境の中で生活できるようにする。	15	工事請負費	730
					計	730
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010503200		予算書ページ	302
		部・課・係等	子ども支援課 保育担当			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	04	幼稚園費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0110300	穂高幼稚園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,307	0	0	0	5,793	6,514
前年度	12,729	0	0	0	5,652	7,077
増減額	△ 422	0	0	0	141	△ 563

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	幼稚園給食費	5,793							

【目的・効果】
【目的】
 ・児童に安全安心な給食を提供する。
 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。
【効果】
 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
 ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・給食調理業務の事業者委託。
 ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
 ・職員保菌検査、ノロウイルス検査等の実施。
 ・老朽化した備品の整備。

【詳細事業内訳】
 穂高幼稚園給食運営費 12,307千円

【一般財源増加理由】		給食調理用備品の購入									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	6,460	食材用消耗品外								
12	役務費	40	食品微生物・拭き取り検査								
13	委託料	5,739	給食調理業務委託								
18	備品購入費	68	給食調理用備品購入								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	穂高幼稚園給食運営費	・児童に安全安心な給食を提供する。 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。 ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。	11	需用費	6,460	
				13	委託料	5,739	
				18	備品購入費	68	
				12	役務費	40	
					計	12,307	
2					計	0	

保健医療部

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010701100		
		課・係等	健康推進課 健康推進係		

予算書ページ	168
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0104010	保健衛生総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	280,991	0	0	0	0	280,991
前年度	303,617	0	0	0	0	303,617
増減額	△ 22,626	0	0	0	0	△ 22,626

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ○休日、及び夜間の地域医療の体制を充実させる。 ○松本医療圏救急医療体制を維持する。 ○松本地域における出産子育て安心ネットワークを維持する。 ○災害時医療救護所装備品の整備を進める。
【効果】
 ○地域医療、救急医療の体制整備を進めることができる。 ○少子化対策の一環 ○災害時医療体制の整備を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○在宅(休日)当番医制事業を安曇野市医師会へ委託する。
 ○在宅(休日)歯科当番医制事業を安曇野市歯科医師会へ委託する。
 ○病院群輪番制病院運営事業について、負担金を支払う。
 ○松本地域出産子育て安心ネットワーク事業について、同協議会へ負担金を支払う。
 ○災害時医療救護活動にかかわる事業の実施(医療救護所装備品等の購入など)

【詳細事業内訳】
 保健衛生総務費 279,165千円 保健医療救護事業 1,826千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
02	給料	140,456				14	使用料及び賃借料	100	旧小倉診療所の借地代金		
03	職員手当等	66,549				18	備品購入費	822	災害時医療救護所装備品		
04	共済費	42,003				19	負担金補助及び交付金	22,983	病院群輪番制負担金、松本地域出産子育て安心ネットワーク事業負担金		
08	報償費	147	新型インフルエンザ医療体制検討、医療救護活動マニュアル検証委員会委員の出席謝礼								
11	需用費	684	医療救護所医薬品・装備品、新興感染症備蓄品など								
12	役務費	244	保健福祉事業等総合賠償保険								
13	委託料	7,003	在宅(休日)当番医制事業委託、安定ヨウ素剤管理委託								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	在宅(休日)当番医制事業委託	休日等において、二次救急病院の負担軽減も視野に入れながら、地域のかかりつけ医が急病者の対応に当たり、地域の「安心」を提供する事業であることから、今後も継続が必要だと考えている。	13	委託料	6,830
					計	6,830
2	ソフト	病院群輪番制負担金(松本広域圏)	松本市が松本医療圏における救急医療対応実施機関のとりまとめを行い、市は負担金を支払っている。市内の二次救急病院も少ないことから、松本広域圏における救急医療対応実施機関の確保は今後も必要不可欠である。	19	負担金補助及び交付金	20,740
					計	20,740

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010701100
課・係等	健康推進課 健康推進係

予算書ページ	168
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104012	母子支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,978	1,965	1,167	0	10,000	10,846
前年度	14,700	0	0	0	0	14,700
増減額	9,278	1,965	1,167	0	10,000	△ 3,854

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	子ども子育て支援交付金	1,167							
14	産後ケア事業国庫補助金	798								
15	子ども子育て支援交付金	1,167								
17	ふるさと寄附金	10,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や、地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行う
【効果】
 ○妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供することにより、母子の負担を軽減する

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○母子保健コーディネーターとして、保健師(非常勤職員)を1名配置し、相談・支援窓口対応をする(母子・子育て相談事業)
 ○産後ケア事業として、医療機関等へ宿泊や母乳相談の委託を行う(H29年10月から開始予定)
 ○不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行う(治療する夫婦が増加している)

【詳細事業内訳】
 不妊・不育症治療費助成事業 18,846千円 母子・子育て相談事業 3,521千円 産後ケア事業 1,611千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,177	母子保健コーディネーター(非常勤保健師)賃金						
08	報償費	74	母子保健連絡調整会議出席謝礼						
11	需用費	45	母子・子育て相談事務用品、産後ケア事業助成券印刷代						
13	委託料	1,596	宿泊型産後ケア・母乳相談事業委託						
18	備品購入費	240	母子・子育て相談窓口看板						
19	負担金補助及び交付金	18,846	不妊・不育症治療費助成						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	母子・子育て相談事業	母子保健コーディネーターとして、保健師(非常勤職員)を1名配置し、相談・支援窓口対応をすることにより、母子の負担を軽減する	07	賃金	3,177
					08	報償費	74
					11	需用費	30
					18	備品購入費	240
						計	3,521
2	ソフト	○	産後ケア事業	医療機関等へ宿泊や母乳相談の委託を行う(H29年10月から開始予定)ことにより、産後の不安等の解消を図る。	13	委託料	1,596
						計	1,596

予算書ページ	170
--------	-----

重点施策と推進政策	(1)-ハ	コード	010701200
		課・係等	健康推進課 保健予防係

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104015	予防総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	56,929	0	0	0	100	56,829
前年度	62,145	0	0	0	100	62,045
増減額	△ 5,216	0	0	0	0	△ 5,216

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 健康づくりに関係する各種計画の策定及び事業評価を行う。
- 実務にあたる専門職員の人材確保(非常勤職員)と資質向上を図る。
- 健康管理システム運用により市民の健康データを一元的に管理し、効果的な保健指導を実施する。

【効果】

- 各種保健事業を実施するための環境が整備されることで、市民の健康を守り健康長寿を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- 附属機関会議(食育推進会議)及び有識者会議(健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会)を開催し各種計画の進捗管理を行う。
- 事業実施に必要な専門職員(非常勤職員)を雇用する。また専門職対象に開催されるの研修会に出席する。
- 健康管理システムのリース及び保守業務委託を行う。

【詳細事業内訳】

予防総務費 56,929千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	116	食育推進会議委員報酬	19	負担金補助及び交付金	310	専門職員研修会負担金
07	賃金	46,820	健康推進課非常勤職員賃金(19人)				
08	報償費	290	健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会委員出席謝礼				
09	旅費	203	専門職員研修会旅費				
11	需用費	2,486	健診こよみ・保健事業報告書印刷代				
13	委託料	3,094	健康管理システム保守料・システム改修業務委託料				
14	使用料及び賃借料	3,610	健康管理システムリース料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康管理システム保守・改修業務	市民の健康データを蓄積し一元的に管理することで、効果的な保健指導を実施することができる。	14	使用料及び賃借料	3,610
				13	委託料	3,094
					計	6,704
2					計	0

予算書ページ	170
--------	-----

重点施策と推進政策	(1)-二	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康づくり事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,799	0	0	0	3,300	3,499
前年度	7,074	0	0	0	0	7,074
増減額	△ 275	0	0	0	3,300	△ 3,575

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	健康診査徴収金	300							
17	ふるさと寄附金	3,000								

【目的・効果】

【目的】

- 健康に関する学習や実践をとおして家族・地域へ健康活動の輪を広げていく。
- 若年者健診を実施し、若い頃からの健康づくりの意識づけをする。

【効果】

- 地域レベルで、健康づくりのための知識の普及・啓発に関わる者の育成が進む。
- 検診の受診率が向上する。
- 若い頃からの健康づくりの意識づけが進む。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 全体研修会・地域会・地区学習により健康づくり推進員の学習を深め自らの健康、家族の健康、地域の健康に広めていく。
- 健康づくり推進員で市歌体操を体験し自らの健康づくりに役立て、さらに地区学習会などでも市歌体操を取り入れた学習を行い、地域に普及していく。

【詳細事業内訳】

健康づくり事業 6,799千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	155	若年者歯科健診時の歯科衛生士・事務者賃金				
08	報償費	2,332	講師・医師・推進員出席謝礼				
11	需用費	260	健康づくり推進員だより、地区材料費、若年者健診通知等				
13	委託料	4,052	研修会バス代、食改伝達講習会費用、若年者健診通知封入代、若年者健診委託料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康づくり事業	若年者健診の実施により若年者の死亡や生活習慣病による障害を予防する。健康づくり推進員や食生活改善推進員の活動により地域全体の健康づくりに対する意識を向上させる。	13	委託料	4,052
				08	報償費	2,332
				11	需用費	260
				07	賃金	155
					計	6,799
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-ハ
---------------	-------

コード	010701200
課・係等	健康推進課 保健予防係

予算書ページ	172
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費			

単位:千円

当初予算額		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	22,463	0	0	0	964	21,499
前年度	24,190	0	0	0	873	23,317
増減額	△ 1,727	0	0	0	91	△ 1,818

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	保健センター使用料	24								
20	保健センター自販機電気料	36								
20	穂高健康支援センター外部団体光熱水費	900								

【目的・効果】
【目的】
 ○市の保健医療施策を展開する拠点として各種事業が計画どおり執行されるよう、また地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう、施設の維持管理を行う。
【効果】
 ○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
 ○施設及び設備の計画的な更新を検討する。
 ○配置された公用車(23台)を適正に管理する。

【詳細事業内訳】
 穂高健康支援センター管理事業 22,463千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	13,088			事務用品・施設管理用品・公用車用品・公用車燃料費・施設修繕費・光熱水費・施設及び公用車修繕費				
12	役務費	3,096			電話料・光回線使用料・公用車定期点検手数料・自賠責保険料				
13	委託料	4,453			施設及び設備管理業務委託料(警備・消防用設備点検・清掃・自動ドア保守点検・外構整備・休日施設管理・除雪等)				
14	使用料及び賃借料	1,701			コピー機・印刷機借上料及び使用料				
19	負担金補助及び交付金	4			防火管理者協議会負担金				
27	公課費	121			自動車重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高健康支援センター管理業務	施設及び設備の維持管理を適切に行うことで、市民が安心安全に施設を利用することができる。	13	委託料	4,453
					計	4,453
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-ハ
---------------	-------

コード	010701200
課・係等	健康推進課 保健予防係

予算書ページ	172
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104030	地域保健センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,735	0	0	0	24	3,711
前年度	5,054	0	0	0	145	4,909
増減額	△ 1,319	0	0	0	△ 121	△ 1,198

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保健センター使用料	24							

【目的・効果】
【目的】
 ○地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう施設の維持管理を行う。
【効果】
 ○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
 ○施設及び設備の計画的な更新を検討する。

【詳細事業内訳】
 地域保健センター管理費 3,735千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	545	施設管理用品・燃料費・施設及び物品修繕費						
12	役務費	529	電話料・クリーニング料						
13	委託料	2,332	施設及び設備管理業務委託料(警備・清掃・自動ドア保守等)						
14	使用料及び賃借料	174	コピー機借上料及び使用料						
15	工事請負費	54	仮設電源配線工事費(明科)						
18	備品購入費	101	乳児健診用テーブル						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	地域保健センター管理業務	警施設及び設備の維持管理を適切に行うことで、市民が安心安全に施設を利用することができる。	13	委託料	2,332	
					計	2,332	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010701100
課・係等	健康推進課 健康推進係

予算書ページ	176
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	262,760	0	0	0	0	262,760
前年度	253,643	0	0	0	0	253,643
増減額	9,117	0	0	0	0	9,117

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

○予防接種は、各種の病原体に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを目的としている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行う。
 - 近年変更が相次ぐ予防接種が混乱なく実施できるよう、対象者や医療機関への周知を行う。
 - 個別予防接種として、医療機関との委託契約を締結し実施する。
- A類(個人負担なし):二種混合(DT)、麻しん風しん(MR)、日本脳炎、BCG、Hib、小児用肺炎球菌、4種混合、水痘、子宮頸がん、B型肝炎
- B類(個人負担あり):高齢者インフルエンザ(1,200円)、高齢者肺炎球菌(2,000円)

【詳細事業内訳】

予防接種事業 262,760千円

【一般財源増加理由】 B型肝炎ワクチンの新規導入により増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	131	予診票封入作業臨時職員				
09	旅費	16	研修会参加				
11	需用費	2,145	予診票印刷、封筒作成、パンフレット購入				
13	委託料	259,984	個別予防接種委託料				
20	扶助費	484	自己負担等扶助(生活保護、県外医療機関での接種等)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	予防接種委託事業	予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行うことにより、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを図る。	13	委託料	259,984
					計	259,984
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-ハ	コード	010701300		
		課・係等	健康推進課 健康支援担当		
予算	款	04	衛生費	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費	主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費	基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104075	健康増進事業		

予算書ページ	174
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,886	0	3,500	0	307	7,079
前年度	8,481	0	1,400	0	307	6,774
増減額	2,405	0	2,100	0	0	305

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	保健事業補助金	3,500							
20	健康診査徴収金	307								

【目的・効果】
【目的】
 ○健康診査を実施し、健診結果に基づく保健指導を行い、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、健康増進を図る。
【効果】
 ○一人一人の健診結果に基づく保健指導により、生活習慣病の発症リスクを確認し、個人にあった生活改善の方法を知ることができる。
 ○生活改善により、生活習慣病の発症予防、重症化予防ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○健康増進法に基づく事業を行う。
 健康相談
 健康教育
 保健指導
 訪問指導
 肝炎ウイルス検診等
 ○国保特定健診、特定保健指導

【詳細事業内訳】
 健康増進事業 10,886千円

【一般財源増加理由】	予算組み替えによる増加										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	1,263	健康体探補助者外129千円 成人歯科健診歯科衛生士外973千円 骨健診栄養士外91千円 肝炎ウイルス検診看護師外70千円								
08	報償費	890	運動指導講師謝礼120千円 医師等労務謝礼 歯科健診歯科医師420千円・訪問指導歯科衛生士350千円								
11	需用費	831	フードモデル他健康相談・医薬材料・参考図書・健康体操・特定保健指導・歯科保健指導等596千円、健診表発送封筒印刷・健診等帳票印刷等235千円								
12	役務費	637	肝炎ウイルス検診通知637千円								
13	委託料	7,157	検診通知作成外1107千円、市歌体操映像作成821千円、特定健診・肝炎健診・骨健診医務委託5,229千円								
14	使用料及び賃借料	108	保健指導用教材使用料108千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	保健指導・特定保健指導	健診結果に基づき関係機関と連携して効果的な保健指導により、生活習慣病の発症予防重症化予防に取り組む。生活習慣病発症との関連が高いといわれている歯周疾患の重症化を予防するため、特定健診時に歯科健診を導入し、重症化予防に取り組む。	13	委託料	7,157	
				07	賃金	1,263	
				08	報償費	890	
				11	需用費	831	
					計	10,141	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010701300
課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算書ページ	174
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104080	成人検診事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	74,485	222	0	6,700	67,563
前年度	75,051	255	0	6,900	70,349
増減額	△ 566	△ 33	0	△ 200	△ 2,786

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	がん検診推進事業補助金	222							
20	成人検診徴収金	6,700								

【目的・効果】
【目的】
 ○壮年死亡の減少や健康寿命の延伸にむけ、がん検診やその他検診を実施する。
【効果】
 ○検診等の受診により自らの健康を維持していくことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○がん検診(胃・大腸・乳房超音波・マンモグラフィ・子宮頸部・肺がんCT)
 ○その他健診(結核)
 ○がん検診受診率向上をめざし検診体制の検討や見直し、受診勧奨の送付等を行う。

【詳細事業内訳】
 成人検診事業 74,485千円

【一般財源増加理由】 検診受診者数の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	471	成人検診時の事務者・看護師				
08	報償費	56	市内産婦人科医・乳房検診担当医検討会出席謝礼				
11	需用費	1,295	検診用封筒、勧奨用はがき作成費、医薬材料費、検診用消耗品				
12	役務費	166	検診クーポン券等郵送料				
13	委託料	72,377	検診通知作成費、検診委託料				
19	負担金補助及び交付金	120	女性がん検診助成				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	成人検診事業	各種がん検診の受診率向上のため、受診申込者通知、未受診者通知を適宜発送し受診勧奨につなげていく。	13	委託料	72,377
				11	需用費	1,295
				07	賃金	471
				12	役務費	166
					計	74,309
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010701300		予算書ページ	176
		課・係等	健康推進課 健康支援担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,126	0	0	0	0	22,126
前年度	21,283	0	0	0	0	21,283
増減額	843	0	0	0	0	843

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】すべての子どもが健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣を身につけるための支援をする。
【効果】
 ○保護者が子どもの月齢に応じた発達、生活リズムや栄養、歯科口腔保健等が理解できる。
 ○健康的な生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病予防等に繋がる。
 ○育児に対する不安を軽減し、産後うつや虐待等の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○特定妊婦やハイリスク妊婦など特に支援を要する妊婦が増加しているため、出産後の背景などを確認するため、母子手帳交付時には専門職による面接や相談を行う。
 ○乳幼児健診や相談、教室などの実施し、発達や生活リズム、栄養や歯科口腔等の個別指導の実施。
 ○必要な子どもや保護者に対して、個別相談や訪問、専門医によるクリニック、療育の教室等につなげてフォローする。
 ○保護者の社会的問題や心の問題、虐待などについて、関係機関と連携を図りながら対応する。
 ○保育園、小中学校でのフッ化物洗口の実施。

【詳細事業内訳】
 母子保健事業 22,126千円

【一般財源増加理由】 雇い上げ臨時職員数の増加及び臨時賃金の増額による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	6,937	母子健診・相談事業時の看護師等の臨時賃金				
08	報償費	10,594	母子健診・相談事業時の医師・歯科医師等の謝礼				
11	需用費	4,163	母子健診・フッ化物洗口・教室用の医薬品・事務用品、パンフレット作成費				
13	委託料	432	フッ化物洗口薬剤師調剤委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	乳幼児健診・教室・相談	乳幼児健診を実施することで、児の異常の早期発見・早期対応による健全な成長を促すとともに、母親の孤立化や育児不安を軽減し、安心した育児と虐待防止ができる。	08	報償費	10,594
				07	賃金	6,937
				11	需用費	4,163
				13	委託料	432
					計	22,126
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	010701100
課・係等	健康推進課 健康推進係

予算書ページ	178
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	85,793	0	0	0	0	85,793
前年度	83,008	0	0	0	0	83,008
増減額	2,785	0	0	0	0	2,785

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 妊娠中、医療機関での継続した健康管理を行う。(妊婦健診・歯科健診)
- 医療機関での乳児健診を行い、発達発育のチェックを行う。

【効果】

- 妊婦が安心して安全な出産ができるようにするとともに、経済的な負担を軽減する。
- 乳児疾病異常を早期発見し、早期治療に結びつける。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- 母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診券を発行し、出産に向けての経済的負担を軽減する。
(妊婦一般健康診査受診券…妊娠届時に計23枚発行する妊婦健診用のクーポン券。妊婦健診時に受診券を使用し、医療機関は補助以外を本人に請求する。国保連合会では医療機関から提出された受診券をもとに各自治体へ請求する。この事業は長野県内で行われているため、里帰り分娩等で県外で受診した場合は、対象者は一旦支払をしてもらい、補助対象となる金額を償還払いしている。)
- 妊娠中に歯科健診が受診できるように、母子手帳交付時に歯科健診受診券を発行する。

【詳細事業内訳】

妊婦・乳児一般健康診査事業 85,792千円

【一般財源増加理由】 妊婦一般健康診査を委託している県医師会との調整で、委託料単価上昇のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	215	健康診査の受診券印刷費等				
13	委託料	83,379	妊婦・乳児一般健康診査の事務委託、医師等による健診委託料(歯科も含む)				
19	負担金補助及び交付金	2,199	里帰り出産等、県外での受診に対する助成				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	妊婦・乳児一般健康診査事業委託	母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診券を発行し、出産に向けての経済的負担を軽減する。	13	委託料	83,379
					計	83,379
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010701300			
		課・係等	健康推進課 健康支援担当			
予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104120	妊産婦・新生児訪問指導事業			

予算書ページ	178
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,360	750	750	0	0	1,860
前年度	3,287	756	756	0	0	1,775
増減額	73	△ 6	△ 6	0	0	85

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	14	子ども子育て支援交付金	750								1,500
	15	子ども子育て支援交付金	750								

【目的・効果】
【目的】安心して妊娠・出産・育児を行うため、様々な悩みや不安を軽減するために支援する。
【効果】
 ○出産、育児に対する不安を軽減し、安心、安全な出産ができる。
 ○子どもの成長発達を支援するとともに、育児に対する不安を軽減し、虐待の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○妊婦訪問の実施。(特に特定妊婦やハイリスク妊婦等を対象に、保健師・助産師が訪問する)
 ○新生児訪問を実施。出生届が提出されてからできるだけ早期に全員の訪問指導を目指し、児と母親等の状況を把握するとともに、母子の環境(初産、社会的背景、母の健康状況など)に応じて、適切な助言や技術的支援、関係機関との連携を行う。

【詳細事業内訳】
 妊産婦・新生児訪問指導事業 3,360千円

【一般財源増加理由】 特定妊婦やハイリスク妊婦の増加に伴う訪問件数の増加により増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	2,730	訪問指導時の助産師の謝礼				
11	需用費	545	指導用のパンフレット作成費、指導用発達チェック用品・事務用品等の購入				
18	備品購入費	85	新生児の体重測定用秤				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	妊産婦・新生児訪問指導事業	妊産婦・新生児に個別訪問することで、育児不安を軽減し健やかな発達の支援と虐待予防ができる。	08	報償費	2,730
				11	需用費	545
				18	備品購入費	85
					計	3,360
2					計	0

予算書ページ	178
--------	-----

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進係

予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,503	4,494	2,247	0	1,500	2,262
前年度	6,481	2,737	1,368		1,000	1,376
増減額	4,022	1,757	879	0	500	886

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	養育医療国庫補助金	4,494							
15	養育医療県補助金	2,247								
20	未熟児養育医療費徴収金	1,500								

- 【目的・効果】
 【目的】
 ○未熟児の養育に係る医療費を市が負担する
 【効果】
 ○未熟児の養育のために保護者の経済的負担を軽減する

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○おおむね出生児体重が2000g以下で、医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、医療費の負担を行い、経済的負担の軽減を図る。(25年度より県から移譲された事業)
 ○具体的手法…対象となった乳児の保護者は市の窓口で医師の意見書や世帯所得状況などを提出する。市は世帯の所得状況や診療報酬支払基金から提出された内容を確認し、所得に応じて保護者に自己負担を徴収するとともに、基金等に支払する。自己負担額を除いて国1/2、県市1/4の事業。

【詳細事業内訳】
 未熟児養育医療事業 10,503千円

【一般財源増加理由】 未熟児養育対象者数の増により試算した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	13	養育医療審査支払事務手数料				
20	扶助費	10,490	保険診療報酬による医療給付費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	未熟児養育医療給付事業	医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、医療費の負担を行い、経済的負担の軽減を図る。	20	扶助費	10,490
					計	10,490
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	010701100			
		課・係等	健康推進課 健康推進係			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	08	診療所費	基本施策	医療環境の充実	
	事業	0104200	夜間急病センター運営費			

予算書ページ	186
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,449	0	1,400	0	10,406
前年度	22,449	0	1,368	0	10,675
増減額	0	0	32	0	△ 32

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	夜間急病センター診療手数料	10,255							
13	夜間急病センター診療手数料滞納繰越分	1								
13	夜間急病センターその他手数料	150								
15	小児初期救急医療体制整備補助金	1,400								

【目的・効果】
 【目的】
 ○地域医療体制充実のために、夜間における一次医療体制を担う。
 【効果】
 ○二次救急医療の負担軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○安曇野市医師会館内にセンターを設置。医師会医師により夜間の診療を行う。

【詳細事業内訳】
 夜間急病センター運営事業 22,449千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	12,474	診療医報酬				
07	賃金	4,875	看護師ほか				
08	報償費	63	運営委員会				
11	需用費	1,704	医薬品ほか運営雑品				
12	役務費	436	クリーニング代ほか				
13	委託料	1,615	医療事務ほか				
14	使用料及び賃借料	1,282	医師会館借り上げ				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	夜間急病センター運営事業	安曇野市医師会館内にセンターを設置し、医師会医師により夜間の診療を行うことにより、2次救急医療の負担軽減等を図る。	1	報酬	12,474	
				7	賃金	4,875	
				11	需用費	1,704	
				13	委託料 外	3,396	
					計	22,449	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
部・課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	132
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	0103180	介護保険対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,479,720	5,473	225,642	0	0	1,248,605
前年度	1,209,992	5,425	3,159	0	0	1,201,408
増減額	269,728	48	222,483	0	0	47,197

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	低所得者保険料軽減県負担金	2,736								
15	介護保険事業費補助金	300								
15	長野県地域医療介護総合確保基金事業(介護施設)	222,606								

【目的・効果】

【目的】

介護保険特別会計へ地域支援事業と給付費、保険料軽減負担公費の市負担分及び事務費を繰出し、介護保険事業の円滑な運営を図る。
介護保険特別会計以外の介護保険に関する事業を実施し介護保険事業の円滑な運営を図る。

【効果】

介護保険事業が円滑に運営される。
施設整備補助や社会福祉法人への軽減補助を実施し、介護保険事業所等の充実が図れる。
市内の地域包括ケア体制構築のため、生活支援体制整備を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
介護予防・日常生活支援総合事業を実施。第6期介護保険事業計画に基づく介護保険施設整備補助の実施。他

【詳細事業内訳】

介護保険施設整備等補助事務 225,106千円 介護保険特別会計繰出金 1,245,291千円 介護保険事業費補助金 400千円 介護保険課総務費(特別会計によらないもの) 8,923千円

【一般財源増加理由】	介護保険給付費の伸びによる繰出し金の増加、制度改正に伴うシステム改修による事務費の増加、処遇改善加算の増加による繰出し金の増加										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	8,523	本庁窓口、介護保険事務 3名、相談事務社会福祉士 1名								
11	需用費	50	認定調査係事務室修繕費								
13	委託料	350	認定調査係事務室警備費								
19	負担金補助及び交付金	225,506	第6期介護保険事業計画に基づく介護保健施設整備補助金、生活支援体制整備補助金、社会福祉法人補助金								
28	繰出金	1,245,291	介護保険事業(給付費、地域支援事業、保険料軽減)市負担分等繰出し、事務費繰出し								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	介護保険施設整備等補助事務	第6期介護保険事業計画に基づく介護保険施設、認知症対応型共同生活介護1施設、小規模多機能型居宅介護施設1施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護施設1施設に対し、県の補助金を原資に補助を実施する。	19	負担金補助及び交付金	225,106
					計	225,106
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	134
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103190	在宅介護福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,347	0	0	0	0	17,347
前年度	31,719	0	0	0	0	31,719
増減額	△ 14,372	0	0	0	0	△ 14,372

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 要介護者が在宅で生活するためのサービス提供とその家族等の支援と高齢者の権利擁護を目的とする。
【効果】
 当事業を実施することにより介護をする家族の経済的、肉体的、精神的な負担軽減が図れ、判断力が低下し自己決定が困難な高齢者が成年後見制度を利用することにより高齢者の権利が守られ、安定した生活が送られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・家族介護者を支援するため家庭介護用品購入の際に利用できる助成券を対象者に交付する。
 ・成年後見支援センターへの補助金交付。

【詳細事業内訳】
 在宅介護福祉事業 17,347千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	347	介護用品購入助成券印刷費、返信用封筒印刷費				
19	負担金補助及び交付金	7,800	成年後見支援センター補助金				
20	扶助費	9,200	家庭介護用品購入助成費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	成年後見支援センター補助金	安曇野市他1市5村が利用する「成年後見支援センター」の運営に対し、補助金を交付する。成年後見に関する相談、啓発、法人後見の受任等により市民の権利擁護の推進が図られる。	19	負担金補助及び交付金	7,800		
					計	7,800		
2	ソフト	介護用品購入助成事業	要介護3~5の高齢者を在宅介護している人に1か月あたり1,000円の介護用品購入助成券を交付。介護する家族の経済的負担の緩和が図られる。	20	扶助費	9,200		
					計	9,200		

予算書ページ	128
--------	-----

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103120	国保会計繰出金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	676,011	87,318	286,233	0	0	302,460
前年度	736,436	86,931	288,507	0	0	360,998
増減額	△ 60,425	387	△ 2,274	0	0	△ 58,538

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	保険基盤安定負担金	87,318							
15	保険基盤安定負担金	286,233								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業を実施するにあたり、法令等で定められた額を国保特別会計に繰り出す。

【効果】

・国民健康保険事業で必要とする費用を繰り出すことにより、国保加入者の負担を軽減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・国民健康保険事業実施による経費についての繰出しを随時行う。

【詳細事業内訳】

国保会計繰出金 676,011千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
28	繰出金	676,011	国保特別会計への繰出金676,011千円(内訳:保険基盤安定事業498,068千円、出産育児一時金22,400千円、財政安定化支援事業78,590千円、精神給付金20,000千円、事務費56,953千円)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010703100		予算書ページ	134
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103200	後期高齢者医療事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	1,211,501	0	175,754	0	11,309	1,024,438
前年度	1,179,592	0	175,924	0	5,865	997,803
増減額	31,909	0	△ 170	0	5,444	26,635

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	市町村特別対策広報等事業補助金	6,309								
17	ふるさと寄附金	5,000								

【目的・効果】

【目的】

- ・後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック受診者に対し受診費用の一部の助成を行う。
- ・後期高齢者医療保険を運営している長野県後期高齢者医療広域連合へ法令に基づく市負担金の支払い及び後期高齢者医療特別会計への繰出しを行う。

【効果】

- ・後期高齢者被保険者人間ドック事業を実施することにより、身体機能の保持と疾病の早期発見・早期治療を促し、健康で長寿を目指していく。
- ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も安定的に維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・後期高齢者医療人間ドック等受診者に対する助成金を交付する。(助成方式・償還払い方式)
- ・療養給付費負担金は、長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支出をする。
被保険者増加による保険料収入増に伴い増額
- ・繰出金 ①保険基盤安定繰出金 ②事務費繰出金 を繰出計画に基づき後期高齢者医療保険特別会計へ繰出す。
システム改修に伴う事務費負担金の増額

【詳細事業内訳】

後期高齢者医療事業 1,199,763千円 後期高齢者医療人間ドック等助成事業 11,738千円

【一般財源増加理由】		人間ドック受診者数増加見込み、負担金・繰出金の増加							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	13	人間ドック等受診券用紙(13千円)						
13	委託料	10,325	人間ドック等受診助成委託費(10,325千円)						
19	負担金補助及び交付金	921,611	人間ドック等受診補助金(1,400千円)、療養給付費負担金(920,211千円)						
28	繰出金	279,552	後期高齢者健診費用分国保会計繰出金(7,757千円)、後期保険基盤安定繰出金(234,340千円)、広域連合事務費繰出金(32,640千円)、事務費繰出金(4,815千円)						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後期高齢者医療人間ドック等助成事業	後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックの受診費用の一部を助成し、費用の負担軽減を図るとともに、早期発見・早期治療により重症化予防ができ、後期高齢者医療費の削減が見込まれる。	11	需用費	13
				13	委託料	10,325
				19	負担金補助及び交付金	1,400
				28	繰出金	7,757
					計	19,495
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100			
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	国民年金事務費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103210	国民年金事務費			

予算書ページ	134
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	60,828	16,980	0	0	0	43,848
前年度	66,866	13,740	0	0	0	53,126
増減額	△ 6,038	3,240	0	0	0	△ 9,278

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	14	国民年金事務委託金	16,980								16,980

【目的・効果】
【目的】
 ・国民年金事務の一部は、法定受託事務として市町村が行うこととなっている。また、法定受託事務に関する事務や相談等は国と市の協力・連携のもと実施している。
 ・主な手続きとして、国民年金の加入・喪失届出の手続き、口座振替の推進、免除制度の案内、未支給年金手続きの受付や年金の加入等による相談を行う。
【効果】
 ・市の窓口で受付を行うことで、国民年金被保険者の利便性が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民年金に関する各種届出受付業務を扱い、受付した届出書等を日本年金機構へ進達する。

【詳細事業内訳】
 国民年金事務費 60,828千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主要内容			節	節名称	金額	主要内容		
02	給料	34,756									
03	職員手当等	15,281									
04	共済費	9,220									
11	需用費	397	啓発用パンフレット(397千円)								
13	委託料	1,174	国民年金システム改修費用(1,174千円)								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	国民年金業務システム改修事業	法改正に伴う、申請用紙の変更や電子媒体化によるシステム改修を行い、事務の効率化を図る。	11	需用費	397	
				13	委託料	1,174	
					計	1,571	
2							
					計	0	

農林部

重点施策と 推進政策	(3)-ト	コード	010801100			
		課・係等	農政課 農業政策係			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106030	農業総務費			

予算書ページ	200
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	205,595	0	140	0	0	205,455
前年度	207,824	0	105	0	0	207,719
増減額	△ 2,229	0	35	0	0	△ 2,264

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域農業マスタープラン作成事業補助金	140							

【目的・効果】
【目的】
 ・農業振興事業関係の事務的経費
【効果】
 ・農業振興事業の円滑な推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業振興事業の総務事務費(人件費、報償費、需用費、公用車管理経費など)
 ・(株)エア・ウォーター農園補助金

【詳細事業内訳】
 農業総務費 204,941千円 農業・農村計画事業 654千円

【一般財源増加理由】(株)エア・ウォーター農園補助金に伴う増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	101,797		12	役務費	304	公用車車検費用
03	職員手当等	47,750		14	使用料及び賃借料	11	駐車場使用料
04	共済費	28,931		19	負担金補助及び交付金	6,617	(株)エア・ウォーター農園補助金
07	賃金	15,925	臨時職員賃金	27	公課費	59	公用車重量税
08	報償費	2,250	農家組合長謝礼				
09	旅費	96	職員出張旅費				
11	需用費	1,855	農業振興関係参考図書、事務用品購入、会議賄い費、公用車等消耗品、燃料、修繕費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	200
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,357	0	0	0	6	4,351
前年度	5,490	0	0	0	6	5,484
増減額	△ 1,133	0	0	0	0	△ 1,133

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・農業振興地域の整備に関する法律(農振法)と安曇野市農業振興地域整備計画に基づく適正な計画変更の推進
【効果】
 ・優良農地の保全

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農振法に基づく農振整備計画の変更手続き(年2回)
 ・安曇野市農業振興地域整備促進協議会及び同地域協議会の運営
 ・農振法に基づく5年に1度の総合見直し業務

【詳細事業内訳】
 農業振興地域整備促進事業 4,357千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	350	協議会の委員報酬				
08	報償費	560	地域協議会の委員出席謝礼				
11	需用費	45	事務用品購入				
13	委託料	3,402	総合見直し業務				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	総合見直し業務	・農振法に基づく5年に一度の見直し業務を委託することで、効率的で適正な計画変更を図る。	13	委託料	3,402	
				08	報償費	560	
				01	報酬	350	
				11	需用費	45	
					計	4,357	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	202
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106060	農業生産振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,695	0	19,384	0	0	7,311
前年度	9,377	0	717	0	0	8,660
増減額	17,318	0	18,667	0	0	△ 1,349

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	産地パワーアップ事業	18,664								19,384

【目的・効果】
【目的】
 ・農家所得の向上と、環境にやさしい農業技術向上に向けた検証事業を実践する為、市農業再生協議会へ交付金を交付しJA等農業関係者と取組む。検証結果等は、年度末に農家へ向けて発信する。
 ・地域の営農戦略に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みに対し支援する。
【効果】
 ・農業技術の課題克服やコスト低減、環境に配慮した農業技術方法を発信することで、農家所得の向上や環境に配慮した農業を実践する。
 ・担い手への集約やコスト低減技術の導入等により生産コストを低減する。また、品質向上や高付加価値化等により販売額を向上させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市農業再生協議会(農家・市・JA・県改良普及センター・のうさい・市農業委員会で組織)では、農業技術向上検証事業等により所得の向上や環境の保全対策検証に取り組む。28年度の取り組み事業として「畦畔管理コスト低減検証」「農業技術アドバイザー事業」「畜産悪臭対策検証」など21事業が挙げられる。
 ・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、有機農業及び緑肥使用等による化学肥料・化学合成農薬使用を低減する営農活動に対し、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。
 ・生産コスト削減や高収益な作付け体系への転換を図る取り組みを行う農業者等の掘り起こしを行い支援する。

【詳細事業内訳】
 農業生産振興事業(市再生協事業) 7,070千円 産地パワーアップ事業 18,665千円 環境保全型農業直接支払交付金事業 960千円

【一般財源増加理由】		金額		主な内容		金額		主な内容	
11	需用費	20		事務用品					
19	負担金補助及び交付金	26,675		市農業再生協議会交付金等					

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業生産振興事業(市再生協事業)	市農業再生協議会において、農業技術向上検証事業等により所得の向上や環境の保全対策検証に取り組む。また、これらの情報を農家に提供する。	19	負担金補助及び交付金	7,050
				11	需用費	20
					計	7,070
2	ソフト	産地パワーアップ事業	地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者等が高収益な作物、栽培体系への転換を図るための取り組みを総合的に支援する。	19	負担金補助及び交付金	18,665
					計	18,665

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	202
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106070	水田農業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,600	0	24,600	0	0	14,000
前年度	37,600	0	22,600	0	0	15,000
増減額	1,000	0	2,000	0	0	△ 1,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	水田農業経営確立推進指導事業補助金	600								

【目的・効果】
【目的】
 ・経営所得安定対策等推進事業を円滑に推進する。
 ・水稻の病害虫及び稲黄萎病による被害を未然に防ぎ、水稻の安定生産と安定収入に繋げる。
【効果】
 ・米の生産数量目標の達成及び経営所得安定対策等推進事業の円滑化。
 ・一等米比率は全国トップクラスを維持しており、安曇野米のブランドを維持している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【主な事業】
 ・経営所得安定対策等推進事業の事務費等として、県交付金は全額市再生協議会へ交付。
 ・苗箱薬剤購入費の一部(600円/kg)補助。

【詳細事業内訳】
 経営所得安定対策等推進事業 24,000千円 苗箱薬剤購入補助事務 14,000千円 水田農業経営確立推進指導事業 600千円

【一般財源増加理由】		金額		主な内容		金額		主な内容	
節	節名称	金額		節	節名称	金額		節	節名称
19	負担金補助及び交付金	38,600							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営所得安定対策等推進事業	・市農業再生協議会へ交付金を交付することにより、経営所得安定対策等推進事業事務等の円滑化及び農家への交付金交付の適正な推進を図る。	19	負担金補助及び交付金	24,000
					計	24,000
2	ソフト	苗箱薬剤購入補助事務	・稲作の病害虫防除対策及び農業経営の安定を図るため、苗箱薬剤購入費の一部助成を行うことにより、全国トップクラスの一等米比率を安定して維持する。	19	負担金補助及び交付金	14,000
					計	14,000

予算書ページ	202
--------	-----

重点施策と 推進政策	(3)-ト	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106080	畑作園芸振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,508	0	0	0	25,000	53,508
前年度	110,056	0	0	0	0	110,056
増減額	△ 31,548	0	0	0	25,000	△ 56,548

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	25,000							

【目的・効果】

【目的】

- ・転作物の推進に併せ、安曇野市の地味・気候に適し、作業効率、採算面を考慮し産地化の図れる作物の生産振興を図る。
- ・果樹共済では、昨年に引き続き、共済加入農家掛金の33.3%を支援し、共済制度加入促進を図る。
- ・そ菜価格安定共助制度(各JA策定)への市負担金により、農家が安心してそ菜を生産できる環境を整える。
- ・市の主要農産物である果樹の新植と、土地利用型作物で米に代わる作物として振興を図る玉ねぎについて助成を行い面積拡大を図る。

【効果】

安曇野市の主要農産物であるリンゴを中心とした果樹の生産拡大や、気象災害等による被害対策である共済加入促進を図り、経営安定につなげる。また、機械化一貫体系で栽培可能な玉ねぎを振興し、労力の軽減と農家所得の向上を図る。また、国が食料・農業・農村基本計画において位置付けている飼料用米の生産拡大を図り、水田のフル活用を推進する。これにより地下水涵養の効果も期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・経営所得安定対策の実績を基に、3品目に対して補助金(15,000円/10a)を交付。併せて20a以上作付け者に対して生産面積拡大を促すため3,000円/10aから9,000円/10aの傾斜加算をする。また、飼料用米を、本年度から担い手支援に追加する。
- ・新植による果樹の栽培面積の拡大に際し、果樹棚及び苗代の1/3を補助及び、未収益期間の支援として 年50,000円/10aを4年間補助する。
- ・機械化一貫体系による玉ねぎ栽培の拡大を図るため、機械化用苗代の1/3、作業機械の購入費の1/3を補助する。

【詳細事業内訳】

そ菜価格安定共助会負担金 3,208千円 玉ねぎ機械化体系支援事業 5,725千円 市農業振興作物等推進事業 57,100千円 果樹生産農家支援事業 12,475千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	5	先進地視察				
19	負担金補助及び交付金	78,503	玉ねぎ機械化体系支援事業、果樹生産農家支援事業、市農業振興作物等推進事業など				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	市農業振興作物等推進事業	・農業振興事業及び需要に即応した米作りを推進するため、米の生産数量目標の範囲内で米を作付けする者に対し、担い手支援・生産振興作物推進等の補助金を交付する。	19	負担金補助及び交付金	57,100	
					計	57,100	
2	ソフト	玉ねぎ機械化体系支援事業	玉ねぎの機械化により栽培面積を拡大を図る農家へ、機械化用苗の購入、機械の購入に対し補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	5,725	
					計	5,725	

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	204
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,283	3,250	0	0	0	18,033
前年度	19,968	0	0	0	0	19,968
増減額	1,315	3,250	0	0	0	△ 1,935

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・地元産農産物を、都市部の消費者に向けた販売促進と情報発信の機会を築き、農業振興の活性化を図る。
 ・農林業まつりを開催することにより、安曇野の農産物PR・消費拡大を行う。
【効果】
 ・農産物ブランドの発信による、ブランド構築と農家所得の向上。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業者の祭典とした「農林業まつり」を、商工会主管の“新そばと食の感謝祭”と同時開催することで「農と食」をPRし、安曇野の農産物ブランド、地域イメージを築き、農産物の消費拡大へ繋げる。
 ・農産物の消費拡大を推進するにあたり、県や友好都市のアンテナショップを活用したイベント販売の開催、観光イベント及び都市交流関連イベントによる農産物PR販売の推進。

【詳細事業内訳】
 海外輸出販路開拓事業9,540千円、産直センター運営支援事業 4,647千円 農産物直売加工所等支援事業 378千円 農産物等販路拡大事業 6,718千円

【一般財源増加理由】 H28年度予算では地方創生加速化交付金が特定財源と全額配分されていたが、H29年度予算では国庫補助率として1/2となったため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	891	農産物販売PRイベント等に関わる職員旅費				
11	需用費	284	農産物販売PRイベント等に関わる消耗品代				
12	役務費	109	農産物販売イベント等の資材運搬費				
13	委託料	3,961	産直センター等を始めとする業務委託料				
14	使用料及び賃借料	160	展示商談会出展に伴う使用料				
19	負担金補助及び交付金	15,878	団体負担金及び各種団体への補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	海外輸出販路開拓事業	・H28年度より、JAあづみが行っている“りんご”の輸出事業に対するの補助。 ・海外プロモーション協議会へ事業補助金	19	負担金補助及び交付金	9,540	
					計	9,540	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	204
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,117	0	0	0	8,343	21,774
前年度	70,783	0	0	0	6,389	64,394
増減額	△ 40,666	0	0	0	1,954	△ 42,620

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	堀金産地形成促進施設基金 金利息	8	20	三郷産地形成促進施設利用料	890				
18	堀金産地形成促進施設基金 繰入金	2,635	20	豊科南部地区産地形成施設 使用料	180					
20	堀金産地形成施設利用料	2,340	20	穂高農業活性化施設利用 料	2,290					
20	三郷畜産活性化施設利用 料	0								

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の直売加工施設に係る維持管理・改修費等及び指定管理による費用。
【効果】
 ・市内の直売加工施設の維持管理の向上。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内各直売加工施設の維持管理・改修。

【詳細事業内訳】
 明科農産加工施設運営事業 0千円 堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業 11,154千円 豊科農産物加工交流センター運営事業 2,838千円 三郷産地形成促進施設運営事業 891千円 三郷畜産活性化施設運営事業 0千円 明科農産物加工交流施設運営事業 2,837千円 直売加工施設運営総務費 2,169千円 穂高農業活性化施設運営事業 9,540千円 豊科南部地区産地形成促進施設運営事業 688千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,100	直売加工施設・物品の小破修繕				
13	委託料	11,422	直売加工施設の指定管理料				
14	使用料及び賃借料	5,200	直売加工施設の借地料				
15	工事請負費	1,814	直売加工施設の修繕工事				
18	備品購入費	7,232	直売加工施設の備品購入				
25	積立金	2,349	基金・利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業	・堀金農産物処理加工施設に係る加工室の温度、湿度改善工事費の計上。 ・老朽化に伴う、豆腐用油圧搾り機、自動発行機、豆腐用自動包装機、ガス回転釜の買替。	18	備品購入費	3,413
					15	工事請負費	713
						計	4,126
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-口
---------------	-------

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	206
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106115	市民農園事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	837	0	0	414	423
前年度	2,758	0	0	414	2,344
増減額	△ 1,921	0	0	0	△ 1,921

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市民農園利用料	414							

【目的・効果】
【目的】
 ・市民農園の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流を図る。
【効果】
 ・効果的で適正な施設管理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市民農園(市内10か所)の管理、運営。

【詳細事業内訳】
 市民農園事業 837千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	29	市民農園管理用品								
13	委託料	105	市民農園管理委託								
14	使用料及び賃借料	700	借地料								
19	負担金補助及び交付金	3	土地改良区賦課金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

予算書ページ	206
--------	-----

重点施策と 推進政策	(3)一口	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,360	0	0	0	1,740	7,620
前年度	10,371	0	0	0	1,740	8,631
増減額	△ 1,011	0	0	0	0	△ 1,011

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	三郷やすらぎ空間施設利用料	1,740							

【目的・効果】

農政課 農業政策係、集落支援担当、マーケティング担当

【目的】

- ・農村都市交流施設の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。
- ・研修や講座の開催、健康づくりのための体育活動、農家の集いの場として活用するための施設。農村の活性化に寄与している。
- ・農村都市交流(農家民宿事業)を推進することにより、市民や観光客が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。
(H27受入れ人数557人、H28受入れ人数1,155人)

【効果】

- ・効果的で適正な施設管理
- ・安曇野の地域イメージの向上

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 農政課 農業政策係、集落支援担当、マーケティング担当
- ・三郷やすらぎ空間施設の管理(H17建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ハーヴェスタ・クリエーションズ)
 - ・穂高農村景観活用交流施設の管理(H4建築、木造平屋建、指定管理者:矢原区)
 - ・小倉多目的研修センターの管理(S57建築、鉄骨2階建、指定管理者:JAあづみ)
 - ・農家民宿事業を推進するための講演会及び開設補助を行う。
 - ・安曇野スタイルの農家民宿事業を推進するために、受入農家の開拓に伴う講演会及び開設補助を行う。
(H29受入れ予定人数約950人)

【詳細事業内訳】

コミュニティー施設運営事業 1,175千円 小倉多目的研修施設管理事業 4,200千円 農家民宿推進事業 354千円 三郷やすらぎ空間運営事業 3,631千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	76	農家民宿事業従事者対象講演講師謝礼				
11	需用費	2,008	施設及び物品の修繕費/多目的ホールカーテン修繕費				
13	委託料	3,821	指定管理委託料/小倉多目的研修センター指定管理委託料/先進農家視察の車両運転代行				
14	使用料及び賃借料	3,200	施設用地借地料				
19	負担金補助及び交付金	255	農家民宿開業補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-口
---------------	-------

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	208
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,833	10,400	0	0	50,593	19,840
前年度	92,165	14,786	0	0	10,625	66,754
増減額	△ 11,332	△ 4,386	0	0	39,968	△ 46,914

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	安曇野の里基金利子	13								
18	公共施設整備基金繰入金	40,000								
18	安曇野の里基金繰入金	5,290								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設の管理を行い、都市と農村の交流促進を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理。
 ・市内外の学童や市民に農業に親しむ機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設の指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 豊科安曇野の里自然活用村(指定管理者:(一社)豊科開発公社、憩いの池と遊歩道は直営)
 ビレッジ安曇野(S62・H5建築、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造)、あづみ野ガラス工房(S60建築、鉄骨平屋建)、あづみ野第2ガラス工房(H4建築、鉄骨2階建)、プラザ安曇野(S63建築、木造2階建)、わさび田広場、湧水探索路

【詳細事業内訳】
 安曇野の里改修事業 62,508千円 安曇野の里運営事業 18,325千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	600	施設小破修繕				
13	委託料	18,290	工事設計監理業務、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	3,625	借地料				
15	工事請負費	53,014	湧水探索路改修、安曇野の里河川橋改修工事、ビレッジ安曇野トイレ改修				
25	積立金	5,304	基金・利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	安曇野の里湧水探索路改修事業	・平成8年に整備された湧水探索路は劣化が激しく危険な状態であるため、平成28年度に引き続き改修工事を実施する。	15	工事請負費	53,014
				25	積立金	5,304
				13	委託料	4,190
				17	公有財産購入費	0
					計	62,508
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-口	コード	010801100			
		課・係等	農政課 農業政策係			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業			

予算書ページ	208
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	87,102	0	0	0	74,041	13,061
前年度	175,503	0	0	0	141,875	33,628
増減額	△ 88,401	0	0	0	△ 67,834	△ 20,567

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	公共施設整備基金繰入金	50,000								
18	三郷農林漁業体験実習館 基金繰入金	10,334								
20	農林漁業体験実習館利用 料	13,640								

【目的・効果】
【目的】
 ・ファインビュー室山の管理を行い、都市と農村の交流促進の拠点施設としての活用を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理。
 ・都市と農村の交流促進。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ファインビュー室山(H10・H12建築、鉄筋コンクリート2階建、指定管理者(株)ファインビュー室山)

【詳細事業内訳】
 ファインビュー室山運営事業 600千円 ファインビュー室山改修事業 86,502千円

【一般財源増加理由】		公共施設整備基金繰入金減額に伴う増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	600	施設小破修繕								
13	委託料	4,104	工事設計監理業務								
15	工事請負費	68,690	大浴場改修工事、揚水ポンプ交換工事								
25	積立金	13,708	基金・利子積立								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	大浴場改修工事	・建設から17年経過し、各所に劣化が生じているため、平成28年度、29年度の債務負担行為により、全面改修を実施する。利用者の安心・快適な利用と都市と農村の交流促進を図る。	15	工事請負費	68,690	
				25	積立金	13,708	
				13	委託料	4,104	
				11	需用費	0	
					計	86,502	
2					計	0	

重点施策と推進政策	(3)-口
-----------	-------

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	208
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106150	ほりで一ゆ～運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95,546	0	0	0	89,855	5,691
前年度	110,529	0	0	0	104,232	6,297
増減額	△ 14,983	0	0	0	△ 14,377	△ 606

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	堀金観光開発基金繰入金	32,989								
20	ほりで一ゆ～施設利用料	56,530								

【目的・効果】
【目的】
 ・ほりで一ゆ～四季の郷ほか周辺施設の管理を行い、都市と農村の交流等を進める施設としての活用を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理。
 ・都市と農村の交流促進。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ほりで一ゆ～四季の郷(H7・H12建築、鉄筋コンクリート4階建、指定管理者(株)ほりで一ゆ～)、コテージ四季の郷(H8建築、木造2階建6棟、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、啼鳥山荘(S45建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、バターゴルフ場・マレットゴルフ場・キャンプ場(指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)

【詳細事業内訳】
 ほりで一ゆ～運営事業 6,691千円 ほりで一ゆ～改修事業 88,855千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,000	施設小破修繕				
12	役務費	104	ほりで一ゆ～商標更新手数料				
13	委託料	4,960	工事設計監理業務、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	3,587	借地料				
15	工事請負費	29,028	客室等内装改修工事、本館及び南館バルブ交換工事、火災報知器更新工事、空調用自動制御機器交換工事、オートキャンプ場トイレ洋式化工事				
25	積立金	56,867	基金・利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-ト	コード	010801300		予算書ページ	210
		課・係等	農政課 集落支援担当			

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106160	担い手支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
56,337	62,031	△ 5,694	0	30,830	0	180
			0	31,190	0	180
			0	△ 360	0	0
						△ 5,334

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	830							
15	農地利用集積事業補助金	20,000								
15	経営体育成支援事業補助金	10,000								
20	農業経営基盤強化資金利子補給金返還金	180								

【目的・効果】

【目的】

・地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを育成しつつ営農支援することにより、持続的で力強い農業経営基盤を確立する。

【効果】

・農業の担い手の所得確保や経営力アップ、農業・農村の活性化が進む。
・農業の持つ多面的な機能の維持・向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 農業用機械施設整備事業
担い手が整備する農業機械・施設に対し、国及び市それぞれの制度を活用した補助金等を交付する。①集落営農組織機械等整備支援事業(市単) ②親元就農機械等整備支援事業(市単) ③経営体育成支援事業(国庫) ④農業用施設取得補助金(市単)
- 制度資金給付事業
融資に対する利子補給 ①農業経営基盤強化資金利子補給金 ②農業近代化資金利子補給金
- 安曇野市農業再生協議会集落支援事業
市再生協議会の集落支援事業に対して交付金を交付する(田園保全活動、集落営農組織助成、荒廃農地対策、有害鳥獣対策)
- 農地集積事業
農地中間管理機構を介した農地集積を行い、農家・集落等に交付金を交付する(地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金)

【詳細事業内訳】

制度資金給付事業 1,913千円 農業用機械施設整備事業 23,700千円 市農業再生協議会集落支援事業 10,000千円 集落支援総務費 724千円 農地集積事業 20,000千円

【一般財源増加理由】						
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額
09	旅費	74	就農相談会出張旅費			
11	需用費	20	消耗品費			
19	負担金補助及び交付金	56,243	機械購入補助金、安曇野市農業再生協議会交付金等			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	農業用機械施設整備事業	認定農家や集落営農組織が取得する農業用機械・施設に対して補助金交付を行い、農業の機械化を図る。	19	負担金補助及び交付金	23,700	
					計	23,700	
2	ソフト	農地集積事業	機構集積協力金を活用し、農地中間管理機構を介した農地の集積集約化を図る。	19	負担金補助及び交付金	20,000	
					計	20,000	

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801300
課・係等	農政課 集落支援担当

予算書ページ	210
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106170	後継者対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	51,500	0	40,500	0	5,900	5,100
前年度	41,920	0	30,000	0	900	11,020
増減額	9,580	0	10,500	0	5,000	△ 5,920

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	青年就農給付金(経営開始型)	40,500								
17	ふるさと寄附金	5,000								

【目的・効果】

【目的】

・新規就農者や農業後継者の確保・育成を推進する。

【効果】

・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・各種支援策があることにより、就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

1 新規就農者支援事業

新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を、国及び市の給付金制度により支援する。

- ① 青年就農給付金(国庫)
- ② 親元就農支援金(市単)
- ③ 新規就農者生活支援金(市単)
- ④ 新規就農者住宅支援金(市単)
- ⑤ 就農希望者研修費助成(市単)

【詳細事業内訳】

新規就農者支援事業 51,500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	80	新規就農者住宅施設等修繕費				
19	負担金補助及び交付金	51,420	青年就農給付金、親元就農支援金、新規就農者生活支援金、新規就農者支援事業補助金等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	新規就農者支援事業	国及び市の給付金制度を活用し、新規就農者の確保・育成を図る。	19	負担金補助及び交付金	51,420
				11	需用費	80
					計	51,500
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	210
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106175	職農教育推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,456	0	0	0	0	2,456
前年度	3,139	0	0	0	0	3,139
増減額	△ 683	0	0	0	0	△ 683

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・農業を魅力ある職業と捉える「職農教育」を推進し、将来の農業後継者の確保・育成を推進する。
【効果】
 ・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・農業高校等との連携事業により、就農に資する実習を経験することにより、将来の就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【主な事業】
 ・長野県農業高校との連携事業。
 (= 743,000円)
 ・農業塾等就農者育成組織活動助成事業。
 (既存3団体849,000円+新規2団体660,000円
 = 1,509,000円)

【詳細事業内訳】
 南農高校連携事業 743千円 女性農業者支援事業 55千円 職農教育推進事業 149千円 農業塾等助成事業 1,509千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	49	職農教育協力農家謝礼						
09	旅費	23	都内販売実習同行						
11	需用費	101	都内販売実習消耗品						
12	役務費	68	都内販売実習商品等輸送費						
13	委託料	191	車両運行業務(都内販売実習、女性農業者支援)						
16	原材料費	415	連携事業(商品開発試作、技術開発資材)						
19	負担金補助及び交付金	1,609	補助事業(職農教育支援団体、農業塾等)						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業塾等助成事業	・市民に農業学習の場を提供している農業塾、体験農場において行われている農業者育成に係る事業を支援するため、補助金を計上。	19	負担金補助及び交付金	1,509
					計	1,509
2					計	0

予算書ページ	212
--------	-----

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
13,452	291	13,161	1,000	7,300	0	0
						5,152
						291
						4,861

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	新型交付金	1,000							
15	荒廃農地等利活用促進交付金	7,300								

【目的・効果】
【目的】市内の荒廃農地の解消に向けた取組みを推進し、全体面積を減少させる。
【効果】荒廃農地を減少することにより、健全な農地と景観維持につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領(農林水産省農村振興局通知)」を受け、関係部署が協力し山林原野化した農地の見極め調査を行い、荒廃の状況等の情報を把握・共有する
 ・荒廃農地を再生・解消するため、国の「荒廃農地等利活用促進交付金」および「安曇野市荒廃農地解消就農者支援金」を活用し、再生作業を行う個人および団体を支援する。
 ・荒廃したわさび田を復旧させるため、実証ほ場を選定し施行方法の検証を行うとともに、低コストでの栽培方法を見出すための支援を行う。

【詳細事業内訳】
 荒廃農地解消事業 11,452千円 荒廃わさび田再生検証事業 2,000千円

【一般財源増加理由】 市単補助の支出事業移行、および荒廃わさび田復旧事業補助への取組みが必要となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	141	山林原野化農地調査謝礼				
12	役務費	11	山林原野化農地調査員傷害保険				
19	負担金補助及び交付金	13,300	荒廃農地解消就農者支援金、荒廃農地等利活用促進交付金、荒廃わさび田再生検証補助				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 荒廃わさび田再生検証事業	実証ほ場を選定し施行方法の検証を行うとともに、検証業務を通じ低コストでの栽培方法を見出すことにより、荒廃化したわさび田を復旧させ、生産振興に繋げる。	19	負担金補助及び交付金	2,000	
					計	2,000	
2	ソフト	荒廃農地解消事業	荒廃農地を再生する個人・団体を支援するために、国の交付金、市単の補助金を交付することにより、再生作業が活性化され、全体面積の減少へ繋がるとともに、農地が保全される。	19	負担金補助及び交付金	11,300	
					計	11,300	

予算書ページ	212
--------	-----

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106190	中山間地域等支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,529	0	10,208	0	0	7,321
前年度	17,876	0	10,373	0	0	7,503
増減額	△ 347	0	△ 165	0	0	△ 182

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	中山間地域等直接支払交付金	10,143							
15	中山間地域等直接支払推進交付金	65								

【目的・効果】

【目的】農業生産条件の不利な中山間地域において、農用地を維持・管理していく集落等を単位に取決めを締結し、農地・農村を守る。

【効果】営農意欲が生まれるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

中山間地域等直接支払交付金
 ・国の中山間地域等直接支払交付金制度(国・県・市からの交付金)を活用し、農業生産条件の不利農地で農業生産活動に取り組む協定集落を支援する。(第4期対策協定集落:11集落)
 安曇野市中山間地域農業直接支払交付金
 ・国の制度の対象とならない農用地区域外の同様の集落において、市単の制度(安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金)を活用し、支援する。(協定集落:4集落)

【詳細事業内訳】

中山間地域直払事業 17,529千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	60	事務用品外				
14	使用料及び賃借料	80	コピー使用料				
19	負担金補助及び交付金	17,389	協定集落交付金(国・県・市)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中山間地域直払事業	中山間地域において農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、農地を守る協定を締結することにより、農業生産活動を継続できるとともに、農用地の保全に繋がる。	19	負担金補助及び交付金	17,389
					計	17,389
2						
					計	0

予算書ページ	212
--------	-----

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106200	有害鳥獣等予防対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,266	0	1,895	0	0	9,371
前年度	5,014	0	0	0	0	5,014
増減額	6,252	0	1,895	0	0	4,357

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	鳥獣被害防止総合対策交付金	1,895							

【目的・効果】

【目的】有害鳥獣による農作物被害を未然に防止する。

【効果】生産意欲の減退を防ぐとともに、農業生産活動を継続させ、生産量を保持する。
 荒廃農地の発生を防ぐことができるとともに、営農の再開も可能になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・有害獣による農作物への被害を未然に防止するため、国の「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用し、広域獣害防護柵の設置を進める。
- ・個人で設置する、侵入防止柵および防止装置等への資材・装置購入への支援を行う。
- ・防止対策の一つとして、西山山麓地域で取組むモンキードッグ事業を支援するため、新たな犬の養成・訓練を行う。

【詳細事業内訳】

有害鳥獣防止対策事業 11,266千円

【一般財源増加理由】 国の交付金を活用した獣害防護柵の設置、獣害防護柵設置済箇所の緩衝帯の再整備が必要となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,386	野鼠駆除薬剤代、モンキードッグ関連消耗品				
13	委託料	432	モンキードッグ養成・訓練費				
16	原材料費	3,991	獣害防護柵設置材料費				
19	負担金補助及び交付金	5,457	松本広域鳥獣被害防止対策協議会負担金、市野生鳥獣被害防止対策補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有害鳥獣防止対策事業	国の交付金を活用した広域獣害防護柵の設置や、個人で設置する侵入防止柵および防止装置への補助等を行うなど未然の防止対策を複合で組合せ対策を講じていくことにより、農作物被害の軽減を図ることができる。	19	負担金補助及び交付金	5,457
				16	原材料費	3,991
				11	需用費	1,386
				13	委託料	432
					計	11,266
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	214
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106210	畜産振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,008	0	0	0	63	4,945
前年度	6,312	0	0	0	90	6,222
増減額	△ 1,304	0	0	0	△ 27	△ 1,277

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	家畜防疫事業収入	63							

【目的・効果】
【目的】
 ・畜産が起因となっている環境問題(悪臭等)に対し、平成27年10月から施行になった悪臭防止法の規制にあわせ有効な悪臭低減等の対策を実施し、持続可能な畜産経営をしていくためのバックアップを行う。
【効果】
 ・畜産農家周辺に住む市民の安心・安全な住環境づくり。
 ・畜産農家の経営の安定化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・悪臭問題が懸案となっている地域での市民を交えた協議会の開催をし、悪臭対策の推進を図る。併せて、悪臭の原因を探るための臭気測定を実施する。
 ・JA中信農業共済に常駐している獣医師の人件費等の一部を中信地域の19市町村で負担し、家畜の疾病への対応を図る。
 ・平成27年10月から施行された悪臭防止法への対応として、畜産農家が購入する悪臭低減資材等に対して補助金を支出し、畜産農家自らが悪臭問題への取り組みを強化する意識を高める。
 ・各種の疾病に対する防疫措置を図るため、畜産農家自らが購入する消毒液や消石灰に対して補助する。併せて、周辺環境にも影響を与えるハエ等の害虫に対する駆除剤の購入に対しても補助をする。

【詳細事業内訳】
 畜産農家支援事業 5,008千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	368	畜産悪臭対策協議会出席謝礼				
09	旅費	89	安曇野牛共励会、臭気対策等研修旅費				
11	需用費	361	防疫薬品、臭気測定関係消耗品など				
12	役務費	33	ニオイセンサー定期点検手数料				
19	負担金補助及び交付金	4,157	中信農家畜診療所負担金、畜産経営安定化事業補助金、予防注射接種事業補助金など				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	畜産農家支援事業	・環境対策の一環として、畜産農家が購入する資材に対して補助する。(1/2補助、上限あり) ・家畜伝染病予防法に規定された疾病の定期検査に対する補助等。(1/3補助) ・畜環リース事業により建設した堆肥舎等に係る利子に対する補助。	19	負担金補助及び交付金	4,157	
				08	報償費	368	
				11	需用費	361	
				09	旅費	89	
					計	4,975	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	214
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	31,698	0	0	0	0	31,698
前年度	15,800	0	0	0	0	15,800
増減額	15,898	0	0	0	0	15,898

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。
【効果】
 ・近年は各種の試みにより、良質な完熟堆肥を製造している。また、地道な営業努力により耕種農家からの評判も良くなっており、顧客数も増加している。(農産物のブランド化の一助にもなり得る)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・良質で安定した堆肥製造に取組み、耕種農家への安定供給に取組む。
 ・H27年度から、経営の安定化を目指し、指定管理委託料を増額(+3,650千円)した。反面、修繕費については、指定管理者と市の負担(市の負担を1件当たり500千円以上から2,000千円以上の修繕へ)を見直し、H26年度以前に当初予算に計上していた修繕費(3,000千円)の計上を削除している。
 ※H27~H29年度の指定管理期間中において2,000千円以上の修繕がある場合は、計画的に当初予算に計上し、対応する予定。

【詳細事業内訳】
 三郷堆肥センター運営事業 31,698千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	3,413	施設修繕費				
13	委託料	14,000	指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	1,800	借地料				
15	工事請負費	3,359	浸透樹設置工事費				
18	備品購入費	9,126	ホイールローダー購入				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷堆肥センター運営事業	・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。	13	委託料	14,000	
				18	備品購入費	9,126	
				11	需用費	3,413	
				15	工事請負費	3,359	
					計	29,898	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	226
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	04	水産業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	水産業振興費		基本施策	水産及び特産の振興
	事業	0106360	水産業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	185	0	0	0	0	185
前年度	185	0	0	0	0	185
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 漁業権の対象魚種の増殖。
【効果】
 釣りの観光資源確保と漁業法により長野県内水面漁業管理組合が定めた増殖指示量(稚魚400kg:5g/1匹)の確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 “犀川漁業協同組合が取組む水産資源拡大事業に対し補助金を交付する。”

【詳細事業内訳】
 水産資源拡大補助事業 185千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	185	水産資源確保								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ	コード	010802200			
		課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策			

予算書ページ	202
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,981	0	732	0	0	13,249
前年度	12,788	0	246	0	0	12,542
増減額	1,193	0	486	0	0	707

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	732							

【目的・効果】
【目的】
 野生鳥獣がもたらす農林水産業への被害の軽減及び人身被害の防止を図る。
【効果】
 ・野生動物の出没低減により、住民が安心して生活することができる。
 ・安定した農林水産業を営むことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託し、鳥獣被害対策実施隊が中心となり捕獲を実施する。
 ・林縁部に緩衝帯を整備し、周辺部からの視界を良くすることにより、野生獣が出没しにくい状況にする。
 ・公道等での野生小動物の死体回収を業者に委託する。
 ・新規銃猟者確保のため、免許取得経費の一部を補助する。

【詳細事業内訳】
 有害鳥獣駆除対策事業 13,981千円

【一般財源増加理由】 鳥獣被害対策実施隊が駆除従事の際に着用するベスト購入による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	284	鳥獣被害対策実施隊員				
11	需用費	703	消耗品費、鳥獣被害対策実施隊ベスト購入				
13	委託料	10,708	有害鳥獣捕獲業務委託、緩衝帯整備、野生小動物死体回収				
14	使用料及び賃借料	32	捕獲檻設置用地				
18	備品購入費	219	野生動物捕獲檻、鳥獣追払用電動銃				
19	負担金補助及び交付金	2,035	駆除従事者傷害保険、有害鳥獣捕獲者支援				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有害鳥獣捕獲事業	猟友会に委託して定期的な有害鳥獣捕獲、クマ個体数調整、緊急対応を行うほか、錯誤捕獲については信州大学にも併せて対応を委託することにより、計画的に駆除を進めることができる。	13	委託料	9,136
				19	負担金補助及び交付金	2,035
				11	需用費	703
				01	報酬	284
					計	12,158
2					計	0

予算書ページ	214
--------	-----

重点施策と 推進政策	(4)-ハ	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	02	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106230	林業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	107,258	0	4,726	0	7,981	94,551
前年度	108,969	0	3,500	0	3,471	101,998
増減額	△ 1,711	0	1,226	0	4,510	△ 7,447

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森のエネルギー推進事業補助金	2,500	18	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金	5,900				
15	森林づくり推進支援金	2,226	18	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金繰入金	250					
16	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金利子	321	20	緑の募金緑化交付金	1,500					
16	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金利子	10								

【目的・効果】

【目的】

森林の多面的機能の維持や森林体験施設を活用し、健全な森林づくりを図る。

【効果】

森林の保険休養の利用やみどりの少年団活動、学有林活動等を通じ、市民がさまざまな形で森林にふれあう機会を設けることにより、森林がもつ二酸化炭素の排出抑制や水源涵養等の森林の重要性を普及することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・森林づくり推進支援金を活用し、ペレットストーブ導入者に設備設置費用の一部を補助する。
- ・緑の募金の交付金を受けて、市内の公共施設(公民館・公園・学校等)に緑化木の苗木を頒布し緑化の推進を図る。
- ・長峰山森林体験交流センター施設運営【指定管理者】(株)穂高カントリー【期間】平成26年度～平成30年度

【詳細事業内訳】

林業振興総務事業 87,991千円 里山再生計画推進事業 4,855千円 長峰山森林体験交流センター事業 14,412千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	39,803		12	役務費	203	ペレットストーブ点検整備、森林活動保険料
03	職員手当等	18,621		13	委託料	15,274	里山再生計画推進補助・運營業務委託、長峰山森林体験交流センター指定管理料
04	共済費	12,185		16	原材料費	1,565	緑の募金緑化推進苗木代
07	賃金	1,265	里山再生計画推進業務臨時賃金	19	負担金補助及び交付金	14,887	各山林組合運営負担金、みどりの少年団助成補助、ペレットストーブ導入補助
08	報償費	1,326	森林保全巡視員謝礼、林業振興協議会委員出席謝礼、里山再生計画推進委員等謝礼	25	積立金	333	一ノ沢山林組合基金利子、浅川山林組合基金利子
09	旅費	209	職員旅費(県外視察研修)				
11	需用費	1,587	事務用品、燃料費、天平の森施設修繕、物品修繕				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	長峰山森林体験交流センター指定管理	長峰山森林体験交流センターを指定管理者が管理することにより、利用者のニーズに応じて効果的、効率的に施設運営をすることができる。	13	委託料	13,912
					計	13,912
2					計	0

予算書ページ	216
--------	-----

重点施策と推進政策	(4)-ハ	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	02	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	244,735	0	114,614	0	1	130,120
前年度	299,060	0	120,324	0	10	178,726
増減額	△ 54,325	0	△ 5,710	0	△ 9	△ 48,606

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森林健全化推進事業補助金	106,926							
15	森林造成事業費補助金	4,454								
15	森林づくり推進支援金	3,234								
20	更新伐事業雑入	1								

【目的・効果】

【目的】

松くい虫による被害の拡大を防止し、森林資源の保護育成や健全な森林機能の保全を図る。

【効果】

- ・自然環境の保全や地域の里山の再生を図る。
- ・災害に強い森林としての減災効果を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・森林における松くい虫被害木の伐倒駆除や予防対策の薬剤散布を継続して実施する。
- ・被害の激害地における更新伐事業により、広葉樹林への樹種転換を図る。
- ・庭園松等の所有者や管理者が実施する防除対策について、使用薬剤購入費や伐倒処理経費への補助を行う。
- ・被害木を森林資源としての有効活用を図る。

【詳細事業内訳】

松くい虫防除対策事業市単補助事業 33,019千円、松くい虫防除対策事業 176,043千円、松くい虫被害対策更新伐事業 35,673千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	642	研修会講師謝礼、各対策協議会委員出席謝礼	16	原材料費	702	樹幹注入材外
09	旅費	394	職員旅費、委員費用弁償	19	負担金補助及び交付金	33,019	松くい虫防除対策市単補助(樹幹注入・薬剤散布・伐倒駆除)
11	需用費	285	予防対策消耗品外、木材乾燥機外燃料費				
12	役務費	729	被害材製材乾燥等手数料				
13	委託料	198,877	松枯損木伐倒処理(補助事業・市単事業)、予防対策薬剤散布、予防対策関連調査業務外、更新伐事業				
14	使用料及び賃借料	799	枝条処理木材破砕機借上料				
15	工事請負費	9,288	更新伐搬出路整備、貯木場整備				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	松くい虫被害対策更新伐事業	松くい虫被害の激害地において更新伐を実施し、被害材も含めた森林資源の有効活用を図りながら、有用な広葉樹に更新して里山の再生を図る。	13	委託料	27,033
				15	工事請負費	8,640
					計	35,673
2	ソフト	松くい虫防除対策事業市単補助事業	個人庭園松や地域神社林等の所有者や管理者が実施する、薬剤散布や樹幹注入による予防対策費用や被害木の伐倒処理経費に対して補助金を交付する。 松くい虫被害のまん延防止や枯死木の倒木による二次被害を防止する。	19	負担金補助及び交付金	33,019
					計	33,019

重点施策と推進政策	(4)-ハ
-----------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	218
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	02	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106250	市有林の造成及び管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,383	0	4,601	0	601	13,181
前年度	12,516	0	1,442	0	601	10,473
増減額	5,867	0	3,159	0	0	2,708

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森林造成事業費補助金	4,601							
20	林業費雑入	1								
20	森林の里親促進事業支援金	600								

【目的・効果】

【目的】

安曇野市森林整備計画に基づき造林(下刈り、除間伐、裾枝払い等)事業を行い、健全な森林造りを図る。

【効果】

森林(もり)の里親促進事業の提携企業と協働により市有林の森林整備を図り、また、学有林活動による体験的森林施業など、多くの人がさまざまな方法で森林に触れ合う機会を設け、森林の重要性を普及する事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

安曇野市森林整備計画に基づき、市有林の造林事業を行う。
 ・下刈り、除間伐、裾枝払い等を行い、搬出間伐等を計画的に実施する。
 森林(もり)の里親促進事業の推進をする。
 ・まゆみ池(堀金)周辺の整備 …… GE富士電機メータ株
 ・学有林活動 …… 堀金中学校、穂高西中学校
 市有林の施業指針を作成し、市有林の管理をする。

【詳細事業内訳】

市有林森林整備事業 18,383千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	16,395	造林事業 搬出間伐・除間伐・下刈等 間伐材利活用製材費				
13	委託料	1,988	市有林施業指針作成業務委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	218
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	02	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,710	0	1,875	0	2,166	16,669
前年度	30,164	0	6,375	0	3,000	20,789
増減額	△ 9,454	0	△ 4,500	0	△ 834	△ 4,120

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	森林整備地域活動支援事業交付金	1,875								
16	分収造林事業基金利子	6								

【目的・効果】
【目的】
 森林環境を守り山林の立地特性に応じた森林造成にむけて、計画的に施業を行う。
【効果】
 計画的に森林施業を行うことにより、効率よく木材を生産するだけでなく、水源の涵養や土砂災害の防止といった森林の公益的機能をより高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・森林整備事業により林地残材となったアカマツを破砕処理する。
 ・水源林造成事業の実施と事業地の成林現況調査を行う。
 ・林業事業体が行う森林整備事業の計画作成や造林事業に対して補助金を交付する。

【詳細事業内訳】
 分収造林事業 3,210千円 森林造成事業(補助) 17,500千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	49	消耗品								
12	役務費	3,154	分収契約地区水源林造成事業、分収契約地区成林調査								
19	負担金補助及び交付金	17,500	地域活動支援交付金、森林造成事業嵩上補助								
25	積立金	7	分収造林事業基金利子								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	森林造成事業(補助)	長野県が定める「信州の森林づくり事業」を推進するため、個人林等の森林施業に対し、事業実績に応じて市が嵩上補助を行う。事業の実施により森林整備が活性化する。	19	負担金補助及び交付金	17,500
					計	17,500
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	220
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	02	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106270	市単林道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,151	0	0	0	0	19,151
前年度	21,476	0	0	0	0	21,476
増減額	△ 2,325	0	0	0	0	△ 2,325

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

林道の草刈や路面整備等の維持管理を行い、安定した通行を確保する。

【効果】

林道及び作業道の排水施設維持整備、土砂排除、倒木除去等を適切に行うことにより、利用者が安全で安心して林道を通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・既存林道51路線について、草刈り、排水施設維持、土砂排除、倒木除去等の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】

市単林道維持事業 19,151千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	265	消耗品				
13	委託料	3,400	林道草刈、土砂排除、倒木除去外				
15	工事請負費	15,000	林道維持補修工事				
16	原材料費	486	工事中用原材料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	220
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	02	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106275	林道危険箇所重点整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,138	0	30,299	0	30,000	10,839
前年度	52,559	0	19,028	0	0	33,531
増減額	18,579	0	11,271	0	30,000	△ 22,692

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	公共補助林道事業補助金	30,299							
18	公共施設整備基金繰入金	30,000								

【目的・効果】
【目的】
 交通量の多い観光道路として利用される幹線林道において、大規模な落石や倒木からの被害を未然に防ぐため、単年度に集中して危険箇所の重点的な整備を行い林道の安全性を確保する。
【効果】
 危険箇所を早急に改修することにより、法面崩落等の被害を未然に防ぎ、森林整備関係者のみならず観光来訪者や登山者が林道を安全に通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・大規模な被害を及ぼす可能性がある林道沿いの支障木について伐採を委託する。
 ・林道烏川線と林道一の沢線の改良工事を行う。

【詳細事業内訳】
 林道危険箇所重点整備事業 71,138千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		13	委託料	7,627	支障木伐採、改良工事実施設計、工事監督補助				
		15	工事請負費	63,511	林道烏川線改良、林道一の沢線改良				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	林道烏川線重点整備事業	補助事業を活用し、林道烏川線の改良工事を実施する。工事を実施し土砂崩落等の危険箇所を改善することにより、利用者が安心して安全に林道を通行することができる。	15	工事請負費	50,906
				13	委託料	5,514
					計	56,420
2	ハード	林道一の沢線重点整備事業	補助事業を活用し、林道一の沢線の改良工事を実施する。工事を実施し土砂崩落等の危険箇所を改善することにより、利用者が安心して安全に林道を通行することができる。	15	工事請負費	12,605
				13	委託料	2,113
					計	14,718

予算書ページ	220
--------	-----

重点施策と推進政策	(4)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106280	耕地総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源				
本年度	158,926	国支出金	0	県支出金	8,979	市債	0	その他	1,170	148,777
前年度	173,715	0	8,991	0	1,170	163,554				
増減額	△ 14,789	0	△ 12	0	0	△ 14,777				

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	農村環境改善センター維持管理分担金	1,050							
15	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	8,836								
15	地滑り防止施設管理委託金	143								
20	高瀬川左岸水利運営調整費	120								

【目的・効果】
【目的】耕地事業全般にわたる経常的経費及び各種団体への負担金支出や土地改良事業に係る償還事務を行う。
【効果】経常的経費及び負担金等を取りまとめて支出管理業務を行っているため、収支の管理が容易となっています。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・耕地林務課に係る職務的経費(職員給料、公用車管理等)
 ・ほ場整備事業や土地改良事業に係る借入金償還事務(平成35年度に償還終了)
 ・土地改良区が施行する県営土地改良事業の負担金支出
 ・三郷農村環境改善センターに係る指定管理料、土地借地料、施設・器具修繕費

【詳細事業内訳】
 土地改良事業農林漁業資金償還金 58,734千円、土地改良事業維持管理負担金(国営造成) 14,748千円、耕地総務費 71,951千円、三郷農村環境改善センター施設管理事業(指定管理料・借地料・施設修繕等) 7,823千円、農村公園遊具更新事業 5,670千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
02	給料	34,769				14	使用料及び賃借料	2,713	三郷農村環境改善センター借地料		
03	職員手当等	15,282				15	工事請負費	5,400	農村公園遊具更新に係る工事請負費		
04	共済費	8,870				19	負担金補助及び交付金	84,133	土地改良事業借入償還金、土地改良事業維持管理負担金、県単農業農村整備事業負担金など		
09	旅費	130	研修会等の旅費日当			27	公課費	50	公用車重量税		
11	需用費	1,253	公用車(5台)燃料費、施設修繕費等								
12	役務費	359	公用車に係る車検・法定点検手数料、自賠責保険料、三郷資材センターのクレーン点検料など								
13	委託料	5,967	農村公園遊具更新設計業務、三郷農村環境改善センター指定管理料、水路網図等データ更新業務								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	農村公園遊具更新事業	農村公園内の経年劣化した遊具更新することで、市民が安心安全に利用することができる。	13	委託料	270
					15	工事請負費	5,400
					計	5,670	
2	ソフト		土地改良事業借入金償還事務	過去に施工された土地改良事業(ほ場整備、農道舗装等)における地元負担金に係る借入金の償還事務を行う。その償還は平成35年度に終了する。	19	負担金補助及び交付金	58,734
					計	58,734	

予算書ページ	222
--------	-----

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適 正化事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,656	0	0	0	6,820	3,836
前年度	5,538	0	0	0	0	5,538
増減額	5,118	0	0	0	6,820	△ 1,702

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	土地改良事業地元分担金	1,240							
20	土地改良施設維持管理適 正化事業交付金	5,580								

【目的・効果】

【目的】

土地改良施設維持管理適正化事業により、農業用排水路の健全化工事を行う。

【効果】

健全化工事を行うことで、土地改良施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 建設事業
 - ・北穂高水路改修工事 事業費5,476千円 水路工L=264m BF500型
- 拠出金事業
 - ・北穂高水路 拠出金 372千円
 - ・塔の原用水 拠出金 564千円
 - ・青木花見駅西水路 拠出金 360千円
- 補助事業
 - ・梓川左岸幹線水路 負担金 432千円
 - ・赤松分水工 負担金 50千円
 - ・穂高揚水機場 負担金 2,400千円

【詳細事業内訳】

農業用水路改修工事(土地改良施設維持管理適正化) 10,656千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	924	実施設計委託				
15	工事請負費	5,476	水路改修工事				
19	負担金補助 及び交付金	4,256	北穂高水路等への拠出金、梓川左岸幹線水路 等へ建設負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	農業用水路改修工事(土 地改良施設維持管理適 正化)	計画的に水利施設の整備を行うことにより、 施設の長寿命化が進み、維持管理の軽減 や農業経営の安定化が図れる。	15	工事請負費	5,476
				19	負担金補助及び交付金	4,256
				13	委託料	924
					計	10,656
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	94,885	0	0	0	0	94,885
前年度	95,819	0	0	0	0	95,819
増減額	△ 934	0	0	0	0	△ 934

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 国営及び県営広域排水事業により造成された施設の維持管理を行う。
【効果】
 施設の管理体制が整備されるとともに、適切な維持管理が行われている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・沈砂池の維持補修工事
 ・国営広域排水事業に伴う借入金の償還金(平成32年度償還終了)
 ・安曇野・松本行政事務組合の負担金

【詳細事業内訳】
 国営広域排水事業負担金 94,885千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
15	工事請負費	1,064	沈砂池の維持補修工事								
19	負担金補助及び交付金	93,821	国営広域排水事業の借入償還金、安曇野・松本行政事務組合負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
2							

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	222
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106310	市単土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,800	0	0	0	106	34,694
前年度	41,212	0	0	0	174	41,038
増減額	△ 6,412	0	0	0	△ 68	△ 6,344

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさと・水と土保全基金 利子	106							

【目的・効果】
【目的】
 市単事業により農業用排水路の健全化工事を行う。
【効果】
 農業用排水路の健全化工事を行うことで施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○市単土地改良事業 工事
 農業用排水路等の小規模工事及び農道舗装工事を行う。
 事業費 18,000千円
 ○市単土地改良事業 原材料支給
 水路管理者へ農業用排水路の漏水補修材を支給する。
 事業費 1,837千円
 ○市単土地改良事業 補助金
 水路管理者が行う水路改修工事等に対し補助金を負担する。
 事業費の1/2以内 事業費 8,000千円

【詳細事業内訳】
 農業施設維持工事(市単) 34,800千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	103	用排水路管理作業			17	公有財産購入費	600	道水路用地買収費		
11	需用費	257	参考図書、プリンタートナー			19	負担金補助及び交付金	8,000	水路改修事業等補助金		
12	役務費	100	登記手数料								
13	委託料	5,080	頭首工管理、測量設計委託料他								
14	使用料及び賃借料	823	積算システムリース料、重機リース料								
15	工事請負費	18,000	用排水路改修工事他								
16	原材料費	1,837	水路補修材、路面補修材他								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	農業施設維持工事(市単)	地域から改善要望のある農業用排水路等の維持補修工事を行うことにより、施設の長寿命化が進み維持管理の軽減や農業経営の安定化が図れる。	15	工事請負費	18,000
				19	負担金補助及び交付金	8,000
				13	委託料	5,080
				16	原材料費	1,837
					計	32,917
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010802100		予算書ページ	224
		課・係等	耕地林務課 耕地担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106320	県営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,279	0	0	29,800	0	5,479
前年度	41,555	0	0	34,100	0	7,455
増減額	△ 6,276	0	0	△ 4,300	0	△ 1,976

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	県営かんがい排水事業	7,300							
21	県営農道整備事業	22,500								

【目的・効果】
【目的】
 県営事業により土地改良施設の機能更新や農道環境整備が行われるため、建設負担金を支出する。
【効果】
 県営事業の実施により、農業生産基盤の強化や農村環境が改善される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内では県営事業により農業基盤整備が進められており、市から建設負担金を支出し事業を推進している。
【事業概要】
 ○県営かんがい排水事業 勤左衛門新田地区
 総事業費 151,000千円 梓川取水頭首工改修工事 受益面積455ha
 負担割合 国50%、県25%、市12.5%(18,875千円)、改良区12.5%
 平成29年度 負担金 10,187.5千円
 ○県営農道整備事業 安曇野地区
 総事業費 277,000千円 歩道等安全施設整備工事 受益面積5,014ha
 負担割合 国50%、県25%、市25%(69,250千円)
 平成29年度 負担金 25,000千円

【詳細事業内訳】
 県営土地改良負担金 35,279千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	35,279	県営土地改良事業負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	県営土地改良負担金	県営事業により土地改良施設の機能更新を行い、安定した農業用水を確保し、維持管理の軽減が図れる。また、基幹農道に歩道を整備し、農業者等の安全確保が図れる。	19	負担金補助及び交付金	35,279
					計	35,279
2					計	0

予算書ページ	224
--------	-----

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,026	0	9,741	0	18,285
前年度	140,748	0	48,450	0	92,298
増減額	△ 112,722	0	△ 38,709	0	△ 74,013

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	団体営土地改良事業補助金	9,741							

【目的・効果】

【目的】

団体営事業により農業用排水路の改修工事を行う。

【効果】

計画的な水路改修工事を行うことにより、農家の維持管理費の削減や農業生産性の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○水利施設整備事業 狐島地区 排水路改修工事

事業費 9,100千円

水路工 L=146m

○基盤整備促進事業 安曇野市地区 排水路改修工事

事業費 10,000千円

水路工 L=130m

【詳細事業内訳】

農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営) 28,026千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	100	事務用品				
13	委託料	1,000	実施設計委託料				
15	工事請負費	18,500	排水路改修工事				
19	負担金補助及び交付金	8,426	建設事業負担金他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営)	梓川土地改良区が行う水路改修工事に対し建設負担金を支出し、土地改良区の経費の負担軽減を図る。	15	工事請負費	18,500
				19	負担金補助及び交付金	8,426
				13	委託料	1,000
				11	需用費	100
					計	28,026
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)
---------------	-----

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	224
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	218,139	0	163,175	0	0	54,964
前年度	216,435	0	161,750	0	0	54,685
増減額	1,704	0	1,425	0	0	279

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	多面的機能支払推進交付金	163,175							

【目的・効果】

【目的】農村地域の高齢化、人口減少等により、農村環境の保全や共同活動等に支障が生じつつあるため、地域で組織化された活動組織を支援する。

【効果】平成27年度から施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業農村の多面的機能(草刈り作業、道水路やため池等の施設の維持補修、水路更新工事等)を発揮のため、地域活動等への支援する事により、市内の田園風景や環境が適切に維持管理されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

平成28年度51組織(取組面積2,850ha)から平成29年度54組織(取組面積約3,000ha)に規模拡充されるため、負担金補助金が増加した。

【詳細事業内訳】

農地保全活動交付金(多面的機能支払) 218,139千円

【一般財源増加理由】取組面積増(約150ha)による一般財源の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	40	先進地視察、研修会旅費日当				
11	需用費	59	新規組織への消耗品購入など				
13	委託料	540	長寿命化の工事に係る査定業務委託				
19	負担金補助及び交付金	217,500	活動組織支援補助				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	活動組織支援補助	近年、農村部の高齢化、混在化、過疎化等の進行に伴う集落営農の機能低下により、農地や農業用施設等の維持保全が困難になっている。この事業に地域住民の取り組みにより、地域資源が適切に保全管理されています。	19	負担金補助及び交付金	217,500	54組織
					計	217,500	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-ト
---------------	-------

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	226
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,765	0	825	7,800	8,750	12,390
前年度	112,921	0	2,475	43,300	48,125	19,021
増減額	△ 83,156	0	△ 1,650	△ 35,500	△ 39,375	△ 6,631

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	土地改良事業地元分担金	8,750							
15	団体営土地改良事業補助金	825								
21	県営ほ場整備事業	7,800								

【目的・効果】

【目的】

県営ほ場整備事業により区画整理を行い営農の効率化を図る。

【効果】

区画整理を行い点在していた農地を集約することにより、作業効率が向上し担い手への農地の集約化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

H29年度

○県営事業 建設負担金

経営体育成基盤整備事業 烏川地区(ハード)

・区画整理工事 34ha 幹線農道舗装工事 862mほか

・事業費 100,000千円

・建設負担金 17,500千円(事業費分)+5,500千円(単費分)

○農業経営高度化支援事業(ソフト事業)

・担い手集積計画

・事業費 1,000千円 補助率82.5%

【詳細事業内訳】

ほ場整備負担金(経営体育成基盤整備) 29,765千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	40	委員報酬	22	補償補填及び賠償金	500	立木等補償費
11	需用費	337	プリンタートナー、ロール紙、ガソリン代				
13	委託料	1,588	担い手集積状況図作成業務委託				
14	使用料及び賃借料	361	公用車リース料				
15	工事請負費	3,000	幹線農道路盤工事、舗装工事				
17	公有財産購入費	884	道水路用地購入費				
19	負担金補助及び交付金	23,055	県営事業負担金他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	ほ場整備負担金(経営体育成基盤整備)	ほ場整備事業により土地区画整理を行うことで作業効率が向上するとともに、担い手への農地集積が図れる。	19	負担金補助及び交付金	23,055
				15	工事請負費	3,000
				13	委託料	1,588
				17	公有財産購入費	884
					計	28,527
2					計	0

商工観光部

重点施策と 推進政策	(3)	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	196
--------	-----

予算	款	05	労働費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105010	勤労者福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,392	0	0	0	50,000	7,392
前年度	67,946	0	0	0	60,000	7,946
増減額	△ 10,554	0	0	0	△ 10,000	△ 554

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	勤労者資金元金	50,000							

【目的・効果】
【目的】
 ○安心して働ける環境作りを目指すために、市内中小企業事業所の勤労者の福利厚生事業や共済事業を推進する。
【効果】
 働きやすい環境整備や福利厚生への拡充を図ることで、生産性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市勤労者互助会及び当該団体の福利厚生事業活動を支援する。
 ・勤労者の生活の安定を図り、福祉の向上に資するため、勤労者資金融資あっせんや、勤労者住宅建設資金の融資に対する利子補給を行う。
 ・勤労者福祉センターの管理運営を行う。

【詳細事業内訳】
 安曇野市勤労者互助会運営事業 4,250千円 勤労者福祉センター管理事業 842千円 勤労者支援事業 52,300千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	50	勤労者福祉センター小破修繕費						
13	委託料	746	勤労者福祉センター指定管理委託料						
14	使用料及び賃借料	46	勤労者福祉センター設置AED賃借料						
19	負担金補助及び交付金	6,550	安曇野市勤労者互助会負担金、勤労者住宅建設利子補給金、労働者福利厚生事業補助金						
21	貸付金	50,000	勤労者協調融資預託金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野市勤労者互助会運営事業	安曇野市勤労者互助会の事業を支援する。 【効果】 市内中小企業等の福利厚生向上により生産性の向上につながる。	19	負担金補助及び交付金	4,250
					計	4,250
2	ソフト	勤労者支援事業	・当該団体の福利厚生事業活動を支援する。 ・勤労者の生活の安定を図る勤労者資金融資あっせん ・勤労者の住宅建設に伴う融資に対する利子補給 【効果】 働きやすい環境整備や福利厚生により生産性の向上につながる。	21	貸付金	50,000
				19	負担金補助及び交付金	2,300
					計	52,300

重点施策と推進政策	(3)
-----------	-----

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	196
--------	-----

予算	款	05	労働費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105020	労働雇用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,420	0	0	0	0	3,420
前年度	3,240	0	0	0	0	3,240
増減額	180	0	0	0	0	180

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○地域内の求職情報を提供し雇用促進を図るとともに、労働関係に起因する各種相談体制を整え、安心して働ける環境整備に努める。
【効果】
 就労環境の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・松本公共職業安定所と共同で市内を中心とした就職希望者の相談業務をふるさとハローワークで行う。
 ・職場定着セミナー、労働相談会の開催

【詳細事業内訳】
 ふるさとハローワーク管理事業 3,230千円、雇用対策事業 190千円

【一般財源増加理由】	ふるさとハローワーク備え付けのコピー機は開設以来10年が経過しており、度々不調をきたすことから今回購入したい。リースも検討したが、使用枚数が毎月約1000枚であり、保守料を含め比較したところ購入の方が安価となった。										
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	1,729	非常勤職員賃金(ふるさとハローワーク窓口)								
11	需用費	67	施設管理消耗品、施設修繕費								
12	役務費	252	ふるさとハローワーク電話料								
13	委託料	140	コピー機保守委託料、各種労働相談委託料								
14	使用料及び賃借料	46	AED借上料								
18	備品購入費	486	ふるさとハローワーク コピー機購入費								
19	負担金補助及び交付金	700	県安曇野庁舎共益費、松本職業安定協会負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	雇用対策事業	労働環境の継続的な安定を図り、地域経済を支える人材を確保する。	19	負担金補助及び交付金	100
				13	委託料	90
					計	190
2	ソフト	ふるさとハローワーク管理事業	松本公共職業安定所と共同で市内を中心とした就職希望者の相談業務を行い、就労支援を行う。	07	賃金	1,729
				19	負担金補助及び交付金	600
				18	備品購入費	486
				12	役務費	252
					計	3,067

重点施策と 推進政策	(3)-ホ
---------------	-------

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	228
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	01	商工総務費		基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	212,646	0	0	0	20,000	192,646
前年度	225,110	0	0	0	0	225,110
増減額	△ 12,464	0	0	0	20,000	△ 32,464

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○地域経済の基幹をなす中小企業の経営基盤強化を図る。
 ○市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
【効果】
 小規模事業者の経営の安定につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市商工会経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
 ・地域の活性化を担うイベントに対しその費用の一部を補助する。

【詳細事業内訳】
 商工総務費 147,186千円 地域総合振興事業 45,470千円 経営改善普及事業 19,990千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	84	商工業振興審議会委員報酬			14	使用料及び賃借料	12	出張時駐車場等使用料		
02	給料	80,653				19	負担金補助及び交付金	66,264	経営改善普及事業、地域総合振興事業補助金、各種団体負担金		
03	職員手当等	40,179									
04	共済費	25,114									
09	旅費	151	制度研修等に関する職員旅費等								
11	需用費	104	経済関係書籍購入費他								
13	委託料	85	経済動向視察時運転代行委託料他								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営改善普及事業	安曇野市商工会経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。 【効果】 小規模事業者の経営の安定	19	負担金補助及び交付金	19,990
					計	19,990
2	ソフト	地域総合振興事業	地域の活性化を担うイベントに対しその費用の一部を負担する。 新そばと食の感謝祭等 【効果】 地域経済の活性化を図る。	19	負担金補助及び交付金	45,470
					計	45,470

重点施策と 推進政策	(4)-ト		コード	010901100		
			課・係等	商工労政課 商業労政係		
予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	商工総務費		基本施策	公共交通の整備
	事業	0107020	JR・高速乗合バス利用対 策事業			

予算書ページ	228
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,092	0	0	6,648	13,444
前年度	20,317	0	0	7,081	13,236
増減額	△ 225	0	0	△ 433	208

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	市営駐車場使用料	2,648							
20	JR乗車券類等発売業務	4,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○市民の交通手段の利便性の向上を図るため、市内JR営業線無人駅での乗車券類等の発券業務や駐輪場等の管理運営を行う。
【効果】
 駅周辺や高速乗合バス駐車場周辺の環境美化と利用者の利便性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・JR営業線無人駅での乗車券類等の発券業務を行う。また、業務の効率化を検討する。
 ・JR営業線駅の駐輪場等の管理をする。
 ・安曇野インターチェンジ東駐車場等の管理をする。

【詳細事業内訳】
 駅関連施設管理事業 17,439千円 市営駐車場管理業務 2,653千円

【一般財源増加理由】 市営駐車場使用料の見積りに際し、H28収入実績がH27収入実績に対し減少したことから、収入見込額を432,400円減額したことによる。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,208	無人駅管理光熱水費、安曇野インターチェンジ東駐車場駐車券、施設修繕費等				
12	役務費	364	無人駅電話代、安曇野インターチェンジ東駐車場警備通信費				
13	委託料	17,814	無人駅管理費(駐輪場管理含む)、市営駐車場等管理費				
14	使用料及び賃借料	706	JR営業線駅駐輪場借地料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	駅関連施設管理事業	JR営業線無人駅での乗車券類等の発券業務 JR営業線駅の駐輪場等の管理 【効果】 公共交通利用の利便性の向上を図る。また、業務の効率化を検討する。	13	委託料	15,633
				11	需用費	848
				14	使用料及び賃借料	706
				12	役務費	252
					計	17,439
2	ソフト	市営駐車場管理業務	安曇野インターチェンジ東駐車場、豊科駅駐 車場、一日市場駅駐車場の管理 【効果】 公共交通利用の利便性の向上を図る。	13	委託料	2,181
				11	需用費	360
				12	役務費	112
					計	2,653

重点施策と 推進政策	(3)-ホ	コード	010901100		予算書ページ	230
		課・係等	商工労政課 商業労政係			
予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107030	商業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,851	0	0	0	403	6,448
前年度	44,007	0	0	0	403	43,604
増減額	△ 37,156	0	0	0	0	△ 37,156

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	産業会館使用料	97							
13	まちづくり会館使用料	180								
20	産業会館光熱水費	126								

【目的・効果】
【目的】
 ○市内商業系事業者の経営基盤を安定させ、経済活動の活性化を図る。
 ○商業関連施設の維持管理
【効果】
 既存商店街の活力を促し経済活動を活発化させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・明科駅前の国道歩道整備に伴い、駅周辺商業再生について検討する。
 ・豊科まちづくり会館、明科産業会館の維持管理を行う。
 ・商店街の空き家見学会を開催し、人の回遊を図りながらタイアップイベントを行う事業に対する補助を行う。

【詳細事業内訳】
 商業関連施設管理事業 4,673千円 商業事業者支援事業 2,178千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	300	明科駅周辺商業再生計画講師謝礼						
09	旅費	51	講師旅費実費弁償						
11	需用費	1,275	商業関連施設消耗品・燃料費・修繕費・光熱水費・印刷製本費						
12	役務費	130	まちづくり会館電話料・同点検等手数料						
13	委託料	2,965	まちづくり会館・明科産業会館維持管理委託料						
14	使用料及び賃借料	322	まちづくり会館AED賃借料 まちづくり会館駐車場借地料						
19	負担金補助及び交付金	1,808	街路灯維持管理、商店街活性化助成金他						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	商業関連施設管理事業	【事業内容】 豊科まちづくり会館、明科産業会館の維持管理 【効果】 既存商店街の活力を促し経済活動を活発化させる。	13	委託料	2,938
				11	需用費	1,275
				14	使用料及び賃借料	322
				12	役務費	130
					計	4,665
2	ソフト	○ 商業事業者支援事業	【事業内容】 明科駅前の国道歩道整備に伴い、駅周辺商業再生について検討する。 【効果】 既存商店街の活力を促し経済活動を活発化させる。	08	報償費	300
				09	旅費	51
				13	委託料	27
					計	378

重点施策と推進政策	(3)
-----------	-----

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	230
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107040	緊急経済対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	66,709	0	0	0	30,000	36,709
前年度	76,753	0	0	0	30,000	46,753
増減額	△ 10,044	0	0	0	0	△ 10,044

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○市内建築関連事業者の経営の安定を図る。
【効果】
 市内建築関連事業者の受注機会の増加と、市民の住環境の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域経済活性化住宅助成事業(住ま居る応援制度)の実施。
- ・新築住宅の取得、住宅改修工事、耐震化付帯工事
- ・次年度以降の住宅関連助成事業について関係部局と協議し、新たな制度設計を検討する。

メニュー	メニュー①	メニュー②	メニュー③
補助内容	住宅の改修工事	耐震化付帯工事	新築住宅の取得
対象工事金額	工事金額 が20万円以上	耐震補強工事費以外の工事費が50万円以上あること	500万円以上
補助金額 <small>(計算で千円未満の端数が でた場合は切り捨て)</small>	対象工事金額×10%	対象工事金額×20%	50万円
補助上限金額	20万円	30万円	50万円

【詳細事業内訳】
 地域経済活性化住宅助成事業 66,709千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,709	企業支援等対策事業非常勤賃金				
19	負担金補助及び交付金	65,000	地域経済活性化住宅助成事業補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域経済活性化住宅助成事業	経済波及効果の高い事業であることから、地域経済の活性化と人口減対策として、継続して取り組む。	19	負担金補助及び交付金	65,000
				07	賃金	1,709
					計	66,709
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-へ
---------------	-------

コード	010901200
課・係等	商工労政課 工業振興係

予算書ページ	230
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	商工費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	商工振興費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0107050	工業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	132,096	0	0	0	48,000	84,096
前年度	150,687	0	0	0	0	150,687
増減額	△ 18,591	0	0	0	48,000	△ 66,591

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○産業支援コーディネーターの企業訪問により、経営状況・販路拡大・技術支援・人材育成などのニーズ情報を収集し、アドバイスやマッチング等の支援活動を行う。
 ○産業振興ポータルサイトでは、企業情報の他に企業間の受発注・求人情報などを掲載し、販路開拓や人材確保など企業ネットワークの確立を図る。
 ○企業が利用しやすい助成制度の見直しとともに周知を図り、市内企業の業績向上、雇用促進の推進に加え、市外からの企業誘致や本社機能の移転を推進する。
【効果】
 市外からの新たな企業誘致だけでなく、市内の既存企業にも支援することで、地域経済の活性化や雇用確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内製造業の事業活動をサポートし、様々な情報をワンストップサービスで提供する窓口として、産業支援コーディネーターによる企業個別訪問を継続実施する。
 ・地域内の効率的な経済活動に役立つ最新情報を適時に共有できる産業振興ポータルサイトの事業者登録を増やす。
 ・主な助成制度として、空き工場等促進事業では賃借料の一部補助、工場用地取得事業および工場等設置事業では工場等の新設・移設・増設または取得用地に係る固定資産税相当額を第3年度まで補助、また、市外からの本社機能の移転の推進、生産設備取得事業では中小企業の新規常勤雇用の要件を緩和し、利用しやすくするなど、全10メニューで助成する。

【詳細事業内訳】
 企業サポート事業(工業系) 5,090千円 企業助成事業 126,048千円 産業団地特別会計繰出金(その他) 522千円
 産業団地特別会計繰出金(建設) 349千円 工業振興総務費 87千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,363	産業支援コーディネーター賃金	28	繰出金	871	産業団地特別会計繰出金
08	報償費	320	工業振興連携推進協議会出席謝礼、新製品・新技術開発支援事業審査会出席謝礼				
09	旅費	158	産業支援コーディネーター費用弁償、工業振興連携推進協議会、新製品・新技術開発支援事業審査会委員旅費他				
11	需用費	113	公用車燃料代				
13	委託料	1,070	産業振興ポータルサイト保守管理業務				
14	使用料及び賃借料	214	産業支援コーディネーター企業訪問の自動車借上料				
19	負担金補助及び交付金	125,987	安曇野工業会人材育成セミナー 694千円 企業等支援助成事業 125,293千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	企業サポート事業(工業系)	補助金を活用した企業等の状況や企業からの要望も踏まえて、補助率や限度額の見直し等により助成制度の再構築を進める。ポータルサイトの成果を出すため、登録企業の拡大・RSS機能の追加により、市からの情報提供を積極的に行う。	07	賃金	3,363	
				13	委託料	1,070	
				08	報償費	275	
				14	使用料及び賃借料	214	
					計	4,922	
2	ソフト	企業助成事業	市商工業助成制度10メニューの利用促進を行い、企業誘致の推進・市内企業の業績向上を図る。特に、生産設備取得事業の新規雇用要件を緩和し、中小企業の雇用を守り、生産性向上を支援する。	19	負担金補助及び交付金	125,987	
				08	報償費	45	
				09	旅費	16	
					計	126,048	

重点施策と 推進政策	(3)-ホ
---------------	-------

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	232
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107060	市制度資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	928,938	0	0	904,722	24,216
前年度	938,451	0	0	905,000	33,451
増減額	△ 9,513	0	0	△ 278	△ 9,235

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市制度資金元金	900,000							
20	制度資金保証料補給金返還金	4,722								

【目的・効果】
【目的】
 ○市内企業等の経営安定化を図るため、市内金融機関に資金を預託し、それを担保に中小企業の運転・設備等の資金の貸し付けを行う。
【効果】
 市内中小企業の経営の安定と生産性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫及び長野県信用組合)に斡旋資金を預託し、市内企業の運転・設備等に必要な資金の貸し付けを一般貸付より低利に行う。
 ・その際発生する県信用保証協会の保証料の一部を補填する。
 ・制度資金利用者に対し、融資実行日から1年間に限り、年1%を上限にその利子分を補填する。

【詳細事業内訳】
 制度資金貸付事業 928,938千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	50	申請書印刷費						
19	負担金補助及び交付金	28,888	制度資金保証料補給金、制度資金利子補給金						
21	貸付金	900,000	制度資金預託金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	制度資金貸付事業	市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫及び長野県信用組合)に斡旋資金を預託し、市内企業の運転・設備等に必要な資金の貸し付けを行い、市内企業の経営の安定と生産性の向上を図る。	21	貸付金	900,000
				19	負担金補助及び交付金	28,888
				11	需用費	50
					計	928,938
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-子	コード	010901300
		課・係等	商工労政課 産業連携推進係

予算書ページ	232
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	安曇野モデル構築に取り組むまち
	目	02	商工振興費		基本施策	地域資源を活用した産業モデルへの取り組み
	事業	0107070	産業連携推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,672	0	0	0	108	9,564
前年度	12,523	0	0	0	18	12,505
増減額	△ 2,851	0	0	0	90	△ 2,941

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	地域産品販路拡大支援事業出展事業者負担金	18							
20	体験イベント参加費	90								

【目的・効果】
【目標】
 ○地域資源(市内産の農林水産物)を最大限活用するとともに、既存の 카테고리의枠を超えた事業者連携により、それぞれの有する経営資源を相互に有機的に発揮し、地域ビジネスとして新たな産業の構築を図る。
【効果】
 異業種との連携・協同による商品開発や販路拡大、新たなサービスの形成などにより、付加価値の高い「ブランド」が発信され、併せて地域活性化に繋げる事業とする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・産業支援コーディネーターと外部プロデューサーを配置し、情報の共有を図り連携型産業のマッチングとブランド化を進める。
 ・市内の異業種間が連携した取り組みの推進に向け調整を図り、「農商工等連携型産業推進協議会」により、課題解決に向け情報の共有も図る。
 ・地域資源活用型連携推進事業を推進するため、事業公募等を実施し、審査会による補助事業採択を行うなど具現化に向けた推進を図る。
 ・既存商品群も含め、首都圏への販路拡大を行ない、企業収益の向上と新取引先の開拓に向け支援をする。
 ・首都圏モニター等による安曇野の地域資源のポテンシャルを探るため、首都圏ニーズ調査を実施し、商品開発等の基礎資料とし、商品ブラッシュアップに繋げられる商品づくりのための支援を行う。
 ・銀座NAGANOを活用して、安曇野そば打ち体験の開催や地ビールなどの提供を行い、安曇野の魅力を発信する。

【詳細事業内訳】
 地域資源活用型連携推進事業 3,492千円 企業サポート事業(食品流通系) 6,180千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	3,398	産業支援コーディネーター(食品流通系)			19	負担金補助及び交付金	3,589	販路拡大展示会小間負担金、地域資源活用型・販路拡大補助金等		
08	報償費	320	外部プロデューサー謝礼、地域資源活用型連携推進事業審査会等								
09	旅費	752	職員・産業支援コーディネーター販路拡大事業及び連携推進事業関係旅費等								
11	需用費	69	コーディネーター車燃料代、銀座NAGANO体験催事用資材費								
12	役務費	59	販路拡大展示会出展用宅配費								
13	委託料	800	首都圏等市場ニーズ調査業務委託費								
14	使用料及び賃借料	685	コーディネーター車リース代、販路拡大展示会備品レンタル代、銀座NAGANO施設使用料等								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域資源活用型連携推進モデル型事業	モデル的な農商工連携事業として、新たな地域資源ホップの生産と地ビールの製造を推進し、地域の活性化に繋げるための域内消費喚起策を検討し、具現化に向けた取り組み支援を行う。	19	負担金補助及び交付金	1,327
				09	旅費	155
					計	1,482
2	ソフト	首都圏等市場ニーズ調査事業	市総合戦略により、地域資源を最大限に活かした商品等について、首都圏の主婦及び流通業者のモニター調査を実施し、商品開発の基礎資料収集と事業者における経営革新に繋げる契機を促す。	13	委託料	800
					計	800

重点施策と 推進政策	(3)-イ
---------------	-------

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	234
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107130	しごと創出事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,564	0	0	0	0	17,564
前年度	23,644	0	0	0	0	23,644
増減額	△ 6,080	0	0	0	0	△ 6,080

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○新たな産業(しごと)を創出し、雇用の拡大を図る。
【効果】
 ・新規企業者の掘り起こしを行い、起業を促進する。
 ・若者や女性の新たな起業を促進する。
 ・空き店舗の減少により、活力あるまちづくりを促進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・創業実現セミナーを安曇野市商工会と共催で開催する。
 ・空き店舗等活用促進事業を行う。
 ・若者及び女性起業支援事業を行う。

【詳細事業内訳】
 しごと創出事業 17,564千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	17,564	創業実現セミナー開催事業負担金、空き店舗等活用促進事業補助金、若者・女性起業支援補助金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	若者及び女性起業支援事業	平成29年4月1日時点で35歳未満の者又は女性が新たに起業をする際に必要な経費の内、広告宣伝費・人件費・使用料等の一部及び借家の賃貸借料の一部を補助する。	19	負担金補助及び交付金	2,740
					計	2,740
2	ソフト	空き店舗等活用促進事業	市内の空き店舗において新たに事業を行う者に対して、その家賃の2分の1(上限5万円)を補助する。	19	負担金補助及び交付金	13,624
					計	13,624

重点施策と 推進政策	(3)-口	コード	010902100	予算書ページ	234
		課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当		

予算	款	07	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,641	0	0	0	12	10,629
前年度	13,331	0	0	0	20	13,311
増減額	△ 2,690	0	0	0	△ 8	△ 2,682

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	天蚕振興基金利子		12						

【目的・効果】
【目的】市民との協働による安曇野ブランドの創出や、ブランドイメージの効果的な発信を行う。
【効果】観光地としての魅力向上や市内産品の商品価値を高め、地域振興に繋げる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野やさいスイーツフェアの開催や安曇野林檎ナポリタンのPRなど、安曇野の食の魅力情報を発信する取り組みを行う。
 ・映画・ドラマ等の制作関係者が市内に宿泊し撮影を行う場合、宿泊費の助成を行い、安曇野市へのロケ誘致を図る。
 ・安曇野の朝の魅力を伝えるためVIを活用したイメージ統一を図るとともに、インスタグラムを活用した情報発信について検討する。
 ・安曇野市の特産品の一つである天蚕に関する資料展示や機織作業が見学できる安曇野市天蚕センターの指定管理を行う。また、安曇野市天蚕振興会と連携し、産業として確立できるよう必要な支援を行う。
 ・安曇野ブランドの創出に取り組む市民団体の支援を行う。

【詳細事業内訳】
 天蚕センター維持管理事業 4,231千円 天蚕振興事業2,205千円 安曇野ブランド創出事業 4,205千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	154	ご当地料理検討協力謝礼等			25	積立金	13	天蚕振興基金		
09	旅費	129	会議・視察旅費								
11	需用費	506	天蚕センター修繕費等								
12	役務費	29	手数料								
13	委託料	5,198	天蚕センター指定管理料、メディア・ロケ誘致推進事業、VI広報事業等								
14	使用料及び賃借料	305	天蚕センター借地料等								
19	負担金補助及び交付金	4,307	プロジェクト団体、天蚕振興会等補助								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	天蚕振興事業	天蚕飼育林の栽培エリアを拡大し、天蚕繭の収量の拡大を図る。 また、安曇野市天蚕センターを拠点に、関係産地と連携した広域観光ルートを整備する。	11	需用費	456
				13	委託料	3,540
				14	使用料及び賃借料	305
				19	負担金補助及び交付金	2,122
					計	6,423
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-口
---------------	-------

コード	010902200
課・係等	観光交流促進課 観光交流促進係

予算書ページ	236
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	観光イベント事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,723	0	0	0	8,000	28,723
前年度	46,963	0	0	0	23,000	23,963
増減額	△ 10,240	0	0	0	△ 15,000	4,760

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
観光や二地域居住により交流人口を拡大させ、観光経済波及効果による地域経済の活性化を図る。
(人口減少による影響の軽減を図る。)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
市民・全ての産業事業者(従事者)・市外からの来訪者を対象に、魅力ある観光イベントの開催と情報の発信により、市域外から市内消費(観光振興による他産業への経済波及)を呼び込む。

【詳細事業内訳】
観光イベント事業 36,723千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	おもてなし事業等謝礼 駅からハイキング・JRリゾートビュー・信州DCほか								
09	旅費	300	観光イベント等県外における宣伝								
11	需用費	100	観光情報発信用事務消耗品費								
19	負担金補助及び交付金	36,223	早春賦まつり 信州安曇野ハーフマラソン 信州安曇野あやめまつり 信州安曇野わさびまつり 安曇野花火 安曇野観光草競馬 安曇野神竹灯								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	観光イベント事業	魅力ある観光イベントの開催を通じ、市域外から来訪者を呼び込む。観光や二地域居住による交流人口を拡大させ、観光振興による他産業への経済波及を拡大し、地域経済の活性化に向けた取り組みを推進する。	19	負担金補助及び交付金	36,223	
				09	旅費	300	
				08	報償費	100	
				11	需用費	100	
					計	36,723	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(3)-二	コード	010902100		予算書ページ	236
		課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当			
予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,434	5,800	0	0	3,550	62,084
前年度	59,405	0	0	0	0	59,405
増減額	12,029	5,800	0	0	3,550	2,679

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	新型交付金	5,800							
18	山岳環境整備基金繰入金	3,550								

【目的・効果】
【目的】
 安曇野市へ来訪する観光客が快適に滞在できるよう、観光案内や二次交通を充実させる等、受け入れ体制を整備する。
 着地型旅行商品の造成により、魅力的な旅行提案を行う。
 インバウンド需要を取り込むための受け入れ体制整備やエージェント営業等を積極的に行う。
【効果】
 観光誘客により他産業へも経済効果を波及させ、地域の活性化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高駅前観光情報センターと大王わさび農場観光案内所を中心に、来訪者への観光案内業務を行う。
 ・安曇野市の地域資源を活用した着地型旅行商品の造成・販売を行う。
 ・周遊バスや空港シャトル便を運行し二次交通の充実を図る。
 ・山岳観光推進実行委員会が主催する山岳フェスタ2017を実施し、「北アルプスパノラマ銀座」の魅力をアピールする。
 ・地方創生推進交付金を活用し、インバウンド需要を取り込むため、インバウンド商談会への参加や海外エージェントの招聘等、営業活動を強化する。
 ・外国人受入研修会(外国語対応研修会)の開催や外国語マップの作成等、観光客の受入体制を強化する。
 ・穂高駅から大王わさび農場を中心にWi-Fi環境の整備を行う。
 ・農家民泊などの学習旅行の受け入れを行い、多くの子供たちに安曇野を体感していただく機会を提供する。

【詳細事業内訳】
 来訪者受入環境整備事業17,172千円 観光推進組織支援等事業 54,262千円

【一般財源増加理由】 地方創生推進交付金事業の増加等によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	22	クリーニング代				
13	委託料	18,550	Wi-Fi整備事業、観光案内・情報発信等業務				
19	負担金補助及び交付金	52,862	観光推進組織補助金、二次交運営補助等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	外国人誘客事業	地方創生推進交付金を活用し、海外エージェントの招聘やインバウンド商談会への参加等、外国人誘客のための営業活動を安曇野市観光協会と連携し実施するとともに、外国語対応研修会の開催等、受入体制を強化する。	19	負担金補助及び交付金	11,600	
					計	11,600	
2	ハード	○ Wi-Fi環境整備事業	穂高駅から大王わさび農場周辺にWi-Fi環境を整備し、外国人旅行者の誘客を図る。	13	委託料	9,300	
					計	9,300	

重点施策と 推進政策	(3)-ハ
---------------	-------

コード	010902100
課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当

予算書ページ	236
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信 事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,524	8,000	0	0	0	27,524
前年度	32,489	0	0	0	0	32,489
増減額	3,035	8,000	0	0	0	△ 4,965

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】観光地として「安曇野」が選ばれるよう関係市町村・事業者と連携し、安曇野の魅力を情報発信する。
【効果】交流人口の拡大による地域活性化

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市を紹介するための旅行雑誌・新聞等への広告掲載、総合パンフレットの作成、高速バス(新宿～白馬線)へのラッピング広告、松本山雅HPへの観光情報掲出等により、安曇野市の観光資源をPRする。
 ・銀座NAGANOを活用し観光誘客を目的としたイベントを開催する。
 ・観光協会、商工会等と連携した海外プロモーションを実施する。

【詳細事業内訳】
 観光プロモーション事業 27,465千円 広域団体連携事業8,059千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	800	情報発信記念品、イベント協力等謝礼								
09	旅費	1,188	観光PRイベント等旅費								
11	需用費	1,555	パンフレット印刷等								
12	役務費	6,072	新聞・雑誌等広告掲載費、高速バスラッピング等								
13	委託料	2,676	誘客宣伝用ノベルティ、総合パンフレット制作等								
14	使用料及び賃借料	174	駐車場使用料								
19	負担金補助及び交付金	23,059	海外プロモーション協議会補助金、広域観光団体等負担金等								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	海外プロモーション事業	安曇野市観光協会、安曇野市商工会、あづみ農協などで組織する安曇野市海外プロモーション協議会において、海外に向けてAZUMINOの情報発信を行い、外国人旅行者の誘客を図る。	19	負担金補助及び交付金	15,000	
					計	15,000	
2	ソフト	広域連携観光誘客事業	県や周辺市町村、観光施設等と連携し、観光誘客の推進や、松本空港の利用促進等の事業に取り組む。	19	負担金補助及び交付金	8,059	
					計	8,059	

重点施策と 推進政策	(3)-二	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	238
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107120	観光拠点整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	339,938	107,992	0	215,900	0	16,046
前年度	380,695	92,655	0	0	60,000	228,040
増減額	△ 40,757	15,337	0	215,900	△ 60,000	△ 211,994

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	107,992							
21	しゃくなげの湯整備事業	215,900								

【目的・効果】

【目的】・安曇野市の特性である、自然環境資源等を生かした観光拠点の整備を行う。
 【効果】・観光拠点の整備及び拠点間を繋げるにより、来訪者の市内での回遊性を高め、滞在時間の延長と満足度の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・都市再生整備計画事業により、平地での観光拠点整備事業を計画的に行なう。(平成26年度から平成30年度までの5ケ年間)
 ・安曇野しゃくなげの湯周辺整備事業の情報館・足湯等整備工事及び設計・監理業務、並びに造園・周辺駐車場(3・4工区)の整備工事等を行なう。

【詳細事業内訳】

しゃくなげの湯周辺整備事業 339,938千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	11,124	情報館・足湯等設計業務、2-1工区整備工事監理業務、1-2工区等整備工事監理業務				
15	工事請負費	324,963	2-1工区整備工事(造園)、1-2工区整備工事(情報館・足湯)、足湯解体撤去工事、駐車場整備工事3・4工区				
17	公有財産購入費	851	土地購入				
22	補償補填及び賠償金	3,000	建物補償1件				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	しゃくなげの湯周辺整備事業	安曇野しゃくなげの湯の周辺整備を行ない、観光拠点としての基盤整備により来訪者等の滞在時間の延長を図る。	15	工事請負費	324,963
				13	委託料	11,124
					計	336,087
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-二
---------------	-------

コード	010902300
課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	238
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,664	0	0	0	1,090	5,574
前年度	20,319	0	0	0	1,090	19,229
増減額	△ 13,655	0	0	0	0	△ 13,655

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ふれあい体験館外施設使用料	1,090							

【目的・効果】

- 【目的】・貴重な資源である天然温泉を多くの人々が利用できるよう、既存温泉施設の維持管理を行い安曇野の魅力を高める。
- 【効果】・老朽化が進む施設を適切に維持管理し、利用者が天然温泉を享受できるよう受け入れ体制を整え、利用者の満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野しゃくなげ湯、多里山の神、足湯の適正な維持管理を行ない、来訪者の満足度向上を図る。
- ・安曇野しゃくなげの湯薪ボイラーへの薪供給。
- ・指定管理者と連携を密にして施設の有効活用及び市民サービスの向上に努める。

温泉施設経営管理等事業 6,664千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	27	鉱山保安会議				
11	需用費	5,636	足湯清掃用品、しゃくなげの湯ボイラー用薪、指定管理施設修繕費、電気料・水道料				
12	役務費	11	豊科鉱山水質検査等				
13	委託料	830	足湯管理業務委託料、温公園清掃業務委託料				
14	使用料及び賃借料	160	温泉公園駐車場借地料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	しゃくなげの湯ボイラー用薪供給	しゃくなげの湯の薪ボイラーに松くい虫被害木等を薪材として供給し、被害木等の有効活用及び施設の適正な運営を図る。	11	需要費	3,737
					計	3,737
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-二	コード	010902300		予算書ページ	238
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	07	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,089	0	0	0	3,089
前年度	2,476	0	0	0	2,476
増減額	613	0	0	0	613

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】・安曇野の近代化を支えた篠ノ井線の当時の姿を楽しめるよう、維持管理を行い、来訪者の増加を図る。
【効果】・歴史的遺産を、貴重な観光資源として活用し、来訪者の滞在時間の延長を図り満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・潮沢廃線敷の公衆便所等維持管理により、受け入れ環境を整え、来訪者の満足度の向上を図る。
 ・三五山トンネル、漆久保トンネルの安全・安心を高めるため、継続監視業務を行なう。
 ・施設の有効性についての検証を進める。

【詳細事業内訳】
 廃線敷施設維持点検管理事業 3,089千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	300	廃線敷遊歩道整備謝礼						
11	需用費	385	潮公衆便所他電気料、水道料、下水道料						
12	役務費	182	トイレ汲取り手数料						
13	委託料	2,087	三五山、漆久保トンネル継続監視業務委託、トイレ清掃委託料等						
14	使用料及び賃借料	91	仮設トイレ借上料						
16	原材料費	44	廃線敷整備用砂利						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	廃線敷施設維持点検管理事業	三五山・漆久保トンネル継続監視業務を行い、利用者の安全安心を確保する。	13	委託料	832
					計	832
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-二	コード	010902300			
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業			

予算書ページ	240
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	126,173	26,920	300	0	20,825	78,128
前年度	98,616	610	0	0	1,899	96,107
増減額	27,557	26,310	300	0	18,926	△ 17,979

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	自然環境整備交付金(国立公園整備事業)	22,920	17	企業版ふるさと寄附(観光)	100					
14	都市再生整備計画事業	4,000	18	山岳環境整備基金繰入金	19,630					
15	ビューポイント整備事業補助金	300	20	観光施設駐車場負担金	697					

【目的・効果】
 【目的】・市民と来訪者が観光施設を快適に利用できるよう、施設整備及び維持管理を行なう。
 【効果】・整備管理された観光施設を利用いただくことにより、安曇野市のイメージアップを図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・山岳観光振興における登山者用トイレの快適性向上を図るため、合戦小屋トイレ新築工事、三股駐車場トイレ改修工事を行なう。
 ・登山道整備のための費用を、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金として支出する。(29年度整備路線は、燕岳歩道、常念岳歩道等の協議会登録ルートを中心に整備する。)
 ・かじかの里公園等の公園施設(8施設)及び公衆便所(23ヶ所)の維持管理を行なう。
 ・都市再生整備計画事業により、水辺の里認定エリア内のVIサイン看板等整備工事を行なう。

【詳細事業内訳】
 合戦小屋トイレ整備事業 46,036千円 観光施設公園管理事業 36,977千円 三股駐車場トイレ整備事業 13,598千円 観光案内看板整備事業 10,000千円 登山道等整備事業 19,562千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容			
節	節名称	金額		節	節名称	金額	
07	賃金	1,790	臨時職員	15	工事請負費	72,619	合戦小屋トイレ新築工事、三股駐車場トイレ改修工事、中房登山口第2駐車場側溝整備工事等
08	報償費	1,941	登山道草刈謝礼、光城山清掃謝礼等	16	原材料費	348	明科駅前植栽用花苗、駐車場整備用砕石
09	旅費	66	事業先進地視察	18	備品購入費	35	かじかの里レジスター
11	需要費	5,652	施設小破修繕、光熱水費	19	負担金補助及び交付金	7,868	北アルプス登山道等維持連絡協議会負担金等
12	役務費	1,462	トイレ汲取り手数料等	25	積立金	308	山岳環境整備基金利子積立金
13	委託料	17,063	公衆便所等清掃業務委託等	28	繰出金	12,584	観光宿泊施設事業特別会計繰出金
14	使用料及び賃借料	4,437	白鳥湖仮設トイレ借上料、観光施設用地借地料等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	合戦小屋トイレ整備事業	合戦小屋トイレの新築工事により、施設を快適に利用いただき、来訪者等の満足度向上を図る。	15	工事請負費	45,162
				13	委託料	679
				14	使用料及び賃借料	195
					計	46,036
2	ハード	観光案内看板整備事業	都市再生整備計画事業により、安曇野市内水辺の里認定区域内の観光案内看板の整備を行ない、来訪者等の円滑な案内誘導を図る。	15	工事請負費	10,000
					計	10,000

重点施策と 推進政策	(3)-二	コード	010902300			
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	07	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107170	自然交流センター			

予算書ページ	242
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,559	0	0	0	0	5,559
前年度	3,362	0	0	0	0	3,362
増減額	2,197	0	0	0	0	2,197

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】・貴重な水環境資源に触れ自然体験ができるよう、施設の管理運営を行なう。
【効果】・当施設の利用により、豊富な水と自然に親しみ、自然とのふれあう機会を提供し、観光拠点としても市内での回遊性と来訪者の滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理者により自然体験交流センター「せせらぎ」の良好な管理運営を行なうとともに、施設の新たな有効活用方法について検討する。

【詳細事業内訳】
 自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業 5,559千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	100	小破修繕				
13	委託料	3,910	指定管理料 せせらぎ展望デッキ補修工事設計業務・工事監理業務				
15	工事請負費	1,549	せせらぎ展望デッキ補修工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業 現在閉鎖されている展望デッキを市民や来訪者が利用できるよう修繕を行い、施設の有効活用を図ると共に、雄大な安曇野の自然景観を楽しんでもらい来訪者の滞在時間の延長を図る。	13	委託料	648
				15	工事請負費	1,549
					計	2,197
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-二
---------------	-------

コード	010902300
課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	252
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	河川費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	01	河川費		基本施策	観光の振興
	事業	0108170	水辺の楽校費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,847	0	0	0	1,847
前年度	1,649	0	0	0	1,649
増減額	198	0	0	0	198

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】・遊歩道の散策や貴重な資源である水に触れ、自然体験ができるよう施設の維持管理を行なう。
【効果】・恵まれた湧水と緑豊かな自然に包まれた環境を活かし、来訪者に自然とふれあう場を提供し、観光拠点として来訪者の市内での回遊性を高め、滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・御宝田水のふるさと公園の維持管理を行い、来訪者が自然に親しむ機会の提供を行う。

【詳細事業内訳】
 御宝田水のふるさと公園の管理事業 1,847千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	398	施設管理用品						
12	役務費	24	し尿汲取り手数料、保険料						
13	委託料	1,234	公園整備業務委託料						
14	使用料及び賃借料	191	重機借上料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	御宝田水のふるさと公園の管理事業	・御宝田遊水池の草刈整備業務委託等を行い施設の適正な管理により自然とのふれあう場を提供し、滞在時間の延長を図る。	13	委託料	1,234
					計	1,234
2					計	0

都市建設部

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011001100	予算書ページ	244
		課・係等	監理課 庶務係		

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108010	土木総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	265,543	5,833	0	0	37,116	222,594
前年度	262,219	0	10	0	38,857	223,352
増減額	3,324	5,833	△ 10	0	△ 1,741	△ 758

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路占用料	26,896	13	市道占用料督促手数料	1	20	その他雑入(都市建設部)	1	
13	道路占用料滞納繰越分	1	13	公共物占用料督促手数料	1					
13	公共物占用料	3,200	14	国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	5,833					
13	公共物占用料滞納繰越分	1	20	有料道路割引回数通行券販売代	7,015					

【目的・効果】
【目的】
 ・社会資本ストックの的確な維持管理に努め、社会基盤の骨格となる幹線道路等の整備を推進する。
【効果】
 ・人、モノ、情報の交流が盛んになり、産業の振興、文化交流の促進、生活の利便性や災害時における安全性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三才山トンネル等有料道路を利用する市民の負担軽減を図るため、割引通行券の販売を行う。
- ・市内建設業に係る技術者を育成し、経営と雇用の安定を図るため、資格取得費用補助を行う。
- ・所管する公用車の維持管理、事務消耗品管理を行う。

【詳細事業内訳】
 ・土木総務費255,865千円 ・建設技術者等資格取得費補助金交付事業1,260千円
 ・有料道路通行料金負担軽減事業8,418千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	140,160	一般職(36人)	27	公課費	166	公用車の自動車重量税166千円
03	職員手当等	68,911	職員諸手当				
04	共済費	42,961	職員共済組合納付金				
11	需用費	2,893	事務用品等607千円・公用車燃料費及び修繕費2,275千円・印刷製本費11千円				
12	役務費	774	公用車車検497千円・自賠責保険料277千円				
14	使用料及び賃借料	8,418	有料道路割引回数券購入代8,418千円				
19	負担金補助及び交付金	1,260	建設業技術者資格取得費補助1,260千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	有料道路通行料金負担軽減事業	三才山トンネル等有料道路を利用する通勤・通学・通院者に対し、「時間帯割引券」を販売し、利用者の負担軽減を図る。	14	使用料及び賃借料	8,418	
					計	8,418	
2	ソフト	建設技術者等資格取得費補助金交付事業	建設業者が負担する資格取得費用の1/2以内の額(上限10万円)を補助する。従業員の資格取得で、技術者が確保され公共事業の品質確保ができる。また、建設業者の負担軽減により雇用創出が期待できる。	19	負担金補助及び交付金	1,260	
					計	1,260	

重点施策と 推進政策	(4)	コード	011001300			
		課・係等	監理課 管理登記担当			
予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108020	地籍管理費			

予算書ページ	244
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,231	0	0	0	432	28,799
前年度	41,735	0	0	0	432	41,303
増減額	△ 12,504	0	0	0	0	△ 12,504

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公図写等発行手数料	432							

【目的・効果】
【目的】
 ・国土調査法第21条第2項の規定に基づき、調査成果である土地台帳及び地籍複図(公図)を適正に管理し、利用する市民や市外の利用者に提供する。
【効果】
 ・土地台帳、地籍複図(公図)については平成27年度より、地籍管理システムを運用して市民への閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られている。また、本事業により更新する地籍情報は、本市GISシステムの基礎として利用されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地籍管理システムの稼働に伴い、法務局から送付される異動通知書を基に、土地の分筆・合筆や所有権移転等のデータ更新を業務委託により行う。
- ・安曇野市が行う、道水路改良事業等により取得した、公共用地の登記事務を嘱託登記事務職員を雇用して行う。
- ・道水路の管理者として、申請者からの申請に基づき、官民境界の確認事務を行う。

【詳細事業内訳】
 ・土地台帳、公図管理事務 18,458千円 ・公共取得用地登記事務 10,773千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	4,669	嘱託登記事務職員賃金 4,669千円								
11	需用費	104	スプレーペンキ等現場用品 104千円								
13	委託料	24,458	地籍管理システム異動更新業務 18,458千円 地図訂正業務 6,000千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	土地台帳、公図管理事務	法務局から送付される異動通知書に基づき、地籍情報のデータ更新を業務委託により行う。地籍管理システムにより、土地台帳・公図の閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られる。	13	委託料	18,458		
					計	18,458		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011001100		予算書ページ	246
		課・係等	監理課 庶務係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108040	道路橋梁総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,329	0	0	0	0	1,329
前年度	553	0	0	0	0	553
増減額	776	0	0	0	0	776

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。
 【効果】
 ・国県道の整備促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種道路関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

【詳細事業内訳】
 ・道路関係同盟会事業 1,329千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	321	各種同盟会、総会等旅費189千円・各種中央要望等旅費132千円						
13	委託料	475	ラウンドアバウトサミット464千円・須砂渡トンネル要望バス運行11千円						
19	負担金補助及び交付金	533	道路関係同盟会等の負担金489千円(長野県道路整備期成同盟会他9団体)・道路愛護会44千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	道路関係同盟会事業	各種同盟会に参画し、関係機関への要望活動を行う。要望活動により事業促進が図られる。	09	旅費	321
				13	委託料	475
				19	負担金補助及び交付金	533
					計	1,329
2					計	0

予算書ページ	246
--------	-----

重点施策と推進政策	(4)	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108050	道路橋梁管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,638	0	0	0	556	24,082
前年度	23,546	0	0	0	0	23,546
増減額	1,092	0	0	0	556	536

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路占用料	504							
20	地図等交付代	52								

【目的・効果】

【目的】

・道路法28条の規定により、道路管理者は道路台帳を調整、保守しなければならないため、同法に基づき整備している道路台帳について、適正な管理を目的に、過年度工事個所等の台帳更新を行う。

【効果】

・整備した台帳のデータは、道路行政の基礎的資料とするほか、台帳図は市のホームページにおいて閲覧可能とし、市民にも活用されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・道路台帳管理システムの図面データ及び調書の補正更新を業務委託により行う。
- ・道路水路の適正利用を図るため、道路水路の管理事務を行う。
- ・道路及び公共物に対する占用、自営工事等の申請について、その許認可事務と、占用料金徴収事務を行う。

【詳細事業内訳】

・道路台帳加除事業 24,134千円 ・市道法定外公共物管理事務 504千円

【一般財源増加理由】 道路台帳補正業務における、烏川基盤整備に伴う台帳図作成数量の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	180	占用料納付関係用紙印刷 180千円				
12	役務費	290	市道清掃除草手数料 290千円				
13	委託料	24,134	道路台帳補正更新業務委託料 24,134千円				
14	使用料及び賃借料	34	道路用地借地料 34千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	道路台帳加除事業	道路台帳の調整と保守のため、過年度工事個所等のデータ更新を業務委託する。 台帳データは道路行政の基礎的資料とするほか、台帳図はHP上で閲覧可能とし、市民にも活用されている。	13	委託料	24,134
					計	24,134
2					計	0

予算書ページ	246
--------	-----

重点施策と 推進政策	(4)	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108060	道の駅維持管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,700	0	0	0	0	5,700
前年度	5,700	0	0	0	0	5,700
増減額	0	0	0	0	0	0

特定 財源 の内 訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・道路利用者及び観光客の立寄り拠点となっている道の駅の運営管理を指定管理委託により行い、利用者に快適な休憩空間を提供する。
【効果】
 ・道の駅公衆トイレ、情報交流室、駐車場の指定管理委託により、併設する物産センター・農産物加工施設の管理者と同一となるため、施設利用者の利便性向上が期待されると共に、事務の効率化も図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道の駅施設を、隣接する堀金物産センター及び農産物加工施設の指定管理者である、「農事組合法人旬の味ほりがね物産センター組合」に指定管理委託し、管理運営を行う。

【詳細事業内訳】
 ・道の駅管理事務 5,700千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	5,700	指定管理による道の駅管理業務 5,700千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	道の駅管理事務	道の駅公衆トイレ、情報交流室、駐車場の管理を指定管理委託する。 併設する物産センター・農産物加工施設の管理者と同一となるため、利用者の利便性向上が期待される。	13	委託料	5,700	
					計	5,700	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011001200
課・係等	監理課 国県事業推進担当

予算書ページ	248
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	災害に強いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108090	県営新設改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,000	0	0	0	0	19,000
前年度	22,000	0	0	0	0	22,000
増減額	△ 3,000	0	0	0	0	△ 3,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・危険箇所の防災工事を実施し、災害に強いまちづくりを進める。
- ・本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。

【効果】

- ・県営事業に対して市が事業費を一部負担することで、危険箇所の改善及び道路網の整備が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・急傾斜地崩壊対策、兼用側溝整備、県単道路改良事業に対して、事業費の一部を負担する。
急傾斜地崩壊対策事業(5%)
兼用側溝整備事業(50%)
県単道路改良事業(15%)

【詳細事業内訳】

- ・県営新設改良事業負担金 19,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	19,000	県営新設改良事業負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	県営新設改良事業負担金	事業費の一部を負担することで、急傾斜地崩壊対策、兼用側溝整備等の事業が実施可能となり、危険箇所の改善及び道路網の整備が図られる。	19	負担金補助及び交付金	19,000
					計	19,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011001100
課・係等	監理課 庶務係

予算書ページ	252
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	03	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108130	河川総務費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,024	0	0	80	944
前年度	648	0	0	506	142
増減額	376	0	0	△ 426	802

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	取水占用料	80							

【目的・効果】
 【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、河川の整備促進を図る。
 【効果】
 ・市内河川の整備促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種河川関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

【詳細事業内訳】
 ・河川関係同盟会事業 1,024千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	155	各種同盟会、総会等旅費95千円・各種中央要望等旅費60千円						
19	負担金補助及び交付金	869	河川関係同盟会等の負担金869千円(長野県河川協会他6団体)						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	河川関係同盟会事業	各種同盟会に参画し、関係機関への要望活動を行う。要望活動により事業促進が図られる。	09	旅費	155
				19	負担金補助及び交付金	869
					計	1,024
2					計	0

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策と推進政策	(4)	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	03	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108140	河川管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	515	0	0	0	515	0
前年度	515	0	0	0	0	515
増減額	0	0	0	0	515	△ 515

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	取水占用料	515							

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の準用河川等について、地元区及び河川愛護会の協力を得て、除草・清掃作業を行い、河川環境の保全を図る。
【効果】
 ・河川内の除草・清掃作業を行うことにより、良好な河川環境の保全が図られると共に、地元住民の河川愛護意識の醸成が期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内河川の除草清掃作業を、地元区及び河川愛護会の協力を得て行い、河川環境の保全に努める。

【詳細事業内訳】
 ・河川管理愛護事務 515千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
12	役務費	515	河川除草清掃等手数料 515千円							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	河川管理愛護事務	河川敷地の除草清掃作業を各団体の協力により行い、良好な河川環境の保全に努めることで、地域の河川愛護意識の醸成が期待される。	12	役務費	515	
					計	515	
2					計	0	

予算書ページ	248
--------	-----

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011001200
		課・係等	監理課 国県事業推進担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	災害に強いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108230	国県事業推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
899	0	899	377	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	522

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	14	377					

【目的・効果】

【目的】

・国・県事業の円滑な推進を図るため、国・県と地元の調整及び、必要な調査等行う。

【効果】

・主要幹線道路である国・県道の整備が進むことで、安全・安心な生活環境が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・国道19号明科駅前歩道整備事業の、国と地元の調整及び国との委託契約による用地事務を行う。また、事業促進のため国への要望活動を行う。
- ・梓橋周辺のOD調査を行い、渋滞対策に向けた協議を行う。

【詳細事業内訳】

・国県事業推進事業 899千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
03	報償費	32	OD調査粗品				
09	旅費	586	国道19号明科駅前歩道整備事業要望、及び用地交渉旅費				
11	需用費	149	自主避難マップ印刷				
12	役務費	124	OD調査はがき代				
14	使用料及び賃借料	8	要望活動移動費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国県事業推進事業	国道19号明科駅前歩道整備事業の、国と地元の調整、用地事務を行う。明科駅周辺まちづくりに効果が期待される。 梓橋周辺OD調査を行い、渋滞対策に向けた協議を行う。	3	報償費	32
				09	旅費	586
				11	旅費	149
				12	役務費	124
				14	使用料及び賃借料	8
					計	899
2					計	0

予算書ページ	244
--------	-----

重点施策と 推進政策	(4)	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108030	建設機械管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,084	0	0	0	0	3,084
前年度	11,607	0	0	0	0	11,607
増減額	△ 8,523	0	0	0	0	△ 8,523

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・道路維持を進めるにあたり、市が保有する維持作業車や機械器具を常時良好な状態を保つように管理する。

【効果】

・安全な作業や緊急時の円滑な対応による、市道の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・道路維持作業車の車検、法定点検及び車両整備の実施と機械器具の点検整備を行う。

【詳細事業内訳】

・道路維持作業車整備事業 3,084千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,900	作業車消耗品外700千円、燃料費450千円、作業車修繕750千円				
12	役務費	828	車検・定期点検手数料530千円、自賠責保険料298千円				
27	公課費	356	自動車重量税356千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路維持作業車整備事業	維持作業車両を常時良好な状態に保つための整備を行う。市道の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。	11	需用費	1,900
				12	役務費	828
				27	公課費	356
				18	備品購入費	0
					計	3,084
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011002200		
		課・係等	建設課 維持担当		

予算書ページ	246
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108070	道路橋梁維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	331,092	0	0	0	288,000	43,092
前年度	253,115	0	0	0	211,000	42,115
増減額	77,977	0	0	0	77,000	977

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	道路復旧費原因者負担金	88,000				
18	公共施設整備基金繰入金	200,000					

【目的・効果】
【目的】
 ・一般交通に支障を及ぼさないよう維持管理を行い、道路利用者が安全・安心に利用できる道路環境を提供する。
【効果】
 ・道路利用者が安全・安心して通行できる良好な道路施設が提供される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・道路パトロールの実施により、危険箇所の早期解消を進める。
- ・道路の路面、道路側溝等の傷んだ部分の維持修繕工事を行う。
- ・道路占用工事完了後の舗装本復旧工事を行う。
- ・主要な市道・除雪優先路線・管理協定箇所の路面清掃、草刈り、街路樹管理、及び支障木伐採、側溝清掃等の道路環境整備を行う。
- ・地区で行う道路整備活動に必要な原材料を支給する。

【詳細事業内訳】
 ・道路橋梁維持事業326,533千円 ・道路維持総務費 4,559千円

【一般財源増加理由】 占用工事道路復旧費の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,635	臨時職員賃金3,635千円				
11	需用費	3,758	消耗品300千円、燃料費25千円、施設修繕費1,450千円、光熱水費1,983千円				
12	役務費	210	電話通信料130千円、廃棄物収集運搬手数料80千円				
13	委託料	5,500	道路清掃外2,500千円、計画調査測量1,000千円、工事設計2,000千円				
14	使用料及び賃借料	489	現場状況報告システム利用費389千円、機械借上げ100千円				
15	工事請負費	314,200	道路等維持修繕200,000千円、占用工事道路復旧114,200千円				
16	原材料費	3,300	道路補修用資材2,300千円、資材支給1,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路施設の維持補修	一般交通に支障を及ぼさないよう、道路を常時良好な状態に保つために維持管理を行う。道路利用者に安全・安心な道路環境が提供される。	15	工事請負費	200,000
				13	委託料	2,500
					計	202,500
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011002200
課・係等	建設課 維持担当

予算書ページ	248
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108080	除雪対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	115,815	0	0	0	0	115,815
前年度	121,821	0	0	0	0	121,821
増減額	△ 6,006	0	0	0	0	△ 6,006

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・除雪計画に基づき、積雪時の交通や歩行者の安全を確保するため、市道の除融雪作業を行うとともに、地域住民と協力して効率的な作業を行う。

・業務に必要な市保有の除雪車両を良好な状態に保つため点検整備を行い、業務に必要な台数を確保すると共に、円滑な作業を行う。

【効果】

・降雪や積雪による交通遮断防止により、市内の産業、経済活動と市民生活の安定が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・除雪、排雪、融雪業務を委託する。
- ・除雪車両の管理と点検整備を行う。
- ・除雪業務で不足する除雪用タイヤドーザを借上げにより確保する。
- ・除融雪指定路線以外の、地域に密着した生活道路や歩道の除雪は、地域の協力により行うよう依頼する。
- ・歩行型除雪機を各区へ貸与する。また、融雪剤を配布する。

【詳細事業内訳】

・除雪融雪事業 115,815千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	19,314	凍結防止剤14,000千円、除雪車特殊消耗品2,050千円、燃料費514千円、除雪車修繕費2,750千円				
12	役務費	2,565	降雪量調査30千円、除雪車両点検外1,760千円、除雪ボランティア保険617千円、自賠責保険料158千円				
13	委託料	79,000	除雪業務72,000千円、融雪業務7,000千円				
14	使用料及び賃借料	11,996	除雪用タイヤドーザ借上料11,996千円				
18	備品購入費	2,831	歩行型除雪機購入2,831千円				
27	公課費	109	除雪車両(凍結防止剤散布車)重量税109千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	除雪融雪事業	市道1,694kmの内、873kmを除雪路線、104kmを融雪路線に指定し、迅速に対応できるように除融雪業務の委託を行う。降雪や積雪による交通遮断防止により、市民生活の利便性と安全性の確保が図られる。	13	委託料	79,000
				11	需用費	14,000
				14	使用料及び賃借料	11,996
					計	104,996
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011002100		予算書ページ	250
		課・係等	建設課 建設担当			

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路の整備
	事業	0108100	市道新設改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	428,556	0	0	50,800	300,000	77,756
前年度	454,768	0	0	57,000	210,000	187,768
増減額	△ 26,212	0	0	△ 6,200	90,000	△ 110,012

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	公共施設整備基金繰入金	300,000							
21	市道新設改良事業	50,800								

【目的・効果】
【目的】
 ・道路は、暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であることから、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。
【効果】
 ・生活道路の整備により、安全・安心な生活環境が構築される。
 ・地域間を結ぶ重要路線の整備により、地域間の連携強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生活道路の整備(継続:40路線、新規事業化予定:4路線)を進める。
 ・幹線道路の整備(合併特例債事業3路線)を進める。

【詳細事業内訳】
 ・市道新設改良事業(市単独) 370,000千円 ・道路改良総務費 5,056千円 ・市道新設改良事業(合併特例債) 53,500千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	270	不在地主用地交渉、研修旅費及び日当	270千円		18	備品購入費	503	備品購入503千円
11	需用費	819	測量関係用品外809千円、物品修繕費10千円			19	負担金補助及び交付金	542	研修会負担金542千円
12	役務費	1,720	携帯電話料180千円、測量機器検査手数料及び不動産鑑定料外1,540千円			22	補償補填及び賠償金	50,000	道路拡幅部等の物件移転補償、立木及び営業補償費等50,000千円
13	委託料	95,186	保守料186千円、道路改良事業に伴う測量設計、用地測量及び補償調査費95,000千円						
14	使用料及び賃借料	1,016	積算システム使用料1,016千円						
15	工事請負費	225,000	道路改良工事費225,000千円						
17	公有財産購入費	53,500	道路拡幅部の用地買収費53,500千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市道新設改良事業(市単独)	生活道路を整備することにより、安全・安心な道路環境を構築する。	15	工事請負費	205,000
				13	委託料	85,000
				17	公有財産購入費	40,000
				22	補償補填及び賠償金	40,000
					計	370,000
2	ハード	市道新設改良事業(合併特例債)	幹線道路の整備、歩道の整備をすることにより、安全・安心な道路環境を構築する。	15	工事請負費	20,000
				17	公有財産購入費	13,500
				13	委託料	10,000
				22	補償補填及び賠償金	10,000
					計	53,500

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011002100			予算書ページ	250
		課・係等	建設課 建設担当				
予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	02	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち	
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路の整備	
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金 事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	467,000	256,850	0	165,500	0	44,650
前年度	442,000	243,100	0	154,600	0	44,300
増減額	25,000	13,750	0	10,900	0	350

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	道路改良費補助金	256,850							
21	特定交通安全事業	2,000								
21	道路整備事業	163,500								

【目的・効果】
【目的】
 ・道路は、暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であることから、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。
【効果】
 ・道路整備推進計画に基づく、幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備により、地域間の連携強化が図られる。
 ・橋梁長寿命化計画に基づく橋梁修繕、舗装維持管理計画に基づく舗装修繕により、安全・安心な道路環境が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路、歩道等の整備、橋梁、舗装の修繕を進める。
 - ・改良事業 三郷1級5号線(上長尾)・穂高1級6号線(穂高)・明科5080号線(潮沢)
 - ・歩道設置事業 穂高1級15号線(立足)・豊科1級16号線(寺所)・豊科1345号線(新田)・豊科2055号線(新田・細萱)・穂高1級1号線他(穂高)・三郷1級19号線(一日市場)
 - ・橋梁修繕事業 橋梁定期点検(市内一円)・明科1級3号線他(会田川橋他6橋)・豊科1級29号線(拾ヶ堰橋他13橋)
 - ・舗装修繕事業 穂高1級10号線(富田)・豊科1級23号線他3路線(南穂高・豊科)・堀金1441号線他(三田)
- 計15事業

【詳細事業内訳】
 ・市道新設改良事業(交付金) 247,000千円 ・道路橋梁修繕事業(交付金) 220,000千円

【一般財源増加理由】 社会資本整備総合交付金要望額増に伴う一般財源の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	112,500	道路改良事業に伴う測量設計・用地測量・補償調査等35,000千円、橋梁定期点検58,000千円、橋梁・舗装修繕工事に伴う設計19,500千円				
15	工事請負費	333,000	道路改良工事費・歩道設置工事費190,500千円 橋梁・舗装修繕工事費142,500千円				
17	公有財産購入費	5,500	道路拡幅部の用地買収費5,500千円				
22	補償補填及び賠償金	16,000	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償等16,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市道新設改良事業(交付金)	幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備により、安全・安心な道路環境が構築される。	13	委託料	35,000
				15	工事請負費	190,500
				17	公有財産購入費	5,500
				22	補償補填及び賠償金	16,000
					計	247,000
2	ハード	道路橋梁修繕事業(交付金)	橋梁・道路舗装の、計画的な修繕および点検を行うことにより、道路・橋梁の長寿命化が図られ、安全・安心な道路環境が構築される。	13	委託料	77,500
				15	工事請負費	142,500
					計	220,000

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011002200
課・係等	建設課 維持担当

予算書ページ	250
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	02	道路橋梁費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	03	交通安全施設費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0108120	交通安全施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,000	0	0	0	0	30,000
前年度	30,000	0	0	0	0	30,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・交通安全施設を適切に維持・整備し、交通上の安全確保を図り、安全・安心な道路環境を提供する。

【効果】

・安全・安心して利用できる道路環境が提供される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・区やPTAなどからの要望に応じながら、交通安全施設(防護柵、道路反射鏡、警戒標識、路面標示等)の維持・整備を進め、道路利用者に安全・安心な道路環境を提供する。
- ・施設損傷の小破修繕実施及び施設改修・整備を実施する。
- ・道路ストック(道路構造物)総点検結果に基づく、大型道路案内標識の修繕工事を実施する。

【詳細事業内訳】

・交通安全施設整備事業 30,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,000	道路反射鏡ほか施設損傷復旧修繕2,000千円				
15	工事請負費	28,000	施設維持整備22,000千円、大型道路標識修繕6,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	交通安全施設の整備	区やPTAなどからの要望に応じながら、交通事故が起こりにくい道路環境の整備を行う。安全・安心して利用できる道路環境が提供される。	11	需用費	2,000
				15	工事請負費	28,000
					計	30,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ		コード	011002100		予算書ページ	252
			課・係等	建設課 建設担当			
予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	03	河川費		主要施策	災害に強いまち	
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進	
	事業	0108150	河川改修事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,000	0	0	0	0	13,000
前年度	13,000	0	0	0	0	13,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・豪雨や台風などによる準用河川や普通河川の氾濫を防ぐため、河川改修を進める。
【効果】
 ・浸水や溢水、護岸決壊などを防止することにより、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境の整備が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・勝手沢、大井戸川、赤川の河川改修を進める。

【詳細事業内訳】
 ・河川改修事業 13,000千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	3,000	改修工事に伴う測量設計3,000千円						
15	工事請負費	10,000	改修工事費10,000千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	河川改修事業	河川改修工事を行い、河川の溢水を防止することで、流域住民の安全・安心が確保される。	15	工事請負費	10,000
				13	委託料	3,000
					計	13,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011002200
課・係等	建設課 維持担当

予算書ページ	254
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	03	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0108160	河川維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,230	0	0	0	0	10,230
前年度	10,231	0	0	0	0	10,231
増減額	△ 1	0	0	0	0	△ 1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・準用河川及び普通河川の維持管理を行い、河川の機能を保持することで出水時の災害に備え、安全・安心な河川環境を提供する。
 ・水防倉庫の管理と水防資機材の充実を図る。
【効果】
 ・災害に強い河川環境の提供や、出水時など災害への迅速な対応が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・河川構造物の維持を行う。
 ・河川の流下能力が損なわれないように除草、支障木除去及び堆積土の排除を行う。
 ・水防倉庫等の施設維持管理及び水防資機材の充実を図る。

【詳細事業内訳】
 ・水防倉庫施設管理事業 1,390千円 ・河川維持事業 8,840千円 ・水防倉庫改修事業 0千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,197	土のう袋他応急資材購入210千円、倉庫小破修繕250千円、光熱水費607千円、可搬ポンプ修理130千円						
12	役務費	240	排水ポンプ保守点検料240千円						
13	委託料	493	河川環境整備480千円、消防用設備点検13千円						
15	工事請負費	8,000	堆積土砂排除ほか環境維持および河川施設補修8,000千円						
16	原材料費	300	洗滌砂、碎石等水防資材費300千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	河川維持事業	河川の流下能力が損なわれないように、除草、支障木除去及び堆積土砂の排除を行う。災害に強い河川環境が提供される。	15	工事請負費	8,000
					計	8,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011002100
課・係等	建設課 建設担当

予算書ページ	348
--------	-----

予算	款	11	災害復旧費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	01	土木施設災害復旧費		主要施策	利便性の高いまち
	目	01	道路災害復旧費		基本施策	道路の整備
	事業	0111010	道路災害復旧事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,000	4,669	0	2,300	0
前年度	28,000	16,008	0	7,900	0
増減額	△ 17,000	△ 11,339	0	△ 5,600	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共土木施設災害復旧事業負担金	4,669							
21	補助災害復旧事業債	2,300								

【目的・効果】
 【目的】
 ・異常気象等で被災した市管理公共土木施設(道路・河川)の早期復旧を行う。
 【効果】
 ・公共土木施設(道路・河川)を早期に機能回復する事により、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・公共土木施設災害の復旧工事を進める。

【詳細事業内訳】
 ・道路災害復旧事業 11,000千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		13	委託料	2,000	災害復旧工事に伴う測量設計等2,000千円				
		15	工事請負費	9,000	災害復旧工事外9,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路災害復旧事業	公共土木施設災害の復旧工事を行う事で、沿線住民の安全・安心が確保される。	13	委託料	2,000
				15	工事請負費	9,000
					計	11,000
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(3)	コード	011003100	予算書ページ	254
		課・係等	都市計画課 計画係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108180	都市計画総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	211,969	2,754	0	0	12,875	196,340
前年度	211,034	17,375	0	0	18,216	175,443
増減額	935	△ 14,621	0	0	△ 5,341	20,897

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公営住宅使用料	12,835							
14	立地適正化計画推進事業	2,754								
20	都市計画図等交付代	40								

【目的・効果】

【目的】

・秩序ある土地利用を推進し、生活基盤や経済基盤等の整備を図りつつ、市の均衡ある発展と適正かつ合理的な土地利用に努め、計画的なまちづくりを推進する。

【効果】

・豊かな自然環境や景観、歴史・文化が守られ、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりが推進される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成28年度に引き続き、立地適正化計画を策定する。
- ・5年に一度実施している都市計画基本図を修正する。

【詳細事業内訳】

・都市計画総務費 206,073千円 ・立地適正化計画策定業務 5,508千円 ・土地利用制度 388千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	592	都市計画審議会委員報酬 298千円 土地利用審議会委員報酬 294千円				
08	報償費	180	制度評価委員出席謝礼 180千円				
09	旅費	604	職員旅費 372千円 土地利用審議会委員・都市計画審議会委員費用弁償 232千円				
11	需用費	262	大型コピー機用紙代・修繕料 164千円				
13	委託料	19,840	立地適正化計画策定業務委託料 5,508千円 都市計画基本図修正業務委託料 14,332千円				
14	使用料及び賃借料	467	設計書作成積算システム使用料 402千円				
19	負担金補助及び交付金	659	都市計画協会外負担金 310千円 職員研修会負担金外 349千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	立地適正化計画策定業務	人口減少、少子高齢化社会の本格的な到来が予想される中、都市機能の高度化、居住環境の向上及び防災機能を確保したコンパクトシティーを目指すため、「立地適正化計画」を策定する。	13	委託料	5,508
					計	5,508
2						
					計	0

予算書ページ	258
--------	-----

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011003200
		課・係等	都市計画課 都市整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108210	街路整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	403,520	211,750	0	155,900	0	35,870
前年度	154,020	82,500	0	60,700	0	10,820
増減額	249,500	129,250	0	95,200	0	25,050

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	社会資本整備総合交付金(街路分)	211,750							
21	街路事業	155,900								

【目的・効果】

【目的】

・都市の骨格を形成し、安心・安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するため、都市計画道路吉野線の整備を行う。

【効果】

- ・両側歩道を整備することにより、豊科南小学校や県立豊科高校の通学路としての安全性が高まる。
- ・豊科地域の中心市街地の外郭道路が整備され、市街地及び沿線街区からの交通の円滑化に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成29年度は用地取得を主体的に進める。また、取得済となった箇所へ安全対策として転落防止柵等を設置する。

【詳細事業内訳】

・街路整備事業 403,520千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	2,700	補償調査業務 2,700千円				
15	工事請負費	2,160	安全対策工事 2,160千円				
17	公有財産購入費	71,852	吉野線 用地買収費 71,852千円				
19	負担金補助及び交付金	14,760	市土地開発公社への補助金 14,760千円				
22	補償補填及び賠償金	312,048	吉野線 物件補償費 312,048千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	街路整備事業(交付金)	機能的な都市を形成するため都市計画道路の整備を行う。通学路の安全対策と中心市街地での円滑な交通が確保される。	13	委託料	2,700
				15	工事請負費	2,160
				17	公有財産購入費	71,852
				22	補償補填及び賠償金	312,048
					計	388,760
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011003200
課・係等	都市計画課 都市整備係

予算書ページ	258
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108211	都市再生整備計画事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	44,200	17,480	0	0	0	26,720
前年度	196,351	33,600	0	0	0	162,751
増減額	△ 152,151	△ 16,120	0	0	0	△ 136,031

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	15,800							

【目的・効果】
【目的】
 ・既存商店街の環境整備や自然環境を活用した街づくりを推進するため、道路整備、街路灯整備、公園整備、観光施設整備等を行う。
【効果】
 ・市街地道路の整備をはじめ、地域の特性を生かした街づくりや商店街の活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高駅周辺の整備により、歩道の石張り舗装等景観に配慮した整備ができるほか、一方通行や駐車禁止等の交通規制を導入し、安全で快適な交通結節点としての機能を高めることができる。
 ・地域住民の安全・安心な生活空間が創出できる。
 ・明科駅については、まちづくり計画に基づき関係機関との調整を図る。

【詳細事業内訳】
 ・都市再生整備計画事業(交付金) 44,200千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	1,000	西友通り設計業務委託外	1,000千円					
15	工事請負費	43,200	穂高駅周辺工事	43,200千円					

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市再生整備計画事業 (交付金)	地域の活性化と商店街の再生に繋げるため、穂高駅周辺整備を行うことで、街づくりや商店街の活性化が図られる。	13	委託料	1,000
				15	工事請負費	43,200
					計	44,200
2					計	0

重点施策と推進政策	(2)-イ		コード	011003300		予算書ページ	258
			課・係等	都市計画課 公園緑地係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち	
	目	03	公園事業費		基本施策	住環境の整備	
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業				

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	446,823	132,400	0	119,100	7,803	187,520
前年度	163,235	25,000	0	22,500	7,817	107,918
増減額	283,588	107,400	0	96,600	△ 14	79,602

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科南部総合公園テニスコート使用料	5,528	14	社会資本整備総合交付金(公園分)	132,400	21	都市公園事業	119,100	
13	碌山公園使用料	1,826	20	常念ふれあい公園太陽光発電電	41					
13	室山アグリパーク施設使用料	342	20	室山アグリパーク自販機電気料	21					
13	都市公園使用料	44	20	碌山公園研成ホール雑入	1					

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市公園施設長寿命化計画に沿って公園施設の計画的な修繕及び更新を行う。また、日頃のパトロールや遊具点検等により不具合箇所を早期に把握し、市民の安全・安心な公園利用を図る。

【効果】

・公園を良好に維持することにより、地域住民の憩い・交流・レクリエーションの場所となり、また景観、防災面等においても住環境が向上する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公園の清掃、除草、芝生管理等維持作業を地元団体、シルバー人材センター、専門業者に委託する。
- ・公園施設長寿命化対策支援事業と市単独事業により、老朽化した公園施設の補修、更新を図る。
- ・公園施設のバリアフリー化工事と設計を行う。
- ・三郷文化公園体育館の大規模改修工事を平成29・30年度の2年間で実施する。
- ・平成31年度開催予定の全国都市緑化信州フェアの実行委員会負担金を支出し、開催に向けて調整を進める。
- ・土地開発基金所有の公園敷地を購入する。

【詳細事業内訳】

・公園施設の維持補修・更新・バリアフリー化事業 97,540千円 ・三郷文化公園体育館大規模改修 229,405千円 ・その他公園管理事業 14,820千円 ・公園管理事業 90,749千円 ・公園総務費 14,309千円

【一般財源増加理由】	龍門淵公園の土地開発基金土地の公有財産購入費、全国都市緑化信州フェア負担金、三郷文化公園体育館大規模改修工事費、公園のバリアフリー化工事費の増による
------------	--

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	190	三郷文化公園のリンゴの木の手入れ30千円、緑のまちづくり推進委員会出席謝礼140千円、自然観察会等講師謝礼20千円	16	原材料費	536	砂場用砂130千円、マレットゴルフ場用品273千円、その他133千円
09	旅費	134	研修会旅費83千円、緑のまちづくり推進委員会旅費51千円	17	公有財産購入費	38,396	龍門淵公園土地購入 38,396千円
11	需用費	27,563	公園維持に関わる消耗品1,923千円、燃料費179千円、施設修繕費13,000千円、光熱水費10,665千円、印刷製本費1,496千円、物品修繕費300千円	18	備品購入費	919	公園物置171千円、テニスコート用掃除機105千円、テニスコート暴風ネット424千円、発電機111千円、除草用管理機108千円
12	役務費	263	公園維持電話料128千円、浄化槽法定検査料・汲取り料135千円	19	負担金補助及び交付金	12,832	全国都市緑化フェア負担金12,517千円、研修負担金127千円、その他公園関係団体負担金188千円
13	委託料	46,421	公園管理委託料42,810千円、公園遊具日常点検委託料1,493千円、公園設計監理委託料2,009千円、バス運行委託料109千円	23	償還金、利子及び割引料	30	使用料還付金30千円
14	使用料及び賃借料	7,603	公園敷地借地料7,485千円、機材借り上げ料118千円				
15	工事請負費	311,936	三郷文化公園大規模改修228,800千円、公園施設長寿命化対策支援事業36,900千円、豊科中央公園トイレバリアフリー化工事26,200千円、豊科中央公園園路バリアフリー化工事1,000千円、その他市単独工事19,036千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公園施設の維持補修・更新・バリアフリー化事業	老朽化した遊具等公園施設の補修、更新とバリアフリーを考慮してトイレ・園路の改修を行い、一般市民はもとより子供と子育て世代の安全・安心で、快適な公園利用を図る。	11	需用費	13,000
				13	委託料	1,404
				15	工事請負費	83,136
					計	97,540
2	ハード	三郷文化公園体育館大規模改修	老朽化のため、各所に不具合が生じている体育館の大規模改修を行い、市民が安全・安心にスポーツができる環境整備を図る。	13	委託料	605
				15	工事請負費	228,800
					計	229,405

重点施策と 推進政策	(4)-へ	コード	011003200	
		課・係等	都市計画課 都市整備係	

予算書ページ	262
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108240	都市下水道維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,904	0	0	0	0	7,904
前年度	3,185	0	0	0	0	3,185
増減額	4,719	0	0	0	0	4,719

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・都市下水道及び都市施設である潮雨水ポンプ場の維持管理を行う。
【効果】
 ・潮雨水ポンプ場の維持管理を行うことにより、市街地において適切な排水機能が確保される。
 ・豪雨時における潮雨水ポンプ場の適切な運用に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・豊科地域の都市下水道について草刈り、泥上げ等の維持管理を業務委託する。
- ・町尻都市下水道の取水口の構造について調査し、修正工事を実施する。
- ・潮雨水ポンプ場は点検等のメンテナンスを業務委託する。

【詳細事業内訳】
 ・都市下水道維持管理費(市単独) 7,904千円

【一般財源増加理由】 町尻都市下水道取水口の構造修正工事実施のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	255	潮雨水ポンプ場 255千円				
13	委託料	3,815	潮雨水ポンプ場管理委託815千円、下水道管理委託300千円、町尻下水道設計委託2,700千円				
15	工事請負費	3,834	町尻都市下水道整備 3,834千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市下水道維持管理費(市単独)	都市下水道の排水機能を確保するため維持管理を行う。適切な排水機能が確保される。	11	需用費	255
				13	委託料	3,815
				15	工事請負費	3,834
					計	7,904
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-へ
---------------	-------

コード	011003200
課・係等	都市計画課 都市整備係

予算書ページ	262
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108250	市街地排水路改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,020	0	0	0	0	7,020
前年度	9,600	0	0	0	0	9,600
増減額	△ 2,580	0	0	0	0	△ 2,580

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・拠点市街区域での住環境整備を目的として、土水路の改修や改修済み排水路の維持補修及び勾配修正等を行う。

【効果】

- ・住環境整備が図られる。
- ・土水路の改修により維持管理費の経費削減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地元からの要望による市街地排水路の改修及び漏水等の維持管理を行う。
その他漏水等の維持管理を行う。
- ・H29整備計画箇所
細萱地区 BF-500 L= 60m

【詳細事業内訳】

- ・市街地排水路改修事業(市単独) 7,020千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	1,080	市街地排水路設計業務委託 1,080千円				
15	工事請負費	5,940	市街地排水路改修工事及び維持補修工事 5,940千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市街地排水路改修事業 (市単独)	住環境整備のため、排水路の改修を行う。 環境整備と農業用水路の維持管理費の節減が図られる。	13	委託料	1,080
				15	工事請負費	5,940
					計	7,020
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-二	コード	011004100	予算書ページ	256
		課・係等	建築住宅課 建築景観係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	景観の保全・育成
	事業	0108190	景観整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,036	0	0	0	100	13,936
前年度	18,267	0	0	0	100	18,167
増減額	△ 4,231	0	0	0	0	△ 4,231

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	屋外広告物許可手数料	100							

【目的・効果】

【目的】

- ・景観条例、屋外広告物条例の適正な運用を図る。
- ・景観づくり住民協定の活動支援と住宅地の緑化推進を図る。

【効果】

- ・よい景観をつくることで、市民の暮らしの満足度や充実感を高めることが期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・景観及び屋外広告物の手続きに関し、窓口において適切な案内と指導を行うとともに、定期パトロールを実施する。
- ・「緑のまちづくり事業」として記念樹(苗木)の配布及び生垣設置、ブロック塀撤去に対する補助を行なう。
- ・景観づくり住民協定に対する支援として、活動・運営の補助を行う。

【詳細事業内訳】

- ・景観整備事業 2,572千円
- ・景観育成団体支援事業 3,140千円
- ・緑のまちづくり事業 8,324千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	137	景観審議会委員報酬137千円				
07	賃金	1,784	臨時職員賃金1,784千円				
08	報償費	172	景観住民協定連絡会 総会・役員会謝礼130千円、アドバイザー会議42千円				
09	旅費	83	景観まちづくり研修等参加旅費48千円、景観審議会委員旅費35千円				
11	需用費	80	事務用品、参考図書80千円				
13	委託料	216	環境フェア ブース等作製216千円				
19	負担金補助及び交付金	11,564	研修負担金100千円、記念樹配布4,324千円、住民協定補助金3,140千円、生垣補助金4,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	緑のまちづくり事業	住宅地の緑化向上のため、住宅新築・誕生・小学校入学・結婚の記念として記念樹の配布を行う。また、生垣設置等をする場合に補助金の交付を行う。緑化に対する意識の向上が期待される。	19	負担金補助及び交付金	8,324
					計	8,324
2					計	0

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策と 推進政策	(4)	コード	011004200
		課・係等	建築住宅課 開発調整係

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,483	0	0	0	0	20,483
前年度	35,485	0	0	0	30,000	5,485
増減額	△ 15,002	0	0	0	△ 30,000	14,998

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・安曇野の豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを進めるため、まちづくりの基盤となる土地の適正かつ合理的な利用を推進する。
- ・土地利用基本計画で定める拠点市街区域、準拠点市街区域及び田園居住区域へ新たに住宅を新築又は新築住宅の購入をして居住する者に支援を行うことにより、対象区域への居住誘導を促し拠点集約型のコンパクトなまちづくりを進める。

【効果】

- ・安曇野の自然環境や景観を維持しながら、計画的に活力あるまちづくりを推進する制度が確立される。
- ・暮らしやすさと産業発展のバランスがとれた田園産業都市の基盤づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市民や開発事業者に対し、資料等を用いてより分かりやすく丁寧な説明をする。
- ・係内で情報を共有することにより、土地利用制度の適正な運用を図る。
- ・対象区域において新たに住宅を新築又は新築住宅の購入をし住民登録をした者へ補助金(200千円/戸)を交付する。

【詳細事業内訳】

- ・土地利用調整事業 483千円 ・拠点地域等住宅購入費助成事業 20,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	40	職員研修旅費				
11	需用費	200	事務用品・参考図書				
14	使用料及び賃借料	52	窓口案内用パソコン賃借料				
19	負担金補助及び交付金	20,191	職員研修費負担金191千円 拠点地域等住宅購入費補助金20,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	拠点地域等住宅購入費助成事業	対象区域において、住宅を新築又は新築住宅の購入をし住民登録をした者へ補助金(200千円/戸)を交付することにより、対象区域への居住誘導を促し拠点集約型のコンパクトなまちづくりが図られる。	19	負担金補助及び交付金	20,000
					計	20,000
2					計	0

予算書ページ	258
--------	-----

重点施策と 推進政策	(4)	コード	011004300
		課・係等	建築住宅課 住宅係

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108205	耐震化推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,698	6,299	7,199	0	0	7,200
前年度	14,120	4,630	4,745	0	0	4,745
増減額	6,578	1,669	2,454	0	0	2,455

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	住宅・建築物耐震改修促進事 業補助金	7,199								

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の既存建築物の耐震性を確保するため、昭和56年5月31日以前に建設された住宅・建築物の耐震診断の実施と、その結果に基づく耐震改修を促進する。
【効果】
 ・耐震性能の向上を図ることで今後予想される地震災害から市民の生命・財産が守られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・昭和56年5月31日以前に建設された木造戸建住宅所有者の申し出により、市が耐震診断士を無料で派遣する。また、木造戸建以外の住宅については、耐震診断・耐震設計を実施する所有者に対して補助を行う。
 ・耐震診断の結果、耐震性が低い住宅において一定の効果のある耐震補強工事に対する補助を行う。

【詳細事業内訳】
 ・住宅・建築物耐震改修促進事業 20,698千円

【一般財源増加理由】 住宅の耐震改修に対する補助金を現行の60万円から100万円に増額としたため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	5,120	診断士による木造住宅等耐震診断事業委託5,120千円				
19	負担金補助 及び交付金	15,578	耐震補強工事補助金15,000千円 その他住宅耐震診断・耐震設計補助金578千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	既存建築物耐震改修促進事業	旧耐震基準の住宅について、耐震診断を行い、その結果、実施する耐震補強工事について補助を行うことで耐震化が進み市民の生命・財産が守られる。	13	委託料	5,120	
				19	補助金	15,578	
					計	20,698	
2							
					計	0	

予算書ページ	262
--------	-----

重点施策と推進政策	(4)		コード	011004300		
			課・係等	建築住宅課 住宅係		
予算	款	08	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	05	住宅費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	01	住宅管理費		基本施策	住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	55,492	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	56,174	14,223	0	0	41,951	0
増減額	△ 682	△ 7,818	0	0	7,136	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公営住宅使用料	45,436	13	公営住宅滞納督促手数料	1	20	公営住宅工事費負担金	50	
13	公営住宅駐車場使用料	3,381	14	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	6,405					
13	公営住宅使用料滞納繰越分	1	20	太陽発電電等	216					
13	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	1	20	市営住宅等一時使用料	1					

【目的・効果】

【目的】

・安全で快適に暮らせる住環境を確保するため、市営住宅14箇所、特定公共賃貸住宅2箇所の維持管理を行う。

【効果】

・住宅に困窮する低額所得者に対し市営住宅を低廉な家賃で賃貸することでセーフティネットの役割を持ち、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・入居の募集、入居決定、入退去の立会を行う。
- ・入居者が快適に生活できるよう、建物、遊具、敷地内全般の維持管理・修繕を実施する。
- ・住宅使用料の算定、納付通知の発送、使用料の徴収・収納管理を実施する。
- ・安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく改修工事を実施する。
- ・移転・集約を実施した明科団地の空棟2棟の解体を行う。
- ・アルプス団地については、県・市双方が協力して「協働建替事業」を実施する。

【詳細事業内訳】

・公営住宅等維持管理事業 16,536千円 ・公営住宅等長寿命化事業 38,956千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	126	市営住宅管理人謝礼15団地16人分 126千円				
11	需用費	12,778	参考図書他99千円、施設修繕費12,505千円、電気料69千円、住宅使用料納入通知書等印刷105千円				
12	役務費	1,647	遊具点検44千円、施設点検等手数料1,040千円、火災保険料563千円				
13	委託料	4,465	消防施設点検542千円、植栽等剪定他1,255千円、三田・一日市場団地改修工事監理業務委託1,100千円、田沢団地改修設計660千円、明科団地解体設計・監理業務委託908千円				
15	工事請負費	36,450	一日市場・三田団地外壁・屋根改修工事14,641千円、明科団地解体19,044千円、追分団地駐車場舗装2,765千円				
16	原材料費	26	市営住宅敷地用砕石26千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公営住宅等長寿命化計画に基づく改修工事	安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく修繕及び耐久性の向上等を図る改善を行うことで、更新コストの削減と事業量の平準化が図られる。	11	需用費	2,603
				13	委託料	2,668
				15	工事請負費	33,685
					計	36,353
2					計	0

上下水道部

重点施策と 推進政策	(4)-口		コード	011101100		予算書ページ	194
			課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)			
予算	款	04	衛生費	総合 計画	基本方針	環境に優しいまちの形成	
	項	03	上水道費		主要施策	環境への責任を果たすまち	
	目	01	上水道施設費		基本施策	水環境の保全活用	
	事業	0104300	水道事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	175,362	0	0	116,000	0	59,362
前年度	59,362	0	0	0	0	59,362
増減額	116,000	0	0	116,000	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	一般会計出資債(上水道分)	116,000							

【目的・効果】
 水道水給水体制の整備・充実を図るとともに水道事業の財政的安定化を図る。
 貴重な資源である地下水の有効利用を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 新水道ビジョン(平成29年度から平成38年度)に沿った事業計画を進めるに際し、水道事業統合による豊科・明科整備事業を行うため出資を行う。
 また、水道事業の経営安定化のため、下水道事業に係る水道施設減耗補償分の負担を行う。

【詳細事業内訳】
 水道事業負担金 59,362千円 水道事業出資金 116,000千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	59,362	下水道減耗補償等負担金						
24	投資及び出資金	116,000	豊科・明科事業						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1		水道事業出資金	水道事業の統合により明科地域から豊科地域への送水ができるようになるため、災害時において豊科犀川右岸地域の水量を確保するため、田沢橋東の豊科光地区へ送水を行う。このため豊科・明科の送水管の布設、豊科配水池等の整備を行う。	24	投資及び出資金	116,000
					計	116,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-口
---------------	-------

コード	011101100
課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)

予算書ページ	262
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合 計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	04	都市計画費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	05	下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0108270	下水道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,222,900	0	0	0	0	2,222,900
前年度	2,273,306	0	0	0	0	2,273,306
増減額	△ 50,406	0	0	0	0	△ 50,406

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 下水道処理施設・下水管路の整備と適切な維持管理を図り、公共用水域の水質保全を図る。
 下水道接続の促進による下水道事業の経営の安定化に努め、快適な生活環境の持続を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 下水道事業の経営安定化のため、「地方公営企業繰出金について」(繰出基準)に基づいた繰出しを行う。

【詳細事業内訳】
 下水道事業繰出金 2,222,900千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	繰出金	2,222,900	下水道事業繰出金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

会計課

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	011201100
		課・係等	会計課 出納係

予算書ページ	76
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	04	会計管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102240	会計管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,966	0	0	0	1,301	9,665
前年度	8,815	0	0	0	1,155	7,660
増減額	2,151	0	0	0	146	2,005

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	財務会計処理実費徴収	1,300							
20	会計雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・市財務規則等にとり、適正に市会計事務全般を処理する。
【効果】
 ・適正な財政運営のための基本である、公金の適正な管理を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・現金及び物品等の出納事務
 ・伝票等の審査事務
 ・決算書の調製
 ・基金等の管理、運用

【詳細事業内訳】
 会計管理事務 10,966千円

【一般財源増加理由】 今までの機械が故障が多いためリースで導入を考えていたが、業者選定委員会で、購入した場合と比較せよとの意見。購入のほうが得なため新年度で購入。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,871	窓口対応臨時職員 1,736、源泉徴収票送付事務臨時職員 135	22	補償補填及び賠償金	10	欠損補填金
09	旅費	54	名古屋で開催の研修会参加のための旅費2回分				
11	需用費	3,712	事務用品外 205、参考図書外 46、文書保存用指定物品 532、決算書外印刷 831、指定物品印刷 2,053、製本機外修繕 45				
12	役務費	2,530	振込手数料外				
14	使用料及び賃借料	72	データ伝送サービス 72				
18	備品購入費	2,654	メールシーラー 2,589、データ伝送ソフト 65				
19	負担金補助及び交付金	63	日本経営協会(NOMA)の研修負担金2回分				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	指定物品作成業務	封筒ほか指定物品の全庁分一括作成 特殊なものを除き、市封筒等を一括管理し 作成することで、無駄をなくしコストダウンにつなげる。	11	需用費	2,053
					計	2,053
2	ソフト	穂高支所派出手数料	穂高支所に、指定金融機関の八十二銀行より1名の派出を置く。 穂高支所に来庁する市民の利便性維持と、 公金の取扱いを確実にを行う。	12	手数料等	2,160
					計	2,160

教育部(教育委員会)

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	011301100			
		課・係等	学校教育課 教育総務係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110010	教育委員会費			

予算書ページ	274
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,975	0	0	0	5,975
前年度	5,857	0	0	0	5,857
増減額	118	0	0	0	118

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定める教育委員会の活動に必要な経費を支出する。
【効果】
 ・教育委員会の職務である学校等の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教職員の身分の取扱いに関する事務、並びに社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・教育委員4人の報酬等の支出
 ・学校教職員初任者研修の実施
 ・全国都市教育長協議会定期総会、関東甲信越静市町村教育委員会研修会総会等への参加
 ・定例・臨時教育委員会、総合教育会議の開催
 ・教育関係者による活力ある学校のあり方検討
 ・長野県市町村教育委員会連絡協議会等への負担金の支出

【詳細事業内訳】
 教育委員会費 6,281千円

【一般財源増加理由】	活力ある学校のあり方検討会議出席謝礼(新規事業)増、諸会議旅費増										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,322	教育委員4人報酬								
08	報償費	382	活力ある学校あり方検討会議出席謝礼、教育委員会事務事業点検評価学識経験者謝礼、視察土産代								
09	旅費	415	教育委員及び職員の研修会等旅費								
11	需用費	412	事務用品、参考図書、教育長会議贈、教育要覧等印刷代								
12	役務費	17	元市内小中学校長弔電								
13	委託料	944	マイクロバス運転委託料、教育委員会等会議録作成委託料								
19	負担金補助及び交付金	483	長野県市町村教育委員会連絡協議会外各種団体負担金、会議・研修会出席負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】										
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額		
1	ソフト	○	活力ある学校のあり方検討会議	教育的な視点から少子化に対応した活力ある学校づくりのための方策を教育関係者により検討する。	8	報償費	311	会議出席謝礼		
					13	委託料	36	マイクロバス運転委託(視察)		
						計	347			
2										
						計	0			

重点施策と 推進政策	(2)	コード	011301300		
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当		

予算書ページ	274
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110015	事務局費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	285,832	0	0	0	77,555	208,277
前年度	201,935	0	0	0	10	201,925
増減額	83,897	0	0	0	77,545	6,352

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	入学準備金貸付基金利子	7				
	18	入学準備金貸付基金繰入金	61,000				
	20	入学準備貸付金	16,548				
							77,555

【目的・効果】
 教育委員会事務局として活動を進めるための予算を計上し、学校教育の充実を図るとともに学校・家庭・地域と連携して特色ある学校づくりを目指す。高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 事務局として必要な経費を計上する。
 市校長会等への負担金及び交付金を支出する。
 県大会以上の大会出場における補助及び私立高等学校への運営補助金を交付する。
 教育委員会へセンターサーバを設置し、各学校の情報共有、セキュリティの確保、高速化を図る。
 学校図書館システム等の共通管理システムと学校ネットワークの一元管理を図る。
 児童、生徒の安全対策を図るため、熊よけ鈴の配布、学校安全マップの作成、学校安全連絡網メール配信システムの活用、安曇野市交通安全推進協議会通学路交通安全部会による通学路合同点検などによる安全確保を進める。なお、防犯ブザーは民間キャンペーンを活用し新入学児童へ配布する。

【詳細事業内訳】
 事務局費総務 254,680千円 学校システム管理事業 27,428千円 学校安全対策事業 3,724千円

【一般財源増加理由】 入学準備金貸付制度を設けたことと、センターサーバの年間稼働及び図書館のパソコンを追加購入することによる増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	210	通学区域審議会	14	使用料及び賃借料	16,716	リース料(センターサーバ、学校図書館システム)、使用料(学校図書館システムソフトウェア、学校安全メール配信システム)
02	給料他	142,473	給料(74,857千円)、職員手当(35,553千円)、共済費(24,678千円)	15	工事請負費	756	通学路標識設置
07	賃金	10,848	教育指導員、一般事務	18	備品購入費	3,075	学校図書館管理用パソコン及び附属機器
08	報償費	3,062	講演会等講師謝礼、就学相談調査員の謝礼、就学相談委員会及びいじめ不登校問題対策連絡協議会の出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	16,804	小中学校校長会等負担金、各種大会出場補助金、私立高等学校運営費補助金、教科用図書採択研究協議会
09	旅費	179	職員研修及び講演会講師等の旅費	21	貸付金	61,000	高校・大学等入学準備金貸付
11	需用費	2,859	事務用消耗品、参考図書購入・追録、公用車燃料費、家庭学習のすすめ・安全マップ印刷、システム・安全標識・公用車修繕	25	積立金	16,556	入学準備金貸付基金利子
12	役務費	3,645	電話代、回線使用料、公用車車検等手数料、害虫駆除	27	公課費	101	公用車重量税
13	委託料	7,548	入学通知書作成、センターサーバ・学校ネットワーク等保守、ネットワーク調査				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	入学準備金貸付制度	高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。	21	貸付金	61,000
				25	積立金	16,556
					計	77,556
2	ソフト	学校システム管理事業	各学校の校務用・教育用サーバと教育委員会サーバをネットワーク接続し、情報の共有化、セキュリティの確保、高速化を図り、事務の効率化と共通管理システムの一元管理を図る。	14	使用料及び賃借料	15,644
				13	委託料	6,885
				18	備品購入費	3,075
				12	役務費	1,824
					計	27,428

予算書ページ	278
--------	-----

重点施策と推進政策	(2)	コード	011301200
		課・係等	学校教育課 教育指導室

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
146,265	152,449	△ 6,184	255	0	0	0
			0	0	0	0
			255	0	0	0
						△ 6,439

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	小中学校看護師配置事業補助金	255							

【目的・効果】

【目的】

・各学校に支援員外を配置することにより、不登校や心身障がい児等、配慮を要する児童生徒への支援や教科指導の充実をさせる。また、スクールカウンセラーを派遣し、教育相談の充実を図る。

【効果】

・教諭の補助的な支援により、指導内容が広がるとともに、少人数による行き届いた支援が可能となる。
 ・児童生徒の個々に応じた指導や支援により、安全で適切な教育が実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・特別支援学級支援員、障がい児支援介助員、中間教室適応指導員、学習支援員については、市内17校の学校長ヒアリングを実施し、審議の上、配置(任務及び人数と時間数)を決定。人選については校長会に依頼。
 ・スクールカウンセラーについては、県からの派遣のみでは対応できない学校に市から派遣し、全ての学校に配置できるようにしている。
 ・小中学校の実情や要望により障がい児等指導相談員を派遣し、教職員や保護者への支援・助言・相談を実施している。
 ・放課後学習室は、全小学校で放課後に実施。校長会と連携し指導者を派遣している。

【詳細事業内訳】

学校支援員配置事業 146,265千円

【一般財源増加理由】	障害者差別解消法の今年度からの施行に加え、インクルーシブ教育の浸透によるよりきめ細やかな支援について保護者からの要望も高くなっているため										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	140,652	学校講師(各種支援員)、医療支援員(看護師)、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター								
08	報償費	4,872	スクールカウンセラー、障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員 謝礼								
09	旅費	666	スクールカウンセラー、障がい児等指導相談員、不登校支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター等旅費								
11	需用費	75	放課後学習室用品								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	011301400		予算書ページ	278
		課・係等	学校教育課 学校教育係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110025	コミュニティスクール事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,425	0	0	0	0	8,425
前年度	8,203	0	0	0	0	8,203
増減額	222	0	0	0	0	222

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 学校・地域・家庭が一体となり、子どもを育てる連携体制の強化を図り、学校と地域住民の協働による開かれた信頼される学校づくりを進め、子ども達の「生きる力」を育む。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・学校支援プログラムによるボランティア派遣の実施。
 [学習支援活動][子ども安全支援][総合的な学習・読書支援][環境整備支援][課外活動・部活動支援]
 [外国籍児童生徒支援][障がいのある児童生徒支援][不登校の児童生徒支援]
- ・実行委員会による学校支援の企画事業評価の実施。
- ・地域教育協議会による学校運営の理解、参画、学校支援、学校関係者評価の実施。
- ・地域コーディネーター及びボランティア養成講座の開催。
- ・立志塾の開催支援。
- ・子どもと保護者を対象とした安全対策講習会の実施。

【詳細事業内訳】
 コミュニティスクール事業 8,425千円

【一般財源増加理由】		中学生の放課後等の学習支援活動への謝礼増額							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	7,885	学校支援活動、コーディネーター、実行委員、協議会委員、子ども安全対策講習会、部活動外部指導者、立志塾外謝礼						
09	旅費	195	子ども安全対策講習会講師旅費						
11	需用費	30	事業用消耗品						
12	役務費	315	地域教育協議会ボランティア保険料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	中学生放課後等学習支援	学習理解や学力向上を望む中学生を対象として、放課後や長期休業を利用した補習授業を含む「学習支援活動」をサポートする。(5教科・年間24回・7校分:年間840時間)	08	報償費	454		
					計	454		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	(2)	コード	011301200			
		課・係等	学校教育課 教育指導室			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110030	教育支援センター運営事業			

予算書ページ	278
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,711	0	0	0	0	10,711
前年度	11,018	0	0	0	0	11,018
増減額	△ 307	0	0	0	0	△ 307

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 平成28年4月より「教育支援センター」を開設し、「適応指導教室」と「教育相談室」を設置。
 ○適応指導教室
【目的】学校に行けない不登校の児童生徒が通い、学習指導や適応指導等をうけながら学校復帰を目指す。
【効果】不登校児童生徒の引きこもりを防止できる。学習の場を保障できる。学校との連携により、学校登校者が増える。
 ○教育相談室
【目的】児童生徒や保護者等の教育全般に関する相談を行なう。(いじめ相談ホットライン含む)
【効果】適応指導教室とも連携して学校不適応に対応できる。また、児童生徒、保護者、教職員等からの幅広い相談に対応し、学校生活を充実したものとするための支援ができています。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・適応指導教室職員体制:適応指導員(非常勤)4名(内訳:月給2名・時給2名)。
 ・教育相談室職員体制:教育相談員(非常勤)4名(内訳:月給1名・時給3名)。
 ・開室日:原則として、学校の登校日。(夏季休暇中の特別開室もあり)。
 ・教育支援センターの運営経費を支出する。

【詳細事業内訳】
 教育支援センター運営事業 10,676千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	8,760	適応指導員、教育相談員の賃金								
08	報償費	1,465	実習講師謝礼(適応指導教室)、教育相談員謝礼								
09	旅費	8	教育支援センター職員旅費								
11	需用費	326	教材消耗品、施設管理用消耗品、施設修繕費、燃料費								
12	役務費	152	施設電話料(適応指導教室・教育相談室)、いじめホットライン電話料 *ひかり回線								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	280
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	学校バス運行事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	90,451	0	0	0	0	90,451
前年度	83,434	0	0	0	0	83,434
増減額	7,017	0	0	0	0	7,017

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

遠距離通学になる児童生徒が安全で安心した通学が行えるようにスクールバスを運行する。
市バス又は民間バスを利用して学校行事における児童生徒の運搬を行い、保護者負担の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行する。利用者増により2つの路線で運行台数が増える。また、大口沢から通学する児童がいるため、スクールタクシーを運行する。
学校の行事に対するバスについては、一定の基準を設けて市バス又は民間バスを利用した児童生徒の運搬を行う。

【詳細事業内訳】

学校行事バス運行事業 11,759千円 スクールバス運行事業 78,692千円

【一般財源増加理由】 利用者増により運行するバス等が増えたことによる

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,115	タイヤの消耗品、燃料費、修繕費				
12	役務費	509	車検等点検手数料、自賠責保険				
13	委託料	81,238	スクールバス運行业務、行事バス運行业務				
14	使用料及び賃借料	6,480	学校行事バス借り上げ				
27	公課費	109	重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	スクールバス運行事業	遠距離通学になる児童生徒が安全で安心した通学が行えるようにスクールバスを運行する。	13	委託料	76,625
				11	需用費	1,449
				12	役務費	509
				27	公課費	109
					計	78,692
2	ソフト	学校行事バス運行事業	市バス又は民間バスを利用して学校行事における児童生徒の運搬を行い、保護者負担の軽減を図る。	14	使用料及び賃借料	6,480
				13	委託料	4,613
				11	需用費	666
					計	11,759

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	011301300			
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	住宅管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110040	教職員住宅運営事業			

予算書ページ	280
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,216	0	0	0	8,902	5,314
前年度	54,105	0	0	0	9,737	44,368
増減額	△ 39,889	0	0	0	△ 835	△ 39,054

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	教員住宅使用料	8,890							
20	その他雑入(学校教育課)	12								

【目的・効果】
県内各地から安曇野市立学校に配属された教職員の赴任に要する住宅を整備することにより、教職員の勤務(居住)環境の充実が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
○老朽化して賃貸に不適となった住宅を解体して管理戸数の適正化を図るとともに、用地の所管換えを行い公有財産の有効活用に資する。(3戸解体→89戸)
○住宅の保守・点検・修繕により居住環境を整える。

【詳細事業内訳】
教職員住宅運営事業 14,216千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		11	需用費	3,444	施設管理用消耗品、施設修繕、光熱水費				
		12	役務費	719	住宅清掃、受水槽点検清掃				
		13	委託料	1,913	消防設備点検、土地測量、工事設計・監理				
		15	工事請負費	7,970	住宅営繕工事、住宅解体工事				
		18	備品購入費	170	給水設備				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	老朽住宅の整理	老朽化した住宅4戸(宮南2戸(旧「ねむの木」1戸を含む)、柏矢町2戸)を解体して管理戸数の適正化を図るとともに、用地を財産管理部局へ所管換えして公有財産の有効活用に資する。	13	委託料	1,489
				15	工事請負費	6,675
					計	8,164
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-二
---------------	-------

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	282
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110045	給食センター総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	153,210	0	0	0	1	153,209
前年度	152,071	0	0	0	1	152,070
増減額	1,139	0	0	0	0	1,139

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	支払督促費用		1						

【目的・効果】
【目的】
 ・市内4か所の学校給食センターの運営を円滑に実施する。
【効果】
 ・人件費等学校給食全体監理に係る事業費であり、職員への衛生管理・安全作業を徹底し安全で安心な給食を提供する。
 ・学校給食費の口座振替の推進と未納者対策の強化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校給食センター運営委員会運営事業
 ・安全な食材への取り組み(放射性物質検査)
 ・学校給食提供非常勤職員雇用管理
 ・学校給食栄養士の資質向上
 ・学校給食費口座振替の納付関連事業

【詳細事業内訳】
 学校給食センター業務外部化推進事業 0千円 学校給食費徴収事業 1,349千円 給食センター総務費 151,861千円

【一般財源増加理由】		非常勤職員賃金改定に伴う増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	140	学校給食センター運営委員会委員報酬			12	役務費	879	システム回線使用料、口座振替・口座送金手数料		
02	給料	22,611	職員			13	委託料	415	学校給食費会計監査資料作成委託		
03	職員手当等	11,272	職員			18	備品購入費	156	給食管理システムソフトウェア		
04	共済費	6,654	職員			19	負担金補助及び交付金	46	県学校栄養職員部会外負担金		
07	賃金	110,408	非常勤職員賃金			27	公課費	18	収入印紙代(支払い督促申立手数料)		
08	報償費	114	学校給食費会計監査謝礼外								
11	需用費	497	口座振替納付関連様式印刷費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(2)-二
---------------	-------

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	282
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110050	北部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	42,810	0	0	0	13	42,797
前年度	43,869	0	0	0	14	43,855
増減額	△ 1,059	0	0	0	△ 1	△ 1,058

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・北部学校給食センターにおいて、管内の小中学校へ学校給食を安定的に提供できるよう施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・穂高南小学校・穂高北小学校・穂高西小学校・穂高東中学校・穂高西中学校へ、安全・安心でおいしい給食を提供する。
 ・食育の推進、地産地消の推進等の継続充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 [北部学校給食センター]
 (1)対象校:穂高南・北・西小学校、穂高東・西中学校
 (2)用地:安曇野市穂高9747番地(5,991.02㎡)
 (3)概要:鉄骨造一部二階建て 延床面積2,091.65㎡
 (4)建築年:平成24年1月31日竣工(4月1日稼働)
 (5)規模等:最大3,500食(H28.4.1現在2,870食)
 :オール電化施設

【詳細事業内訳】
 北部給食センター管理運営費 42,810千円

【一般財源増加理由】 H27年度決算ベースを基に事務的経費を見直し、増減すべき項目は適正に判断。一般財源の上限枠額と照合のうえ予算要求に配慮した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	25,599	(△1,231千円)・主に電気料(H27決算ベース)及びH28節電効果により削減				
12	役務費	1,684	(+17千円)・電話代削減。保菌検査人数3名削減。軽公用車検手数料、自賠責保険料増				
13	委託料	14,262	(△773千円)・H28契約給食運搬車運転業務委託、1日1台当り1,100円減				
14	使用料及び賃借料	173	(△71千円)・コピー機再リース、月額料減。パフォーマンスチャージ料月額料増、コピー枚数の増減。				
18	備品購入費	996	(+996千円)・南小5、6年食缶老朽ゆがみ漏れ及び印刷機故障(部品なし)購入費増				
27	公課費	96	(+9千円)・軽公用車検、重量税増				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	北部給食センター管理運営費	当施設は「オール電化」であり、年度契約電力を1日の内30分オーバーすると契約がランクアップ(年度間1,000千円単位で増額)する。調理中一度に大量の電力を使用しない等節電を心がけ電気料削減に繋げている。	11	需用費	25,599	
				13	委託料	14,262	
				12	役務費	1,684	
				18	備品購入費	996	
					計	42,541	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	011301500			
		課・係等	学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110055	堀金給食センター費			

予算書ページ	284
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,027	0	0	0	2	21,025
前年度	22,463	0	0	0	2	22,461
増減額	△ 1,436	0	0	0	0	△ 1,436

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	食用廃油売渡し収入		2						

【目的・効果】
 目的
 ・堀金学校給食センターが、管内の学校へ安全に給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
 効果
 ・堀金小・中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消の推進等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校:堀金小学校・堀金中学校
 ②用 地:安曇野市堀金烏川3000番地
 ③施設概要:鉄骨造1階建て 延床面積752㎡
 ④建築年:平成17年3月23日(竣工)
 ⑤調理規模:最大1,100食
 (H28.4月現在1,000食、2校35クラス分)
 ⑥公用車等:コンテナ車1台(配送業務は直営で実施)
 軽貨物車1台
 ⑦付帯設備:特になし
 ・学校給食提供に伴う施設及び物品等の整備による
 環境維持・ホイラー等の点検整備委託

【詳細事業内訳】
 堀金給食センター管理運営費 21,027千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	15,018	調理器具・洗浄機関係消耗品、燃料費、光熱水費施設及び器具等の修繕	11-01 食器(角仕切り皿購入 1,474千円)					
12	役務費	1,136	保菌検査手数料等						
13	委託料	4,416	施設設備、調理備品等の管理委託						
14	使用料及び賃借料	419	コピー機、印刷機等の借上げ料及び使用料						
27	公課費	38	配送車重量税						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金給食センター管理運営費	【事業内容】 ・給食用食器(特注角仕切り皿)の購入 【効果】 ・衛生的で洗浄効率の高い食器で給食の提供ができる	11	需用費	1,474
					計	1,474
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	011301500		予算書ページ	284
		課・係等	学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46,377	0	0	0	409	45,968
前年度	52,487	0	0	0	409	52,078
増減額	△ 6,110	0	0	0	0	△ 6,110

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ソーラー発電売電収入	400							
20	食用廃油売渡し収入	9								

【目的・効果】
【目的】
 ・中部学校給食センターにおいて、所管する学校へ学校給食をできるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・所管する小・中学校へ安全で安心なおいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校 豊科北小、豊科東小、明北小、明南小、豊科北中、豊科南中、明科中
 ②施設概要 鉄骨一部2階建て 延床面積1,951㎡
 ③建築年 平成19年8月1日(竣工)
 ④調理規模 1日約2,350食、7校85クラス
 ⑤公用車等 配送車3台、軽自動車1台
 ⑥付帯設備 太陽光発電システム90kw
 ⑦排水処理施設の担体充填工事

【詳細事業内訳】
 中部給食センター管理運営費 46,377千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	28,944	調理用消耗品、電気料、上下水道料、ガス代、施設修繕、物品修繕				
12	役務費	2,175	給食従事者保菌検査、食品微生物検査、厨房フード清掃外				
13	委託料	12,315	機械設備保守点検業務、厨房機器保守点検業務委託				
14	使用料及び賃借料	199	コピー機使用料				
15	工事請負費	2,605	排水処理施設担体充填工事				
18	備品購入費	65	食材運搬用台車				
27	公課費	74	給食配送車重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ハード	中部給食センター管理運営費	【事業内容】 ・浄化槽曝気槽内の担体充填 【効果】 ・衛生害虫の発生防止と臭気対策を図る	15	工事請負費	2,605		
					計	2,605		
2			25					
					計	0		

重点施策と 推進政策	(2)-ホ		コード	011301500		予算書ページ	286
			課・係等	学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち	
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110065	南部給食センター費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46,440	0	0	0	409	46,031
前年度	47,964	0	0	0	409	47,555
増減額	△ 1,524	0	0	0	0	△ 1,524

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ソーラー発電売電収入	400							
20	食用廃油売渡し収入	9								

【目的・効果】

目的 管轄校(豊科南小学校・三郷小学校・三郷中学校)へ学校給食が安定的に供給できるように環境を整備する。

効果 管轄内の学校へ安心安全なおいしい給食の提供
 児童生徒への食育の推進
 地産地消の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ①対象校 豊科南小、三郷小、三郷中
- ②用地 三郷明盛84番地2
- ③施設概要 鉄骨造一部2階建
- ④竣工年月日 平成19年7月25日
- ⑤調理規模 最大3,000食(H29.4月現在2,400食、70クラス)
- ⑥公用車等 配送コンテナ車2台 軽貨物車1台
- ⑦付帯施設 太陽光システム 90kw

【詳細事業内訳】

南部給食センター管理運営費46,440千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	30,349	調理用消耗品、光熱水費、施設及び厨房機器の修繕				
12	役務費	1,916	給食従事者保菌検査、食品微生物検査、調理器具等ふき取り検査、厨房ダクト清掃				
13	委託料	12,032	機械設備保守点検、厨房機器保守点検、トイレ清掃等				
14	使用料及び賃借料	197	コピー機使用料				
15	工事請負費	1,890	調理室床滑り止め塗装(130㎡)				
27	公課費	56	公用車、配送車車検時重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	286
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110070	学校保健事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,507	0	0	0	0	34,507
前年度	33,941	0	0	0	0	33,941
増減額	566	0	0	0	0	566

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校における児童生徒の健康保持推進と疾病を予防するために学校保健安全法及び同法施行規則に基づき、毎年定期的に健康診断を実施する。教職員の健康診断及びカウンセリング事業を推進するほか、ストレスチェックを実施することにより心身の健康管理も進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

児童生徒については、学校医による健康診断(内科、耳鼻科、歯科、眼科)実施するほか、尿、心臓、血液の検査を実施する。教職員については、健康診断及びストレスチェックの推進を行うほか、必要に応じてカウンセリングも実施する。

【詳細事業内訳】

小学校保健指導事業費 18,694千円 教職員健康推進事業 5,184千円 中学校保健指導事業費 10,629千円

【一般財源増加理由】 視力検査器などの備品購入費が増えたため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	13,150	小中学校の学校医、小中学校教職員の健康管理医				
07	賃金	314	就学時健康診断事務、歯科指導、養護教諭補助				
08	報償費	3,959	就学時健康診断医師、歯科指導、養護教諭補助				
11	需用費	412	学校衛生用品(消耗品)				
12	役務費	11,810	児童生徒の検査(尿、心臓、血液)、水質検査、教室内化学物質検査、教職員B型肝炎検査				
13	委託料	3,590	児童生徒の結核精密検査、教職員の健康診断、教職員のカウンセリング				
18	備品購入費	1,272	保健指導備品(視力検査器等)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	288
--------	-----

重点施策と推進政策	(2)	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110075	小学校総務管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	268,461	0	0	0	95	268,366
前年度	281,476	0	0	0	90	281,386
増減額	△ 13,015	0	0	0	5	△ 13,020

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公共施設目的外使用料(学校教育課)	80							
20	小学校公衆電話料	10								
20	その他雑入(学校教育課)	5								

【目的・効果】

学校運営に必要な経費を計上し、児童が安全で安心した学校生活を行える環境を整えるとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。
 学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。
 学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。
 教育用パソコンの更新、維持を行い、情報機器(ICT)を活用した分かりやすい授業の推進を図る。
 校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。

【詳細事業内訳】

堀金小学校総務管理費 14,018千円 豊科南小学校総務管理費 12,383千円 豊科東小学校総務管理費 9,363千円 小学校総務管理費 93,332千円 豊科北小学校総務管理費 13,261千円 明北小学校総務管理費 6,880千円 穂高南小学校総務管理費 16,756千円 穂高北小学校総務管理費 17,361千円 穂高西小学校総務管理費 12,921千円 明南小学校総務管理費 9,863千円 小学校情報教育推進事業 39,368千円 三郷小学校総務管理費 22,955千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	60,244	学校事務、図書館司書、庁務員	18	備品購入費	12,434	学校管理備品(児童用机椅子、冷蔵庫、カーテン等)、印刷機、石油温風暖房機、パソコン等情報機器
08	報償費	2,364	各小学校で依頼する講師謝礼、卒業記念品購入	19	負担金補助及び交付金	4,877	防火管理者、災害共済、水利組合、図書館研修会等
09	旅費	606	市費非常勤講師等(費用弁償)、講演会講師等(実費弁償)				
11	需用費	114,595	校用消耗品、プリンタートナー(校用・図書館用)、燃料費、小破修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕、情報機器修繕				
12	役務費	13,311	電話代、庭木の手入れ、楽器調整、クリーニング、ワックスがけ、エアコンクリーニング等				
13	委託料	16,328	ごみ処理、学校警備、消防施設点検、電気工作物点検、エレベーター保守、サーバ保守、ソフト更新等				
14	使用料及び賃借料	43,702	ソフトウェア使用料、校務・教育用パソコン、コピー機、学校用地、学校田借上げ等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	290
--------	-----

重点施策と 推進政策	(2)	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110130	小学校教育振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	106,030	1,605	452	0	12,000	91,973
前年度	111,966	2,060	0	0	0	109,906
増減額	△ 5,936	△ 455	452	0	12,000	△ 17,933

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	53	17	ふるさと寄附金	12,000				
14	特別支援教育就学奨励費補助金	752								
14	理科教育設備整備費補助金	800								
15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	452								

【目的・効果】

教育振興に必要な経費を計上し、教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学力検査や体力テスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。
吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。
学校ごとには教科用の消耗品及び備品の購入費用、図書購入費用を計上。
外国語指導指導手を配置し、児童の外国語活動、国際理解教育を進める。
要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【詳細事業内訳】

豊科北小学校教育振興費 3,422千円 穂高北小学校教育振興費 4,063千円 小学校外国語指導助手配置事業 24,855千円 小学校教科用指導書等購入事業 465千円 豊科東小学校教育振興費 2,014千円 穂高西小学校教育振興費 3,050千円 三郷小学校教育振興費 5,111千円 堀金小学校教育振興費 3,547千円 豊科南小学校教育振興費 3,859千円 小学校教育振興費 7,548千円 穂高南小学校教育振興費 3,539千円 明南小学校教育振興費 2,404千円 小学校就学援助事業 40,318千円 明北小学校教育振興費 1,835千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,879	英語指導教員				
09	旅費	134	費用弁償(英語指導教員)				
11	需用費	17,253	各学校の教科用消耗品、英語指導教材、教材用資料、吹奏楽の楽器及びピアノ修繕				
12	役務費	4,853	標準学力検査、ハイパーQU検査、体力テスト				
13	委託料	19,700	外国語指導助手、外国語活動研修				
18	備品購入費	18,911	各学校の振興備品、図書購入費、吹奏楽の楽器				
20	扶助費	40,300	就学援助費、特別支援教育就学奨励費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校外国語指導助手配置事業	日本人及び外国人外国語指導助手(ALT)を配置し、児童の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うと共に、英語教科化に向けての教職員の研修を実施する。	13	委託料	19,700
				07	賃金	4,879
				11	需用費	142
				09	旅費	134
					計	24,855
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)
---------------	-----

コード	011301200
課・係等	学校教育課 教育指導室

予算書ページ	292
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	468	0	0	0	0	468
前年度	518	0	0	0	0	518
増減額	△ 50	0	0	0	0	△ 50

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 ・通常学級に在籍し、言語障害・学習障害・発達障害などの障がいをもつ児童のうち、比較的軽度の障がいがある児童に対して、各教科等の指導は通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導の場として通級による指導を行なう。
【効果】
 ・言語障害(ことばの教室)、学習障害・発達障がい(まなびの教室)の2教室を運営し、個に応じた専門性の高い指導支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設概要 等】
 ・設置校:穂高北小学校(設置主体:県)
 ・ことばの教室職員体制:県教員1名、市費補助指導員1名
 ・まなびの教室職員体制:県教員1名、市費補助指導員2名
【事業概要】
 ・通級の可否を判定する運営委員会の開催。
 ・市費補助指導員への賃金の支払い。
 ・各教室運営のための教材等の整備。

【詳細事業内訳】
 通級指導教室事業 468千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	314	ことばの教室、まなびの教室補助指導員賃金(3名分)								
11	需用費	154	ことばの教室、まなびの教室 教材等消耗品								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(2)-二
---------------	-------

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	292
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,210	0	0	0	0	41,210
前年度	36,413	0	0	0	0	36,413
増減額	4,797	0	0	0	0	4,797

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

小学校10校の施設を修繕することにより、安心・安全な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 小学校10校の施設・設備の修繕・改修工事の実施
- 安全点検の実施(校舎の非構造部材、建築物定期調査、遊具)
- 微量PCB廃棄物の処理(6箇所16件)

【詳細事業内訳】

小学校施設維持修繕事業 41,210千円

【一般財源増加理由】 法定定期調査の実施(3年毎)及び新規業務(校舎の非構造部材の点検)の増加による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	9,440	施設管理用消耗品、施設修繕、作業用機器等修繕				
12	役務費	530	遊具点検				
13	委託料	11,557	除草等作業(シルバー人材)、台帳整備、施設法定調査他、排水管清掃、PCB廃棄物処理、工事設計監理				
14	使用料及び賃借料	244	重機借上げ				
15	工事請負費	19,318	営繕工事				
16	原材料費	121	グラウンド補修用砂				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	011301300		
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当		

予算書ページ	294
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110195	小学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	177,701	38,176	0	42,100	50,000	47,425
前年度	198,108	27,387	0	53,900	100,000	16,821
増減額	△ 20,407	10,789	0	△ 11,800	△ 50,000	30,604

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設環境改善交付金	38,176							
18	公共施設整備基金繰入金	50,000								
21	学校施設改修事業	42,100								

【目的・効果】

- 小学校施設について、国が示す耐震性能を確保することで、安心・安全な施設環境を提供できる。
- 老朽化した施設・設備を改修することで、施設全体の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【防災機能強化】

屋内運動場における天井材、照明器具等の非構造部材の耐震化工事の実施
 設計: 豊科北小学校体育館・プレイルーム、穂高北小学校体育館、穂高西小学校体育館
 工事: 三郷小学校第1体育館、明南小学校体育館

【長寿命化改良】

老朽化した校舎の長寿命化対策と老朽対策工事の実施
 設計: 穂高南小学校長寿命化改良工事(Ⅰ・Ⅱ期)
 工事: 穂高南小学校長寿命化改良工事(Ⅰ期)

【詳細事業内訳】

豊科北小学校施設改修事業 2,582千円 / 穂高南小学校施設改修事業 76,746千円 / 穂高北小学校施設改修事業 2,150千円 / 穂高西小学校施設改修事業 2,074千円 / 三郷小学校施設改修事業 36,437千円 / 明南小学校施設改修事業 57,712千円

【一般財源増加理由】		基金繰入金の減による					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	569	建築確認検査手数料				
13	委託料	27,099	実施設計、工事監理				
15	工事請負費	150,033	非構造部材耐震化工事、長寿命化改良工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	防災機能強化事業 (屋内運動場非構造部材耐震化工事)	災害時に避難所となる屋内運動場の天井材や照明器具等の非構造部材の耐震化工事を実施し、安全と安心を確保する。	13	委託料	10,112	
				15	工事請負費	90,843	
					計	100,955	
2	ハード	○ 長寿命化改良事業	老朽化した穂高南小学校の南校舎を今後30年以上使用できるよう構造体等の長寿命化対策工事を実施するとともに、老朽対策工事を実施して健全な施設環境を提供する。	12	役務費	569	
				13	委託料	16,987	
				15	工事請負費	59,190	
					計	76,746	

予算書ページ	294
--------	-----

重点施策と推進政策	(2)	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	224,852	0	0	0	185	224,667
前年度	214,725	0	0	0	180	214,545
増減額	10,127	0	0	0	5	10,122

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公共施設目的外使用料(学校教育課)	80							
20	その他雑入(学校教育課)	5								
20	中学校公衆電話料	100								

【目的・効果】

学校運営に必要な経費を計上し、生徒が安全で安心した学校生活を行える環境を整えるとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。
 学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。
 学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。
 教育用パソコンの更新、維持や電子黒板等の導入を行い、情報機器(ICT)を活用した分かりやすい授業の推進を図る。
 校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。

【詳細事業内訳】

中学校情報教育推進事業 55,518千円 豊科南中学校総務管理費 11,779千円 穂高西中学校総務管理費 15,227千円 穂高東中学校総務管理費 18,274千円 堀金中学校総務管理費 11,332千円 三郷中学校総務管理費 19,716千円 中学校総務管理費 69,997千円 豊科北中学校総務管理費 13,730千円 明科中学校総務管理費 9,479千円

【一般財源増加理由】 電子黒板の導入及び校内放送デジタル変調工事等の経費の増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	42,186	学校事務、図書館司書、庁務員	15	工事請負費	11,378	校内放送デジタル変調及びテレビ共調改修工事
08	報償費	3,072	各中学校で依頼する講師謝礼、卒業記念品購入	18	備品購入費	15,299	学校管理備品(児童用机椅子、冷蔵庫、カーテン等)、印刷機、石油温風暖房機、パソコン等情報機器
09	旅費	687	市費非常勤講師等(費用弁償)、講演会講師等(実費弁償)	19	負担金補助及び交付金	3,133	防火管理者、災害共済、水利組合、図書館研修会等
11	需用費	83,826	校用消耗品、プリンターナー(校用・図書館用)、燃料費、小破修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕、情報機器修繕				
12	役務費	10,081	電話代、庭木の手入れ、楽器調整、クリーニング、ワックスがけ、エアコンクリーニング等				
13	委託料	10,868	ゴミ処理、学校警備、消防施設点検、電気工作物点検、エレベーター保守、サーバ保守、ソフト更新等				
14	使用料及び賃借料	44,322	ソフトウェア使用料、校務・教育用パソコン、電子黒板、コピー機、学校用地、学校田借上げ等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	電子黒板等の情報機器(ICT)の整備により、ICT機器を活用した分かりやすい授業と既に老朽化した校内放送ネットワークの再構築を図り、子どもの充実した学校教育環境を整備する。	14	使用料及び賃借料	8,233
				15	工事請負費	11,378
					計	19,611
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)	コード	011301300	予算書ページ	296
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110245	中学校教育振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	127,870	1,713	349	0	21,100	104,708
前年度	129,322	2,109	0	0	4,100	123,113
増減額	△ 1,452	△ 396	349	0	17,000	△ 18,405

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	143	17	ふるさと寄附金	17,000				
14	特別支援教育就学奨励費補助金	770	18	青少年育成基金繰入金	2,000					
14	理科教育設備整備費補助金	800	20	海外ホームステイ参加者負担金	2,100					
15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	349								

【目的・効果】

教育振興に必要な経費を計上し、教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学力検査や体力テスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。
吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。
学校ごとには教科用の消耗品及び備品の購入費用、図書購入費用を計上。
外国語指導指導手を配置し、中学校における英語教育の向上と国際理解を進める。
英会話能力向上のための課外授業の実施。
海外での語学(英語)体験を通じて、国際社会に対応できる人材の育成を図るための海外ホームステイ交流派遣事業の実施。
要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【詳細事業内訳】

中学生海外ホームステイ交流派遣事業 8,855千円 豊科北中学校教育振興費 4,602千円 中学校外国語指導助手配置事業 34,944千円 穂高西中学校教育振興費 4,694千円 中学校教育振興費 6,999千円 豊科南中学校教育振興費 4,291千円 明科中学校教育振興費 3,140千円 中学校就学援助事業 45,418千円 三郷中学校教育振興費 5,642千円 堀金中学校教育振興費 3,945千円 穂高東中学校教育振興費 5,073千円 中学校教科用指導書等購入事業 267千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	108	海外ホームステイ訪問先記念品				
09	旅費	64	海外ホームステイ引率者旅費				
11	需用費	17,346	各学校の教科用消耗品、海外ホームステイ体験作文集、教材用資料、吹奏楽の楽器及びピアノ修繕				
12	役務費	3,396	標準学力検査、ハイパーQU検査、体力テスト				
13	委託料	43,499	外国語指導助手、英語課外授業、海外ホームステイアシスタント業務				
18	備品購入費	18,057	各学校の振興備品、図書購入費、吹奏楽の楽器				
20	扶助費	45,400	就学援助費、特別支援教育就学奨励費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校外国語指導助手配置事業	外国人外国語指導助手(ALT)を各校に配置し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うと共に、英会話能力向上のため英語課外授業を各校で実施する。	13	委託料	34,944
					計	34,944
2	ソフト	中学生海外ホームステイ交流派遣事業	グローバル化する国際社会に対応できる人材の育成を目指し、海外でホームステイを行い、国際感覚を養うと共に英会話能力の向上と英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒を育成する。	13	委託料	8,555
				11	需用費	128
				08	報償費	108
				09	旅費	64
					計	8,855

重点施策と 推進政策	(2)-二
---------------	-------

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	298
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,673	0	0	0	0	22,673
前年度	21,847	0	0	0	0	21,847
増減額	826	0	0	0	0	826

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
中学校7校の施設を修繕することにより、安心・安全な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
○中学校7校の施設(設備)の修繕・改修工事の実施
○安全点検の実施(建築物定期調査、遊具)

【詳細事業内訳】
中学校施設維持修繕事業 22,673千円

【一般財源増加理由】 法定定期調査の実施(3年毎)の増加による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	8,035	施設管理用消耗品、施設修繕、作業用機器等修繕				
12	役務費	38	トイレ詰り対応				
13	委託料	3,849	除草等作業(シルバー人材)、施設法定調査他、排水管清掃、工事設計監理				
14	使用料及び賃借料	162	重機借上げ				
15	工事請負費	10,364	営繕工事				
16	原材料費	225	グラウンド補修用砂				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-二
---------------	-------

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	298
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110290	中学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	241,076	36,554	0	81,600	100,000	22,922
前年度	328,516	64,131	0	118,800	100,000	45,585
増減額	△ 87,440	△ 27,577	0	△ 37,200	0	△ 22,663

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設環境改善交付金	36,554							
18	公共施設整備基金繰入金	100,000								
21	学校施設改修事業	81,600								

【目的・効果】

- 中学校施設について、国が示す耐震性能を確保することで、安心・安全な施設環境を提供できる。
- 老朽化した施設・設備を改修することで、施設全体の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【防災機能強化】

屋内運動場における天井材、照明器具等の非構造部材の耐震化工事の実施
 設計:穂高西中学校講堂
 工事:穂高西中学校体育館、堀金中学校体育館

【老朽対策】

老朽化した学校トイレ環境を改善するための大規模工事の実施
 豊科北中学校 大規模改造(トイレ)工事(Ⅲ期)

【詳細事業内訳】

豊科北中学校施設改修事業 70,687千円/穂高西中学校施設改修事業 99,933千円/堀金中学校施設改修事業 70,456千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	12,120	実施設計、工事監理				
15	工事請負費	228,956	非構造部材耐震化工事、大規模改造(トイレ)工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	継続	防災機能強化事業 (屋内運動場非構造部材耐震化工事)	災害時に避難所となる屋内運動場の天井材や照明器具等の非構造部材の耐震化工事を実施し、安全と安心を確保する。	13	委託料	9,700
					15	工事請負費	160,689
						計	170,389
2	ハード	継続	大規模改造(トイレ)事業	老朽化したトイレ給排水管の更新と乾式トイレ化工事を実施し、施設の長寿命化とトイレ環境の改善を図る。	13	委託料	2,420
					15	工事請負費	68,267
						計	70,687

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	140
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	児童館費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103260	児童館運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	184,259	13,023	13,023	0	37,167	121,046
前年度	173,966	10,303	10,303	0	33,541	119,819
増減額	10,293	2,720	2,720	0	3,626	1,227

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	児童クラブ負担金	37,165	15	子ども子育て支援交付金	13,023				
12	児童クラブ負担金滞納繰越分	1								
13	児童クラブ利用者負担金督促手数料	1								
14	子ども子育て支援交付金	13,023								

【目的・効果】
【目的】
 ・児童館、児童クラブ事業を行うことによる子育て支援の充実と、放課後の児童の安全な居場所の確保を図る。
【効果】
 ・児童館事業として子育て支援事業を広く展開することにより、子どもの健全な発達と子育て世代の母親の交流が図れる。
 ・児童クラブ事業を充実することにより、安心して働ける環境づくりができる。
 ・全館指定管理を行うことにより、提供するサービスの均一化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内9児童館、10児童クラブを指定管理制度による指定管理委託により運営する。
 ・児童クラブについては、利用者の増加に対応し、待機児童を出さないために定員を拡充して、それに伴う増額経費はそれぞれの児童クラブ毎に計上する。

【詳細事業内訳】
 児童館運営事業(民間委託事業)児童クラブ 80,734千円 児童館運営事業(民間委託事業)児童館 103,525千円

【一般財源増加理由】 児童クラブの定員枠を拡充したことにより、委託料が増加した。施設修繕費の増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,763	児童クラブ事務非常勤職員賃金				
08	報償費	303	児童館職員研修会講師謝礼、建設検討委員会謝礼				
11	需用費	972	児童クラブ納付書用封筒、児童館施設修繕費				
13	委託料	179,882	児童館指定管理委託料、三郷児童館保安業務委託料				
14	使用料及び賃借料	478	児童館用地借地料				
18	備品購入費	861	豊科中央児童館遊具				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	児童クラブ(放課後子ども健全育成事業)	児童クラブについては、利用者が増加傾向にあるため、定員枠を拡大し受入れ児童数を増やす。児童クラブを利用することにより、保護者は仕事に専念できる。	13	委託料	78,912		
					計	78,912		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	(2)-イ
---------------	-------

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	140
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	児童館費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103270	児童館整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	735	0	0	0	0	735
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	735	0	0	0	0	735

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・子育て支援の充実を図るために児童館、児童クラブを整備し、より効率化した施設になるよう環境整備を行う。
【効果】
 ・施設の耐用年数を確保するとともに、児童の安全を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・堀金児童館の屋根改修工事のための設計委託を行う。

【詳細事業内訳】
 堀金児童館屋根改修事業735千円

【一般財源増加理由】	新規事業のため										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	735	堀金児童館屋根改修工事設計委託								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	302
--------	-----

重点施策と 推進政策	(2)	コード	011302100
		課・係等	社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110305	社会教育総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	319,210	0	0	0	0	319,210
前年度	359,234	0	0	0	0	359,234
増減額	△ 40,024	0	0	0	0	△ 40,024

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○安曇野市総合計画の基本方針「人と文化を育むまちの形成」を図るため、安曇野市教育大綱(安曇野市の教育)並びに安曇野市生涯学習推進計画などの個別計画に基づく施策を進める体制などを統括する。
【効果】
 ○市民や各種団体との連携・協力により生涯学習の推進体制を構築し、組織の充実・強化が図られる。
 ○生涯学習推進計画に基づく、生涯学習活動の展開が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○社会教育に係る統括的総務事務を行う。
 ○社会教育に関する諸計画について、社会教育委員が審議する。
 ○第2次生涯学習推進計画(平成30年度～平成39年度)を策定する。

【詳細事業内訳】
 社会教育総務事業 317,288千円 生涯学習推進計画 1,922千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	336	社会教育委員報酬			11	需用費	414	事務消耗品、封筒他印刷		
02	給料	171,953				13	委託料	1,584	生涯学習推進計画策定支援業務、バス運転業務		
03	職員手当等	78,901				14	使用料及び賃借料	10	有料駐車場代		
04	共済費	50,610				19	負担金補助及び交付金	32	社会教育委員連絡協議会負担金、社会教育研究大会参加負担金		
07	賃金	14,828	社会教育指導員賃金								
08	報償費	420	生涯学習推進計画策定委員会委員出席謝礼								
09	旅費	122	第48回関東甲信越静社会教育研究大会(静岡県)								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	生涯学習推進計画	平成30年度から平成39年度を計画期間とした「第2次生涯学習推進計画」を策定し、市民の生涯学習を支援します。	08	報償費	410	
				13	委託料	1,512	
					計	1,922	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)
---------------	-----

コード	011302100
課・係等	社会教育担当

予算書ページ	304
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110308	生涯学習推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,757	0	639	0	0	6,118
前年度	4,631	0	0	0	2	4,629
増減額	2,126	0	639	0	△2	1,489

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	元気づくり支援金	639							

【目的・効果】
【目的】
 ○安曇野市生涯学習推進計画に掲げる「だれでも、いつでも、気軽に学べるまちづくり」、「学びの成果が活かされるまちづくり」の2つの目標の実現に向けて施策を展開する。
【効果】
 ○市民の学習機会の充実が図れる。
 ○学習成果を活かし、支え合い認め合うまちづくりが推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○安曇野検定(平成30年1月28日)及び安曇野検定準備講座を実施し、市民の学習要望に応じる。
 ○市民大学講座、学校開放講座を開催し市民の学習機会を充実する。
 ○日本語教室を運営し、外国人住民への学習支援と日本語指導ボランティア講習会によりボランティアを育成する。
 ○芸術文化協会への補助金交付により運営を支援する。
 ○囲碁将棋大会実行委員会への補助金交付により大会を充実させる。
 ○安曇野市太鼓連盟外への補助金交付により生涯学習団体を育成する。

【詳細事業内訳】
 社会教育団体支援事業 2,314千円 安曇野検定実施事業 2,984千円 生涯学習講座実施事業 1,459千円

【一般財源増加理由】 安曇野検定ジュニアの部図書作成、穂高文化協会創立50周年記念事業への補助金交付のため											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	1,743	各種講座講師謝礼、検定受検者記念品、検定ジュニアの部図書監修・執筆謝礼								
11	需用費	304	各種講座教材他、ポスター・チラシ印刷、検定問題・解答用紙印刷								
12	役務費	514	市民大学講座特別編(時勢)講師講演料								
13	委託料	1,876	検定問題・採点業務、検定ジュニアの部図書制作業務、日本語教室運営業務								
14	使用料及び賃借料	6	無線機借上げ								
19	負担金補助及び交付金	2,314	囲碁将棋大会、太鼓連盟、穂高文化協会創立50周年記念事業他								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野検定実施事業	安曇野市ゆかりの人物を中心とした準備講座の内容から出題する検定を実施する。また、県補助金交付を要件に安曇野に伝わる昔話をまとめた図書を作成し、その内容から出題するジュニアの部を実施する。	08	報償費	1,275
				11	需用費	164
				13	委託料	1,545
					計	2,984
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)
---------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	322
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	05	社会教育費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	03	人権教育推進費		基本施策	人権の尊重
	事業	0110365	人権教育推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,106	0	100	0	0	5,006
前年度	3,079	0	135	0	0	2,944
増減額	2,027	0	△ 35	0	0	2,062

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	人権教育推進市町村事業補助金	100							

【目的・効果】
【目的】
 ○安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標「人権を尊重し差別のない明るく住みよい安曇野市の実現」のため、人権教育・啓発を推進する。
【効果】
 ○市民の人権への意識を高めることができる。
 ○人権の理解から住みよい社会が形成される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○人権教育推進委員、人権教育指導員の設置により人権教育の推進、振興に努める。
 ○人権教育講演会及び講座を開催し、人権意識の醸成を図る。
 ○人権・平和特別授業を開催し、児童への啓発を行う。
 ○人権尊重作文集を作成・配付し、人権啓発を行う。
 ○大会及び研修会に参加し、人権問題への理解を深める。
 ○企業人権教育推進協議会を運営し、指導者の育成と情報提供を行う。
 ○人権集会所の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 人権教育推進事業 2,151千円 人権集会所管理事業 518千円 人権啓発事業 2,437千円

【一般財源増加理由】 人権・平和特別授業を社会教育総務費から移管したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	2,111	人権教育推進協議会出席謝礼、人権教育講演会・講座講師謝礼、人権尊重作文集入選者記念品				
09	旅費	68	第69回全国人権研究大会(島根県)				
11	需用費	695	人権尊重作文集印刷、資料代、人権集会所光熱水費				
12	役務費	1,002	人権・平和特別授業講演料、人権集会所維持				
13	委託料	312	人権・平和特別授業バス運行業務、人権集会所消防設備点検				
14	使用料及び賃借料	916	人権・平和特別授業バス借上げ				
19	負担金補助及び交付金	2	安曇野市企業人権推進協議会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	人権・平和特別授業	市内の小学4年生全児童を対象に人権・平和特別授業を実施。人権について「気付く」「築く」機会とし、平和な社会の実現を目指す。	8	報償費	25
				12	役務費	994
				13	委託料	169
				14	使用料及び賃借料	916
					計	2,104
2	ソフト	人権尊重作文集	市内小中学生の作品による人権尊重作文集を作成し、周知・広報することで、市民の人権教育に対する関心を高め、人権尊重の気風を広める。	8	報償費	30
				11	需用費	195
					計	225

重点施策と 推進政策	(2)-二	コード	011302100			予算書ページ	324
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当				
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち	
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成	
	事業	0110370	青少年健全育成費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,229	0	0	0	33	20,196
前年度	20,716	0	0	0	56	20,660
増減額	△ 487	0	0	0	△ 23	△ 464

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	参加者負担金	12								

【目的・効果】
【目的】
 ・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。
【効果】
 ・様々な体験学習を通して、集団での活動や世代間交流を進める機会を設けることができる。
 ・地域の人々とふれあう中で、様々なことを学ぶ機会が作れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地区子ども会育成会と連携し、地域で行われる行事についての手法・技術の講習会を行うことにより、人間性豊かな子どもを育て、地域を担う核となる子どもやリーダーの育成を図る。
 ・市内の子ども達が一堂に会し、日頃行っている活動を自由な発想で発表、展示する機会として子ども文化祭を開催する。
 ・子どもたちの創造性の発揮、コミュニケーション能力の向上、共同作業の楽しさを知ること、自分自身の新たな発見をすることを目的に子ども映画教室を開催し、子ども文化祭で発表する。
 ・地区子ども会育成会、市育成会連合会の活動を支援し、補助金を交付する。
 ・市全体の青少年健全育成の取り組みを行うため、青少年センター事業を実施する。
 ・平成30年1月7日に「平成30年安曇野市成人式」を挙げる。

【詳細事業内訳】
 青少年育成環境整備事務 1,912千円 青少年体験事業 2,266千円 成人式実施事業 4,361千円 子ども会育成会支援事務 11,690千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	70	青少年健全育成審議会委員報酬			14	使用料及び賃借料	775	成人式時テント及び無線借上料、体験活動機材借上料		
07	賃金	1,798	子ども会育成会連合会事務非常勤職員賃金			19	負担金補助及び交付金	9,196	子ども会育成会補助金		
08	報償費	4,446	成人式記念品、体験活動講師謝礼、子ども会育成会連合会常任委員出席謝礼、青少年センター運営委員出席謝礼			25	積立金	21	青少年育成基金利子		
09	旅費	9	ジュニアリーダー研修旅費								
11	需用費	1,084	体験活動消耗品、青少年センター消耗品、子ども会育成会だより印刷代								
12	役務費	240	体験活動保険料、青少年センター巡回活動保険料								
13	委託料	2,590	成人式会場設営委託、子ども体験講座委託、洞合公園管理委託								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども会育成会支援事務	補助金が交付されることで地区の活動が活発に行われことにより、異世代交流、地域に根付いた郷土の文化を引き継ぐ活動を促進させ、心豊かな子どもの育成を図る。	19	負担金補助及び交付金	8,543
				07		
				08		
				11		
					計	8,543
2						
					計	0

予算書ページ	326
--------	-----

重点施策と 推進政策	(2)-口	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,160	0	1,795	0	0	7,365
前年度	10,916	0	2,731	0	0	8,185
増減額	△ 1,756	0	△ 936	0	0	△ 820

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	放課後こどもプラン補助金	1,795							

【目的・効果】

【目的】

・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。

【効果】

・学校や地域の中で、放課後や休日の子どもの安全・安心で健やかな遊び場や居場所が確保できる。
 ・異年齢間での遊びや活動、地域住民との交流を図ることで、心豊かなたくましい子どもを育てる環境が整備できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市内の小学生全員を対象にして放課後の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢交流による様々な体験の機会を提供するため、放課後子ども教室を開催する。
 ・乳幼児の保護者、小学生の保護者を対象にして家庭教育の支援をするため、講演会の開催をする。

【詳細事業内訳】

家庭教育支援事業 271千円 放課後子ども教室実施事業 8,889千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	7,130	放課後子ども教室スタッフ謝礼、家庭教育講演会講師謝礼				
11	需用費	760	放課後子ども教室消耗品				
12	役務費	1,157	放課後子ども教室保険料				
13	委託料	108	放課後子ども教室スタッフ研修会バス運転委託、家庭教育講演会託児委託				
14	使用料及び賃借料	5	放課後子ども教室運動会機材借上				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	放課後子ども教室	市内の小学生全員を対象として放課後の安全・安心の居場所づくりと異世代・異年齢交流による様々な体験や集団遊びの場を提供する。	08	報償費	6,990
				12	役務費	1,117
				11	需用費	723
				13	委託料	54
					計	8,884
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)	コード	011302100			
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業費			

予算書ページ	334
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,571	0	0	0	30,825	6,746
前年度	53,390	0	0	0	30,825	22,565
増減額	△ 15,819	0	0	0	0	△ 15,819

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	地域振興基金繰入金	30,825							

【目的・効果】
 【目的】
 ○「安曇野市公民館の理念」に基づき各種事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
 【効果】
 ○地域住民への交流と学習の場を提供することで、市民一人ひとりが生き生きと活動することができる。
 ○市民に最も身近な地区公民館を支援し、地域コミュニティの充実に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○公民館事業の企画実施について、公民館運営審議会が調査審議する。
 ○安曇野市公民館大会を開催し、公民館活動の発展を推進する。
 ○公民館役員功労者・地区公民館の表彰を実施し、その功績を称える。
 ○安曇野市公民館報を発行し、公民館活動を広く市民に周知する。
 ○地域を超えた全市の事業として安曇野市総合芸術展を開催し、市の一体感を醸成する。
 ○県、中信地区協議会事業に参加し、公民館職員の資質向上に努める。
 ○地区公民館の活動と建設に対し補助金を交付し、地区公民館を支援する。

中央公民館事業 4,979千円 地区公民館支援事業 32,592千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	147	公民館運営審議会委員報酬				
08	報償費	2,276	公民館大会・公民館講座講師謝礼、公民館報記者謝礼、総合芸術展実行委員会委員出席謝礼				
09	旅費	108	第58回関東甲信越静公民館研究大会(群馬県)				
11	需用費	1,364	公民館報印刷、大会資料				
12	役務費	24	表彰状筆耕代				
19	負担金補助及び交付金	33,652	地区公民館活動補助金、地区公民館建設事業補助金、協議会負担金、市民運動会交付金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	地区公民館支援事業	地区公民館の活動と建設に係る経費に対して補助金を交付して、地区公民館を支援する。	19	負担金補助及び交付金	32,592	
					計	32,592	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(2)
---------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	336
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習施設の整備
	事業	0110382	公民館等建設事業費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	365,560	5,935	0	335,300	24,325
前年度	602,911	10,548	0	358,300	138,063
増減額	△ 237,351	△ 4,613	0	△ 23,000	△ 113,738

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	公民館等整備事業 (旧合併特例事業債)	280,400								
21	豊科公民館駐車場整備事業 (旧合併特例事業債)	54,900								

【目的・効果】

【目的】

○公民館と文書館を整備し、市民交流の場の提供と歴史資料を保存・活用する。

【効果】

- 公民館が誰もが使いやすい施設となり、地域づくり活動の拠点としての役割を果たせる。
- 文書館の設置により、歴史的公文書と古文書を一括管理することで、資料の公開・活用ができる。
- 駐車場は、公民館利用者の利便性向上や地域行事での利用、災害時の避難場所としても活用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 堀金公民館講堂を耐震補強と改修工事を行う。
- 旧堀金公民館・図書館を文書館として整備する。
- 豊科公民館の駐車場を整備する。

【詳細事業内訳】

文書館等改修事業 307,760千円 豊科公民館駐車場整備事業 57,800千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	8,176	文書館等改修工事設計監理業務				
15	工事請負費	351,722	文書館等改修、豊科公民館駐車場整備				
18	備品購入費	5,662	堀金公民館講堂 机、イス、イス用台車				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○ 文書館等改修事業	既存施設を有効活用し、堀金公民館講堂の改修と歴史的価値のある公文書を保管・活用する文書館を整備する。	13	委託料	8,176
				15	工事請負費	293,922
				18	備品購入費	5,662
					計	307,760
2	ハード	豊科公民館駐車場整備事業	旧豊科支所跡地を豊科公民館駐車場として整備し、公民館利用者の利便性が図られるとともに、地域行事での利用、災害時の周辺住民の避難場所となる。	15	工事請負費	57,800
					計	57,800

重点施策と 推進政策	(2)
---------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	336
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習施設の整備
	事業	0110385	豊科公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,231	0	0	0	1,514	18,717
前年度	14,549	0	0	0	1,585	12,964
増減額	5,682	0	0	0	△ 71	5,753

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科公民館使用料	1,460							
20	豊科公民館雑入	54								

【目的・効果】
【目的】
 ・生涯学習に触れる機会、学ぶ拠点として公民館が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を図るため。
【効果】
 ・学びや交流の場として公民館の環境整備を図ることで、より活力あるまちづくりとともに誰もが住みたいまちづくりの建設の推進に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・音響・照明器具等の入替などによるホール機能の向上を受けて、機能性の発揮とともにその運営に際し安全かつ快適な取組みに努めていく。

【詳細事業内訳】
 豊科公民館施設管理運営事業費 20,231千円

【一般財源増加理由】 管理委託料の増高、会議室備品の充実を図るため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	174	ホール貸館業務	27	公課費	7	自動車重量税
11	需用費	5,061	消耗品、灯油、電気料、施設・物品修繕費				
12	役務費	615	電話料、ピアノ調律・保守点検料				
13	委託料	10,230	機械警備保障、エレベータ保守、消防用設備点検、ホール冷暖房切替、清掃業務・貸館業務外				
14	使用料及び賃借料	1,383	コピー使用料、あづみ野TV使用料、借地料				
18	備品購入費	2,757	大会議室机・椅子、ワイヤレスマイクフォン、講演台				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(2)
---------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	338
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110390	豊科公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,747	0	0	0	14	5,733
前年度	5,853	0	0	0	0	5,853
増減額	△ 106	0	0	0	14	△ 120

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・文化活動やスポーツ事業を通じ、生きがいや健康増進及び様々な交流や連携の推進を図るため。
【効果】
 ・多くの市民が公民館事業に参加することで地域のつながりが深まり、地域間交流にも寄与する。
 ・文化祭・芸能発表会等、学びの成果の発表の場を提供することで生きがいとともに更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ホールを利用した音楽イベントの主催及び支援
 ・文化祭出展を目指して大輪菊づくりを学ぶ菊作り講座
 ・幅広い世代の参加を促すため、競技種目やルールに配慮した2回の球技大会と市民運動会の開催
 ・気軽に参加できる親子ふれあい塾、自身の体験談や趣味にスポットを当てた講座の開講など

【詳細事業内訳】
 豊科公民館事業 5,747千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
01	報酬	2,478			
08	報償費	1,610			
11	需用費	428			
12	役務費	216			
13	委託料	267			
14	使用料及び賃借料	532			
18	備品購入費	216			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-ハ	コード	011302200			
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当			
		予算書ページ	342			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	06	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110440	社会体育総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,290	0	0	0	0	18,290
前年度	133,858	0	0	0	100,000	33,858
増減額	△ 115,568	0	0	0	△ 100,000	△ 15,568

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を図るための環境づくりを目的とする。
【効果】
 スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①平成23年度に策定した安曇野市スポーツ振興計画が平成29年度で終了するため、策定委員会を設置し、第2次安曇野市スポーツ推進計画(平成30年度～平成39年度)を策定する。
 ②スポーツ推進委員が、生涯学習課及び公民館事業(教室・運動会等)の企画、指導、協力をする。
 ③全国大会以上の各種競技会等へ出場する個人・団体に対して激励金を交付する。
 ④市体育協会、スポーツ少年団に対し、組織強化、財務強化、競技力向上、活動に対し支援を行う。

【詳細事業内訳】
 社会体育総務費 6,921千円 体育団体等支援事業 11,800千円

【一般財源増加倍理由】 推進計画策定関係(+210千円)、スポーツ推進委員ユニフォーム補助(+300千円)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,594	スポーツ推進委員、スポーツ審議会	19	負担金補助及び交付金	11,019	体育協会、スポーツ少年団 外
07	賃金	1,709	事務補助				
08	報償費	1,550	激励金、スポーツ推進計画策定委員				
09	旅費	155	研修会等旅費 外				
11	需用費	158	事務用品 外				
12	役務費	56	スポーツ保険				
13	委託料	1,049	スポーツ推進計画策定外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	第2次安曇野市スポーツ推進計画の策定	平成23年度に策定した安曇野市スポーツ振興計画が平成29年度で終了するため、新たな計画を策定する。	08	報償費	350
				13	委託料	1,000 (債務負担)
					計	1,350
2	ソフト	体育団体等支援事業	スポーツ推進を図っている団体等(体育協会、スポーツ少年団)に対する支援を行う。また、全国大会以上の競技会に参加する個人・団体等に激励金を交付する。	08	報償費	1,200
				19	負担金・補助金	10,600
					計	11,800

重点施策と 推進政策	(2)-ハ
---------------	-------

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	344
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	06	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110445	スポーツ振興事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,367	0	0	0	1,500	7,867
前年度	8,352	0	0	0	1,904	6,448
増減額	1,015	0	0	0	△ 404	1,419

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	スポーツ教室参加者傷害 保険料	500								

【目的・効果】
【目的】
 生涯にわたり健康で明るく、活力のある生活を送るためにスポーツに親しむことは、極めて重要な意義を持っており、スポーツ教室等を充実・実現させ、生涯スポーツの推進、スポーツを通じたコミュニティづくり等を図る。
【効果】
 スポーツにかかわることができる環境を整えることで、スポーツをする楽しさや喜びの中で仲間との連帯感を深め、心身の健康と活力をもたらす。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 スポーツ振興計画の目標値であるスポーツ実施率等を高めるため、以下の事業を実施する。
 ①子ども、親子を対象としたスポーツ教室の開催。
 ②コーディネーショントレーニングの推進。(幼少時)
 ③一般成人者(スポーツ初心者・未経験者)を対象としたスポーツ教室等の開催。
 ④障がい者を対象とした教室の開催。
 ⑤体育協会と連携し、市民スポーツ祭を開催する。
 ⑥市町村対抗駅伝、県縦断駅伝大会について支援する。
 ⑦指導者に対する研修会の開催

【詳細事業内訳】
 スポーツ教室等開催事業 9,367千円

【一般財源増加理由】 市民スポーツ祭委託料(+1,500千円)※社会体育総務費からの移動による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	3,991	スポーツ教室講師謝礼				
11	需用費	200	消耗品費				
12	役務費	500	傷害保険料				
13	委託料	4,076	スポーツ教室指導、市民スポーツ祭、バス運転				
19	負担金補助 及び交付金	600	市町村対抗・県縦断駅伝大会補助				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	スポーツ教室等開催事業	スポーツ実施率の向上を図るため、成人向けのスポーツ教室の開催と併せ子どもや親子向けの教室を開催する。また、幼少時の運動能力の促進を図るため、コーディネーショントレーニング事業を実施する。	08	報償費	3,991
				13	委託料	2,576
					計	6,567
2	ソフト	市民スポーツ祭の開催	市民の多くの方々が参加する市民スポーツ祭を実行委員会等と連携し、開催する。	13	委託料	1,500
					計	1,500

重点施策と推進政策	(2)-ハ	コード	011302200			予算書ページ	344
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当				
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	06	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の推進	
	事業	0110450	社会体育施設管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	106,691	0	0	0	20,111	86,580
前年度	123,800	0	0	0	13,828	109,972
増減額	△ 17,109	0	0	0	6,283	△ 23,392

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	文化公園施設使用料	800	20	社会体育施設自動販売機電気料	500				
13	学校施設使用料	3,800	20	社会体育施設公衆電話料	8					
13	社会体育施設使用料	15,000								
20	文化公園公衆電話料	3								

【目的・効果】

【目的】

- ・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備する。
- ・市内の体育施設の維持管理を行う。

【効果】

- ・体育施設の環境を整備することにより、市民が屋内外の各種スポーツ施設を積極的に利用し、健康増進やスポーツ活動の活発化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 市内全ての社会体育施設の維持管理を行う。
- ・破損箇所や危険箇所を把握し、利用者の安全確保のため必要な修繕や工事を行う。不足、老朽備品の更新修理を行う。
 - ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
 - ・マレットゴルフ場の指定管理委託を行う。・学校開放施設の適切な修繕を行う。
 - ・下記市内社会体育施設の維持管理及び施設修繕、改修工事
- 市内社会体育施設
 豊科南社会体育館、勤労者スポーツ施設、豊科武道館、豊科弓道場、豊科県民運動広場、西穂高運動場、有明運動場、北穂高運動場、牧運動場、三郷体育館、小倉グラウンド、堀金体育館、常念ドーム、明科体育館、龍門渚運動広場、明科農村広場、高家スポーツ広場、屋内ゲートボール場、梓橋運動場、各マレットゴルフ場 等
 ※平成29年度より、補助執行している三郷文化公園体育施設に関する「文化公園維持管理事業」をこの事業科目に統合し、体育施設を一元管理することとした。

【詳細事業内訳】

社会体育施設管理費 106,691千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,346	管理人賃金(堀金総合体育館)	19	負担金補助及び交付金	18	防火管理者協議会負担金等
11	需用費	47,413	消耗品費、体育施設修繕費、光熱水費、物品修繕費	22	補償補填及び賠償金	10	補償金
12	役務費	1,317	電話料外、モップ交換外、保険料	23	償還金、利子及び割引料	10	還付金
13	委託料	42,993	施設管理業務委託料、事務事業委託料、指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	11,154	コピー借上げ料、重機借上げ料、使用料、借地料				
18	備品購入費	430	体育器具				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	体育施設修繕	・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備するため、社会体育施設の修繕を行う。主な修繕は、豊科県民運広場グラウンド照明水銀灯及びケーブル修繕、堀金総合体育館サブアリーナ移動観覧席経年劣化部品交換修繕等である。	11	需用費	6,238	
					計	6,238	
2	ソフト	マレットゴルフ場指定管理	・市内6施設のマレットゴルフ場においては、指定管理者制度を導入し、地元マレットゴルフ協会等へ管理を委託し、より良い施設整備を図っている。また、経験を生かし、29年度より引き続き5年間の指定管理契約を行った。	13	委託料	7,900	
					計	7,900	

重点施策と 推進政策	(2)-ハ
---------------	-------

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	346
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	06	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110455	市民プール管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,656	0	0	0	0	24,656
前年度	25,179	0	0	0	0	25,179
増減額	△ 523	0	0	0	0	△ 523

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内唯一の公共プールを維持管理及び運営する。
【効果】
 ・夏場の市民の娯楽や体力向上、健康増進を促進することができる。
 ・夏休み時の子どもたちに楽しみの場・憩いの場として提供でき、子どもの「居場所づくり」にも寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・プール運営を維持するための施設修繕
 ・指定管理委託
 ・プール用地の借地料支払い
●施設概要
 ちびっこプール、子供プール、25Mプール、スライダー、流水プール、売店 等

【詳細事業内訳】
 穂高プール管理費 24,656千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,289	施設修繕費						
13	委託料	11,848	各種設備保守外、指定管理料						
14	使用料及び賃借料	11,519	借地料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	スライダーコース修繕 子どもプールタイル修繕 起流ポンプ修繕	・スライダーコースの危険箇所の補修。 ・子供プールのタイル目地の部分が深くなっており、怪我をする恐れがあるため補修を行う。	11	需用費	1,289
					計	1,289
				2	ソフト	指定管理委託
			・穂高プールの管理を、体育施設運営のノウハウを持つ「フクシ・エンタープライズ」に指定管理委託することにより、住民サービスの向上と経費削減等を図る。		計	11,777

重点施策と推進政策	(2)-ハ
-----------	-------

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	346
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	06	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110457	社会体育施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	166,781	0	0	0	50,000	116,781
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	166,781	0	0	0	50,000	116,781

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	公共施設整備基金	50,000							

【目的・効果】

【目的】

○健康志向の高まりなどに伴い、スポーツ活動に対する市民の関心とニーズが一段と高まる中、市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を図るための環境づくりを目的とする。

【効果】

○スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

新総合体育館整備基本計画に基づき、豊科南部総合公園に整備を予定している新総合体育館について、基本設計及び実施設計をまとめる。公式スポーツ施設整備計画に掲げた施設の整備に向け、基金を積み立てる。

【詳細事業内訳】

公式スポーツ施設整備基金積立金 100,000千円 南部総合公園体育施設建設事業 66,781千円

【一般財源増加理由】 新規事業のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	1,040	基本設計のプロポーザルコンペ委員及び応募者への報償				
09	旅費	87	プロポーザルコンペ審査委員の実費弁償				
13	委託料	65,654	新総合体育館整備基本設計策定業務及び用地測量業務等の委託料				
25	積立金	100,000	公式スポーツ施設整備のための積立金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 南部総合公園体育施設建設事業	平成27年6月に安曇野市公式スポーツ施設整備計画を策定した。この計画に盛り込まれている総合体育館整備を早期に行うため、基本設計の作成、測量・地質調査等が必要となる。	13	委託料	65,654
				08	報償費	1,040
				09	旅費	87
					計	66,781
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-ホ	コード	011303100			予算書ページ	304
		課・係等	文化課 文化振興係				

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110310	文化振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	91,602	0	0	0	49	91,553
前年度	98,665	0	0	0	583	98,082
増減額	△ 7,063	0	0	0	△ 534	△ 6,529

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子	45							
16	名誉市民田淵行男顕彰基金利子	4								

【目的・効果】
【目的】
 ・諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出する。
【効果】
 ・心豊かで潤いある市民生活を実現することができる。
 ・安曇野市の活力と魅力を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・第2次安曇野市文化振興計画を策定する。
 ・諸団体と協働で音楽祭、能公演などを行う。また、文化芸術を振興する事業に対し補助金を交付する
 ・東京藝術大学音楽学部との連携による安曇野市の中学生への演奏指導を実施し、演奏技術の向上を図るとともに、音楽家と接する機会を設ける。
 ・安曇野市内の美術館・博物館が連携する取り組みをおこない、各施設の学芸員の資質の向上をはかり、単独の施設では担いきれない鑑賞の機会を創出する。
 ・美術館・記念館等の指定管理(指定管理期間:平成26年4月1日～平成31年3月31日)
 安曇野市豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・安曇野市穂高陶芸会館:公益財団法人安曇野文化財団
 臼井吉見文学館:ほたるぶくろの会

【詳細事業内訳】
 田淵行男記念館管理運営事業 19,228千円 穂高陶芸会館管理運営事業 7,344千円 文化芸術施設整備事業 846千円 豊科近代美術館管理運営事業 33,894千円 文化団体補助事業 8,970千円 美術館・博物館連携事業 863千円 飯沼飛行士記念館管理運営事業 2,519千円 臼井吉見文学館管理運営事業 2,185千円 文化振興総務費 2,369千円 文化振興計画推進事業 1,369千円 文化イベント補助事業 6,700千円 芸術教育普及事業 5,315千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	417	文化振興計画策定委員・博物館協議会委員・美術資料等選定委員等の会議出席報酬	14	使用料及び賃借料	1,277	東京藝術大学交流事業及び能楽教室の講師等の宿泊施設使用料
07	賃金	1,803	文化振興係臨時職員賃金	18	備品購入費	1,000	美術品等購入費用
08	報償費	1,905	東京藝術大学交流事業講師・能楽教室講師等謝礼	19	負担金補助及び交付金	15,370	信州安曇野新能事業補助金・安曇野文化財団運営補助金など
09	旅費	353	東京藝術大学交流事業・能楽教室等職員及び講師の旅費など	25	積立金	51	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子など
11	需用費	2,770	指定管理施設修繕費など				
12	役務費	1,093	美術館博物館連携事業(学校ミュージアム)・藝大連携事業等の作品・楽器の運搬費など				
13	委託料	65,563	豊科近代美術館・田淵行男記念館などの指定管理料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	芸術教育普及事業	全ての市民がすぐれた文化芸術に接することができるよう、芸術公演やコンサートなどの内容を充実させ、鑑賞の機会を作る。東京藝術大学連携事業、文化講演会などの実施。諸団体と協働による文化事業の実施。	08	報償費	1,721
				18	備品購入費	1,000
				11	需用費	786
				14	使用料及び賃借料	702
					計	4,209
2	ソフト	○ 文化振興計画推進事業	市民が豊かで特徴ある文化資源や文化活動を継承し、「安曇野の文化」を保持・育成していくために、新たな長期的な視野に立った指針が必要不可欠であることから、個別計画である「第2次安曇野市文化振興計画」を策定する。	11	需用費	1,080
				01	報酬	252
				09	旅費	37
					計	1,369

重点施策と 推進政策	(2)-ホ
---------------	-------

コード	011303100
課・係等	文化課 文化振興係

予算書ページ	308
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110315	高橋節郎記念美術館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,565	0	0	0	2,320	20,245
前年度	24,040	0	0	0	1,749	22,291
増減額	△ 1,475	0	0	0	571	△ 2,046

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	記念美術館使用料	1,705							
20	美術館グッズ等販売	596								
20	その他教育費雑入(文化課)	19								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市名誉市民高橋節郎とその芸術を顕彰し、後世に継承する。そのために必要な資料の調査研究、収集、保管、展示及び講座・学習会などの教育普及活動を行う。
 ・主屋・南の蔵を活用し、市民に発表の機会と多様な芸術に接する機会を提供する。
【効果】
 ・市民が多様な文化芸術並びに名誉市民に親しむ機会を提供できる。
 ・観光振興に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高橋節郎の没後10周年を記念した企画展・常設展・そば猪口アート公募展、講座・学習会等の諸事業を通じて、高橋節郎の人と芸術を顕彰する。
 ・敷地内の旧高橋家住宅を利用し、市民の文化活動を支援する。
 ・東京藝術大学美術学部との連携した教育普及活動の実施。
 ・近隣市町村の美術館等(安曇野アートライン推進協議会等)との連携により、施設を広くアピールする。
 ・施設の修繕を行い、資料等を保全するとともに、利用者に快適な環境を提供する。

【詳細事業内訳】
 安曇野高橋節郎記念美術館教育普及事業 5,258千円 安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業 17,307千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,689	美術館長報酬			14	使用料及び賃借料	217	コピー機の使用料など		
07	賃金	5,451	美術館臨時職員賃金			16	原材料費	15	旧高橋家住宅庭園の苗木など		
08	報償費	1,045	教育普及活動講師謝礼・そば猪口アート公募展賞金など			19	負担金補助及び交付金	150	全国美術館会議・日本博物館協会などの負担金		
09	旅費	345	企画展に係る調査・作品借用のための職員旅費、公募展審査員旅費など			27	公課費	9	公用車車検に係る税金など		
11	需用費	5,141	周知用印刷物の印刷費、講座用消耗品費、事務用消耗品費など								
12	役務費	3,234	企画展借用作品の運搬費用、企画展広告費用など								
13	委託料	5,269	施設維持管理のための管理委託料、展示作業等の事務事業委託料など								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野高橋節郎記念美術館教育普及事業	高橋節郎の没後10周年を記念し企画展「わたしのうるし(仮称)」を開催し、市内外の個人が所有している作品を借用し、これまで展示したことのない知られざる高橋作品の展示を行う。	12	役務費	1,969
				13	委託料	1,288
				08	報償費	1,045
					その他	956
					計	5,258

予算書ページ	310
--------	-----

重点施策と推進政策	(2)-ホ	コード	011303300
		課・係等	文化課 博物館係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110320	郷土博物館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,712	0	0	0	503	34,209
前年度	24,162	0	0	0	453	23,709
増減額	10,550	0	0	0	50	10,500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	郷土博物館等使用料	250							
20	郷土博物館等コピーサービス料	20								
20	その他刊行物頒布代(文化課)	233								

【目的・効果】
【目的】
 豊科郷土博物館は、郷土の自然、歴史、民俗及び文化に関する知識の向上と文化の発展に寄与するため、資料の展示並びに収集及び保管を行う。穂高郷土資料館及び文化財資料センター等の施設と連携し、市の学芸活動の拠点として事業を展開する。
 所在地:安曇野市豊科4289番地8 開館年:昭和54年
 また、新市立博物館準備室では、平成27年度に策定された『安曇野市新市立博物館構想』に基づき、将来の新市立博物館設置に向けて、市内の公共施設を利用したコンパクト展示等を実施し、現在の博物館施設に対する市民の関心を高めてもらう。
【効果】
 安曇野市の魅力を市内外に発信し、郷土に対する市民の関心を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 夏季企画展を開催する。
 秋季企画展を開催する。
 各種講座を開催する。
 博物館紀要等の刊行物を発行する。
 『新市立博物館構想』に基づき、コンパクト展示を展開する。
 豊科郷土博物館の空調設備工事を行う。

【詳細事業内訳】
 豊科郷土博物館施設運営管理事業 17,646千円 豊科郷土博物館教育普及事業 5,051千円 豊科郷土博物館施設整備事業 12,015千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
01	報酬	1,689	14	使用料及び賃借料	578
	博物館長報酬			借上料(コピー機、印刷機等)、使用料(コピー機保守料等)	
07	賃金	11,293	15	工事請負費	10,445
	臨時職員賃金(学芸員・専門職員・事務職員各2人、短期雇用)			豊科郷土博物館空調工事	
08	報償費	777	18	備品購入費	180
	講座・講演会講師謝礼、資料借用時土産			事務用イス等	
09	旅費	231	19	負担金補助及び交付金	47
	研修会等出張旅費、企画展講師等旅費			負担金(日本博物館協会会費、安曇野市観光協会会費等)	
11	需用費	4,421			
	消耗品費、燃料費、食糧費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費、物品修繕費				
12	役務費	558			
	通信運搬費、広告料、手数料、保険料				
13	委託料	4,493			
	管理委託料(警備、消防点検、清掃等)、事務事業委託料(燻蒸、看板製作設置等)、設計監理委託料(郷土博空調工事設計・監理)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重	節	節名称	金額
1	ソフト	豊科郷土博物館教育普及事業	多くの市民に安曇野の文化や歴史に親んでもらうため、企画展を開催するとともに、各種講座を行う。博物館構想に掲げたコンパクト展示を引き続き行う。	08	報償費	777
				09	旅費	231
				11	需用費	2,194
				13	委託料	1,634
					計	4,836
2	ハード	○ 豊科郷土博物館施設整備事業	昭和54年に建築された博物館は、空調設備が展示室に無く特に夏場の企画展等においては暑さで体調を崩される来館者もいる状況であるため空調の整備を行う。	13	委託料	1,570
				15	工事請負費	10,445
					計	12,015

重点施策と 推進政策	(2)-ホ	コード	011303300			
		課・係等	文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110325	文化財資料センター費			

予算書ページ	312
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,740	0	0	0	0	4,740
前年度	5,608	0	0	0	0	5,608
増減額	△ 868	0	0	0	0	△ 868

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 文化財保護係の所管する埋蔵文化財調査等を実施する。また博物館係所管の博物館等施設に展示及び保存する資料の収集、整理等を行う。豊科郷土博物館と連携して学芸活動を補完する役割を果たす。所在地:安曇野市穂高5836番地 開館年:平成25年
【効果】
 出土遺物や収蔵資料の整理等は地道な作業であるが、適切な保存と活用に向けて資料の収集、整理を進めている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 埋蔵文化財調査を実施する。
 博物館等施設の資料整理を行う。

【詳細事業内訳】
 文化財資料センター施設運営管理事業 4,740千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	2,119	臨時職員賃金(資料整理作業員1人、短期雇用1人)				
11	需用費	1,288	消耗品費、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	221	通信運搬費				
13	委託料	357	管理委託料(警備、消防点検等)、事務事業委託料(廃棄物処理料)				
14	使用料及び賃借料	330	借上料(複合機等)、使用料				
15	工事請負費	425	エアコン設置工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	文化財資料センター費 (文化財資料保管整理)	文化財資料のシステム管理、入力を行う。	07	賃金	2,119		
					計	2,119		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	(2)-ホ		コード	011303300		予算書ページ	312
			課・係等	文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興	
	事業	0110330	郷土資料館費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,863	0	0	0	0	3,863
前年度	3,964	0	0	0	50	3,914
増減額	△ 101	0	0	0	△ 50	△ 51

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 穂高郷土資料館は、郷土の歴史・民俗・考古資料の保管、展示を行うとともに、体験型の講座による教育普及活動を実施する。穂高鐘の鳴る丘集会所は、郷土史等の研修を目的とする体験学習の講座を行う施設として活用するとともに、郷土の歴史や文化に係る学習及び青少年の健全育成に係る体験学習のための施設として市民の利用に供している。所在地:安曇野市穂高有明7327番地72 開館年:昭和47年
【効果】
 安曇野市の魅力を市内外に発信し、郷土に対する市民の関心を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 穂高郷土資料館の管理運営を行う。
 豊科郷土博物館との連携を図り、市内小学校へ出前講座を行うほか、民具のワークショップや土器づくり講座等、体験型の講座を開催する。
 平成24年度に廃止した旧三郷・堀金の両資料館は、引き続き郷土資料の収蔵施設として利用しているため、その維持管理を行う。
 穂高鐘の鳴る丘集会所の管理と活用を行う。

【詳細事業内訳】
 郷土資料館施設運営管理事業 2,836千円 旧民俗資料館施設運営管理業務 1,027千円

【一般財源増加理由】 豊科郷土博物館で行っていた事業の一部を穂高郷土資料館の予算に移したため。また穂高資料館への誘客のためのチラシを作成するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	2,045	臨時職員賃金(事務職員2人)				
11	需用費	784	消耗品費、燃料費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費、物品修繕費				
12	役務費	161	通信運搬費、手数料(旧三郷資料館雨樋清掃)				
13	委託料	367	管理委託料(警備、消防点検、清掃)				
14	使用料及び賃借料	501	借地料(旧三郷資料館敷地)				
19	負担金補助及び交付金	5	負担金(安曇野市防火管理者協議会会費等)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-ホ
---------------	-------

コード	011303300
課・係等	文化課 博物館係

予算書ページ	314
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110335	貞享義民記念館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,174	0	0	0	385	14,789
前年度	14,801	0	0	0	385	14,416
増減額	373	0	0	0	0	373

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	郷土博物館等コピーサー ビス料	15								
20	義民館グッズ売上金	70								

【目的・効果】
【目的】
 貞享義民の業績にかかわる資料の収集、保管、展示及び調査研究を通じて、郷土の歴史や義民の顕彰、人権尊重の精神を広く啓発し、講座及び学習会などの教育普及活動を行う。
【効果】
 義民の精神を伝え、市民の人権学習の場となる。
 安曇野市南部における文化拠点の一つとして、市民に発表の機会と多様な芸術文化に接する機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。
 市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として企画展を開催する。
 義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 貞享義民記念館教育普及事業 1,330千円 貞享義民記念館施設運営管理事業 13,844千円

【一般財源増加理由】		刊行物『貞享義民のお話(仮)』の印刷費及び執筆謝礼を計上したため。									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,689	記念館長報酬			14	使用料及び賃借料	1,824	借上料(コピー機)、使用料(コピー機等)、借地料		
07	賃金	3,663	臨時職員賃金(事務職員2人)			15	工事請負費	603	ロビー網戸設置及び防犯カメラ設置工事		
08	報償費	269	講座講師謝礼、講座手土産、企画展出品謝礼等			16	原材料費	40	公園苗木等		
09	旅費	18	臨時職員登録車使用旅費			18	備品購入費	97	資料図書		
11	需用費	3,444	消耗品費、燃料費、食糧費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費			19	負担金補助及び交付金	35	負担金(日本博物館協会会費、安曇野市観光協会会費等)		
12	役務費	245	通信運搬費、広告料、手数料								
13	委託料	3,247	管理委託料(警備、電気保安、消防点検、自動ドア、エレベーター保守、施設・樹木管理、清掃等)、バス運転								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	貞享義民記念館教育普及事業	義民の顕彰、人権尊重の精神を広く市民へ啓発していく。貞享義民の参考図書を作成する。	08	報償費	269	
				11	需用費	885	
				12	役務費	44	
				13	委託料	102	
					計	1,300	
2							
					計	0	

重点施策と推進政策	(2)-ホ	コード	011303200			予算書ページ	318
		課・係等	文化課 文化財保護係				
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち	
	目	02	文化財保護費		基本施策	歴史民俗資料の保存	
	事業	0110355	文化財保護費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,264	1,000	0	0	3,000	9,264
前年度	7,725	0	0	0	0	7,725
増減額	5,539	1,000	0	0	3,000	1,539

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	民俗文化財調査	1,000							
17	ふるさと寄付金	3,000								

【目的・効果】
 安曇野市内にある文化財の保全を図り、公開へ向けた周辺整備と市民へ向けた啓発活動を推進する。
 また、地域史の解明と文化財の保全を図るため、文化財の調査、記録保存を進め保存・活用を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ◎文化財保全事業
 - ・文化財保全、保存管理に係る補助事業
 - 国重要文化財保存修理事業
 - 県史跡保存整備事業
 - 市指定有形文化財保存修理及び保存管理事業
 - 市指定無形民俗文化財保存伝承事業
 - ・「いわれの地」等文化財標柱、説明板等の整備
- ◎地域史研究と文化財保存・活用
 - ・「安曇平のお船祭り」調査の実施
 - ・映像史料保存活用事業
 - ・写真資料保存活用事業
 - ・信州大学連携事業(民家調査)

【詳細事業内訳】
 文化財保護事業事務 2,222千円 文化財保全事業 4,231千円 地域史研究と文化財保存・活用 6,811千円

【一般財源増加理由】		有形文化財修理事業が発生したため							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	53	文化財保護審議会		15	工事請負費	486	標柱設置等工事	
07	賃金	1,709	文化財保護臨時職員		19	負担金補助及び交付金	3,009	曾根原家住宅保存修理 多田加助宅跡枯損木伐採 無形民俗文化財保存伝承他	
08	報償費	1,530	指定文化財公開謝礼 文化財専門家相談謝礼 文化財調査委員会 オフネ祭り調査他		27	公課費	9	公用車重量税	
09	旅費	292	職員研修視察 文化財保護審議委員費用弁償 オフネ祭り調査委員等実費弁償他						
11	需用費	420	事務用消耗品 文化財調査消耗品 燃料費 物品修繕 調査報告書印刷製本他						
12	役務費	83	公用車点検・自賠責保険						
13	委託料	5,673	史跡内除草 オフネ調査記録作成推進支援 写真・映像史料保存活用事業 民家調査						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	文化財保全事業	安曇野市内にある文化財の保全を図るため、文化財の指定等に関する事務手続きを行う。また、指定文化財の保存管理のための助言及び財政支援を行う。	19	負担金補助及び交付金	3,009
				15	工事請負費	486
				08	報償費	477
					その他	259
					計	4,231
2	ソフト	地域史研究と文化財保存・活用	地域史解明と、文化財の保全を図るための記録保存・調査を進め保存活用を図る。また、指定文化財の公開のための周辺整備と市民へ向けた啓発活動を推進する。	13	委託料	5,595
				08	報償費	1,002
				09	旅費	109
				11	需用費	105
					計	6,811

重点施策と 推進政策	(2)-ホ	コード	011303200			予算書ページ	320
			文化課 文化財保護係				
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち	
	目	02	文化財保護費		基本施策	歴史民俗資料の保存	
	事業	0110356	歴史文書整理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,471	0	0	0	100	19,371
前年度	7,817	0	0	0	100	7,717
増減額	11,654	0	0	0	0	11,654

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	町村誌頒布代	100							

【目的・効果】

古文書及び地域史料の収集・整理を進め、市誌編纂等の基礎資料の蓄積に努めるとともに地域学習にも役立つ。
公文書館開館へ向け、文書管理・検索システムの構築など準備を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ◎地域史料収集・整理事業
 - ・市誌編纂に向け、地域史料(古文書等)の調査及び電子データ化、目録化を行う。
 - ・古文書等文献資料の保存・収集を行う。
- ◎公文書館開館準備
 - ・公文書館業務検討委員会の開催
 - ・文書館引っ越し(非現用及び現用公文書等の運搬)
 - ・文書管理・検索システムの構築

【詳細事業内訳】

歴史的価値ある公文書整理事業 3,841千円 地域資料収集・整理事業 2,945千円 歴史文書整理事業 4,278千円 公文書館開館準備 8,407千円

【一般財源増加理由】 公文書館開館へ向けた準備が新たに加わったため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,541	歴史文書整理臨時職員	18	備品購入費	232	公文書館防炎カーテン 空気清浄器 加湿器
08	報償費	1,173	古文書調査員 公文書館業務検討委員会他				
09	旅費	106	研修会旅費、委員旅費他				
11	需用費	361	事務用消耗品 文化財保存用品 目録等印刷製本他				
12	役務費	7,933	公文書館開館へ向けて引っ越し作業				
13	委託料	5,744	文書管理・検索システム構築 警備保障 古文書調査(シルバー人材)他				
14	使用料及び賃借料	381	コピー機リース・保守 管理・検索システム保守				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	歴史的価値ある公文書整理事業	歴史的価値ある公文書の保存活用のための管理・検索システムを構築する。	13	委託料	3,672
					14	使用料及び賃借料	169
						計	3,841
2	ソフト	○	公文書館開館準備	公文書館開館に向けた準備全般(資料運搬等引っ越し作業等)	8	報償費	112
					9	旅費	60
					12	役務費	7,933
						その他	302
						計	8,407

重点施策と 推進政策	(2)-ホ	コード	011303200			
		課・係等	文化課 文化財保護係			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	歴史民俗資料の保存
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業			

予算書ページ	322
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,405	0	0	3,769	12,636
前年度	14,222	1,000	0	0	13,222
増減額	2,183	△ 1,000	0	3,769	△ 586

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	埋蔵文化財発掘調査委託料	3,769							

【目的・効果】
文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等に対して保護措置(発掘調査、試掘、確認調査、工事立会等)を行う。文化財保護法に基づき過年度の発掘調査記録(図面、遺物)を整理し、報告書を作成する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市道穂高2154号線改良工事に際し、施工地が「中在地遺跡」のため、発掘調査を行う。
 ・民間の土木工事等(宅地造成、店舗等で300㎡を想定)に際し、施工地が周知の埋蔵文化財包蔵地で、遺構等への工事の影響が不可避の場合、原則として調査費用原因者負担で発掘調査を行う。

【詳細事業内訳】
埋蔵文化財保護事業 16,405千円

【一般財源増加理由】 発掘調査箇所及び調査面積の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	8,197	遺跡調査整理学芸員 遺跡発掘専門家 遺跡発掘作業員	16	原材料費	41	発掘調査後の埋戻用砕石等
08	報償費	132	専門家相談 報告書執筆他	18	備品購入費	143	発掘測量用オートレベル 水中ポンプ
11	需用費	1,029	発掘整理用品 燃料費 光熱水費 報告書作成他				
12	役務費	12	発掘作業労働保険				
13	委託料	1,833	発掘測量 出土遺物保存処理・分析				
14	使用料及び賃借料	1,929	発掘機材・重機借上料 整理用機材借上料				
15	工事請負費	3,089	発掘調査に伴う掘削工事他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為について、文化財保護法に基づき保護対策を進める。また記録保存(発掘調査)により得られた資料についての保存活用を図る。	07	賃金	8,197
				15	工事請負費	3,089
				14	使用料及び賃借料	1,929
					その他	3,190
					計	16,405
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-ホ		コード	011304100		予算書ページ	316
			課・係等	図書館交流課 図書館交流担当			
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110340	交流学习センター等管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	75,642	0	0	0	6,020	69,622
前年度	70,237	0	0	0	6,011	64,226
増減額	5,405	0	0	0	9	5,396

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科交流学习センター使用料	1,550	20	その他教育費雑入(図書館交流課)	198				
13	穂高交流学习センター使用料	2,520	20	明科子どもと大人の交流学习施設利用料	1,447					
13	三郷交流学习センター使用料	5								
13	学習館使用料	300								

【目的・効果】

【目的】市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、図書館を核とした複合施設である、安曇野市穂高交流学习センター、安曇野市豊科交流学习センター、安曇野市明科子どもと大人の交流学习施設、三郷交流学习センターの4施設の適正かつ円滑な管理運営(施設管理、貸館事業他)を行う。

【効果】展覧会やコンサート等、個人や団体による文化芸術活動を支援、有償ボランティアである音響照明スタッフやレセプションニストを育成し、市民主導で、文化芸術の企画、運営が行える体制づくりを進め、市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展することで、利用者相互の交流を深め、自己実現を図ることが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

「公共施設予約システム」を活用したサービスの推進し、利用者の利便性の向上を図る。総合計画、生涯学習推進計画、文化振興計画、図書館基本計画の改定にあわせ、設置理念、管理運営基準等を再検討し、年度末に新設される三郷交流学习センターを含めた効率的効果的な運営体制の構築を目指す。

【詳細事業内訳】

交流学习センター等管理費 75,642千円

【一般財源増加理由】		三郷交流学习センターの開館等							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	7,942	施設管理・受付等職員		19	負担金補助及び交付金	12	防火管理者協会	
8	報償費	1,560	音響照明スタッフ等		27	公課費	5	公用車重量税	
11	需用費	30,795	管理用品、ガソリン、施設修繕費、光熱水費、パンフレット等印刷						
12	役務費	2,989	電話代、玄関マット交換、ピアノ調律、建物検査						
13	委託料	29,060	清掃、警備、自動ドア保守、移動観覧席保守、エレベータ保守						
14	使用料及び賃借料	3,055	複合機、印刷機						
18	備品購入費	224	明科用金庫、公共施設予約システム対応用タブレット端末						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	○	三郷交流学习センターの開館	三郷図書館を核とした複合施設、三郷交流学习センターを管理運営し、市民へ質の高い情報を提供し、「交流の場」「学習の場」として市民活動を支援する。	7	賃金	3,653	
					11	需用費	380	
					12	役務費	249	
						委託料他	1,901	
						計	6,183	
2	ハード	○	建物検査の実施及び施設修繕	建築基準法に基づく建物検査を穂高、豊科、明科の各施設で行うなど、常時適切な状態の維持に努める。	11	需用費	1,474	施設修繕費
					12	手数料等	348	建物検査料
						計	1,822	

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	011304100		予算書ページ	316
		課・係等	図書館交流課 図書館交流担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習施設の整備
	事業	0110350	交流学習センター費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	666,328	0	51,200	373,400	209,845	31,883
前年度	594,977	0	51,200	421,200	100,000	22,577
増減額	71,351	0	0	△ 47,800	109,845	9,306

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	市町村合併特例交付金	51,200							
16	三郷図書館建設事業基金 利子	789								
18	三郷図書館建設事業基金 繰入金	209,056								
21	交流学習センター建設事業	373,400								

【目的・効果】

【目的】

○ 市民が集い、交流を深め、学ぶ場として、図書館を核とした交流学習センターの整備充実を図ります。

【効果】

○ 市民待望の三郷交流学習センターの新設と三郷図書館が開館することにより、新たな交流の場、学習の場が生まれます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

○ 平成28年度に引き続き、旧三郷支所跡地に三郷交流学習センター(鉄骨平屋建て、総床面積1,816㎡(うち図書館961㎡、交流学習部分855㎡)の建設を進め、年度内の開館を目指します。

【詳細事業内訳】

三郷交流学習センター整備事業666,328千円

【一般財源増加理由】 電話設備整備・設定委託業務2,970千円、開館及び運営用需用費1,115千円、開館準備業務7,168千円、工事費等△3,175千円

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	128	開館式典出席者記念品、愛称公募優秀者記念品	25	積立金	790	三郷図書館建設事業基金利子
11	需用費	1,115	交流学習センター・新三郷図書館開館用及び運営用				
12	役務費	238	中間検査手数料、完成検査手数料、建築確認申請変更申請手数料				
13	委託料	26,825	電話設備整備・設定業務、新三郷図書館開館準備業務、記念式典業務、監理業務				
14	使用料及び賃借料	41	記念式典用資材借上				
15	工事請負費	607,750	建築、電気設備、機械設備、看板設置				
18	備品購入費	29,441	家具系、什器系				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	三郷交流学習センター整備事業	平成29年度末、市民待望の三郷交流学習センターの新設と三郷図書館の開館により、新たな交流の場、学習の場が生まれます。		一式	657,476
					計	657,476
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-ホ
---------------	-------

コード	011304100
課・係等	図書館交流課 図書館交流担当

予算書ページ	318
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110460	交流学习センター等事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,119	0	0	0	2,917	5,202
前年度	5,978	0	0	0	1,055	4,923
増減額	2,141	0	0	0	1,862	279

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コミュニティ助成事業助成金	2,200							
20	穂高交流学习センター講座受講料	717								

【目的・効果】

【目的】複合施設の特徴を活かし、地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、地域に根ざした事業の企画、運営を行い、さまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。
 【効果】地域学習の中核機能を持った穂高交流学习センターと気軽にに行ける各地域の交流学习センター(施設)を一体的に活用し、安曇野で活躍したい若手音楽家を発掘、発表の場をつくり、一流の演奏家による音楽に触れる機会の提供を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

実演芸術の創造活動、鑑賞機会の提供のため、穂高交流学习センターで、自主企画事業のプロ公演の鑑賞事業としてアンサンブル藝弦コンサートや、新進音楽家の発表の場、生演奏の鑑賞事業としてクリスマスコンサート等をまた各地域への出前コンサートも合わせて実施。出前コンサートでは未就学児の親子連れも楽しめるプログラムや時間構成としてよく検討し、企画運営を行う。安曇野スタイルや、さんぽ市実行委員会の皆さん、信州大学、松本大学、長野高専、庁内他部局との協働事業を開催。豊科交流学习センターでは、没後10周年を迎える安曇野市名誉市民、熊井啓監督の顕彰事業を引き続き実施、平土間の大空間という会場の特色を生かし、親子で一緒に気軽に楽しめる事業の開催を検討。

【詳細事業内訳】

交流学习センター等事業費 8,119千円

【一般財源増加理由】	安曇野市三郷交流学习センターの開館										
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	1,425	講演会講師、コンサート出演者等謝礼								
9	旅費	55	職員打ち合わせ、講演会講師旅費								
11	需用費	28	講師等賄								
12	役務費	3,532	新聞広告費、コンサート開催手数料								
13	委託料	3,079	映画上映、広告物製作、大学連携事業委託								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	三郷交流学习センター開館記念コンサート	11	需用費	12
				12	役務費	3,380
				13	委託料	350
					計	3,742
2					計	0

重点施策と 推進政策	(2)-イ	コード	011304100			予算書ページ	340
		課・係等	図書館交流課 図書館交流担当				
予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	06	図書館費		基本施策	生涯学習施設の整備	
	事業	0110435	図書館費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	174,535	0	0	0	37,071	137,464
前年度	168,438	0	0	0	43,231	125,207
増減額	6,097	0	0	0	△ 6,160	12,257

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	図書カード発行手数料	20								
20	図書館コピー使用料等	150								
20	図書館相互貸借送料	1								

【目的・効果】

【目的】

- 市民へ質の高い情報を提供する「情報センター」を目指します。
- 生涯学習の中核として、市民の「学び」のニーズに応えます。

【効果】

- 図書館サービスの提供等により市民の生涯学習の推進や人材育成に寄与します。
- 市民の憩いの場としての役割を担います。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- 平成29年度の新三郷図書館の開館により、本市の図書館の施設整備が終了する見込みであることから、少子高齢化・高度情報化等の社会の変化に対応し、施設整備後の図書館のあり方を定める第2次図書館基本計画を策定します。
- 新三郷図書館の開館に向けて、準備を進めます。
- 図書館資料収集計画に基づき、堀金図書館、三郷図書館をはじめとする5館の計画的な資料の充実と情報発信に努めます。
- 市内幼保小中高との連携を図り、調べ学習の支援、配本、読書通帳の普及等を通じ子どもの読書活動や学習を支援します。
- 読書支援が必要な方へのサービス(郷土資料のデジタル録音図書の作成など)の充実を図ります。
- 図書資料への理解を深めるために、読み聞かせ等の読書活動推進の実践講座、講演会、講座・おはなし会を行います。
- 多くの市民に図書館を利用していただくため、図書館フェスタをはじめとする全館統一事業の充実を図ります。

【詳細事業内訳】

図書館総務費 306千円 図書館管理運営費 122,886千円 図書館サービス事業 5,524千円 図書館資料収集事業 45,819千円

【一般財源増加理由】		市町村振興協会交付金減4,900千円、非常勤職員1人増2,187千円、三郷図書館IC化2,193千円、閉架書庫移転1,911千円等									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,620	図書館長2人(三郷・堀金)、図書館協議会10人			14	使用料及び賃借料	17,421	図書館システムリース、書誌データ・有料データベース使用料		
07	賃金	81,263	非常勤職員38人			15	工事請負費	465	明科図書館ゲート設置		
08	報償費	1,956	講演会、図書館講座講師謝礼			18	備品購入費	40,464	図書購入(通常分、堀金図書館・三郷図書館資料充実、調べ学習用)		
09	旅費	163	職員研修等			19	負担金補助及び交付金	109	図書館協会、講座受講		
11	需用費	17,075	雑誌、新聞購読料、図書館整備・講座用消耗品、利用案内・イベントチラシ等印刷費			27	公課費	17	自動車重量税		
12	役務費	1,446	電話料、インターネット通信料								
13	委託料	10,536	配本車運転、図書館システム保守、ICタグ添付業務								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	図書館資料収集事業	○ 新聞・雑誌 5,137千円	18	備品購入費	39,972
			○ 通常図書購入費25,000千円 (H28~ △5,000千円)	11	需用費	5,455
			○ 三郷・堀金計画購入図書13,972千円	13	委託料	392
			○ 学校調べ学習用図書1,000千円		計	45,819

監査委員事務局

重点施策と 推進政策	(5)-二	コード	011500000
		課・係等	監査委員事務局

予算書ページ	112
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	06	監査委員費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	監査委員費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102640	監査委員事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,352	0	0	0	0	28,352
前年度	27,403	0	0	0	0	27,403
増減額	949	0	0	0	0	949

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資する。
【効果】
 監査を実施することにより、市の行財政運営が公正で合理的かつ効果的に実施されているか、また予算の執行・事業の経営が適正に効果的で効率的かつ経済的に行われているかを検証できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年間の監査計画を策定し、その後各監査の実施計画の作成を行い、監査を実施する。
 ・全国都市監査委員会総会・研修会等に参加し、知識の取得と意識向上を図る。
 ・全国都市監査委員会負担金等、団体への負担金を支払う。

【詳細事業内訳】
 監査委員事務費 28,352千円

【一般財源増加理由】 人件費の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,956	監査委員報酬				
02	給料	13,362					
03	職員手当等	7,196					
04	共済費	4,260					
09	旅費	373	全国都市監査委員会総会・東海地区都市監査委員会総会・三地区共催都市監査事務研修会旅費				
11	需用費	163	図書(地方財務他)、エイナーファイル・インデックス他				
19	負担金補助及び交付金	42	全国都市監査委員会負担金・東海地区都市監査委員会負担金等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

選挙管理委員会事務局

重点施策と 推進政策	(5)
---------------	-----

コード	011600000
課・係等	選挙管理委員会事務局

予算書ページ	104
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	04	選挙費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	選挙管理委員会費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,154	0	1	0	0	22,153
前年度	24,491	0	1	0	0	24,490
増減額	△ 2,337	0	0	0	0	△ 2,337

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 公正、公平、中立な選挙事務を確保するため、選挙管理委員会事務、各種選挙人名簿の調製、選挙管理委員会定例会・臨時会を開催する。
【効果】
 予定されている各種選挙の執行にあたり、正確な事務執行を行うことができる。また、委員及び職員が研修会へ参加することにより、選挙制度の情勢など新たな見識を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 1 選挙管理委員会事務
 選挙管理委員会定例会(月1回)及び臨時会(必要に応じ)の開催
 2 選挙人名簿の調製
 選挙人名簿(定時登録年4回・選挙時登録)及び在外選挙人名簿の調製
 3 総会、研修会への参加
 全国選挙管理委員会連合会北信越支部・長野県選挙管理委員会連合会・長野県19市選挙管理委員会連合会・中信四市選挙管理委員会が開催する総会、研修会への参加

【詳細事業内訳】
 選挙管理委員会事務費 22,154千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,016	選挙管理委員報酬				
02	給料	11,300					
03	職員手当等	5,218					
04	共済費	3,274					
09	旅費	5	職員旅費・委員費用弁償				
11	需用費	61	参考図書・事務消耗品				
19	負担金補助及び交付金	280	選挙管理委員会連合会外負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

予算書ページ	104
--------	-----

重点施策と推進政策	(5)	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	04	選挙費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	明るい選挙推進費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	675	0	0	0	0	675
前年度	675	0	0	0	0	675
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

有権者が主権者としての自覚を持ち、進んで投票に参加するよう主権者教育・常時啓発を行う。

【効果】

主権者教育・啓発活動を通じ、政治や選挙、候補者に関心を持ってもらうことにより政治意識の向上、投票率の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 啓発活動を推進するため、市明るい選挙推進協議会の開催、県主催の明るい選挙推進県大会等へ参加する。
- 選挙に関心を持ってもらう主権者教育の一環として、明るい選挙啓発ポスターを小・中学校、高等学校、一般より募集し、市選考を経て県審査、中央(全国)審査へ出品する。併せて優秀作品の展示、ホームページへの掲出を行う。
- 市長・市議選に伴う一般有権者向けの選挙啓発を行うと共に、中信四市合同で新有権者に向けた啓発活動を行う。

【詳細事業内訳】

明るい選挙推進事業 675千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	606	中信四市合同啓発記念品・啓発ポスター参加賞・啓発活動出席謝礼				
11	需用費	69	新有権者向け啓発消耗品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中信四市選挙啓発	選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、中信四市(安曇野市・松本市・塩尻市・大町市)が共同で各市内在校の高校生に選挙啓発物品の配布を行い、参政意識の向上を図り、若年層の投票行動に繋げる。	08	報償費	331
					計	331
2					計	0

重点施策と推進政策	(5)	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	04	選挙費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	03	土地改良区総代選挙費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102540	明科川西土地改良区総代選挙費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	115	0	0	0	115	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	115	0	0	0	115	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う土地改良区総代選挙を執行管理し、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了(4年)に伴う総代選挙の執行管理
 選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、開票、選挙会において当選人を決定し、当選証書を付与する。

1 任期 4年
 2 任期満了日 平成30年3月11日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間
 4 選挙区 2選挙区
 5 総代数 30人

【詳細事業内訳】
 明科川西土地改良区総代選挙費 115千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	78	選挙長・選挙立会人報酬								
11	需用費	27	事務消耗品・当選証書印刷代								
12	役務費	10	郵送料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(5)	コード	011600000		予算書ページ	106
		課・係等	選挙管理委員会事務局			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	04	選挙費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	04	市長選挙費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0110011	市長選挙費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	51,302	0	0	0	0	51,302
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	51,302	0	0	0	0	51,302

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う安曇野市長選挙の執行管理
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了による安曇野市長選挙の執行管理
 選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、開票、選挙会において当選人を決定し、当選証書を付与する。

1 任期 4年
 2 任期満了日 平成29年10月22日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間

【詳細事業内訳】
 市長選挙費 51,302千円

【一般財源増加理由】 前年度に選挙執行がなかったため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	5,430	投票管理者・投票管理者職務代理者・投票立会人・開票管理者・開票立会人報酬	14	使用料及び賃借料	1,507	投票所借上料・開票所物品リース・投票箱送致用タクシー使用料外
03	職員手当等	20,044		18	備品購入費	200	投票記載台
07	賃金	1,758	期日前投票事務・不在者投票事務臨時賃金	19	負担金補助及び交付金	3,001	選挙公営
08	報償費	100	ポスター掲示場設置謝礼				
11	需用費	2,927	事務消耗品・選挙啓発物品・投票事務従事者食糧費・選挙公報等印刷・選挙事務機器修繕外				
12	役務費	5,910	入場券等郵送料・選挙運動用はがき郵送料・選挙事務機器点検手数料外				
13	委託料	10,425	ポスター掲示板設置保守撤去業務・選挙事務電算業務・選挙公報配布業務委託外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(5)	コード	011600000			
		課・係等	選挙管理委員会事務局			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	04	選挙費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	05	市議会議員選挙費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0110510	市議会議員選挙費			

予算書ページ	106
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,525	0	0	0	0	50,525
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	50,525	0	0	0	0	50,525

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う安曇野市議会議員一般選挙の執行管理
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了による安曇野市議会議員一般選挙の執行管理
 選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、開票、選挙会において当選人を決定し、当選証書を付与する。

1 任期 4年
 2 任期満了日 平成29年10月22日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間
 4 定数 22人

【詳細事業内訳】
 市議会議員選挙費 50,525千円

【一般財源増加理由】 前年度に選挙執行がなかったため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	99	開票管理者・開票立会人報酬				
11	需用費	2,755	事務消耗品・選挙公報等印刷外				
12	役務費	4,717	選挙運動用はがき郵送料・不在者投票施設事務手数料				
13	委託料	25,939	ポスター掲示板設置保守撤去業務・選挙公報配布業務委託				
14	使用料及び賃借料	100	個人演説会場借上料				
19	負担金補助及び交付金	16,915	選挙公営				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

農業委員会事務局

重点施策と 推進政策	(3)-千	コード	011700000	予算書ページ	198
		課・係等	農業委員会事務局		

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106010	農業委員会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,998	9	8,271	0	1,671	69,047
前年度	80,256	0	7,248	0	1,803	71,205
増減額	△ 1,258	9	1,023	0	△ 132	△ 2,158

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国有農地管理事務委託金	9	20	農地転用許可表示板	2				
15	農業費負担金	8,070	20	農業投資価格評定謝金	8					
15	機構集積支援事業費補助金	201	20	農業新聞購読料等	1,594					
20	県農業開発公社業務委託金	67								

【目的・効果】

【目的】

優良農地の確保や効率的利用の実現に向け、農地の保全と有効利用の促進を図る。
農地法その他の法令により、農地の利用関係の調整を通じて、農地の円滑化、適正化を図る。

【効果】

農用地の流動化により、農業者への集積や遊休農地の解消など、農地を保全するとともに限りある資源を有効に活用することが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

農地法に基づく業務の遂行、農地法第3条4条5条等の書類の審査受付、農業委員会定例総会(毎月1回)による審議、県への進達及び許可関連事務
・農地台帳整備、標準作業料金決定、賃借料情報の提供
・農地流動化促進のため、農地の有効利用と中核担い手農家への農地の集積を支援
・荒廃農地対策、農地パトロールによる遊休・荒廃農地解消指導
・人・農地プランと農地中間管理事業を活用し農地の集積・集約化に努め、農家の意向調査を実施しプラン策定に有効活用する。
・改正農業委員会法施行による農地利用の最適化の推進と新体制移行に向け検討委員会を開催する。

【詳細事業内訳】

農業委員会事業 79,028千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	29,193	農業委員(48名)報酬		12	役務費	237	郵便料金	
02	給料	23,144			13	委託料	2,682	議事録作成委託、農地台帳更新データ作成業務委託外	
03	職員手当等	10,455			14	使用料及び賃借料	80	窓口用パソコンリース外	
04	共済費	6,963			19	負担金補助及び交付金	2,896	県農業会議、松塩筑安曇農業委員会協議会負担金外	
08	報償費	406	農作業労賃・機械作業料金改定委員会出席謝礼外						
09	旅費	147	農地法研修・中日本農業委員会事務局研修会出席						
11	需用費	2,795	事務用品、農作業労賃・機械作業料金協定表印刷外						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農地台帳整備事業	農地台帳を活用し、荒廃農地パトロール実施結果、経営意向調査結果を基に農地情報の更新を行い、農地の流動化を促進させる。	13	委託料	2,682
					計	2,682
2					計	0

重点施策と 推進政策	(3)-子	コード	011700000
		課・係等	農業委員会事務局

予算	款	06	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106020	農業者年金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	378	0	0	0	291	87
前年度	386	0	0	0	229	157
増減額	△ 8	0	0	0	62	△ 70

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	農業者年金事務費	229							
20	農業者年金新規加入奨励金	62								

【目的・効果】
【目的】
 農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択し得る魅力あるものとしていく。
【効果】
 農業者が「老後生活の安心と安定」を展望しながら、農業生産活動に従事でき、長期間営農を継続する上で効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 農業者年金への加入推進
 年金得喪事務

【詳細事業内訳】
 農業者年金事業 378千円

【一般財源増加理由】	加入推進リーフレット印刷代の減額						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	35	農業者年金会議出席謝礼				
11	需用費	195	事務用品、加入推進リーフレット作成外				
12	役務費	148	郵便料金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	農業者年金事業	農業者年金加入推進リーフレットを作成し、農業者年金加入資格者への加入推進を積極的に行い、加入者の増加を図る。	11	需用費	195		
					計	195		
2								
					計	0		

公平委員会事務局

重点施策と 推進政策	(5)-ハ	コード	011800000
		課・係等	公平委員会事務局

予算書ページ	112
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	
	項	07	公平委員会費		主要施策	
	目	01	公平委員会費		基本施策	
	事業	0102650	公平委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
490	516	△ 26	0	0	0	0
			0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・地方公務員法第7条第4項の規定に基づき設置された公平委員会を運営するため

【効果】

・不利益処分に関する審査請求制度の実効性の確保
 ・措置要求制度の実効性の確保

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・年2回の委員会開催
 ・各種研修会、総会へ参加し、他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う

【詳細事業内訳】

公平委員会事務費 490千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	200	公平委員会委員報酬 200千円				
09	旅費	182	委員研修の費用弁償 141千円				
11	需用費	5	消耗品費 5千円				
14	使用料及び賃借料	1	有料道路使用料 1千円				
18	備品購入費	17	委員長印 17千円				
19	負担金補助及び交付金	85	全国公平委員会連合会等負担金 85千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公平委員会事務費	他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う	01	報酬	200
				09	旅費	182
				19	負担金補助及び交付金	85
					計	467
2					計	0

特別会計

国民健康保険特別会計

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100			
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100010	一般管理費			

予算書ページ	21
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,615	7,124	0	0	16,491	0
前年度	14,478	0	0	0	14,478	0
増減額	9,137	7,124	0	0	2,013	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	システム改修補助金	7,124							
09	事務費分	16,491								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営のための事務経費。
【効果】
 ・事務経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 23,615千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	5,357	一般事務非常勤職員賃金(3名分)5,357千円				
09	旅費	76	全国都市国保研究協議会(東京1泊)25千円、国保保険者都道府県単位化に伴う説明会(東京日帰り2名分)51千円				
11	需用費	802	事務執行に伴う消耗品類購入602千円 保険証等の発送に伴う封筒印刷200千円				
13	委託料	17,356	電算共同処理委託料(国保連合会)4,540千円 保険証等封入封緘業務委託2,593千円 制度改正に伴うシステム改修業務委託10,223千円				
14	使用料及び賃借料	24	有料道路使用料24千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	連合会負担金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100020	連合会負担金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,155	0	0	0	4,155	0
前年度	4,155	0	0	0	4,155	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	09	事務費分	金額	4,155	合計金額	
							4,155

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営。
【効果】
 ・負担金支払により、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる負担金額を予算執行する。

【詳細事業内訳】
 連合会負担金 4,155千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	4,155	国保連合会負担金4,155千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100			
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	賦課徴収費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100040	賦課徴収費			

予算書ページ	21
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,036	0	0	0	7,036	0
前年度	8,225	0	0	0	8,225	0
増減額	△ 1,189	0	0	0	△ 1,189	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	1,600							
09	事務費分	5,436								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の賦課業務を安定的に運営するための事務経費。
【効果】
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 賦課徴収費 7,036千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	81	徴収事務等研修会81千円								
11	需用費	1,247	賦課徴収事務用品269千円、公用車燃料費102千円、納税通知書等発送用封筒印刷768千円、公用車修繕108千円								
12	役務費	71	公用車定期点検39千円、預金照会手数料5千円、公用車自賠責保険料27千円								
13	委託料	5,326	電算システム業務委託5,326千円								
14	使用料及び賃借料	210	有料道路使用料15千円、コンビニ収納システム使用料195千円								
19	負担金補助及び交付金	94	徴収事務等研修会参加負担金94千円								
27	公課費	7	公用車自動車重量税7千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	運営協議会費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	運営協議会費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100050	運営協議会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	435	0	0	0	435	0
前年度	435	0	0	0	435	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険法及び市国保条例により義務付けられている国保運営協議会を運営するための事務経費。
【効果】
 ・国保事業を審議する会であり、国保事業の推進ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる諸費用を予算執行する。

【詳細事業内訳】
 運営協議会費 435千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	347	運営協議会、委員研修会出席報酬347千円								
11	需用費	82	国保新聞購読料82千円								
14	使用料及び賃借料	6	有料道路使用料6千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	23
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	04	趣旨普及費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	趣旨普及費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100060	趣旨普及費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,038	0	0	0	1,038	0
前年度	1,214	0	0	0	1,214	0
増減額	△ 176	0	0	0	△ 176	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	09	事務費分		1,038						

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の啓発用事務経費。
【効果】
 ・制度説明用パンフレットがあることにより、国保制度の説明や案内が市民に対して簡潔にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務運営上必要な経費を随時執行できる。(保険証や高齢受給者証の一斉更新時の同封や窓口での説明用)

【詳細事業内訳】
 趣旨普及費 1,038千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,038	啓発用パンフレット購入1,038千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	25
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	一般被保険者療養給付費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,150,000	1,232,609	305,660	0	3,776,681	835,050
前年度	6,310,000	1,166,568	179,472	0	4,012,261	951,699
増減額	△ 160,000	66,041	126,188	0	△ 235,580	△ 116,649

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	療養給付費負担金	959,666	04	普通調整交付金	179,937	09	保険基盤安定事業(保険者支援分)	107,362	
03	療養給付費負担金	1	04	特別調整交付金	125,723	09	財政安定化支援事業	78,590		
03	普通調整交付金	209,927	06	前期高齢者交付金	2,903,328	09	基金繰入金	511,561		
03	特別調整交付金	63,015	09	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	175,840					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払を滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者療養給付費 6,150,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	6,150,000	一般被保険者療養給付費6,150,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	25
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	退職被保険者等療養給付費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100081	退職被保険者等療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	147,000	0	0	0	133,258	13,742
前年度	347,000	0	0	0	347,000	0
増減額	△ 200,000	0	0	0	△ 213,742	13,742

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	退職者等療養交付金	1								133,258

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者等が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等療養給付費 147,000千円

【一般財源増加理由】 支払基金からの交付金が減少のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	147,000	退職被保険者等療養給付費147,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100			
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	一般被保険者療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100091	一般被保険者療養費			

予算書ページ	25
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,000	13,616	2,095	0	37,504	17,785
前年度	79,500	14,682	2,259	0	61,031	1,528
増減額	△ 8,500	△ 1,066	△ 164	0	△ 23,527	16,257

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	療養給付費負担金	11,172	09	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	2,049				
03	普通調整交付金	2,444	09	保険基盤安定事業(保険者支援分)	1,118					
04	普通調整交付金	2,095	11	軽減特例措置	420					
06	前期高齢者交付金	33,917								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。

・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者療養費 71,000千円

【一般財源増加理由】 前期高齢者交付金が減少する見込みのため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	71,000	一般被保険者療養費71,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	25
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	04	退職被保険者等療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100101	退職被保険者等療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,500	0	0	0	1,500	0
前年度	4,400	0	0	0	4,400	0
増減額	△ 2,900	0	0	0	△ 2,900	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	退職者等療養交付金	1,500							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等療養費 1,500千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	1,500	退職被保険者等療養費	1,500千円					

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	27
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	05	審査支払手数料		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100111	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,610	0	0	0	0	20,610
前年度	20,610	0	0	0	0	20,610
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保連合会で審査を行うことにより、医療費請求審査が円滑にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 20,610千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	20,610	審査支払手数料20,610千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	27
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	一般被保険者高額療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	940,000	178,366	27,441	0	729,144	5,049
前年度	832,000	153,495	23,615	0	654,890	0
増減額	108,000	24,871	3,826	0	74,254	5,049

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	普通調整交付金	32,014	09	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	27,029					
04	普通調整交付金	27,441	09	保険基盤安定事業(保険者支援分)	3,326					
06	前期高齢者交付金	454,493								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者高額療養費 940,000千円

【一般財源増加理由】 支出見込金額の増加による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	940,000	一般被保険者高額療養費940,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	27
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	退職被保険者等高額療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100131	退職被保険者等高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,870	0	0	0	25,870	0
前年度	52,000	0	0	0	52,000	0
増減額	△ 26,130	0	0	0	△ 26,130	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	退職者等療養交付金	25,870							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】

退職被保険者等高額療養費 25,870千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	25,870	退職被保険者等高額療養費25,870千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)	コード	010703100			
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	一般被保険者高額介護合算療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費			

予算書ページ	27
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	0	0	0	0	500
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者高額介護合算療養費 500千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	500	一般被保険者高額介護合算療養費500千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	27
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	04	退職被保険者等高額介護合算療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100136	退職被保険者等高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200	0	0	0	0	200
前年度	200	0	0	0	0	200
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等高額介護合算療養費 200千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	200	退職被保険者等高額介護合算療養費200千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	29
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	移送費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	一般被保険者移送費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100141	一般被保険者移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	0	0	0	250
前年度	250	0	0	0	0	250
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者移送費 250千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	250	一般被保険者移送費250千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	29
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	移送費		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	退職被保険者等移送費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100151	退職被保険者等移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	0	0	0	250
前年度	250	0	0	0	0	250
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等移送費 250千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	250	退職被保険者等移送費250千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	29
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	04	出産育児諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	出産育児一時金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100161	出産育児一時金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	33,600	0	0	22,400	11,200
前年度	39,900	0	0	26,600	13,300
増減額	△ 6,300	0	0	△ 4,200	△ 2,100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	09	出産育児一時金等	22,400							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の出産給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保被保険者の出産費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求や被保険者からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 出産育児一時金 33,600千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	33,600	出産育児一時金33,600千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	29
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	05	葬祭諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	葬祭費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100171	葬祭費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,400	0	0	0	0	5,400
前年度	5,400	0	0	0	0	5,400
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の葬祭給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・葬祭費用の一部として給付するため、葬祭執行者が負担する葬祭費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・葬祭執行者からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 葬祭費 5,400千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	5,400	葬祭費5,400千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	06	精神諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	精神給付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100181	精神給付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,000	0	0	0	20,000	0
前年度	22,000	0	0	0	22,000	0
増減額	△ 2,000	0	0	0	△ 2,000	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・精神通院医療に該当する国保被保険者の通院費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 精神給付金 20,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	20,000	精神給付金20,000千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	後期高齢者支援金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	後期高齢者支援金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100183	後期高齢者支援金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,270,000	482,569	74,241	0	178,933	534,257
前年度	1,317,599	490,153	75,408	0	222,911	529,127
増減額	△ 47,599	△ 7,584	△ 1,167	0	△ 43,978	5,130

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	後期高齢者医療費支援金負担金	395,954	09	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	96,432	
03	普通調整交付金	86,615	09	保険基盤安定事業(保険者支援分)	49,859		
04	普通調整交付金	74,241					
05	退職者等療養交付金	32,642					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた支援金額を納入することにより、後期高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】

後期高齢者支援金 1,270,000千円

【一般財源増加理由】 国・県等の負担金が減少したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	1,270,000	後期高齢者支援金1,270,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	後期高齢者支援金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	後期高齢者支援金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100185	病床転換支援金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0
前年度	1	0	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	病床転換支援金負担金	1							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた病床転換支援金額を納入することにより、制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成29年度での支払は発生しない見込み)

【詳細事業内訳】
 病床転換支援金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	1	病床転換支援金1千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	後期高齢者支援金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	後期高齢者関係事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100184	後期高齢者関係事務費拠出金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	85	0	0	0	0	85
前年度	85	0	0	0	0	85
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた事務費を納入することにより、後期高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】
 後期高齢者関係事務費拠出金 85千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	85	後期高齢者関係事務費85千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	後期高齢者支援金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	後期高齢者関係事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100189	病床転換支援金事務費拠出金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8	0	0	0	0	8
前年度	8	0	0	0	0	8
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた事務費を納入することにより、制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】
 病床転換支援金事務費拠出金 8千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	8	病床転換事務費8千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	33
--------	----

予算	款	04	前期高齢者納付金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	前期高齢者納付金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	前期高齢者関係事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100187	前期高齢者関係事務費拠出金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	90	0	0	0	0	90
前年度	90	0	0	0	0	90
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた前期高齢者事務費納付金を納入することにより、高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】

前期高齢者関係事務費拠出金 90千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	90	前期高齢者関係事務費90千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	33
--------	----

予算	款	04	前期高齢者納付金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	前期高齢者納付金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	前期高齢者負担調整金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100188	前期高齢者負担調整金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,471	0	0	0	0	4,471
前年度	618	0	0	0	0	618
増減額	3,853	0	0	0	0	3,853

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた前期高齢者納付金を納入することにより、高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】

前期高齢者負担調整金 4,471千円

【一般財源増加理由】 支払基金へ納付する納付金額増加のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	4,471	前期高齢者負担金調整費4,471千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	33
--------	----

予算	款	05	老人保健拠出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	老人保健拠出金		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	老人保健医療費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100191	老人保健医療費拠出金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4	2	1	0	1
前年度	4	2	1	0	1
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	老人保健医療費拠出金負担金	1							
03	普通調整交付金	1								
04	普通調整交付金	1								
05	退職者等療養交付金	1								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた老人保健拠出金を納入することにより、経過措置中の制度維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成29年度での支払は発生しない見込み)

【詳細事業内訳】

老人保健医療費拠出金 4千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	4	老人保健医療費拠出金4千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	33
--------	----

予算	款	05	老人保健拠出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	老人保健拠出金		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	老人保健事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100211	老人保健事務費拠出金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	39	0	0	0	0	39
前年度	50	0	0	0	0	50
増減額	△ 11	0	0	0	0	△ 11

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた老人保健事務費拠出金を納入することにより、経過措置中の制度維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】
 老人保健事務費拠出金 39千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	39	老人保健事務費拠出金39千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	06	介護納付金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	介護納付金		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	介護納付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100221	介護納付金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	468,454	182,696	28,107	0	35,053	222,598
前年度	489,442	190,882	29,366	0	35,159	234,035
増減額	△ 20,988	△ 8,186	△ 1,259	0	△ 106	△ 11,437

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	介護納付金負担金	149,904	09	保険基盤安定事業(保険者支援分)	12,971				
03	普通調整交付金	32,792								
04	普通調整交付金	28,107								
09	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	22,082								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた介護納付金額を納入することにより、介護保険制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】

介護納付金 468,454千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	468,454	介護納付金468,454千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	07	共同事業拠出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	共同事業拠出金		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	高額医療費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100231	共同事業医療費拠出金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	270,033	67,508	67,508	0	135,017
前年度	257,093	64,273	64,273	0	128,547
増減額	12,940	3,235	3,235	0	6,470

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	高額医療費共同事業負担金	67,508							
04	高額医療費共同事業負担金	67,508								

【目的・効果】
【目的】
 ・高額な医療費(80万円以上)の支払に対して、県内市町村で共同運営を行い、高額な医療費支払の均一を図る。
【効果】
 ・財政状況の厳しい保険者においては、高額な医療費の支払はさらに財政悪化を招くことになるため、共同運営による均一化を図ることで、負担軽減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】
 共同事業医療費拠出金 270,033千円

【一般財源増加理由】 医療費の請求が高額化しており国保連合会から請求される拠出金額が増加したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	270,033	高額医療費共同事業270,033千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	07	共同事業拠出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	共同事業拠出金		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	保険財政共同安定化事業拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100246	保険財政共同安定化事業拠出金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,286,690	0	16,224	0	2,247,985	22,481
前年度	2,246,136	0	0	0	2,246,136	0
増減額	40,554	0	16,224	0	1,849	22,481

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
07	保険財政共同安定化事業交付金	2,247,985								2,264,209

【目的・効果】
【目的】
 ・医療費(1円以上80万円まで)の支払に対して、県内市町村で共同運営を行い、高額な医療費支払の均一を図る。
【効果】
 ・財政状況の厳しい保険者においては、高額な医療費の支払はさらに財政悪化を招くことになるため、共同運営による均一化を図ることで、負担軽減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支払を行う。

【詳細事業内訳】
 保険財政協同安定化事業拠出金 2,286,690千円

【一般財源増加理由】 医療費の請求が高額化しており国保連合会から請求される拠出金額が増加したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	2,286,690	保険財政共同安定化事業2,286,690千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	37
--------	----

重点施策と推進政策	(1)-ハ	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	08	保健事業費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	特定健康診査等事業費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	特定健康診査等事業費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100249	特定健康診査等事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	187,759	20,866	14,880	0	47,153	104,860
前年度	170,986	19,095	14,116	0	36,407	101,368
増減額	16,773	1,771	764	0	10,746	3,492

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	特定健康診査等負担金	14,880	09	事務費分	19,516				
03	特定健康診査等負担金(過年度分)	1	09	後期高齢者健診繰入金	7,757					
03	特別調整交付金	5,985	11	特定健康診査等受託料	14,110					
04	特定健康診査等負担金	14,880	11	特定健診等個人負担金	5,770					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険特定健康診査等実施計画により、40歳から74歳までの国保被保険者を対象に、生活習慣病予防に着眼した特定健康診査及び特定保健指導を行う。

【効果】

・特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見・早期治療、健康保持され、その結果国保医療費の負担軽減に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・特定健康診査を医療機関等と連携を図り実施する。(集団健診・個別健診・人間ドック・通院治療者受診結果受領票)
- ・保健師・管理栄養士による個別での特定保健指導を行う。
- ・特定健診受診結果によるハイリスク対象者を把握し、二次健診(動脈硬化検診)を実施する。

【詳細事業内訳】

特定健康診査等事業費 118,308千円 精密健康診断受診費助成事業 69,451千円

【一般財源増加理由】 特定健診受診者の増加見込み、二次健診検査機器の購入

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	455	集団健診臨時職員賃金(455千円)				
08	報償費	210	特定健康診査等実施計画策定委員報償(210千円)				
11	需用費	3,597	受診啓発用パンフレット、二次健診検査用品購入(1,485千円)、健診通知等の封筒作成、実施計画書冊子印刷(2,112千円)				
12	役務費	1,431	新聞・ラジオによる受診啓発広告(1,431千円)				
13	委託料	177,476	集団・個別等健診事務委託(13,283千円)、集団・個別等健診業務委託(92,907千円)、未受診者対策業務委託(5,986千円)、人間ドック受診委託(65,300千円)				
18	備品購入費	540	微量アルブミン尿検査機器購入(540千円)				
19	負担金補助及び交付金	4,050	人間ドック等受診費用補助(4,050千円)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	未受診者対策事業	特定健診未受診者に受診勧奨ハガキの送付や電話による受診状況の聞き取りや受診勧奨を実施し、受診への意識づけと重症化予防に取り組み医療費の抑制を図る。	11	需用費	3,597
				12	役務費	1,431
				13	委託料	112,075
				18	備品購入費	540
					計	117,643
2	ソフト	精密健康診断受診費助成事業	医療機関で実施する人間ドック受診に対し、受診費用の一部を助成し、受診しやすい環境づくりを行うことで、健康保持増進や特定健診受診率向上を図る。	13	委託料	65,401
				19	負担金補助及び交付金	4,050
					計	69,451

予算書ページ	39
--------	----

重点施策と 推進政策	(1)-ハ	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	08	保健事業費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	保健事業費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	保健事業費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100250	保健事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源				
本年度	18,599	国支出金	0	県支出金	2,053	市債	0	その他	12,882	3,664
前年度	18,204	0	2,445	0	11,771	3,988				
増減額	395	0	△ 392	0	1,111	△ 324				

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	特別調整交付金	2,053							
09	事務費分	9,882								
11	高額療養費貸付金収入(現年度分)	2,990								
11	高額療養費貸付金収入(過年度分)	10								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険被保険者の健康づくり推進や医療費適正化に関する啓発を実施する。
【効果】
 ・健康意識の高まりにより、疾病予防効果や国保財政運営の健全化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・有資格者によるレセプト点検、高額療養費資金の貸付、医療費通知、ジェネリック医薬品の差額通知の発送を行う。
 ・新規事業として、医療機関等への重複・頻回受診者に対し、保健師が訪問し、療養方法等必要な保健指導を行う。
 ・健康の保持推進に寄与した世帯に対して記念品を贈呈する。

【詳細事業内訳】
 保健事業費 14,935千円 健康世帯表彰事業 3,664千円

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	8,723	レセプト点検職員、多受診訪問保健師賃金(8,723千円)				
08	報償費	3,724	健康世帯表彰記念品購入費(3,664千円)、保健事業研修会講師謝礼(60千円)				
09	旅費	59	保健指導者研修会講師旅費(59千円)				
11	需用費	1,040	健康づくり啓発用パンフレット、糖尿病連携手帳(500千円)、野菜ノート啓発冊子(540千円)				
12	役務費	1,375	医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知郵送料(1,375千円)				
13	委託料	678	医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知作成業務委託料(678千円)				
21	貸付金	3,000	高額療養費貸付金(3,000千円)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】				節	節名称	金額
1	ソフト	○	重複・頻回受診者訪問指導事業		07 賃金	914
					11 需用費	30
					計	944
2	ソフト		ジェネリック医薬品切替差額通知事業		12 役務費	1,375
					13 委託料	678
					計	2,053

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	09	積立金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	積立金		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	基金積立金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100261	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100,000	0	0	0	0	100,000
前年度	100,000	0	0	0	0	100,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に、取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上必要な額を積立てる。

【詳細事業内訳】

基金積立金 100,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	100,000	基金積立金100,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	09	積立金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	積立金		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	基金積立金利子		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100266	基金積立金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,149	0	0	0	1,148	1
前年度	2,061	0	0	0	2,060	1
増減額	△ 912	0	0	0	△ 912	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	基金積立金利子	1,148							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・会計課から示された額を積立てる。

【詳細事業内訳】
 基金積立金利子 1,149千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
25	積立金	1,149	基金積立金利子1,149千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	41
--------	----

予算	款	10	公債費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	公債費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	一時借入金利子		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100275	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・一時借入があった場合、円滑に支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払が必要な場合、随時支払をする。

【詳細事業内訳】
 一時借入金利子 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	一時借入金利子1千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	41
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	一般被保険者保険税還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,000	0	0	0	0	7,000
前年度	7,000	0	0	0	0	7,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者保険税還付金 7,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	7,000	還付金7,000千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	41
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	退職被保険者等保険税還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	400	0	0	0	0	400
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	△ 100	0	0	0	0	△ 100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等保険税還付金 400千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	400	還付金400千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	41
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	一般被保険者還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200	0	0	0	0	200
前年度	233	0	0	0	0	233
増減額	△ 33	0	0	0	0	△ 33

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。

【効果】

・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者還付加算金 200千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	200	還付加算金200千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	41
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	04	退職被保険者等還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20	0	0	0	0	20
前年度	35	0	0	0	0	35
増減額	△ 15	0	0	0	0	△ 15

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等還付加算金 20千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	20	還付加算金20千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	41
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	05	療養給付費等交付金償還金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100321	療養給付費等交付金償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度交付金実績数値より超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度交付金額が超過していた場合、支払基金からの返還請求により随時執行する。

【詳細事業内訳】
 療養給付費等交付金償還金 1千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1	療養給付費等交付金償還金1千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	41
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	06	療養給付費償還金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100331	療養給付費償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金額が超過していた場合、国からの返還請求により随時執行できる。

【詳細事業内訳】
 療養給付費償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	療養給付費償還金1千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	43
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	07	特定健康診査等負担金償還金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100341	特定健康診査等負担金償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ適正な運営を行う。
【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金が超過した場合、国からの返還請求により随時執行する。

【詳細事業内訳】
 特定健康診査等負担金償還金 1千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1	特定健康診査等負担金償還金(1千円)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	43
--------	----

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	08	一般被保険者返納金還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35	0	0	0	0	35
前年度	35	0	0	0	0	35
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者から返還請求があった場合に随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者返納金還付金 35千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	35	被保険者返納金還付金35千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)
---------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	43
--------	----

予算	款	12	予備費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	予備費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100340	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150,000	0	0	0	0	150,000
前年度	150,000	0	0	0	0	150,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・急な支払増に対応できるため支払業務が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要が生じた場合は随時執行する。

【詳細事業内訳】
 予備費 150,000千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		29	予備費	150,000	予備費150,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

後期高齢者医療特別会計

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	14
--------	----

予算	款	01	総務費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	49	0	0	0	49	0
前年度	57	0	0	0	57	0
増減額	△ 8	0	0	0	△ 8	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	事務費繰入金	49							

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。
【効果】
 ・事務費を確保することにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 49千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	49	事務用品の購入21千円、予算書・決算書の印刷28千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010703100			
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	徴収費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	徴収費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600030	徴収費			

予算書ページ	14
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,886	0	0	0	4,886	0
前年度	6,007	0	0	0	6,007	0
増減額	△ 1,121	0	0	0	△ 1,121	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	120							
03	事務費繰入金	4,766								

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療保険料収納事務として必要な経費を計上するため。
【効果】
 ・収納事務の円滑な執行が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務運営上必要な経費を随時執行する。
 ・保険料納付の利便性を向上させるためのコンビニ収納を開始する。

【詳細事業内訳】
 徴収費 4,886千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	128			事務用品の購入54千円、通知書用封筒印刷74千円				
12	役務費	65			コンビニ収納システム使用料65千円				
13	委託料	4,693			電算システム業務委託4,693千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1		徴収費	後期高齢者医療業務の内、後期高齢者医療保険料の納付書の代行プリント・封入封緘業務等を委託することにより、後期高齢者保険料納付書発送事務が円滑に行われ、事務効率が向上する。	13	委託料	4,693
				11	需用費	128
				12	役務費	65
					計	4,886
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	14
--------	----

予算	款	02	後期高齢者医療広域連合納付金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	後期高齢者医療広域連合納付金		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	後期高齢者医療広域連合納付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600070	広域連合納付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,034,015	0	0	0	266,980	767,035
前年度	1,025,438	0	0	0	265,745	759,693
増減額	8,577	0	0	0	1,235	7,342

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	保険基盤安定繰入金	234,340								266,980

【目的・効果】
【目的】
 ・保険者である長野県後期高齢者医療広域連合へ、法令に基づく負担金を支払うため。
【効果】
 ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も持続可能な保険制度として維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 財源を確保し、請求に基づき市町村負担金を広域連合納付金として、保険者へ支払う。
 ・保険料納付金: 毎月の保険料徴収額を長野県後期高齢者医療広域連合へ支払う。
 ・保険基盤安定納付金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年6回:5月・7月・9月・11月・1月・3月)
 ・事務費負担金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年4回:5月・8月・12月・3月)
 被保険者増加による保険料収入の増及びシステム改修に伴う事務費負担金の増に伴う広域連合納付金が増加。

【詳細事業内訳】
 広域連合納付金 1,034,015千円

【一般財源増加理由】	広域連合納付金の増加										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	1,034,015	保険料納付金767,025千円、保険料基盤安定負担金234,340千円、事務費負担金等32,650千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	16
--------	----

予算	款	03	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	保険料還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600080	保険料還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	0	0	0	0	500
前年度	800	0	0	0	0	800
増減額	△ 300	0	0	0	0	△ 300

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務に対応するため。
【効果】
 ・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務が速やかに遂行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に速やかに還付していく。
 ・死亡による減額更正で過誤納金が発生した場合は、長野県後期高齢者医療広域連合の定められた様式を遺族へ窓口で渡し、相続人及び還付する口座を指定してもらう。

【詳細事業内訳】
 保険料還付金 500千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		23	償還金、利子及び割引料	500	過年度保険料還付金500千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	16
--------	----

予算	款	03	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	02	還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600085	還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	0	50
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	△ 50	0	0	0	0	△ 50

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・過誤納となった保険料について、還付加算金が発生した場合に支出をする。
【効果】
 過誤納となった保険料の還付金と併せて還付加算金の支払いも可能となり、迅速な対応ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金計算シートにより計算を行い、保険料の還付口座へ保険料とともに支払う。

【詳細事業内訳】
 還付加算金 50千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	50	還付加算金50千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	16
--------	----

予算	款	04	予備費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	安心を支えるまち
	目	01	予備費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600150	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療における安定的な運営のため。
【効果】
 ・緊急に対応しなければならない事項について、迅速な対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・予算額を上回る支払いを緊急的に行う必要が生じたときに、対応が可能となる。

【詳細事業内訳】
 予備費 100千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	100	予備費100千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

介護保険特別会計

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010702100			
		課・係等	介護保険課 介護保険担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100010	一般管理費			

予算書ページ	18
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,710	330	0	0	22,380	0
前年度	6,985	0	0	0	6,985	0
増減額	15,725	330	0	0	15,395	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	介護保険審査支払等システム改修経費補助金	330							
	08	事務費繰入金	22,380							
									22,710	

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険運営のための総務一般管理費(介護保険等運営協議会委員報酬、等賦課徴収以外の経費)
【効果】
 ・介護保険事業の円滑な運営をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の作成。
 ・総合事業の導入による事業所管理の増加
 ・平成30年度居宅介護支援事業所の市への移行に伴う準備
 ・平成30年度制度改正に向けたシステム改修

【詳細事業内訳】
 介護保険事業計画策定業務 1,622千円 介護保険課総務費(特別会計によるもの) 21,088千円

【一般財源増加理由】	安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の作成。 安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の作成。										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	308	介護保険等運営協議会委員報酬								
09	旅費	123	制度改正に伴う国の説明会参加旅費、施設指導研修会参加旅費								
11	需用費	2,044	消耗品・参考図書・制度改正対応パンフレット・予算書印刷代								
12	役務費	8,072	高額介護・福祉用具等通知発送料、電話代								
13	委託料	11,747	システム改修費等								
14	使用料及び賃借料	353	制度改正対応介護保険さがせるネット利用料								
19	負担金補助及び交付金	63	制度改正対応施設指導監査研修会参加料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	介護保険事業計画策定業務	安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画を作成し、今後3年間の施設整備などの事業計画と保険料額を決定する。安曇野市の地域包括ケアシステムが進展するように計画を検討する。	11	需用費	1,426
				01	報酬	196
					計	1,622
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	18
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	徴収費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100020	賦課徴収事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,470	0	0	0	6,470	0
前年度	12,582	0	0	0	12,582	0
増減額	△ 6,112	0	0	0	△ 6,112	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	274							
08	事務費繰入金	6,194								
09	事務費繰越金	1								
10	延滞金	1								

【目的・効果】

・介護保険事業の運営財源として、介護保険第1号被保険者(65歳以上)から介護保険料を徴収する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険第1号被保険者へ納入通知書(納付書)等を発送する。
- ・適正な事務処理を学ぶため、徴収、相続(納付義務承継)等の研修へ参加する。

【詳細事業内訳】

賦課徴収事務 6,470千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	69	研修参加旅費				
11	需用費	328	事務用品、封筒等印刷費				
13	委託料	5,732	介護保険料業務委託、介護保険システム管理情報変更業務委託				
14	使用料及び賃借料	65	コンビニ収納システム使用料				
19	負担金補助及び交付金	276	特別徴収情報經由事務負担金、研修参加負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702200
課・係等	介護保険課 認定調査係

予算書ページ	20
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	介護認定審査会費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	認定調査費等		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100030	認定調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	84,029	0	0	0	84,029	0
前年度	88,131	0	0	0	88,131	0
増減額	△ 4,102	0	0	0	△ 4,102	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
10	雑入	1								

【目的・効果】
要支援・要介護状態の者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、必要な時に必要なサービスを受けられるようにする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
介護保険法及び厚生労働省令で定められた事項について調査を行う。

【詳細事業内訳】
介護認定調査事務 84,029千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	37,771	認定調査員(14人)一般事務(2人)の賃金				
11	需用費	1,505	消耗品、公用車燃料代、封筒作成、リーフレット作成				
12	役務費	24,601	主治医意見書作成料				
13	委託料	130	県外での認定調査委託				
14	使用料及び賃借料	1,728	公用車リース料、高速道路使用料				
19	負担金補助及び交付金	18,294	松本広域連合介護認定費負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	介護認定調査事務	適切な介護サービスが受けられるよう要介護・要支援認定調査を行う。	07	賃金	37,771	
				12	役務費	24,601	
				19	負担金補助及び交付金	18,294	
				14	使用料及び賃借料	1,728	
					計	82,394	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	20
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総 合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	介護サービス等諸費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	介護サービス等諸費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100070	介護サービス等諸費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,088,493	1,980,376	1,253,293	0	3,582,612	1,272,212
前年度	8,039,321	2,001,791	1,004,915	0	3,255,925	1,776,690
増減額	49,172	△ 21,415	248,378	0	326,687	△ 504,478

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	介護給付費負担金過年度分	1	05	介護給付費負担金現年度分	1,253,292	08	介護保険支払準備基金繰入金	69,959		
03	現年度分調整交付金	423,662	05	介護給付費負担金 過年度分	1	10	第3者納付金	1		
04	介護給付費交付金現年度分	2,420,930	08	介護給付費繰入金	1,080,772	10	返納金	1		

【目的・効果】
 【目的】
 ・介護サービス給付費の支払い
 【効果】
 ・介護保険サービスの実施

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・第6期事業計画の推計値と27年度までの増加状況により本年度分について見積を行った。
 ・総合事業への移行期間であり介護予防通所介護と訪問介護、予防支援費については本年度は、総合事業と並行して実施する。

【詳細事業内訳】
 介護サービス等諸費 8,088,493千円

【一般財源増加理由】 給付額の増加及び制度改正により処遇改善加算額が増加されることによる

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	8,088,493	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	その他諸費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	審査支払手数料		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100080	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,811	0	0	0	0	8,811
前年度	8,548	0	0	0	0	8,548
増減額	263	0	0	0	0	263

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

・介護保険給付費等の適正な審査支払いを実施するために国保連合会を介した給付費の支払いを行う。

【効果】

・給付費支払の事務が煩雑になることを防止し、適正な給付事務が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【詳細事業内訳】

審査支払手数料 8,811千円

【一般財源増加理由】 利用者増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	8,811	審査支払手数料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	32
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	04	その他諸費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100082	高額介護予防サービス費 相当事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	125	62	0	202	111
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	500	125	62	0	202	111

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	140								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	62								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	62								

【目的・効果】
【目的】
 高額介護予防サービス費相当事業の月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。
【効果】
 利用者の経済的負担の軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 高額介護予防サービス費相当事業の月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。
【一般財源額が前年度を上回った理由】
 介護予防・日常生活支援総合事業開始による平成29年度からの新規事業のため。

【詳細事業内訳】
 高額介護予防サービス費相当事業 500千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	500	高額介護予防サービス費相当事業の月額上限額超過分の返還金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	22
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	高額介護サービス等費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	高額介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	170,502	0	0	0	0	170,502
前年度	173,880	0	0	0	0	173,880
増減額	△ 3,378	0	0	0	0	△ 3,378

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険サービス利用者の所得に応じて、1割(2割)の自己負担額が1カ月で一定額(15,000円、24,600円、37,200円、44,400円)を超えた場合に、超過分を払い戻す。
【効果】
 ・介護費用が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【詳細事業内訳】
 高額介護・予防サービス費 170,502千円

【一般財源増加理由】 ・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	170,502	高額介護、予防給付費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	04	特定入所者介護サービス等費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	特定入所者介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	356,838	0	0	0	0	356,838
前年度	356,838	0	0	0	0	356,838
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】・介護保険施設入所者のうち低所得者について食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合、超過分を保険者が施設に払う。

【効果】

低所得者への介護サービス利用負担の軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

平成27年度より、制度改正に伴い利用者の資産要件1000万円以下が判定に追加。また配偶者の所得要件は世帯分離しても適用されることに変更。

【詳細事業内訳】

特定入所者介護・予防サービス費 356.838千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	356,838	負担限度額超過給付				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	05	高額医療合算介護サービス等費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	高額医療合算介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,535	0	0	0	0	21,535
前年度	26,455	0	0	0	0	26,455
増減額	△ 4,920	0	0	0	0	△ 4,920

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・世帯内で1年間(毎年8月1日～翌7月31日)医療及び介護両制度における自己負担が著しく高額となった場合に、一定の上限額を超える部分について給付を行う。
【効果】
 ・高額利用者への軽減措置。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・12月に該当になるとと思われる者に勧奨通知を発送し申請に従って、給付を行う。年度末に、給付が集中する。

【詳細事業内訳】
 高額医療合算介護・予防サービス費 21,535千円

【一般財源増加理由】 利用者増加による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	21,535	合算負担限度額超過給付				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	介護予防事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	一般介護予防事業費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100102	一般介護予防事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,925	4,481	2,241	0	7,260	3,943
前年度	13,923	3,480	1,740	0	5,638	3,065
増減額	4,002	1,001	501	0	1,622	878

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	5,019								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	2,241								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	2,241								

【目的・効果】

【目的】65歳以上の市民及びその支援者を対象に介護予防事業を行うことにより、生活機能の維持・向上を図り、できるだけ自ら介護予防の取り組みができるよう支援し、地域における介護予防の推進を図る。

【効果】

- ・65歳以上の方が介護予防に関する正しい知識をもつことで、自らの生活の中で介護予防に取り組むことができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業に参加することで、生活機能の維持・向上を図ることができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業を活用し、地域における介護予防の推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・目的別・地域別の体操教室など、できるだけ多くの方が参加できる介護予防教室を開催するとともに、認知機能向上教室を新設する。
- ・介護予防や認知症予防などに対する正しい知識を持っていただくための講演会や講座を開催し、普及啓発を行う。
- ・地域の自主的なグループ活動を対象とした認知機能検査による認知症予防活動の推進を図る。
- ・65歳以上の方の口腔機能の向上を図るための検診・相談・啓蒙活動を行う。
- ・地域や団体等の自主的な介護予防活動の支援を行う。
- ・地域の介護予防拠点における介護予防教室を実施する。

【一般財源額が前年度を上回った理由】

前年度までは、二次予防事業として実施していた「介護予防事業対象者実態把握事業」、「口腔機能向上教室」を、平成29年度からは一般介護予防事業として実施するため。

【詳細事業内訳】

介護予防普及啓発事業 17,589千円 地域介護予防活動支援事業 336千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,954	歯科衛生士・介護予防教室の保健師等の専門職の臨時職員賃金				
8	報償費	3,131	各種介護予防教室・歯科検診・介護予防講演会等の講師謝礼と労務謝礼				
9	旅費	53	認知症予防講習会参加のための旅費				
11	需用費	404	各種介護予防教室・介護予防講演会・広報活動・口腔機能向上事業のための消耗品				
13	委託料	10,307	各種体操教室と認知機能検査実施のための委託料				
18	備品購入費	76	足腰機能計測テストセット				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	拠点介護予防教室	介護予防拠点において、介護予防教室を実施し、自主的な活動への支援も強化する事業。この事業により拠点を中心とした自主的な介護予防活動の拡大に繋げることができる。	13	委託料	3,360
					計	3,360
2	ソフト	認知機能向上教室	認知症予防に特化した教室を実施する。この事業により、自主的な認知症予防の活動への取り組みの拡大が図れる。	13	委託料	2,720
					計	2,720

重点施策と 推進政策	(1)-イ		コード	010702300		予算書ページ	30
			課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		主要施策	認め合い支えあえるまち	
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業		基本施策	高齢者介護サービスの充実	
	事業	3100104	介護予防ケアマネジメント事業				

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,197	5,049	2,525	0	8,180	4,443
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	20,197	5,049	2,525	0	8,180	4,443

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	5,655								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	2,525								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	2,525								

【目的・効果】
【目的】
 地域包括支援センターは、総合事業対象者に対し適切な介護予防ケアマネジメントにより、自立に向けたプラン作成を行い、介護予防支援を行う。
【効果】
 総合事業対象者の状況・環境を考慮し、自立に向けたプランを作成することで、安心して地域で暮らすことができる。又ケアプラン作成業務の一部を、地域包括支援センター運営協議会で承認を受けた適切な指定居宅介護支援事業所へ委託することによって、適切なサービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 地域包括支援センターは、総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行い、適切なサービスが確保できるよう、関係機関との連携を図る。中央地域包括支援センター、北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターが、それぞれ総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行った際、ケアプラン作成費として支払を行う。
 ケアプラン作成業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業所へ委託する。

【一般財源額が前年度を上回った理由】
 介護保険法改正に伴い、平成29年度より総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを、市の事業である介護予防・日常生活支援総合事業として新規に実施するため。

【詳細事業内訳】
 介護予防ケアマネジメント事業 20,197千円

【一般財源増加理由】 総合事業開始に伴い賃金と委託料の発生

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,830	介護支援専門員等賃金				
13	委託料	17,367	介護予防ケアマネジメント業務(総合事業 直営分・委託分) ケアプラン作成費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	介護予防ケアマネジメント事業 総合事業開始により、地域包括支援センターは対象者の状況に応じた適切な介護予防ケアマネジメントにより、自立に向けた支援を行う。	7	賃金	2,830
				13	委託料	17,367
					計	20,197
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ		コード	010702300		予算書ページ	30
			課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業		総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業			主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100105	介護予防生活支援サービス事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	152,660	38,165	19,082	0	61,827	33,586
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	152,660	38,165	19,082	0	61,827	33,586

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	42,745								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	19,082								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	19,082								

【目的・効果】
【目的】
 介護保険法改正により全国一律の基準で提供していた介護予防訪問介護及び介護予防通所介護を、市の事業である介護予防・日常生活支援総合事業へ移行し、それぞれ「第1号訪問事業」及び「第1号通所事業」として事業を実施する。
【効果】
 要支援1、2の該当者と事業対象者に対し、介護予防と日常生活を支援するための適正なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定事業者等による「通所介護相当サービス」、「通所型サービスA」、「訪問介護相当サービス」、「訪問型サービスA」の実施。
 ・事業所へ業務委託しての「通所型サービスC」の実施。
 ・専門職を自宅へ派遣する「訪問型サービスC」の実施。
【一般財源額が前年度を上回った理由】
 介護保険法改正により全国一律の基準で提供していた介護予防訪問介護及び介護予防通所介護を、平成29年度より市の事業である介護予防・日常生活支援総合事業として新規に実施するため。

【詳細事業内訳】
 第1号訪問事業 33,219千円 第1号通所事業 119,441千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	288	訪問型サービスC 理学療法士等訪問謝礼				
13	委託料	6,559	通所型サービスC、新総合事業従事者研修事業委託				
19	負担金補助及び交付金	145,813	通所型、訪問型サービスの国民健康保険団体連合会への支払い				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 第1号訪問事業	全国一律の基準で提供していた介護予防訪問介護を、市の事業である介護予防・日常生活支援総合事業へ移行し実施。要支援1、2の該当者と事業対象者に対し、介護予防と日常生活を支援するための適正な訪問型サービスが提供できる。	8	報償費	288
				13	委託料	1
				19	負担金補助及び交付金	32,930
					計	33,219
2	ソフト	○ 第1号通所事業	全国一律の基準で提供していた介護予防通所介護を、市の事業である介護予防・日常生活支援総合事業へ移行し実施。要支援1、2の該当者と事業対象者に対し、介護予防と日常生活を支援するための適正な通所型サービスが提供できる。	13	委託料	6,558
				19	負担金補助及び交付金	112,883
					計	119,441

重点施策と 推進政策	(1)-イ		コード	010702300		予算書ページ	26
			課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち	
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		基本施策	高齢者介護サービスの充実	
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	62,312	24,301	12,150	0	12,150	13,711
前年度	55,620	21,691	10,845	0	10,845	12,239
増減額	6,692	2,610	1,305	0	1,305	1,472

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	12,150								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	12,150								

【目的・効果】
【目的】
 市内3か所の地域包括支援センターが包括的支援事業を実施することで、高齢者の方ができるだけ地域において自立した生活を営めるよう支援する。さらに、地域包括ケア推進に向けた事業の推進を図る。
【効果】
 地域包括支援センターにおいて、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を行うことで、高齢者の方が要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を営むことができるようになる。
 在宅医療・介護連携や認知症施策の推進、地域ケア会議の充実等に関する取り組みにより、地域包括ケアの推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内3か所の地域包括支援センターの内、豊科・明科を担当する中央地域包括支援センターは本庁舎内で直営にて運営し、穂高を担当する北部地域包括支援センターは穂高支所内にて委託で運営し、三郷・堀金を担当する南部地域包括支援センターは三郷支所内にて委託でそれぞれ運営を行う。
 地域包括支援センターにおいては、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を実施する。
 3か所の地域包括支援センターが連携を図り、包括的支援事業を地域で一体的に実施する中核的機関を目指す。
 地域包括支援センターの適切・公正・中立な運営を確保するために、地域包括支援センター運営協議会を開催する。
 地域包括ケア推進のため、地域ケア個別会議を開催する。また、在宅医療・介護連携や認知症施策推進にも一定の役割を果たす。

【詳細事業内訳】
 地域包括支援センター運営事業 62,312千円

【一般財源増加理由】		総合事業開始に伴い、非常勤職員の雇用による賃金									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容			
02	給料	9,841	包括支援センター職員の給料		12	役務費	61	損害賠償保険料等			
03	職員手当等	4,778	包括支援センター職員の職員手当等		13	委託料	35,450	南部地域包括支援センター・北部地域包括支援センター委託料			
04	共済費	2,894	包括支援センター職員の共済費		14	使用料及び賃借料	1,043	南部・北部地域包括支援センターパソコン・プリンター借上料、中央地域包括支援センター自動車借上料			
07	賃金	5,695	包括支援センター非常勤職員の賃金		18	備品購入費	47	国保連パソコンソフト			
08	報償費	446	介護支援専門員研修・地域包括支援センター運営協議会出席謝礼等		19	負担金補助及び交付金	1,590	介護支援専門員研修・権利擁護研修等の負担金、団体定期保険料等			
09	旅費	95	地域包括ケアシステム研修旅費								
11	需用費	372	地域包括支援センターで使用する事務用品、自動車燃料等								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と推進政策	(1)-イ
-----------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	02	任意事業費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100107	任意事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,167	3,964	1,981	0	1,981	2,241
前年度	17,258	6,731	3,365	0	3,365	3,797
増減額	△ 7,091	△ 2,767	△ 1,384	0	△ 1,384	△ 1,556

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	1,981								
08	地域支援(新総合事業以外)繰入金	1,981								

【目的・効果】
【目的】
 地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心な生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、被保険者及び要介護被保険者を現に介護する者に対して、必要な支援を行う。

【効果】
 ・施設介護だけに頼らない在宅介護での継続が可能となる。
 ・成年後見制度を活用することにより、認知症等により判断力の低下した高齢者の権利が擁護できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・家族介護者を支援するため介護用品購入助成券を非課税世帯の対象者に交付する。
- ・認知症に関する理解を深め、認知症者と家族を支えていくために認知症サポーター養成講座を実施する。
- ・在宅高齢者の住宅改修について、作業療法士等の専門家を派遣し必要な助言等を行う。
- ・受給者が真に必要なとする過不足のないサービスを、事業者が適切に提供されているかを確認するためケアプランチェックを行う。

【詳細事業内訳】
 介護給付等費用適正化事業 50千円 家族介護支援事業 9,382千円 成年後見制度利用支援事業 460千円 福祉用具・住宅改修支援事業 117千円 認知症サポーター等養成事業 158千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	94	ケアプランチェック講師謝礼・認知症サポーター養成講座講師謝礼				
11	需用費	114	認知症サポーター養成講座テキスト・ステッカー				
12	役務費	100	成年後見市長申立に要する費用				
13	委託料	269	住宅改修相談作業療法士等への委託費・家族介護交流事業委託費				
20	扶助費	9,590	介護用品購入助成扶助・成年後見市長申立分に係る後見人報酬費扶助				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	介護用品購入助成事業	市民税非課税世帯で要介護4~5の高齢者を在宅介護している人に1か月あたり5,000円の介護用品購入助成券を交付。介護する家族の経済的負担の緩和が図られる。	20	扶助費	8,800		
					計	8,800		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	04	介護サービス事業費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	介護予防支援事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	介護予防支援事業		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100108	介護サービス事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,275	0	0	0	14,275	0
前年度	24,216	0	0	0	24,216	0
増減額	△ 9,941	0	0	0	△ 9,941	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 直営の中央地域包括支援センターは、要支援者が介護予防サービスの適切な利用ができるよう、介護予防サービス計画を作成し、関係機関との連携を図るよう指定介護予防支援業務を実施する。
【効果】
 要支援者の状況・環境を勘案し、介護予防サービス計画を作成することで、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。
 指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定介護予防支援事業者に委託し、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 直営の中央地域包括支援センターは、要支援者の介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防サービスが確保できるよう、関係機関との連絡調整を図る。
 指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業者へ委託する。
 なお、対象者は総合事業開始により、要支援者のうち、訪問看護や福祉用具貸与等の予防給付を受けている者となる。

【詳細事業内訳】
 介護サービス事業費 14,275千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	14,275	介護予防支援業務(予防給付分)の委託料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	05	基金積立金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	基金積立金		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	介護保険支払準備基金積立金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100110	介護保険支払準備基金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	940	0	0	0	938	2
前年度	1,395	0	0	0	1,393	2
増減額	△ 455	0	0	0	△ 455	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	07	支払準備基金利子	938							

【目的・効果】
【目的】
 ・保険給付に当てるため、介護保険支払準備基金への積立
【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・予算においては、利子分について見込んだ。

【詳細事業内訳】
 介護保険支払準備基金積立金 940千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
25	積立金	940	介護保険支払準備基金利子積立								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	3100112	在宅医療・介護連携推進事業費			

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,720	1,061	531	0	531	597
前年度	1,190	464	232	0	232	262
増減額	1,530	597	299	0	299	335

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	1,061							
05	地域支援交付金(新総合事業以外)	531								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	531								

【目的・効果】

【目的】

在宅療養者に切れ目のない医療・介護のサービス提供を図るため、医療・介護関係者の「顔の見える関係作り」により連携推進事業を実施することで地域包括ケアシステムの構築を目指す。

【効果】

医療・介護関係者と協力し、課題の分析と対応策の検討、研修、啓発活動等により、在宅医療・介護連携を推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・在宅医療・介護連携推進業務を市医師会へ委託し、多職種連携の研修会、市民に向けた啓発のための講演会等を実施するとともに、地域の医療・介護関係者との協力により事業を推進する。

【一般財源額が前年度を上回った理由】

平成29年度より新たな事業として「在宅医療・介護連携に関する相談支援事業」を実施するため。

【詳細事業内訳】

在宅医療・介護連携推進事業費 2,720千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	2,720	在宅医療・介護連携推進事業業務委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	在宅医療・介護連携推進事業	業務を市医師会へ委託し、多職種連携の研修会、市民に向けた啓発のための講演会等を実施するとともに、地域の医療・介護関係者との協力により事業を推進することにより、地域包括ケアシステムの構築につながる。	13	委託料	2,720
					計	2,720
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,263	2,833	1,416	0	1,416	1,598
前年度	7,051	2,750	1,375	0	1,375	1,551
増減額	212	83	41	0	41	47

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	1,416								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	1,416								

【目的・効果】
【目的】
 市内5地域それぞれに、助け合い体制や、介護予防体制、新たな資源を開発するなど、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自分らしく生活ができる体制を構築する。
【効果】
 専門職不足問題を解決する。
 給付費の抑制に努めることにつながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 作成した生活支援ガイドブックを活用し、地域の高齢者が、参加するように勧奨する。
 地域学習会を実施し、現状について理解をしていただくように努める。
 地域見守り活動を推進する。

【詳細事業内訳】
 生活支援体制整備事業費 7,263千円

【一般財源増加理由】 地域学習会実施に向けた取り組みを行いたい。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	150	市の高齢化の状況や、これから実施すべきことについて5地域で講演会を実施する				
11	需用費	63	地域見守り活動参加者、勧奨ステッカー代				
13	委託料	7,050	生活支援コーディネーター委託料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生活支援体制整備事業費	5地域に生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置し、地域における生活支援や、介護予防の体制づくりを進める。 高齢者が生きがいや役割を持ち生活することで、介護状態となる防止が期待される。	08	報償費	150
				11	需用費	63
				13	委託料	7,050
					計	7,263
2					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010702300			
		課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	3100114	認知症総合支援事業費			

予算書ページ	30
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,786	1,476	738	0	738	834
前年度	3,169	1,235	618	0	618	698
増減額	617	241	120	0	120	136

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	1,476								2,952
	05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	738								
	08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	738								

【目的・効果】
【目的】
 高齢者が認知症になっても地域で安心してできるだけ長く暮らせるよう、認知症の人やその家族に効果的な支援を行う。
【効果】
 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるようになる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・3か所の地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員を中心に、認知症者や家族の相談支援・関係者の連携支援を行う。
 ・認知症専門医、保健師、社会福祉士等のチーム員で構成される「認知症初期集中支援チーム」により、認知症が疑われる人、認知症治療が中断したままの人等に対し、自宅訪問等により医療機関での治療につなげる。
【一般財源額が前年度を上回った理由】
 平成29年度より新たな事業として「認知症初期集中支援推進事業」及び「認知症カフェ運営費補助」を実施するため。

【詳細事業内訳】
 認知症初期集中支援推進事業 147千円 認知症地域支援・ケア向上事業3,639千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	108	認知症初期集中支援事業専門医訪問、会議出席報酬								
9	旅費	78	認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援推進員研修								
13	委託料	3,000	北部地域包括支援センター認知症対策委託料								
19	負担金補助及び交付金	600	認知症カフェ運営費補助								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	認知症初期集中支援推進事業 「認知症初期集中支援チーム」により、認知症が疑われる人、治療が中断したままの人等に対し、医療機関での治療につなげる。認知症の人やその家族が地域での安心した生活が継続できる。	1	報酬	108
				9	旅費	39
					計	147
2	ソフト	○	認知症カフェ運営補助 認知症カフェの運営に対し、補助金を交付する。認知症カフェの安定的な運営と事業内容の充実が期待できる。	19	負担金補助及び交付金	600
					計	600

予算書ページ	30
--------	----

重点施策と 推進政策	(1)-イ	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	地域支援事業	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	3100116	地域ケア会議推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	175	68	34	0	34	39
前年度	175	68	34	0	34	39
増減額	0	0	0	0	0	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	34								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	34								

【目的・効果】
【目的】
 保健、医療、福祉サービス及び地域の社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアシステムの構築及び推進を図る。
【効果】
 地域包括ケア体制の構築に向けての各種事業の検討、市民ニーズの把握。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 地域包括ケア体制構築推進のための会議を開催する。

【詳細事業内訳】
 地域ケア会議推進事業 175千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	175	地域包括ケア推進会議の委員出席謝礼				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	地域ケア会議推進事業	地域包括ケア体制構築のための推進方策検討、協議のための会議の開催。 地域包括ケア体制の充実に繋がる。	8	報償費	175	
					計	175	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	32
--------	----

予算	i	03	地域支援事業	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	04	その他諸費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100117	地域支援事業審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	488	122	61	0	197	108
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	488	122	61	0	197	108

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	136								
05	地域支援交付金(新総合事業)	61								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	61								

【目的・効果】
【目的】
 介護予防・日常生活支援総合事業に関する、事業者の介護報酬の請求を審査、支払い業務等を長野県国民健康保険団体連合会へ委託する。
【効果】
 審査支払に関する事務の適正化と軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 審査、支払い業務等を国民健康保険団体連合会へ委託し、手数料として支払う。
【一般財源額が前年度を上回った理由】
 介護予防・日常生活支援総合事業開始による平成29年度からの新規事業のため。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 488千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
12	役務費	488	総合事業審査支払手数料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	06	公債費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	公債費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	利子		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100120	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	100	0
前年度	100	0	0	0	100	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
10	介護保険会計歳計現金利子	1								100

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険給付費支払いに際し国、県等の負担金の歳入の遅れから一時的に金融機関からの借入を受けた場合の利息
【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 必要に応じて実施

【詳細事業内訳】
 一時借入金利子 100千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	100	一時借入金利子								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金及び還付加算金		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100140	第1号被保険者保険料還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	880	0	0	0	0	880
前年度	1,110	0	0	0	0	1,110
増減額	△ 230	0	0	0	0	△ 230

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【詳細事業内訳】

第1号被保険者保険料還付金 880千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	880	保険料還付金、還付加算金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	36
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金及び還付加算金		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100141	償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 ・県・国及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年に繰越す為の科目設置。
【効果】
 ・年度内に、返還額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成28年度の給付額確定後、負担金額を算出。決裁後に繰越し、29年度に返還する。

【詳細事業内訳】
 償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	国庫負担金等返還金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	36
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	償還金及び還付加算金		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100142	地域支援事業返還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	1	0
前年度	1	0	0	0	1	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	09	地域支援事業繰越金	1							

【目的・効果】
【目的】
 国、県、診療報酬支払基金から市に交付される補助金を過大に受領した場合に翌年度に返還し精算を行う。
【効果】
 国、県等の補助金の適正精算。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 国、県、診療報酬支払基金から市に交付される補助金を過大に受領した場合に翌年度に返還し精算を行う。

【詳細事業内訳】
 地域支援事業返還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
6	償還金	1	地域支援事業補助金返還金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	(1)-イ
---------------	-------

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	36
--------	----

予算	款	08	予備費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	01	予備費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100150	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	50	0
前年度	50	0	0	0	50	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	事務費繰入金	50							

【目的・効果】
【目的】
 ・事務費において突発的な内容等、補正に間に合わない場合の予備費。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 必要に応じて実施

【詳細事業内訳】
 予備費 50千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	50	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

上川手山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5100020	上川手山林財産区 一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	813	0	0	0	323	490
前年度	767	0	0	0	412	355
増減額	46	0	0	0	△ 89	135

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子	23							
02	上川手山林財産区基金繰入金	300								

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
 ・1000人サクラプロジェクトに参加する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 813千円

【一般財源増加理由】	管理会の開催に伴う委員報酬の増 サクラプロジェクト参加に伴う謝礼の増 郵送料の増										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	154	管理会外委員報酬								
08	報償費	245	サクラプロジェクト出席謝礼								
10	交際費	10	慶弔費								
11	需用費	259	消耗品、現地踏査用具、管理会贈、予算書等印刷製本								
12	役務費	21	郵送料								
22	補償補填及び賠償金	100	権利解消補償金								
25	積立金	24	基金利子積立								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	事業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5100040	上川手山林財産区 造林費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,031	0	0	0	1,031
前年度	1,070	0	0	0	1,070
増減額	△ 39	0	0	0	△ 39

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・間伐及び下草刈の実施。

【詳細事業内訳】
 造林費 1,031千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	1,031	間伐、下刈						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	03	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5100050	上川手山林財産区 予備費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	670	0	0	0	670
前年度	675	0	0	0	675
増減額	△ 5	0	0	0	△ 5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・上川手山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 670千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	670	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

北の沢山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	(4)-ハ	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5200010	北の沢山林財産区 一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	559	0	0	0	486	73
前年度	853	0	0	0	845	8
増減額	△ 294	0	0	0	△ 359	65

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子		27						
02	北の沢山林財産区基金繰入金		459							

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。
 ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
 ・水源林造林協議会等に係る事業に参加する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 559千円

【一般財源増加理由】 現地踏査に伴う消耗品費の増 森林整備手数料の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	77	管理会外委員報酬				
08	報償費	74	現地踏査謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	259	消耗品費、燃料費、管理会賄、予算書等印刷製本				
12	役務費	63	郵送料、傷害保険				
19	負担金補助及び交付金	48	水源林造林協議会等				
25	積立金	28	基金利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	03	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5200040	北の沢山林財産区 予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	260	0	0	0	0	260
前年度	263	0	0	0	0	263
増減額	△ 3	0	0	0	0	△ 3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。
 ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・北の沢山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 260千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	260	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

有明山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
部・課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5300010	有明山林財産区 一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	793	0	0	0	549	244
前年度	802	0	0	0	631	171
増減額	△ 9	0	0	0	△ 82	73

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子	57							
03	有明山林財産区基金繰入金	492								

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積316haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 793千円

【一般財源増加理由】 現地踏査に伴う消耗品費の増 森林整備手数料の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	63	管理会外委員報酬				
08	報償費	74	現地踏査謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	248	消耗品、燃料費、管理会賄、予算書等印刷製本				
12	役務費	340	郵送料、森林整備手数料、傷害保険				
25	積立金	58	基金利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
部・課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5300030	有明山林財産区 予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	350	0	0	0	0	350
前年度	348	0	0	0	0	348
増減額	2	0	0	0	0	2

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積316haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・有明山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 350千円

【一般財源増加理由】		予備費の増					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	350	予備費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

富士尾沢山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400010	富士尾沢山林財産区 一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	724	0	0	0	407	317
前年度	735	0	0	0	398	337
増減額	△ 11	0	0	0	9	△ 20

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子	6							
03	富士尾沢山林財産区基金 繰入金	401								

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 724千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	管理会外委員報酬								
08	報償費	49	現地踏査謝礼								
10	交際費	10	慶弔費								
11	需用費	248	消耗品、燃料費、管理会賄、予算書等印刷製本								
12	役務費	347	郵送料、森林整備手数料、傷害保険								
25	積立金	7	基金利子積立								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5400030	富士尾沢山林財産区 予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	240	0	0	0	0	240
前年度	240	0	0	0	0	240
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 予備費 240千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	240	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

穂高山林財産区特別会計

重点施策と推進政策	(4)-ハ
-----------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	総務管理費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500010	穂高山林財産区一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,142	0	0	0	835	307
前年度	1,145	0	0	0	861	284
増減額	△ 3	0	0	0	△ 26	23

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		5						
03	穂高山林財産区基金繰入金		830							

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 1,142千円

【一般財源増加理由】	現地踏査に伴う消耗品費の増										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	管理会外委員報酬								
08	報償費	49	現地踏査謝礼								
10	交際費	10	慶弔費								
11	需用費	248	消耗品、燃料費、管理会賄、予算書等印刷製本								
12	役務費	766	郵送料、森林整備手数料、傷害保険								
25	積立金	6	基金利子積立								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	(4)-ハ
---------------	-------

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	予備費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	予備費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5500030	穂高山林財産区 予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	340	0	0	0	0	340
前年度	342	0	0	0	0	342
増減額	△ 2	0	0	0	0	△ 2

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 340千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	340	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

産業団地造成事業特別会計

重点施策と 推進政策	(3)-へ	コード	010901200			
		部・課・係等	商工労政課 工業振興係			
予算	款	01	産業団地事業費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	産業団地事業費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	産業団地事業費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	6100010	産業団地建設事業費			

予算書ページ	12
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,301	0	0	0	80,301	0
前年度	85,224	0	0	0	85,224	0
増減額	△ 4,923	0	0	0	△ 4,923	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	土地売払収入(あづみ野産業団地)	79,429							
02	一般会計繰入金	871								
03	前年度繰越金	1								

【目的・効果】
【目的】
 ○あづみ野産業団地分譲地の残り1区画の売却に取り組む。
 ○県事務所や市内外企業を訪問し、誘致の可能性のある企業の掘り起しと共に、新産業団地造成に向けた開発検討をする。
【効果】
 企業誘致によって地元雇用が生まれ、若者などの移住・定住による人口減対策や地域の活性化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・あづみ野産業団地残り1区画の売却
 ・新たな産業団地造成に向け、関係部局と候補地の開発検討を進める。
 ・東京、大阪の長野事務所に出向いて情報交換をし、空き工場等を活用した誘致の可能性を探る。

【詳細事業内訳】
 産業団地建設事業 79,779円 産業団地建設総務費 522千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	58	企業誘致土産代								
09	旅費	183	職員普通旅費、産業支援コーディネーター費用弁償								
11	需用費	128	産業団地関係消耗品費、看板修繕費、決算書及び予算書印刷製本費								
12	役務費	108	事業用地ナビ掲載料								
13	委託料	359	産業団地緑地管理、排水路清掃								
17	公有財産購入費	79,430	あづみ野産業団地用地購入費								
19	負担金補助及び交付金	35	屋外広告物設置負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	産業団地建設事業	あづみ野産業団地残り1区画の分譲に向け、市ホームページや産業振興ポータルサイトに情報を掲載する。また、県の関係機関等にも情報提供し、売却に取り組む。	17	公有財産購入費	79,430	
				12	役務費	108	
				09	旅費	183	
				08	報償費	58	
					計	79,779	
2					計	0	

観光宿泊施設特別会計

重点施策と 推進政策	(3)-ハ	コード	010902300			
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	01	観光宿泊施設事業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	観光宿泊施設事業費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	01	観光宿泊施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	観光宿泊施設管理費			

予算書ページ	12
--------	----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,204	0	0	0	16,204
前年度	32,164	0	0	0	32,164
増減額	△ 15,960	0	0	0	△ 15,960

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	観光宿泊施設維持管理	12,584							
02	有明荘外施設使用料	3,620								

【目的・効果】
【目的】・市内を訪れる観光客の受入れ環境を整備することにより快適な宿泊施設を提供し、交流人口の拡大を図ると共に、市民の憩いの場を提供し、福祉の向上を図る。
【効果】・観光宿泊施設の整備により、来訪者の市内での滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・長峰荘、有明荘の指定管理者と連携して施設の維持管理を行なう。

【詳細事業内訳】
 有明荘・長峰荘運営管理事業 16,204千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	90	事務打合せ			18	備品購入費	1,797	有明荘エアコン、非常用衛星電話機等
11	需用費	3,073	施設小破修繕			27	公課費	27	車検用重量税(2台分)
12	役務費	340	電話料 レジオネラ検査(2施設) 車検費用(2台分)			29	予備費	500	予備費
13	委託料	5,200	長峰荘指定管理料						
14	使用料及び賃借料	3,127	土地借地料(有明荘)等						
15	工事請負費	2,000	施設維持修繕工事						
16	原材料費	50	駐車場整備用砕石						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	有明荘への非常用衛星電話機及び発電機の設置 災害対策として、有明荘に、利用客及び従業員の安全を確保するための非常用衛星電話及び発電機を設置する。	18	備品購入費	618
				12	役務費	64
					計	682
2						
					計	0